2023年度
Aセメスター（A1・A2）
科目紹介【シラバス抜粋】

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2023 年度の A セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－4 に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

A セメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックには A セメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 ⑦ 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	A セメスター	概ね 10～1 月
A1	A1 ターム	概ね 10～11 月
A2	A2 ターム	概ね 12～1 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。
英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までには UTAS に反映されます。）。

●「英語二列Ｓ」の履修には英語スピーキング能力の申請（クラス分け申請）が必要です。3 月末の初回クラス分け申請をしていない 2023 年度入学 1 年生（および申請に不備がありクラス分けできなかった 1 年生）は、各ターム開始前に、追加クラス分けに関する案内を前期課程 HP「お知らせ」に掲示するので、自分が履修するタームの前に必ず確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられています。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

<table>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列 S</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列 S</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列②（教養英語）≫

目標・概要　英語一列は本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。クラスは学生の習熟度に合わせて 3 段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法
・英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・英語一列では習熟度に応じて 3 つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。
グループ 1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指すが、それをもとにした発展的な活動を含むこともある。
・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については ITC-LMS の各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。

成績評価方法
・平常点 5 割、定期試験（統一試験）5 割で評価が決定される。
・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり 50 点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。
・期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	多元化する世界を英語で読む
著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）
出版社	東京大学出版会
ISBN	978-4-13-082135-

≪英語特別クラス≫
非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17 ）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13･24-25 ）文三（11･17 ）理一（1-4･9･18-19 ）理二三（7･13 ）
				火 4	1 年文一二（6･8･18 ）文三（5･7･12 ）理一（20･30-31･34-35 ）理二三（11･18･22 ）
				水 2	1 年文一二（5･15･19･26 ）文三（6･19 ）理一（7･12･23･28･36 ）理二三（6･23 ）
				水 3	1 年文一二（11･16･22 ）文三（10･14 ）理一（13･17･25･37･39 ）理二三（19-20 ）

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）				
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.			
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50332	A 1	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50333	A 1	火 3	Naomi Berman	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50334	A 1	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50335	A 1	火 3	Doris Zhang	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50336	A 1	火 3	Ian Wash	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50337	A 1	火 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50338	A 1	火 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50340	A 1	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50341	A 1	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50343	A 1	火 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50344	A 1	火 3	Erika D'Souza	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50345	A 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
51475	A 1	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
51482	A 1	火 3	John Quayle	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50403	A 1	火 4	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50404	A 1	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50405	A 1	火 4	Ian Wash	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50406	A 1	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50407	A 1	火 4	Graham Peebles	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50409	A 1	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50410	A 1	火 4	Erika D'Souza	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50411	A 1	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50412	A 1	火 4	Doris Zhang	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50413	A 1	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50416	A 1	火 4	Tito Akindele	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
51476	A 1	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
51483	A 1	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
51484	A 1	火 4	John Quayle	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50502	A 1	水 2	Naomi Berman	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50507	A 1	水 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50508	A 1	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50509	A 1	水 2	Candler Hallman	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50511	A 1	水 2	Stefanie Mack	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50512	A 1	水 2	Simon Perry	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50513	A 1	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50515	A 1	水 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50516	A 1	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50517	A 1	水 2	Richard Dietz	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
51477	A 1	水 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
51489	A 1	水 2	片山 晶子	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50595	A 1	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50596	A 1	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50598	A 1	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50599	A 1	水 3	John Pazdziora	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50600	A 1	水 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50601	A 1	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50602	A 1	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50603	A 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50604	A 1	水 3	Richard Dietz	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50605	A 1	水 3	Anna Bordilovskaya	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50606	A 1	水 3	Naomi Berman	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50607	A 1	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50608	A 1	水 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
51478	A 1	水 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
51490	A 1	水 3	片山 晶子	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60105	A 2	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60108	A 2	火 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60110	A 2	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60111	A 2	火 3	Candler Hallman	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60112	A 2	火 3	Graham Peebles	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60113	A 2	火 3	Naomi Berman	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60114	A 2	火 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60116	A 2	火 3	Ian Wash	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60117	A 2	火 3	Doris Zhang	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60119	A 2	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60231	A 2	火 3	John Quayle	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60122	A 2	火 4	Candler Hallman	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60123	A 2	火 4	Graham Peebles	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	Ian Wash	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60127	A 2	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 S）

60128	A 2	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60133	A 2	火 4	Tito Akindele	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60134	A 2	火 4	Doris Zhang	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60135	A 2	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60232	A 2	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60233	A 2	火 4	John Quayle	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60151	A 2	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	Stefanie Mack	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60155	A 2	水 2	Richard Dietz	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60157	A 2	水 2	Candler Hallman	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60158	A 2	水 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60160	A 2	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60162	A 2	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60163	A 2	水 2	Naomi Berman	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60164	A 2	水 2	Simon Perry	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60165	A 2	水 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	A 2	水 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60167	A 2	水 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60234	A 2	水 2	片山 晶子	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60168	A 2	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60169	A 2	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60170	A 2	水 3	John Pazdziora	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60171	A 2	水 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60172	A 2	水 3	Anna Bordilovskaya	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60173	A 2	水 3	Richard Dietz	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60174	A 2	水 3	Candler Hallman	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	A 2	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	A 2	水 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60178	A 2	水 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60179	A 2	水 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60180	A 2	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60181	A 2	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60182	A 2	水 3	Naomi Berman	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60235	A 2	水 3	片山 晶子	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A

授業の目標・概要	This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.
授業の方法	Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.
成績評価方法	Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.
関連ホームページ	https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50046	月 2	Candler Hallman	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50047	月 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50048	月 2	Natsuno Funada	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50049	月 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50050	月 2	Ian Wash	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50051	月 2	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50052	月 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50053	月 2	John Pazdziora	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50054	月 2	Naomi Berman	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50055	月 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50729	木 2	Ian Wash	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50730	木 2	John Pazdziora	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50731	木 2	Natsuno Funada	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50732	木 2	Erika D'Souza	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50733	木 2	Alex Bueno	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50734	木 2	Christopher Nicklin	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50735	木 2	Dennis Stromback	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50736	木 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50737	木 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50738	木 2	Greg Dalziel	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)
50791	木 3	Alex Bueno	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50792	木 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50793	木 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50794	木 3	Eric Vanden Bussche	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50795	木 3	John Pazdziora	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50796	木 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50797	木 3	Richard Dietz	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50798	木 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)
50799	木 3	Erika D'Souza	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)

外国語（英語二列 W）ALESA

50891	金 1	Greg Dalziel	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50892	金 1	Christopher Nicklin	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50893	金 1	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50894	金 1	Catherine Hansen	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50895	金 1	Richard Dietz	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50896	金 1	Dennis Stromback	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50897	金 1	Alex Bueno	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50898	金 1	Erika D'Souza	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50899	金 1	Aurora Tsai	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50900	金 1	John Pazdziora	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50986	金 3	Greg Dalziel	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50987	金 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50988	金 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50989	金 3	Alex Bueno	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50990	金 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50991	金 3	Richard Dietz	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50992	金 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50993	金 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A

授業の目標・概要
In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.

授業の方法
Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.

成績評価方法
Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.

関連ホームページ
https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50061	月 2	Anna Bordilovskaya	1 年 理一(4,35-36)
50062	月 2	Tomoko Kamishima	1 年 理一(4,35-36)
50063	月 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(4,35-36)
50064	月 2	Graham Peebles	1 年 理一(4,35-36)
50065	月 2	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(4,35-36)
50066	月 2	Alexandra Terashima	1 年 理一(4,35-36)
50097	月 3	Ian Wash	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50098	月 3	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50099	月 3	Graham Peebles	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50100	月 3	Anna Bordilovskaya	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50102	月 3	Natsuno Funada	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50103	月 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50104	月 3	Candler Hallman	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50105	月 3	Tomoko Kamishima	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50106	月 3	John Solomon Maninang	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50107	月 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50108	月 3	Stefanie Mack	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50109	月 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50110	月 3	Alexandra Terashima	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50111	月 3	Doris Zhang	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
51487	月 3	James Ellinger	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50156	月 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50157	月 4	Manuel Senna	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50158	月 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50159	月 4	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50161	月 4	Doris Zhang	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50162	月 4	Ian Wash	1 年 理一(12,16)理二三(13)
51481	月 4	Anna Bordilovskaya	1 年 理一(12,16)理二三(13)
51488	月 4	James Ellinger	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50229	火 1	Simon Perry	1 年 理二三(21,23)

50230	火 1	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理二三(21,23)
50231	火 1	Manuel Senna	1 年 理二三(21,23)
50232	火 1	Anna Bordilovskaya	1 年 理二三(21,23)
50233	火 1	Naomi Berman	1 年 理二三(21,23)
50475	水 1	John Quayle	1 年 理一(1-3,18,27)
50476	水 1	Eric Vanden Bussche	1 年 理一(1-3,18,27)
50477	水 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(1-3,18,27)
50478	水 1	Tito Akindele	1 年 理一(1-3,18,27)
50479	水 1	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(1-3,18,27)
50480	水 1	Stefanie Mack	1 年 理一(1-3,18,27)
50481	水 1	Naomi Berman	1 年 理一(1-3,18,27)
50761	木 2	Simon Perry	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50762	木 2	Tomoko Kamishima	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50763	木 2	Eric Vanden Bussche	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50764	木 2	Doris Zhang	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50765	木 2	John Quayle	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50766	木 2	Richard Dietz	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50767	木 2	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50913	金 1	Tito Akindele	1 年 理二三(8,14)
50915	金 1	Manuel Senna	1 年 理二三(8,14)
50916	金 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理二三(8,14)
50917	金 1	Graham Peebles	1 年 理二三(8,14)
51485	金 1	John Quayle	1 年 理二三(8,14)
51006	金 3	Stefanie Mack	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51007	金 3	John Solomon Maninang	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51008	金 3	Simon Perry	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51010	金 3	Manuel Senna	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51012	金 3	Graham Peebles	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51013	金 3	Tito Akindele	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51486	金 3	John Quayle	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51045	金 4	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理二三(4,11,17)
51046	金 4	John Solomon Maninang	1 年 理二三(4,11,17)
51048	金 4	Stefanie Mack	1 年 理二三(4,11,17)
51049	金 4	Simon Perry	1 年 理二三(4,11,17)
51050	金 4	Doris Zhang	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目　ドイツ語

ドイツ語	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。
なお、L 系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　平常点および試験によって行う。なお、1 年生 S セメスターの一列・二列には同一の成績がつく。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50073	月 2	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1 年 理一(29)
50074	月 2	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 理一(32)
50149	月 4	ドイツ語一列②	田中 純	1 年 文一二(22)
50348	火 3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 文一二(20)
50362	火 3	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 文三(15)
50363	火 3	ドイツ語一列②	三宅 晶子	1 年 文三(16)
50368	火 3	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 理一(31)
50434	火 4	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	1 年 理一(28)
50556	水 2	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 理二三(17)
50610	水 3	ドイツ語一列②	針貝 真理子	1 年 文一二(21)
50648	水 4	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 理一(30)
50834	木 4	ドイツ語一列②	宮谷 尚実	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51019	金 3	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理二三(19)
51052	金 4	ドイツ語一列②	瀬尾 文子	1 年 理二三(18)
50627	水 3	ドイツ語特修	有信 真美菜	2 年 文科 理科
50656	水 4	ドイツ語特修	板倉 歌	2 年 文科 理科

基礎科目　フランス語

フランス語	開講区分	A

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
理科生には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。

成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50058	月 2	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文一二(24)
50075	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(37)
50120	月 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
50121	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理一(39)
50150	月 4	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(23)
50427	火 4	フランス語一列②	西川 純子	1 年 文一二(26)
50487	水 1	フランス語一列②	赤羽 悠	1 年 理一(33)
50557	水 2	フランス語一列②	赤羽 悠	1 年 理二三(20)
50639	水 4	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 文三(17)
50746	木 2	フランス語一列②	小西 英則	1 年 文三(18)
50747	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文三(19)
50748	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文三(20)
50772	木 2	フランス語一列②	井口 俊	1 年 理一(35)
50773	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(36)
50774	木 2	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 理二三(22)
50807	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文一二(25)
50808	木 3	フランス語一列②	増田 一夫	1 年 文一二(27)
50809	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 文一二(28)
50835	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50855	木 4	フランス語一列②	野崎 夏生	1 年 理二三(23)
51014	金 3	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理一(34)
51020	金 3	フランス語一列②	松井 裕美	1 年 理二三(21)
51021	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理二三(24)
50628	水 3	フランス語特修	桑田 光平	2 年 文科 理科

基礎科目　中国語

中国語	開講区分	A

授業の目標・概要　中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(木５に開講)
●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。

成績評価方法　期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語課本
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・小嶋美由紀・李佳樑 著
出版社　白帝社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50072	月 2	中国語一列②	大橋 義武	1 年 理一(24)
50119	月 3	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(20)
50154	月 4	中国語一列②	瀬地山 角	1 年 文三(14)
50219	火 1	中国語一列②	阿古 智子	1 年 理一(3)理二三(3)(TLP)
50227	火 1	中国語一列②	王 牧	1 年 理一(26)
50549	火 3	中国語一列②	神谷 智幸	1 年 理一(22)
50433	火 4	中国語一列②	毛 興華	1 年 理一(27)
50533	水 2	中国語一列②	吉川 雅之	1 年 文一二(17)(TLP)
50543	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文三(12)(TLP)
50548	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理一(19)
50555	水 2	中国語一列②	張 政遠	1 年 理二三(16)
50609	水 3	中国語一列②	王 英輝	1 年 文一二(19)
50615	水 3	中国語一列②	韓 燕麗	1 年 文三(13)
50740	木 2	中国語一列②	久保 茉莉子	1 年 文一二(14)
50741	木 2	中国語一列②	松本 秀士	1 年 文一二(15)
50769	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 理一(25)
50806	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(16)
50825	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(15)
50836	木 4	中国語一列②	毛 興華	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50839	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(18)
50854	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 理二三(13)
50901	金 1	中国語一列②	石井 剛	1 年 文一二(13)
51003	金 3	中国語一列②	前田 恭規	1 年 理一(23)
51018	金 3	中国語一列②	谷垣 真理子	1 年 理二三(14)
51034	金 4	中国語一列②	王 欽	1 年 文三(11)
51043	金 4	中国語一列②	前田 恭規	1 年 理一(21)
50657	水 4	中国語特修	谷垣 真理子	2 年 文科 理科

※TLP 履修者は、対象クラスで TLP と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目　ロシア語

ロシア語	開講区分	A

授業の目標・概要　初修ロシア語の１年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1 年を終えるころには簡単なロシア語テクストが自在に読める能力の獲得をめざす。
文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。
Ｓセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テクストによって読解の基礎をつける。

成績評価方法　定期試験と平常点。
適宜小テストを行うことがある。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Изучаем русский язык с нуля（ロシア語をはじめよう）
著者（訳者）　西中村浩・朝妻恵理子
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50217	火 1	ロシア語一列②	浜田 華練	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)(TLP)
50435	火 4	ロシア語一列②	丸山 由紀子	1 年 理二三(4)
50750	木 2	ロシア語一列②	渡邊 日日	1 年 理一(4)
50751	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 理一(5)
50975	金 3	ロシア語一列②	宮川 絹代	1 年 文一二(4)
50995	金 3	ロシア語一列②	畔柳 千明	1 年 文三(4)
50658	水 4	ロシア語特修	石井 優貴	2 年 文科 理科

基礎科目　スペイン語

スペイン語	開講区分	A

授業の目標・概要　スペイン語初修は、共通教科書『Brújula』を用い、１年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Ｓセメスターでは、内容を１列（文法）と２列（講読）に分け（今年度はCOVID-19禍により、１列／２列をリレー方式で展開した。）、Ａセメスターでは１列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週２回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。

成績評価方法　各担当教員に任されている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Brújula－スペイン語学習の羅針盤
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50056	月 2	スペイン語一列②	受田 宏之	1年 文一二(9)
50077	月 2	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 理二三(10)
50125	月 3	スペイン語一列②	網野 徹哉	1年 理二三(7)
50126	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(8)
50175	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(12)
50226	火 1	スペイン語一列②	相田 豊	1年 理一(16)
50360	火 3	スペイン語一列②	網野 徹哉	1年 文三(10)
50373	火 3	スペイン語一列②	相田 豊	1年 理二三(11)
50437	火 4	スペイン語一列②	遠藤 健太	1年 理二三(9)
50547	水 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(18)
50613	水 3	スペイン語一列②	久住 真由	1年 文三(9)
50644	水 4	スペイン語一列②	相田 豊	1年 理一(9)
50645	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	1年 理一(11)
50646	水 4	スペイン語一列②	伊香 祝子	1年 理一(17)
50739	木 2	スペイン語一列②	水口 良樹	1年 文一二(10)
50756	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1年 理一(10)
50760	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(15)
50800	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 文一二(11)
50810	木 3	スペイン語一列②	見田 悠子	1年 文三(7)
50815	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(12)
50816	木 3	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1年 理一(13)
50838	木 4	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1年 文一二(8)
50843	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(14)
50983	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(7)
50996	金 3	スペイン語一列②	見田 悠子	1年 文三(8)
51028	金 4	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(12)
50629	水 3	スペイン語特修	竹村 文彦	2年 文科 理科

基礎科目　韓国朝鮮語

韓国朝鮮語	開講区分	A

授業の目標・概要
●1 年生初修クラス
S セメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版)』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。
●特修クラス
これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。

成績評価方法
定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　　『ことばの架け橋（精選版)』
著者（訳者）　生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル

関連ホームページ
http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50036	月 2	韓国朝鮮語一列②	岡村 佳奈	1 年 文一二(5)
50359	火 3	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1 年 文三(5)
50436	火 4	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1 年 理二三(5)
50907	金 1	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1 年 理一(6)
50659	水 4	韓国朝鮮語特修	河崎 啓剛	2 年 文科 理科

基礎科目　イタリア語

イタリア語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1年生初修クラス
Ⅰ列Ⅱ列では、Aセメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テクストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テクスト分析Ⅰも開講されているので、積極的に受講してください。

●既修クラス
総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。

●授業計画
1年生初修 ―Aセメスター前半 初級文法まとめ
Aセメスター後半 講読中心

●学習上のアドバイス
時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。

成績評価方法
平常点とセメスター末の筆記試験

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50174	月 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理二三(6)
50328	火 3	イタリア語一列②	山﨑 彩	1年 文一二(6)
50744	木 2	イタリア語一列②	村松 真理子	1年 文三(6)
50814	木 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1年 理一(7)
50069	金 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理一(8)
50660	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2年 文科 理科

基礎科目　日本語

日本語	開講区分	A

授業の目標・概要

[注意事項]
● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列②［必修科目］の授業に初回授業から必ず出席すること。
● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。
● 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。

● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語）
『テーマで考え議論する日本語』- Active Learning in Academic Japanese for Arts and Sciences - 後半
教養・学術日本語
文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。
総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。
総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。
● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（１）ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」
「Academic Writing for Science 1 理系のアカデミック・ライティング 1」
「自己・他者・社会を探求するためのナラティブ・ライティング」
「アカデミックライティング（５）－表現学習のためのツール－」
「読解を通じ，日本の歴史を考える (1)」
(「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」(基礎科目日本語一列②と連動))
● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（２）ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる」
「自己・他者・社会を探求するためのナラティブ・ライティング」
「アカデミックライティング（６）－ツールを用いた構成と形式の実践－」
「近代日本の童話を読む 」
「読解を通じ，日本の歴史を考える (2)」
(「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」(基礎科目日本語一列②と連動))
(「Academic Writing for Science 2 理系のアカデミック・ライティング 2 （実践編))

成績評価方法

「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTask-Web 上のそれぞれの科目のページを参照すること。全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。

教科書

その他。／Other

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50927	A	金 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科
51061	A	金 5	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ	開講区分	A

授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第1回 講義（オンライン） 第2回 講義、種目選択（対面） 第3回から第13回 選択した種目での授業 （注意事項） ・第1回はオンラインで行う。受講方法はITC-LMSで周知する。 ・第2回は大教室で行う。使用教室はITC-LMSや9号館前の掲示板に掲示する。 ・学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。詳細は第1回授業で確認すること。 ・雨天が続いた場合など、例外的に外種目を体育館で行い、本来の体育館種目が別の場所（教室など）に移動することもあるので、9号館前の掲示板やITC-LMSのお知らせを毎回よく確認すること。 ・体力テストを12月下旬の授業にて実施する可能性がある。実施方法はITC-LMSを使って連絡する。 ・以上の授業計画が変更となる場合はITC-LMSを使って連絡する。 ＜90分×13回の授業により不足する授業時間の補填＞ 授業の前後に各10分程度、教員への質問や個人練習ができる時間を設ける。
授業の方法	第2回の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等）、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URLは後述）にも掲示する。 種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習だけでなく、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくること。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 体力テスト：例年4月と12月に行い、評価に含める。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　東大出版会
履修上の注意	種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスはITC-LMSのお知らせに掲載予定である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50059	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(26)文三(11,16)理一(10-11,19,23,25-26)理二三(4,8)
50326	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(4,14)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50388	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15)理二三(1-3,7,12,17,19)
50571	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(6-8,15)文三(8)理一(7,9,15,27,30,32)
50637	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(16,27-28)文三(4,9)理一(13,16,24)理二三(16,20-21)

50749	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 理一(1-3,12,31,33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50790	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(9,18,23)文三(6,12,17)理一(4-5,18) 理二三(13-14,23)
50984	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(13,17,20,24)文三(5,7,10)理一(6,8,21,36) 理二三(18)
51027	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(10,19,21-22)文三(13,19-20)理一 (22,29,39) 理二三(22)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	A

授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第1回 講義（オンライン） 第2回 講義、種目選択（対面） 第3回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある） （注意事項） ・第2回目までの授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習IIの曜限で受講すること。使用するURLや教室はITC-LMSや9号館前の掲示板に掲示する。 ・第2回目の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）は必ずしもその日に決定しなくてよいが、判断に困る場合は教員によく相談すること。 ・第3回以降は月1、月5、火1、水1のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画に変更が生じる場合はメールまたはITC-LMSを使って連絡する。 ＜90分×13回の授業により不足する授業時間の補填＞ 授業の前後に各10分程度、教員への質問や個人練習ができる時間を設ける。
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　　東大出版会
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを閲覧するにはECCSクラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50185	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1年 文科 理科
50494	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1年 文科 理科
50001	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1年 文科 理科
50234	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50133	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	月 3	1年 文二 文三 2年 文二 文三

講義題目　法の基本要素・法学の思考方法

授業の目標概要　毎回、テーマを設定して、法の基本要素および法学のディシプリンを紹介・検討します。
授業では、具体的なテーマに即して、法の基本要素・法学の思考方法を紹介・検討することにより、法学を専攻しない学生に対して、法とはどのようなものか、法学がどのような学問であるのか、法学部生はどんな勉強をしているのか、などを体感してもらう材料を提供することに努めます。
内容は、一言でいえば、「教養としての法学」を敷衍するようなものになります。通俗的な意味での実用性はほとんどありませんが、真の実用性はあるはずだと考えております。
教養学部前期課程において提供される法学の入門的授業の内容やアプローチには多様なものがありうると考えており、この授業は、その1つの試みです。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50472	A	法Ⅱ	巽 智彦	法・政治	水 1	1年 文一 文一二(1-12) 2年 文一

講義題目　法令・判例を使いこなす
授業の目標概要　【文一のみ履修可】
この講義では、現在の日本における法令（憲法・法律・命令を中心とする制定法）・判例（裁判所の示した判断のうち先例性を持つもの）に関する基礎的な知識を習得したうえで、具体的な問題を目の前にして自分の力で法令・判例を使いこなすことができるような基礎的な素養を身に着けることを目標とする。
授業の概要は以下のとおりである。
1．現在の日本における法のあり方（法源論）
2．法令の基礎知識と使いこなし方
3．判例の基礎知識と使いこなし方
※13回のうち2回は、Carol Lawson 准教授が「コモンロー制度（主にイギリス連邦の国々）の契約法の基礎」をテーマに、英語で授業を行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50473	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1年 文一 文一二(13-21) 2年 文一

講義題目　公法学のテクストを読む
授業の目標概要　【文一のみ履修可】
「法Ⅰ」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。13 回のうち 2 回は、Carol Lawson 准教授が「コモンロー制度（主にイギリス連邦の国々）の契約法の基礎」をテーマに，英語で授業を行う。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50474	A	法Ⅱ	白石 忠志	法・政治	水 1	1年 文一 文一二(22-28) 2年 文一

講義題目　法2（白石忠志）
授業の目標概要　【文一のみ履修可】
13回のうち11回は、「法律問題を扱ううえで具体的に必要となる基本的な知識や枠組み」を身に付けることを目指す授業です。「身近な問題を自由に考えてみよう」という法学入門ではなく、高尚で抽象的な法学論を講ずる法学入門でもありません。それらも有益ですが、他にお任せします。
13回のうち2回は、Carol Lawson 准教授が、「コモンロー制度（主にイギリス連邦の国々）の契約法の基礎」をテーマとして、英語で授業を行います。
完全オンラインとなる第1回の方法を含め、この授業についての詳細は Google ドキュメントでお知らせすることとし、それへのリンクは ITC-LMS の「オンライン授業情報」で9月中旬または下旬にお知らせします。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50134	A	政治II	稲田 奏	法・政治	月 3	1年 文一 2年 文一

講義題目

本講義は、比較政治学の基本的な諸概念と諸理論についての検討を通じて、世界各地で発生する様々な政治現象の特徴と、その規定要因および因果メカニズムについての理解を深めることを目的とする。具体的には、民主化に成功する国と失敗する国があるのはなぜか、軍が政治介入を行うのはなぜか、といった様々な問いを各回で取りあげて、それに対して比較政治学の先行研究がどのような答えを出してきたのかを体系的に検討する。講義を通じて、単に過去の研究成果がどのようなものであるかの知識を習得するだけではなく、受講生が現在世界で発生している政治現象を自分自身の着眼点から説明することを可能にするため、既存理論を批判的に検討していく。

さらに、比較政治学の先行研究を理解するために必要となる、基本的な分析概念についても扱う。具体的には、因果関係とは何か、相関関係とどのように異なるのか、政治現象を説明するということはどのような行為であるのかを参考図書に沿って、授業を行う。

授業の目標概要

•比較政治学における基本的な諸概念・諸理論に関する知識を身につける
•比較政治学の理論を使用し、現代の政治を分析できるような着眼の仕方を身につける
•比較政治学の研究手法に関して理解する

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50495	A	政治II	木宮 正史	法・政治	水 1	1年 文二 文三 2年 文二 文三

講義題目

政治学の基礎概念とグローバル秩序変革期の政治学

授業の目標概要

1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、政治権力(political power)、政治体制(political regime)、国家(state)、民主主義(democracy)、政党(political party)、選挙(election)及び投票行動(voting behavior)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、政治に関する種々の現象を分析するのに必要な基礎を身につける。

2 以上の問題の根底にあるのは、民主主義（democracy）とは何であり、それがどのように機能しているのかいないのかということであるこうした民主主義（democracy）に関する既存の見方をふまえたうえで、その現代的意味についても考察を深めることにする。

3 ますます緊密度を深める政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。

4 2023年は、前年に引き続き、ロシア・ウクライナ戦争が続いた。国連の常任理事国による隣国への侵略行為である。さらに、それと関連を持ちつつ、グローバルには、米中対立が深刻の度合いを強めつつある。それに伴い世界もグローバル化が一方向に進むのではなく、新たな分断が生まれようとしている。さらに、それは、日本の政治外交の従来のあり方に重大な課題を突きつけている。こうしたグローバル秩序の変革期に直面し、政治、および政治学の役割を今一度再検討する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50135	A	経済II	竹野 太三	経済・統計	月 3	1年 文科 2年 文科

講義題目

経済学 II

授業の目標概要

価格理論を学びます．価格理論は経済学の基礎となる大変重要な理論体系であることから，本講義では一学期をかけて，価格理論をゼロから網羅的に，考え方を含めて学びます．なお，本講義は「基礎科目」ですので，本講義で初めて経済学を学ばれる方を想定します．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50458	A	経済II	高見 典和	経済・統計	火 5	1年 文科 2年 文科

講義題目

科学コミュニティの社会性に注目する現代の科学論を参照しながら，経済学の歴史を議論します。

授業の目標概要

欧米の一部の研究者は，より洗練された視点で経済学の歴史を研究しています。本講義では，担当講師の訳書や著書を用いて，近年の経済学史研究の一端を紹介したいと思います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50136	A	社会II	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		分析的政治哲学入門 本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、１９世紀に生まれ、２０世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、２０世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50496	A	数学 I	松本 久義	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学 I 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50497	A	数学 II	坂井 秀隆	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学 II 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50498	A	数学 II	長谷川 立	数学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学 II 文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．				

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50137	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		スピノザと哲学 17 世紀オランダの哲学者スピノザの思想を紹介していく。合わせて、17 世紀以前、17 世紀以後の哲学についても適宜紹介していく。 スピノザの思想はその内容を理解したとしても、そこから、自分の中で十分に消化して自らのものとするところに至るまでにはかなり時間がかかる。 講義ではじっくりと一つの哲学に取り組むための機会を提供したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50459	A	哲学Ⅱ	高橋 厚	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		中世哲学への遡行：人間、宇宙、そして神 「哲学」は古代ギリシアに始まった、としばしば言われます。しかし、二千年以上の歴史をとおして「哲学」は同一の意味や役割を有していたわけではまったくありませんでした。およそ十八世紀まで、「哲学」は現在の自然科学や社会科学の大半の領域をうちに含む総合的な学問だったのです。現在わたしたちは自然環境の変化や新しい工学的な技術の進展等に日々直面しています。そのような場合、単に人間の認識や言語の問題に関心を限定するのではなく、より広い視野から哲学のあり方を再考していくことが改めて求められているように思われます。 以上を背景として、この授業ではアウグスティヌス、トマス・アクィナス、そしてライプニッツという近代以前の三人の哲学者（神学者含む）の思想を主に取り上げながら、西欧の思想家たちがどのように人間を含む世界の構造について考えていたのかを考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50138	A	倫理Ⅱ	小松 美彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		死をめぐる生命倫理 本シラバスを入力している 2023 年 7 月 26 日現在、日本は新型コロナウイルス感染症の猛威（第 9 波）の渦中にある。既に 3 年半に及び行方も不明なコロナ禍にあって、最も軽視されているのは存外にも人々の「死」であるように思われる。死者数が最後に公表された本年 5 月 9 日の時点で、日本でも 74600 人以上の者が死亡しており、そこには 74600 以上の悲しみがあるにもかかわらずである。しかし、顧みれば、こうした死の軽視は今に始まったことではなく、脳死や安楽死・尊厳死の推進政策の延長線上での事態ではあるまいか。 そこで本講義では、現況の基点をなす脳死と安楽死・尊厳死の問題を主題として、死について倫理的かつ多角的に考える。そして講義の終盤では、レベルを一段上げて、M.フーコーや G.アガンベンが論じた「生権力」と「死権力」の問題を扱い、さらに「人間の尊厳」について考察する。 脳死と安楽死・尊厳死はもとより、死そのものに関して、自分の倫理的思考を錬磨することを目指す。そして、それを通じて、そもそも「倫理」とは何かを省みることを大目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50460	A	歴史Ⅰ	後藤 はる美	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		西洋史の諸問題 この授業では、16～19 世紀イギリス史の事例を中心に、近年歴史学の領域で注目を集めている諸問題や新視角について考える。取り扱うテーマは、身体史／感情史など、文化史の領域で発達してきた問題から、日記や書簡、審問記録など「個人の語り」（エゴドキュメント）の問題、技術のめざましい進展とともにあるデジタル・ヒストリーや、市民との対話をめざすパブリック・ヒストリーと歴史認識問題など多岐にわたる。 これらをつうじて「史実/事実」を学ぶ歴史から、何が「史実/事実」とされてきたのか、その背後にある問題は何かを批判的に考える、歴史学的思考法を身につけることをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50461	A	歴史II	塚原 伸治	歴史学	火 5	1年 文科 2年 文科

講義題目　日本民俗学からみる歴史
授業の目標概要　民俗学は国や地域ごとの特徴が大きい分野であるが、特に日本の民俗学はその成立の時期から現在まで、歴史学との深い関係によって特徴づけられてきた面がある。本講義では、日本の民俗学がどのように歴史を考えようとしてきたのかを、具体的な研究成果を紹介しながら示す。特にパブリックヒストリーや文化遺産など、近年の研究動向を意識しつつ、21 世紀における歴史民俗学を構想してみたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50462	A	ことばと文学II	沖本 幸子	国文・漢文学	火 5	1年 文科 2年 文科

講義題目　「道成寺」の世界ー説話・絵解き・能・歌舞伎ー
授業の目標概要　1000 年の時を超えて語り継がれてきた「道成寺」物語。説話に始まり、絵解き、民俗芸能、能、歌舞伎、演劇、映画、アニメ、舞踊と、さまざまなメディアに乗って、今なお新作が作り続けられている。「道成寺」の創造力とはなんなのか。表面的に読めば、男女の行き違い、ストーカー殺人事件にすぎないのかもしれないが、丁寧に読み解いてゆくと、道成寺をめぐる土地性や、女性と水、蛇、鐘をめぐる様々な伝承が息づいていることが見えてくる。そうした伏流する物語とそのシンボリズムにも目を向けながら、一方で、そうした伝承から時に離脱し、さまざまなメディアに乗って、新たな表現方法を開拓しながら、新しい物語として再創造され続けてきた、それぞれの「道成寺」の魅力も掘り起こしてみたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50463	A	ことばと文学III	品田 悦一	国文・漢文学	火 5	1年 文科 2年 文科

講義題目　国民歌集と国民歌人――斎藤茂吉を定点として掘り下げる『万葉集』の近代
授業の目標概要　今年度春に開講した「ことばと文学II」では、『万葉集』が明治中期以降の百三十年間を通じ日本人の国民的アイデンティティーを支えてきた経緯を概観した。これは「『万葉集』と近代日本」の総論であった。今度は同じテーマの各論を格好の素材で取り扱う。近代の日本で『万葉集』ともっとも深い因縁で結ばれた人物は誰かといえば、間違いなく斎藤茂吉であろう。近代短歌史上の巨人とも評される茂吉の作歌信条が「写生／実相観入」と「万葉調」とに集約されることは周知のとおりだが、実のところ、彼が万葉尊信に突き進むまでの道のりは決して順直なものではなかった。一介の「みちのくの農の子」茂吉が『万葉集』と出会い、濃密な愛着を抱き、そのことをもって自らを日本文化の体現者と信じ込んでいく過程――それは、この国に〈国民〉というまことしやかな想像が蔓延していった過程の典型的実例にほかならない。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50139	A	ことばと文学IV	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	月 3	1年 文科 2年 文科

講義題目　ことばと文学IV
授業の目標概要　アラビア語、そしてアラビア語で営まれた文芸作品について概観する（クルアーンなどの宗教的なものも含む）。
前イスラーム時代から近現代までを網羅し、アラブ世界でどのような文芸活動が行われているかを知り、日本人の視点からその性質や特徴を捉えていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50140	A	心理II	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1年 文科 2年 文科

講義題目　心理学概論
授業の目標概要　人間は，環境から受け取った光や音の情報をもとに，外界のモノや出来事を認識し，過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し，また他の人間と相互作用することができる．このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである．認知科学(cognitive science)とは，心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら，その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である．
本講義では，多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら，知覚，認識，記憶，感情，思考，意識，社会性といった，人の心の基本的な仕組み及び働きを支えている脳情報処理の原理原則と，その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ．それによって，進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための知識と視点を身につけることをめざす．人工知能や脳信号解読を含めた脳工学技術や心理学の成り立ちにも触れる．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50499	A	心理Ⅱ	今福 理博	心理・教育学	水 1	1年 文科 2年 文科
講義題目		心理学概論				
授業の目標概要		心理学は人を含む動物の心と行動を科学的に研究する学問である。 本講義では、心理学の成り立ちや人の心の基本的な仕組み及び働きについて、心理学の知識を広く概観することで理解することを目的とする。 とりわけ、遺伝と環境の相互作用の中で人の心がいつ、どのように発達するのかという視点から、知覚、認知、感情、言語、パーソナリティなどのテーマについて詳述する。				

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 / A 2

授業の目標・概要
自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する.
1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする.
2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。
3）未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする.

授業の方法
月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する．実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと.

成績評価方法
成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』
著者（訳者）　基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会
出版社　学術図書出版社、 東京化学同人

履修上の注意
過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。
実験室内は飲食禁止.

関連ホームページ　http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50094	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50366	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
50619	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
50812	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1年 理一(6,8,10-11,15-17,19)
51004	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
51109	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(物理学)α	1年 理一
60003	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60029	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
60076	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
60082	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(6,8,10-11,15-17,19)
60087	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
60091	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(物理学)α	1年 理一
51136	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
51138	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
51140	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
51142	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(6,8,10-11,15-17,19)
51144	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
51111	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(化学)α	1年 理一
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60030	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
60077	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(12,20-22,31,34,38)
60083	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(6,8,10-11,15-17,19)
60088	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(26-28,30,32,35,37)
60092	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(化学)α	1年 理一
50122	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-3,5,9-11) 奇数

基礎実験

50369	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(6,16,21,24) 奇数
50625	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数
50823	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,18-20) 奇数
51016	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,5,9-11) 偶数
60031	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(6,16,21,24) 偶数
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
60084	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,18-20) 偶数
60089	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
50123	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,5,9-11) 偶数
50370	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(6,16,21,24) 偶数
50626	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
50824	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,18-20) 偶数
51017	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
60006	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,5,9-11) 奇数
60032	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(6,16,21,24) 奇数
60079	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数
60085	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,18-20) 奇数
60090	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②	開講区分	A

授業の目標・概要

代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．

微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

1. 一変数関数の微分（微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開）
2. 多変数関数の微分（偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律）
3. 多変数関数の微分（続き）（高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用）
4. 一変数関数の積分（区分求積法，微分積分学の基本定理）
5. 多変数関数の積分（多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式）
6. 無限級数と広義積分（関数列の収束，広義積分）

実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．

成績評価方法　主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．

教科書　その他。／Other

関連ホームページ　https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50078	月 2	山本 昌宏	1 年 理二三(14-16)
50079	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(17-20)
50080	月 2	吉野 太郎	1 年 理二三(21-24)
50169	月 4	桐木 紳	1 年 理一(20-23)
50170	月 4	足助 太郎	1 年 理一(24-27)
50171	月 4	辻 雄	1 年 理一(28-31)
50172	月 4	高山 茂晴	1 年 理一(32-35)
50173	月 4	三竹 大寿	1 年 理一(36-39)
50428	火 4	白石 潤一	1 年 理一(1-5,17)
50429	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(6,18-19)
50430	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(7-9,13)
50431	火 4	大場 清	1 年 理一(10-12)
50432	火 4	長井 秀友	1 年 理一(14-16)
50622	水 3	岩木 耕平	1 年 理二三(1-7)
50623	水 3	田中 公	1 年 理二三(8-10)
50624	水 3	山本 昌宏	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②	開講区分	A

授業の目標・概要	線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった． 自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い． 線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする． S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1, 2 を扱い，Aセメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．
成績評価方法	主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	その他。／Other
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50488	水 1	小林 正典	1 年 理二三(1-7)
50489	水 1	植野 義明	1 年 理二三(8-10)
50490	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(11-13)
50491	水 1	村上 順	1 年 理二三(14-16)
50492	水 1	関口 英子	1 年 理二三(17-20)
50493	水 1	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
50752	木 2	松井 千尋	1 年 理一(6,18-19)
50817	木 3	北山 貴裕	1 年 理一(20-23)
50818	木 3	梶原 健	1 年 理一(24-27)
50819	木 3	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
50820	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(32-35)
50821	木 3	下川 航也	1 年 理一(36-39)
50908	金 1	志甫 淳	1 年 理一(7-9,13)
50909	金 1	関口 英子	1 年 理一(10-12)
50910	金 1	葉廣 和夫	1 年 理一(14-16)
51000	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(1-5,17)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある．この２つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う．講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある．
成績評価方法	通常は定期試験を行なわず，平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ，授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする．出席点が重視されるため，欠席を重ねると単位を出せなくなることがある．
教科書	その他。／Other
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50127	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(14-16)
50128	A	月 3	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(14-16)
50129	A	月 3	微分積分学演習	畑 宏明	1 年 理二三(17-20)
50130	A	月 3	線型代数学演習	関口 英子	1 年 理二三(17-20)
50131	A	月 3	微分積分学演習	吉野 太郎	1 年 理二三(21-24)
50132	A	月 3	線型代数学演習	加藤 晃史	1 年 理二三(21-24)
50444	A	火 5	微分積分学演習	白石 潤一	1 年 理一(1-5,17)
50445	A	火 5	線型代数学演習	伊山 修	1 年 理一(1-5,17)
50446	A	火 5	微分積分学演習	中村 勇哉	1 年 理一(6,18-19)
50447	A	火 5	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(6,18-19)
50448	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(7-9,13)
50449	A	火 5	線型代数学演習	志甫 淳	1 年 理一(7-9,13)
50450	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(10-12)
50451	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(10-12)
50452	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(14-16)
50453	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(14-16)
50650	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50651	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(1-7)
50652	A	水 4	微分積分学演習	田中 公	1 年 理二三(8-10)
50653	A	水 4	線型代数学演習	權業 善範	1 年 理二三(8-10)
50654	A	水 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
50655	A	水 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理二三(11-13)
50844	A	木 4	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(20-23)
50845	A	木 4	線型代数学演習	北山 貴裕	1 年 理一(20-23)
50846	A	木 4	微分積分学演習	山本 昌宏	1 年 理一(24-27)
50847	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(24-27)
50848	A	木 4	微分積分学演習	辻 雄	1 年 理一(28-31)
50849	A	木 4	線型代数学演習	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
50850	A	木 4	微分積分学演習	高山 茂晴	1 年 理一(32-35)
50851	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(32-35)
50852	A	木 4	微分積分学演習	森 迪也	1 年 理一(36-39)
50853	A	木 4	線型代数学演習	森 迪也	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	定期試験による．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html

※講義の詳細については、UTAS も参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50186	A	月 5	数理科学基礎（補修）	今井 直毅	1 年 理科 2 年 理科
50669	A	水 5	数理科学基礎（補修）	北山 貴裕	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学A

電磁気学A	開講区分	A

授業の目標・概要

電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存

2.静電場
- ・クーロンの法則とガウスの法則
- ・電位とその性質
- ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
- ・導体系
- ・静電場のエネルギーとストレス

3.定常電流
- ・オームの法則、連続の方程式
- ・回路への応用（キルヒホフの法則）
- ・ジュール熱

4.定常電流による磁場
- ・アンペールの法則
- ・静磁場の微分方程式
- ・ベクトルポテンシャル
- ・ビオー・サヴァールの法則
- ・円電流と等価磁石
- ・単位系

5.電磁誘導とマクスウェル方程式
- ・ファラデイ・レンツの法則
- ・変位電流と連続の方程式
- ・マクスウェル方程式
- ・電磁場のエネルギーと仕事
- ・平面電磁波
- ・準定常電磁場と交流回路

＊6.物質中の電磁場
- ＊考え方：分極電荷、磁化電流
- ＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性）
- ＊異なった物質の間の境界条件
- ＊物質中の電磁場エネルギー

成績評価方法　主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50544	水 2	下村 裕	1年 理一(1-6)
50550	水 2	多田 司	1年 理一(31-33)
50551	水 2	大井 万紀人	1年 理一(34-35,37)
50552	水 2	島野 亮	1年 理一(38-39)理二三(7)
50553	水 2	加藤 岳生	1年 理二三(1-3,21-22,24)
50554	水 2	藤山 茂樹	1年 理二三(8,11,19)
50753	木 2	森松 治	1年 理二三(12-14)
50755	木 2	下村 裕	1年 理二三(4,17-18,23)
50759	木 2	深津 晋	1年 理一(14,21-22)
50768	木 2	水野 英如	1年 理一(23-24,26)
50770	木 2	高木 隆司	1年 理一(27-29)
50771	木 2	岡本 徹	1年 理一(7-9,30)
51038	金 4	白石 直人	1年 理一(10-12)
51040	金 4	年吉 洋	1年 理一(13,15-16)
51041	金 4	素川 靖司	1年 理一(17-18)理二三(5-6)
51042	金 4	牛島 一朗	1年 理一(19-20,25)
51044	金 4	大谷 宗久	1年 理一(36)理二三(16,20)
51051	金 4	町田 友樹	1年 理二三(9-10,15)

電磁気学Ｂ

電磁気学Ｂ	開講区分	A

授業の目標・概要

入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。
高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。
講義では演習、宿題等を十分に課する。
目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において
物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。
1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス
演習
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・ビオー・サヴァールの法則
・電流に働く力
・円電流と等価磁石
・磁場のエネルギー
・単位系
5.時間的に変動する電磁場
・ファラデイ・レンツの電磁誘導の法則
・交流回路
6.変位電流とマクスウェル方程式
・変位電流と電荷の保存
・マクスウェル方程式 （積分形）
・平面電磁波
演習

成績評価方法　主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50545	水 2	菊川 芳夫	1 年 理一(1-6,31-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19,21-22,24)
50754	木 2	上野 和紀	1 年 理一(7-9,14,21-24,26-30)理二三(4,12-14,17-18,23)
51039	金 4	野海 俊文	1 年 理一(10-13,15-20,25,36)理二三(5-6,9-10,15-16,20)

構造化学

構造化学	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである．

1. 量子論の必要性
   ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子)
   ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波)
2. 量子論の基礎
   ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点)
   ・1 次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色)
   ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造)
3. 原子の構造と性質
   ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道)
   ・Pauli の排他原理(電子スピン)
   ・多電子原子(元素の周期律と構成原理)
4. 化学結合と分子
   ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合)
   ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)

成績評価方法　※各授業の UTAS シラバスを参照すること

教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50067	月 2	十代 健	1 年 理一(5,31,33-34)
50071	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50076	月 2	永田 利明	1 年 理二三(5,7,9,11)
50118	月 3	杉原 加織	1 年 理一(17,29,35)
50124	月 3	安池 智一	1 年 理二三(4,6,12-13)
50220	火 1	岩崎 純史	1 年 理一(7,12,27,38)
50228	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(15,17,20)
50364	火 3	齊藤 圭亮	1 年 理一(8,11,13,30)
50371	火 3	木下 卓巳	1 年 理二三(8,14,22)
50372	火 3	奥野 将成	1 年 理二三(10,18-19,23)
50617	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,16,18-19)
50621	水 3	澁田 靖	1 年 理一(24,28,36)
50642	水 4	中島 正和	1 年 理一(6,10,15)
50647	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(23,25-26)
50649	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(32,37,39)
50811	木 3	桐谷 乃輔	1 年 理一(1-3,9,14)
50822	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-3,16,21,24)
50890	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51083	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学II

生命科学II	開講区分	A

授業の目標・概要	細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 １．細胞内輸送 ２．細胞骨格と細胞運動 ３．細胞間・細胞内情報伝達 ４．神経伝達と機能 ５．細胞周期 ６．動物・植物の発生 ７．遺伝子の発現制御 ８．ゲノムと進化 ９．生物多様性
成績評価方法	【担当教員入力】 実施の詳細は担当教員から指示される.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第５版 著者(訳者)　東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社　（株）羊土社 ISBN　978-4-7581-2102-6

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50176	月 4	渡邊 雄一郎、加納 純子	1年 理二三(14,16,18-19)
50177	月 4	大杉 美穂、阿部 光知	1年 理二三(20-23)
50912	金 1	佐藤 健、北西 卓磨	1年 理二三(7,9,15,24)
50918	金 1	道上 達男、末次 憲之	1年 理二三(10-13)
51015	金 3	瀬尾 秀宗	1年 理二三(1-6,8,17)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51311	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	川出 良枝	法学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ジョン・スチュアート・ミル『自由論』を読む ジョン・スチュアート・ミルの『自由論』(1859) は、自由とは何かを考える上で必読の書である。専制的な政府が個人の自由を蹂躙する事態をどう克服するかは別の作品に委ね、本書でミルはもっぱら世論や習慣が個人の自由を浸食する事態を問題視する。つまり、社会との関係における個人の自由が問われたのである。彼は、たとえ社会の側から見れば、その人にとって有害な帰結をもたらすような行為でも、個人がそれを選択する自由をもつことを可能な限り最大限に尊重せよと説いた。ミル自身が道徳や正義を振りかざす世論からの「バッシング」に苦しんだ当事者でもあった。もちろん、どんな行為でも許されるわけではない。自由はいかなるときに制限されるべきかも考える必要がある。また、そもそも自由が重要な価値であるとは考えない人々を説得しなければならない。様々な論拠を繰り出して個人の自由の擁護を試みるミルの政治思想を読み解いていこう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51313	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	溜箭 将之	法学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		イギリス契約法 イギリス契約法に関する英文入門書を通読する。 契約法は、イギリスで法学の入門科目として扱われる。またイギリス契約法は、国際的な商取引で広く用いられている。さらに、イギリス法はアメリカ法とともにコモン・ローと呼ばれる法的伝統の源であり、ドイツやフランスなど日本が大きく影響を受けてきた大陸法と呼ばれる法的伝統と異なる特徴をもつ。 本ゼミナールでは、イギリス契約法を、法学入門、イギリス法の理解、日本や大陸法との比較、国際商事取引の理解など、様々な観点から検討してゆく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51310	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	伊藤 洋一	法学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		J. ハーバーマスとヨーロッパ統合 現代に氾濫する大量の情報を主体的に選択した上で、それに基づく厳密な思考を積重ねつつ、歴史的・理論的な視点に立ち、自身の見解を形成すること、それを公共の空間での批判に耐えるような形で、言葉で表現する能力を持つことは、法と政治を学ぶ際には欠かせません。 しかし、そのような能力を培う場は、高校にも大学教養課程にも乏しいのが現状です。そこで、その欠を少しでも埋めようと、法学部の複数のスタッフは、従来から演習形式の授業を駒場で行ってきました。 著作物の精密な読解、主張を着実に伝える論述の方法、お互いの見解を深める議論の応酬、こうした訓練を積まないかぎり、十分に法を理解し、政治を考えることは困難です。このような能力は、司法・行政・政治を職業に選ぶ者にはもちろん、それ以外の場合でも、社会の一員として好むと好まざるとにかかわらず法と政治に関与する場面(わかりやすい例は選挙と裁判)で必要となる、貴重な素養です。 参加資格は、法学部進学希望者・文科1類学生には限りません。文系・理系の別も不問です。知的興味を持つ学生諸君を歓迎します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51062	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	内山 融	法・政治	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		EBPM（エビデンスに基づく政策形成）の研究 現在、中央省庁や地方自治体など政策の現場で EBPM（evidence-based policy-making, エビデンスに基づく政策形成）の導入が進んでいる。EBPM とは、政策の効果を科学的手法できちんと測定した上で、そうしたエビデンスに基づいて政策形成を行う活動である。 この授業では、EBPM の基本的な考え方や手法、海外や日本国内での先行事例、具体的な政策分析について理解を深めたい。 公務員や政策研究者を志望する人はもちろんのこと、シンクタンク、コンサル、NPO などで政策に関わりたいと考えている人に特に参加してほしい。そうでない人ももちろん歓迎する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51305	A	社会科学ゼミナール（経済・統計）	小島 武仁	経済学部	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　マッチング理論とマーケットデザイン：入門から研究最前線までお見せします

授業の目標概要　みなさんは「マッチング理論」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？マッチングというと出会い系などを想像されるかもしれませんが、これは経済学を中心に、コンピュータサイエンスや応用数学などにもまたがる学際的な研究領域の名前です。世の中にはたくさんの社会問題がありますが、その多くに共通してマッチングという側面があります。例えば皆さんが経験したであろう入試は学生と学校や大学のマッチングですし、今後みなさんの多くが経験するであろう就活は学生と企業などのマッチングです。他にも結婚や子供を保育園に入れるいわゆる「保活」、コロナワクチン登場直後に起きたワクチンの配分問題などもある種のマッチング問題だと捉えることができます。このように社会のあちこちにマッチング問題があり、これを統一的な理論的枠組みで理解することを目指すのが経済学の「マッチング理論」という分野です。
この講義のもう一つのキーワードが「マーケットデザイン」です。これは何かというと、上記のようなマッチング理論をただの抽象的な「机上の空論」に終わらせずに、社会のマッチング問題解決に役立てるためにマッチングの市場（マーケット）を設計（デザイン）しようという応用分野を指す言葉です。この分野の研究成果は実際に社会にある多くのマッチング問題を解決するために社会実装されており、マーケットデザインは 2012 年と 2022 年の 2 回にわたってノーベル経済学賞の対象になっています（周辺の研究分野も入れたらもっと何回もあります）
この講義では、この「マッチング理論」と「マーケットデザイン」を紹介します。予備知識なしの状態から分野の入門的な解説から始めますが、最終的にはこの研究分野の最前線（の一部）までお見せするつもりです。
分野の予備知識は特に要求しませんが、数学的•論理的な議論を多用するので、そういう理屈をしっかり理解する根気はぜひとも必要です。また、経済学のミクロ経済学、特にゲーム理論という分野と密接に関わっていますので、その知識があるとなおさら良いと思います（が、なくても大丈夫なように講義をする予定です）。
対象としては文 2 の学生さんはもちろん、他の科類の学生さんも大歓迎です。経済学に興味がある人には向いていると思いますが、例えば「理系」に興味があり、経済学や社会科学はなんとなくインチキくさいと思っているような学生さんも歓迎です。私は 2020 年までスタンフォード大学の経済学部の教授だったのですが、実をいうとそこで私はこのゼミと似た授業をしていました。そこではコンピュータサイエンスやいわゆる「理系」専攻の学生さんを主なターゲットに、数学や科学的なアプローチで経済や社会を分析するとはどういうことかを紹介し、経済学の世界に引き込もうという野望のもとマーケットデザインの授業をやっていました。駒場でも、いろいろな興味を持っている多様な学生さんに履修してもらえることを楽しみにしています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50250	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　研究入門ー社会理論の古典と現在

授業の目標概要　広い意味での社会理論に関する文献の精読を通じて、社会学や社会思想の基礎概念の理解を深めるとともに、学術的なテクストの解釈に必要なスキルを向上させることがこの演習の目標である。
今学期は、Hans Joas, 2001, Genesis of Values, University of Chicago Press.(原著は、1997, Die Entstehung der Werte, Suhrkamp.)を読む。著者の Hans Joas は、現代を代表する社会学者・社会哲学者であり、創造性に着目した独自の行為理論で知られる。本書において著者は、ニーチェ、ウィリアム・ジェームス、デュルケム、ジンメルといった近代の古典的な哲学者や社会学者の学説を検討しながら、「価値は自己形成と自己超越の経験の中で成立する」というテーゼを提示する。本書の精読を通じて、「価値はいかにして成立するのか」という原理的問題だけでなく、現代社会における価値をめぐる争いや共有価値の喪失という時代診断、さらには機械翻訳の精度が著しく向上している現在において、古典や異なる言語のテクストを読むことの意義などについても幅広く議論したい。時間に余裕があれば、Joas の別の著作（The Sacredness of the Person や War and Modernity など）も取り上げる。
英訳を用いるので、ドイツ語を履修している必要はない。ただし原著も随時参照する。
なお履修希望者が 20 名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるので、初回の授業には必ず出席すること。受講許可は第 2 回の授業日までに掲示によって告知する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50251	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　質的調査の方法

授業の目標概要　社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50187	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	遠藤 貢	国際関係	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	「擬似国家（Quasi-States)」を考える					
授業の目標概要	以下の古典とも評価される文献を輪読し、現代国際関係における国家の多様な姿について考えることを通じて、より深く国際政治を理解する契機を提供する。 Jackson, R. H. （1990） Quasi-states: Sovereignty, International Relations, and the Third World, Cambridge: Cambridge University Press. 履修希望者が 20 名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第 2 回目までに掲示によって告知する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51312	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	遠藤 乾	法学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	本演習では外交について考える。近年のウクライナにおける事例にみられるように、戦争はなかなかなくならない。しかしそれが常態なわけでもない。暴力的な事態を収拾し、そういう例外的事態に陥らないために営まれる営為・回路として外交はある。 外交とはそもそも何か、どんな性質をもつのか、歴史上いかなる形で生起したのか、特定の作法はあるのか、だれがどう動かしているのか、関連メカニズムは何かなど、多くの問いがある。ガイダンスのあと、基本的には、20 世紀を代表する外交の理論家・歴史家・実践者であるキッシンジャーの『外交』を輪読する予定。余裕があれば、具体的な日本の外交安全保障上の諸課題、特に台湾と半島の問題の管理などについて織り交ぜ、ゲストを呼ぶなどして、幅を広げたい。					
授業の目標概要	1．国際政治の基本的な交渉手段・回路である外交について知識を得、考える能力を養う。 2．現在進行形の問題を、広く理論や歴史の観点から分析する素地を作る。 3．多読と精読の訓練をする。 4．併せて、討論やプレゼン（＋司会）の技法を学ぶ。					

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50002	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	齋藤 幸平	哲学・科学史	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アドルノを読む Adorno lesen					
授業の目標概要	アドルノの Aspekte des neuen Rechtsradikalismus をドイツ語で読破する。 今後の哲学研究のために必要なドイツ語力を養いつつ、アドルノの思想への入門としても利用されたい。 定員は２０人とする。 それ以上の場合は選考を行うので、初回の授業には必ず参加すること。 受講にあたっては、ドイツ語の授業を一年間受けていることが望ましい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51309	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	菊地 達也	文学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	古典イスラム思想理解のためのアラビア語原典講読					
授業の目標概要	本授業においては、アラビア語の原書講読を通じてイスラム思想についての見識と理解を深めることを目指す。イスラム思想の領域としてはシーア派思想、神秘主義、神学のそれぞれについてテクストを 3 つ用意し、学生と協議の上領域およびテクストを決定する。アラビア語を習得した上で授業に参加することが望ましいが、学習中もしくは未習であっても意欲があれば出席して構わない（和訳もしくは英訳を配布）。テクストについてはなるべく母音符号付きのものを選ぶようにし、シーア派思想の場合はシーア派独特のイマーム（指導者）論とスンナ派批判を骨子とするアッラーマ・ヒッリー（1325 年没）著『イマーム位を知るための高貴なる道』を、神秘主義の場合はスンナ派正統思想の中に神秘主義を取り込んだガザーリー（1111 年没）が晩年に弟子たちに倫理的に正しく生きることを説いた『おお少年よ』を、神学の場合はイスラム教内の諸宗派の思想を要約した分派学書を講読対象の候補として用意するが、それ以外の著作を講読したいという要望があれば、テクストを変更することもありえる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50670	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	中野 耕太郎	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	史料から読むアメリカ現代史―原子爆弾と冷戦のはじまり					
授業の目標概要	この講義では、第二次大戦期から戦後の冷戦初期までの時代を対象に、アメリカの政策策定者や科学者、ジャーナリストらが書き残した多様な史料（英語）を読み解き、日本への原爆投下から核の国際管理論を経て、米ソ冷戦が形成されていく過程を検討する。アメリカ現代史についての知識を深めるとともに、原史料を解読する作業をとおして、歴史とは何か？歴史的な集合記憶とは何か？という大きな問題についても考える。 定員は 15 名程度とするので、初回授業時に履修希望者が超過した場合は、志望動機を記したレポートを書いてもらい、第 2 回までに受講の許可について告知します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50928	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	大塚 修	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	史料から読み解く中東イスラーム地域の歴史					
授業の目標概要	中東イスラーム地域の歴史や文化に関心のある学生を対象とした、英語文献を講読するゼミナールです。この地域の歴史を研究するためには、アラビア文字を使用するアラビア語、ペルシア語、チャガタイ・トルコ語、オスマン・トルコ語といった言語で書かれた史料を分析する必要があります（有名なものでは、タバリー著『預言者たちと諸王の歴史』やラシード・アッディーン著『集史』）。このゼミナールでは、そういったアラビア文字文献の名著の「英語訳」を輪読する作業を通じて、研究の技法を身につけるとともに、中東地域の歴史や文化を学びます。講読文献は、履修希望者の興味や関心に応じて決定します。講読文献は英語ですので、興味がある学生であれば、どなたでも歓迎します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50929	A	人文科学ゼミナール（文化人類学）	中村 沙絵	文化人類学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　研究入門—人類学とライフヒストリー研究

授業の目標概要

【授業の目標】
文化人類学は「他者を迂回して自己の認識に至ること」ことを目指す学問である。本講義では、特定の歴史的・社会的状況を生きる個人の声や経験をすくいあげようとするライフヒストリー研究（あるいは自伝的研究）という手法が人類学にどのような影響を与えてきたかについて、講義と具体的な著作の輪読・ディスカッションを通して検討する。文化人類学の基本的な態度を理解するとともに、この学問が〈個〉の声や経験をいかに扱うものであるかについて考えを深めることを目標とする。

【概要】
「他者を迂回して自己の認識に至る」というとき、従来の文化人類学では「文化的な他者」を想定することが一般的であった。ここでは、個人の声は集団の特徴や傾向を説明するために引用されることはあっても、ひとつのまとまりとして提示されることは少なかった。しかし、グローバル化の進展により、政治的・経済的な自律性、あるは文化的・社会的な完結性が幻想にすぎないことや、自己／他者の線引きに潜む権力性が問題視されるようになると、人類学内部において「他者理解」が何を意味するかもまた、再考を迫られることになった。
「フィールドに出かけ、人に話を聞き、その経験にもとづいて思考し、書く」人類学者は、その営みの意義や自らの立場性を「ある文化体系を描き出す（専門家）」ということに留まらず、フィールドの現実に合わせて都度模索してきたといえる。こうした模索のなかで出てきた一つの方向性が、ある個人の物語にじっくりを耳を傾けるライフヒストリー研究（場合によっては、人類学者自身のライフヒストリーを組み込むような自伝的研究）をとりいれるというものであった。古典的にはタブー視されてきたともいえる私的なナラティブ（personal narratives）をくみこんだ文化人類学の著作には、いかなる形で「他者を迂回して自己の認識に至ること」が目指されている／達成されているといえるだろうか。「自分の物語を語ること」／「ひとの物語に耳を傾けること」、そうした営為をもとに「書くこと」／書かれたものを「読むこと」の意義について、講義と輪読・ディスカッションを通して考えていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50919	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	大森 拓哉	心理・教育学	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　心理学統計法

授業の目標概要
物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、統計ソフト R と EXCEL を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。
授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。
受講者数が収容人数（20 名程度）を超えるような場合には受講人数に制限を設けることがある。その場合は初回授業出席者の中から選考する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50930	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	大関 洋平	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　自然言語処理入門

授業の目標概要
昨今の機械学習やビッグデータの急速な発展に伴い、社会科学や自然科学だけで無く、人文科学においてもデータ分析が必要不可欠な教養になりつつあります。そこで、本授業では、自然言語のデータ分析を対象とする「自然言語処理」(Natural Language Processing, NLP）の概要を説明し、Python と NLTK を用いて実際にプログラムを実行することで、その基盤技術を理解することを目標とします。特に、形態素解析、構文解析、意味解析、日本語の自然言語処理、ニューラルネットワークと深層学習、などを取り扱う予定です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	斉藤 渉	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		普遍的規範と思考――カント『道徳形而上学の基礎づけ』(1785) をめぐって 社会のなかで普遍的に妥当する規範はあるのか？ 仮にそのようなものがあるとして、私たち人間は自分たちの思考を通じて、そのような規範に到達できるのか？ カント実践哲学の主著の一つである『道徳形而上学の基礎づけ』(第 1 版：1785) は、こうした問いをめぐって展開されています。現代の（メタ）倫理学の議論にも大きなインパクトを与え続けるこの著作を集中的に分析・考察することで、哲学・思想史研究の基礎を学ぶことがこの授業の目標です。 有名な「定言命法（Kategorischer Imperativ)」の定式化を含むこの著作が、倫理・道徳（実践哲学）思想の歴史のなかでもった意義と問題性について、参加者とともに考察・討論していきます。後期課程および大学院で（とりわけドイツ系の）哲学・思想を学びたい方を想定しています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50252	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	アルヴィ なほ子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		詩とは何かーー外国語、日本語、翻訳、AI をめぐって 履修希望者は、「課題」を提出してもらって選考し、20 名程度に受講を許可します。受講許可は第 2 回までに ITC-LMS のこの授業のページで告知します。「課題」は初回授業開始時までに提出して下さい。初回授業は必ず出席すること。 「課題」は google form です。g.ecc のアドレスを用いて、以下のリンクからフォームを取得して回答してください。 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScc0Pu2rLo0TRSHy3-U1yt0G1BM1fULmTW6l-frftXtcAJaEw/viewform?usp=sf_link 目標）英語で書かれた文学テクストを精読し、文学的なことばの使い方を学び、文学テクストを鑑賞し、批評するやり方を学ぶ。 1）文学テクスト、特に詩（韻文）を読むとはどういうことかを理解する。 2）文学テクストが影響関係の中で織りなす文学空間、文学の外部――同時代のコンテクスト、現代の理論など――などを考察しながら、1 つの作品（テクスト）を精読していくやり方を学ぶ。 3）一次資料の扱い方、OED などの使い方に慣れる。Bibliography（Book history）の初歩を学ぶ。 概要）ことばが文学テクスト、特に「詩」となって花開くとき、何が起こっているのか、文学テクストの生成と想像力の関係、そのテクストが生み出される文化との関係、固有の文化、時間を越えた広がりについて考察します。現代にも大きな影響を与えているイギリス・ロマン派の詩作品を例に検討します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50253	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	出口 智之	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		横溝正史を読む 江戸川乱歩とともに日本の推理小説を作り上げた作家、横溝正史の作品を取上げ、推理小説史や同時代の文学史、そして同時代の社会や時代状況を見据えながら、作品に内在する問題系を考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50671	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	田口 一郎	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		漢文箴言集の解読 明代に書かれた箴言集『酔古堂剣掃』(江戸時代の版本）を読みながら、基本的な漢文法の理解と漢文読解力を修得する。また当時の人が人生・社会というものをどのように考えていたのかを考察する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51474	A	人文科学ゼミナール （ことばと文化）	大石 和欣	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　イギリス社会史研究入門 ー 労働者階級および貧困の表象とその解釈の問題

授業の目標概要

この授業は、歴史学、とりわけ社会史、さらには地域文化や文学に関わる研究の基本的な方法を、イギリス 19 世紀後半における労働や労働者、さらには貧困に関わる記述や表象を、多面的な視点から検証することで身につけることを目的としています。方法論や考え方を修得することが主眼ですので、必ずしもこの時代の歴史的状況について予備知識を持っていることは求められません。ただし、英語の一次資料や参考資料を読解する場合もありますので、基本的な英語力は必要になります。

社会史家 E・P・トムスンの『イングランド労働者階級の形成』は、18 世紀末から 19 世紀半ばにいたるいわゆる産業革命期において、それ以前にはなかった「労働者階級（the working class)」という新しい社会階級が誕生した歴史的過程、およびその背後にあるさまざまな要因と条件、それらを支えたイデオロギー、さらにはそんな労働者階級の実態を網羅的かつ繊細に描き出しました。それは宮廷や政治権力を中心にした上からの歴史の物語ではなく、未確定の人間集団を軸にした下からの、あるいは周縁からの歴史的ナラティヴです。

労働者階級については、19 世紀半ば以降影響力を強めていくマルクスやエンゲルスの共産主義が資本家との階級闘争を軸にした歴史解釈を提示し、彼らが掲げた共産主義は労働者の組織化と団結を国際的規模で促進していくこととなります。また、いわゆるマルクス主義は経済学のみならず、歴史学においても 20 世紀において一つの解釈学的視座を提供し続けることになりました。

しかしながら、特定の主義・主張を統括する「イズム」を通して歴史や社会の実態が正しく把握できるわけでは必ずしもありません。より正確な歴史認識を目指す必要があります。その一方である社会事象の描写や記述が完全に偏見や立場に基づく偏見から免れるわけでもありません。どのようにしてある社会の歴史的状況を正しく把握することができるのでしょうか。

この授業ではイギリス 19 世紀後半に見られる労働者階級についての記述や表象を確認すると同時に、彼らに関わる歴史的状況や実態を明らかにしていった代表的な研究を確認することで、記述や表象に含まれるイデオロギー的な問題を解きほぐし、上述のような歴史解釈学的ディレンマを解決する可能性を模索していきます。

労働や貧困の問題は現代において一つの地域や国で解決できる問題ではなく、グローバルな規模で捉えていく必要があります。19 世紀においても実は同じ状況が始まっていました。アメリカの南北戦争やアイルランドの飢饉が、自由貿易や移民（労働力の移動）によってイギリス国内の産業や市場に大きな影響を及ぼしていました。それらがどのように表象され、同時に歴史学的にどのように解釈していくべきかについても考えてみます。

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50178	A	自然科学ゼミナール（身体運動科学）	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アドバンスト・フィットネス 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。受講希望者が 25 名を超過した場合には、受講を希望する理由書（第 1 回講義の時間内に課す）に基づき選抜を実施する（詳細は、下記の「履修上の注意」を参照すること）。選抜結果は、第 2 回講義前までに ITC-LMS に掲載する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51113	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	佐藤 直樹	生物	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物の動きを見る 植物は動かないと思われているが，よく見るとさまざまな場面で植物も動くことがわかる。成長している茎の先端などは旋回運動をしながら伸びているし，昼間にはピンと拡げている葉を夜は垂らして眠っているように見える植物もある。暗いところで育った植物は，光に向かって成長したり，緑化したりする。また，藻類の細胞には光に向かって泳ぐものもいる。こうしたことは，教科書には載っているものの，実際に観察する機会はあまりない。時間も限られているので，期待するほどにすごいことはできないだろうが，すこしでも，こうした観察をして見る機会としたい。全部で 13 回しかないので，必ず全部の回に参加すること。 (注意）教務委員会からの指示により，選抜方法について記載しておきますが，昨年の例から見ても，現実には，人数が多すぎることは起きないと思います。 学内に研究室がない非常勤講師が担当するので，多くの器財を持ち込むことが難しい上，一人で全部の指導をやらなければならないため，10 名程度しか受け入れられません。そのため，第 1 回目のオンラインの参加者が多数の場合，観察課題と履修目的などを提出してもらうことになります。LMS 上に課題提出サイトを設定しますので，初回終了後，提出してください。第 2 回目までに教務課を通じて選抜結果を発表します。また，LMS 上からもそれぞれの学生向けに結果をお伝えするようにしますが，うまく伝わるとよいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51112	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	池田 啓	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		自然史生物学：博物館の標本から学ぶ生物多様性 生物多様性に関する研究（多様性生物学）を支える自然史博物館が持つ役割を学ぶとともに，博物館が保有する標本をもとに生物の進化や多様性について考察することで，生物多様性に関する知識が形成されたプロセスを理解できるようになることを目標とする。 自然史博物館の役割を解説した上で，国立科学博物館（上野本館，及び筑波実験植物園）を見学し，博物館の活動を学ぶとともに生物標本を観察する。観察した生物標本から生物の進化や多様性に関する考察をグループごとに行い，考察した内容の発表をもとにディスカションを行う。 「自然科学ゼミナール（生命科学)」では，実習及びグループワークを通じたディスカションを行うため，受講希望者が多数の場合には受講を希望する理由書に基づき１５名程度に選抜をする。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4・1 枚以内に記載し，10 月 7 日までに提出すること。選抜結果は，10 月 10 日までに通知する。(＊選抜に関する詳細は，ガイダンスの際に改めて連絡する)。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50254	A	自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一	化学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　有機反応機構を考える

授業の目標概要　本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、高校までの知識で履修可能で、特別な予備知識は必要としません。基本からはじめ、順にレベルが上がっていきますので、興味のある方、大歓迎です。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合は、選抜を実施します。履修希望者は第 1 回目の講義に出席してください。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示します。参考として、過去に受講者の選抜が行われたことはありません(平均して 15 名程度履修しています)。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50255	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	權業 善範	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　群論入門

授業の目標概要　群について親しむ

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50374	A	自然科学ゼミナール（数理科学）	佐々田 槙子	数学	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　「美しさ」を数学で捉える-離散調和解析-

授業の目標概要　離散調和解析という分野は比較的新しく、高校までに学ぶ数学のみを主な前提知識としながらも、グラフ理論、群論、幾何学、確率論など、数学の様々な分野が見事につながり合う面白さを味わうことができる。離散調和解析の入門書として、分野を切り開いた第一人者により書かれた名著「ダイヤモンドはなぜ美しい?離散調和解析入門」を輪読し、対象を捉える様々な数学的考え方を知り楽しむことを目指す。
数学についての高度な予備知識は全く必要としない。受講者には、発表の準備のためにじっくり考える時間を確保し、わからないことはどんどん質問するなど、積極的に参加することを期待する。
なお、受講希望者が多数の場合は、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は第 1 回講義に必ず出席すること。第１回講義の参加者が多数の場合、その場で受講を希望する理由書の記入の時間を設ける。選抜結果は、第２回講義前までに掲示する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51307	A	自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾	大学院情報学環	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　動力学的なものづくり原論 ・・・カオス的脳観 2023

授業の目標概要　2022 年秋以降 にわかに「生成 AI」という言葉がブームになり チャットボットが世間に普及し 取りざたされている。だが これらが 大規模言語モデル LLM と呼ばれる自然言語の階層学習モデルであること、その原点は微分方程式を解くシステム開発にあったこと、文字列に意味の軽重をつける処理 attention mechanism が特徴的で それによるメリットと限界があること などは およそ 社会に知られていない 本コースではこれらを確認しつつ AI が普及した時代 人間にしかできないこと 人間にこそ可能なことは何か を 確認し それを活かした モノ作りを考える。コースは津田一郎さんの「カオス的脳観」(1990) と、津田先生ご自身による今日版へのリヴァイズを参照点として進める予定

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51300	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	三輪 健太朗	先進融合	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　マンガにとってコマ割りとは何か

授業の目標概要　この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐって、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。
なお、あくまでも実践を通して理論的に考えることが狙いですので、マンガ制作の技術的な向上を指導する授業ではありません（これまでのマンガ制作の経験も不問とします）。また、受講者の作成物は、授業内で発表やコメントをしてもらう予定です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51308	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	伊東 乾	大学院情報学環	火 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　動力学的なもの作り・・・基礎論と実践

授業の目標概要　2022 年秋以降 にわかに「生成 AI」という言葉がブームになり チャットボットが世間に普及し 取りざたされている。だが これらが 大規模言語モデル LLM と呼ばれる自然言語の階層学習モデルであること、その原点は微分方程式を解くシステム開発にあったこと、文字列に意味の軽重をつける処理 attention mechanism が特徴的で それによるメリットと限界があること などは およそ 社会に知られていない 本コースではこれらを確認しつつ AI が普及した時代 人間にしかできないこと 人間にこそ可能なことは何か を 確認し それを活かした 「作り手としてのモノ作り」を考える。コースは津田一郎さんの「カオス的脳観」(1990) と、津田先生ご自身による今日版へのリヴァイズを参照点として進める予定

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51302	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	高木 紀久子	先進融合	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　ー身体と心で向き合う創作と心理学的プロセスー
Exploring cognitive process of artistic creation through hands-on art making

授業の目標概要　この授業では，芸術の実践的な演習を通して身体レベルと思考レベルの創造プロセスの方法を身につける。身体レベルの創造に関しては，外界とのインタラクションを中心としたワークを行い，自己の記録および他者と共有することでその可能性を探る。思考レベルの創造に関しては，既存の思考の枠を外して新しいアイデアを発想することの理解を，講義とワークの双方を通じて深めていく。身体レベルと思考レベルの双方の活動からアイデアを統合させ作品創作を行い、最後の授業で発表することが求められる。この二つのタイプの活動を通して，芸術の創作プロセスに関する体験的理解を深めると共に，身体と思考を融合した創造活動についての知見を得ることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51294	A 1	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	長島 有里枝	先進融合	木 5, 木 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　現代美術のなかの写真―観る、読む、撮る

授業の目標概要　本授業では、写真作品をそれぞれ一つ完成させることを目標とします。わたしたちが直面している社会問題や新しいテクノロジーなどの「いま」を意識しながら、美術や社会学の文献からジャンル横断的に知を収集し、作品コンセプトを作り上げます。アートによる自己表現をもって社会に働きかけることができるようになりましょう。
最後の授業で、作品を発表する講評会を行います。それぞれが組写真の作品をひとつ制作します。
履修希望者が 20 名を大幅に超えた場合は、その場で小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席してください。受講許可は第 2 回までに掲示によって告知します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60211	A 2	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	O JUN	先進融合	金 5, 金 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		『絵の授業』 授業は基本的に対面式で行い、ドローイングを主とした実技演習を実施します。美術全般に関する講義（古典近現代美術史、作品に於ける表現と様式、方法)、実技制作の他に美術館やギャラリーでの展覧会鑑賞、アーティスト、関係者を招いてのトークなどを行います。 本授業はアーティストを養成するいわゆる美大の授業ではありません。では絵を描くこと、何かを創作することは可能か？可能であればどのような方法か？その事を各自思考し、各自工夫し、各自制作し、各自美術を愉しむ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60213	A 2	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		個と群 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 美術家の野老朝雄氏をお招きし、本学で「かたち」について研究者している舘知宏と協働しながら、集中講義で制作を行う実技の授業です。野老さんの制作のプロセスを受講者が実際に手を動かしながら一緒に実践します。 野老は、図形的操作や幾何学的原理に基づき、単純なピースを組み合わせて平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出しています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム「組市松紋」をはじめとし、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、その表現は多岐にわたりますが、野老はこれらの表現の体系を「個と群」と呼んでいます。 本科目では、受講者は実際に手を動かしながら、「個と群」による表現のアクティビティを実践します。 さらに授業中の講評・講義では、「かたち」を通して、幾何学、アルゴリズム、生物、建築などを横断した学問のつながりをたどります。例えば、「個と群」の原理は古今東西の紋様、建築や宇宙構造物、セル材料、結晶や準結晶の原子配列、あるいはウイルスのカプシドの自己集合など、自然現象や人工物に普遍的にあらわれる考え方です。 本授業では、つくることを通して科学・数理の現象を理解したり、美術の背後にある数理を解き明かすことにつながり、時々研究論文も生まれます。興味ある人は「研究入門」の履修も検討ください。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51304	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	川島 素晴	先進融合	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代音楽諸作品の演奏実践と自作品の創作 「現代音楽」と称される、クラシック音楽の延長にある 20 世紀以後の様々な音楽作品について、講義と演奏実践によって理解を深める。その際、各回ごとに設定した作品の演奏を完成させることを目指す。その上で、それぞれのトピックに沿った音楽作品を受講者自らが創作し、それを受講生によって実演する。この過程では試作と試演であり、その都度ディスカッションを重ねていく。 そのようなルーティンを経て、最終的にはそれら全てのトピックを踏まえた先の総合的な視点から、より創造的なオリジナル作品を創作し、実演する。 この場から名作が誕生することを期待するものである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51295	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	中井 悠	先進融合	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Archi-Choreographies：振り付けとしてのクセ 口癖、手癖、怠け癖、思考壁、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣（habit)」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、当人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け（コレオグラフィー)」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60212	A 2	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	数学と音楽					
授業の目標概要	【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 集中講義で創作活動を実践する。音楽家かつ数学研究者・STEAM 教育者の中島さち子と本学研究者の舘知宏とが協働し担当する。途中、中島の周囲の音楽家もゲストに呼び込み、サックスやドラム、ベースなども一緒に演奏を交えて伝えていく。 制作の実践とフィードバックのサイクルの中に、理論的・実践的なレクチャーが織り込まれる。音楽と数学の関係について、例えばバッハなどに見られる対称的構造、ハーモニーや音律と数比の関係、コードの変化と群、リズムと円の分割、さまざまな音色とフーリエ解析などに基づき、さまざまな音楽の背後に潜む数学について解説を行う。また、簡単に Processing ないし p5.js を用いて多様な形で音の視覚化や AI と絡める方法を示唆し、創作に生かせるようにする。バッハやモーツァルト、ベートーベン、ドビュッシー、コルトレーン、中島や他音楽家の楽曲の特徴を司る数学的特徴や時代背景と数比の関係などを多岐にわたって紹介する。数学 x 音楽による五感のアートの事例も総合的な演出で魅せることで、音楽やアートの未来と数学・技術・ものづくりとの協働の可能性を探る。本科目では、「数学と音楽」による新たな表現を模索し、実践する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51298	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	鈴木 英倫子	先進融合	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	音の工作と実験					
授業の目標概要	音を出す道具としての楽器を正面からとらえるのではなく、さまざまな音の周辺領域から音を作り出し、組織化する原理を考え、楽器というものの正体に迫ります。 鈴木、堀尾の実践者両名による制作・実験の機会です。 鈴木・堀尾両名による授業を予定しており、鈴木はブレッドボードをつかった初歩的な電子工作入門と、それぞれの仕組みを使って作られた、サウンド/インターメディア・アート作品の先行事例の紹介を行います。 堀尾は、音のもとになる要素をひとつずつえらび、全員で一つの実験を行います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51297	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	西原 尚	先進融合	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	音が鳴る物を手作りする。この作業から自分を客観視する。(「物と体と音についての実習」というタイトルで表記されている場合もあります。)					
授業の目標概要	毎回の授業で、ひとりひとつずつ、音が鳴る物を手作りします。作業を通じて、自分の体の働き方を見つめ直します。手で材料を加工し、音を鳴らし、耳で聞き、そして手の作業を繰り返し、再び音を鳴らして、耳で聞き、手の作業を重ね、音の鳴り具合を確認し、手の作業に戻るといった、からだ全体の連携とフィードバックの現象に自分を投入します。音を媒介に耳と手と体の連携を見直す作業です。普段は使わない思考回路の開通作業でもあります。理屈で音が鳴る仕組みを理解することと同時に、またそれ以上に鳴り物の音の具合に耳を澄ませながら、手触りや手探りを頼りに次の手作業を試みる、という作業です。そして自分を客観視することを目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51301	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	三輪 健太朗	先進融合	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	動きと静止の近代視覚文化					
授業の目標概要	動画共有サイトや各種 SNS に見られるように、現代人の生活を取り巻く情報のなかでは、動画＝動く映像が極めて重要な位置を占めています。しかし、大衆文化における動く映像の原型といえる映画の仕組みに目を向けてみれば、それは現実の時間の流れを切断し静止させる瞬間写真に基づいています。19 世紀に発明された映画は、動きと静止の関係をめぐる様々な技術的・科学的・文化的な関心と実践の絡み合いから生まれてきたメディアだったのです。そして、静止写真を動かす実写映画に限らず、止まった絵を動かすアニメーションや、絵を複数並べることで動きを描写するマンガなども含め、近代の視覚文化の多くは、動きと静止の関係に立脚し、そこから魅力を生み出していると考えられます。この授業では、そうした視覚文化論の観点を学びつつ、絵を動かす装置や映像を実際に制作することを通して、近代的なメディア体験への理解を深めることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51299	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	北條 知子	先進融合	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		実験（的）音楽論・演習 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 アカデミックな文脈において、「実験音楽」という言葉は多くの場合、1950年代以降のアメリカ実験音楽を指します。本授業では、その代表的な例であるジョン・ケージの思想を出発点に、現代に至るまでの作曲家・演奏家たちによる実践、特に反（非）音楽的とされる実験音楽の一端を紹介します。それぞれの作品コンセプトや文脈を読み取るとともに、図形楽譜やテキストスコアといった、五線譜によらない記譜の方法、既存楽器の新しい奏法の開発、非楽器の使用等を知ることで、西洋近代音楽の制度を客観的かつ批判的に考察する視点をもつことを目指します。また、過去の作曲家・演奏家たちが既存の「音楽」の枠組みをどのように拡張していったのかを学んだ上で、キャンパス内の空間を生かした演奏（不）可能なスコアの制作、実演をおこないます。授業は講義のほか、実演、ディスカッションに比重を置いてすすめます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51299	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	北條 知子	先進融合	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		実験（的）音楽論・演習 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 アカデミックな文脈において、「実験音楽」という言葉は多くの場合、1950年代以降のアメリカ実験音楽を指します。本授業では、その代表的な例であるジョン・ケージの思想を出発点に、現代に至るまでの作曲家・演奏家たちによる実践、特に反（非）音楽的とされる実験音楽の一端を紹介します。それぞれの作品コンセプトや文脈を読み取るとともに、図形楽譜やテキストスコアといった、五線譜によらない記譜の方法、既存楽器の新しい奏法の開発、非楽器の使用等を知ることで、西洋近代音楽の制度を客観的かつ批判的に考察する視点をもつことを目指します。また、過去の作曲家・演奏家たちが既存の「音楽」の枠組みをどのように拡張していったのかを学んだ上で、キャンパス内の空間を生かした演奏（不）可能なスコアの制作、実演をおこないます。授業は講義のほか、実演、ディスカッションに比重を置いてすすめます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51296	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	中井 悠	先進融合	月 6	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		副産物ラボ／Side Effects Lab 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「副産物ラボ」では、さまざまな専門を持つ学生とともに、広い意味でのパフォーマンスの研究と制作、そして「癖」や「影響」などの関連トピックを軸とするセミナーや出版物の企画を行なっています。今学期は文理融合プログラムの「Archi-Choreographies：クセとしての振り付け」との関連では授業内容をまとめた書籍の構想・出版、ゲスト・アーティストとのコラボレーションによる学内外でのコンサート／演劇／パフォーマンスの企画・実施を計画しています。また教員が現在、国内外で関わっているさまざまなプロジェクトに参加することも可能です。ただし、ラボの名前通り、個々の目的を追求しながらも、その過程において生じてくる思いがけない副産物や副作用にも注目し、それらを活動に回収していくことも目指します。ラボの詳しい活動についてはホームページを見てください（http://selout.site）				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51303	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	舘 知宏	先進融合	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		つながるかたち 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51306	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	筧 康明	大学院情報学環	集中	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		マテリアルインタラクション				
授業の目標概要		文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「マテリアルインタラクション」では、物理的な素材の特性や現象に着目しながら、コンピュータを介した新しいインタラクションを創出することを目指します。身の回りの素材を含むものの特性に注目し、ディスプレイやセンシングなどインタフェースへの活用方法を考えます。さらに、アプリケーションシナリオの提示や作品表現などアウトプットやプレゼンテーション方法にもこだわりを持って進めます。 研究テーマに応じて、研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、Arduino などを用いた電子工作なども行います。 受講に際してガイダンスを 10 月 6 日（金）7pm〜、オンラインで行います。受講には課題の提出が必要になりますので、ガイダンスを受講するようにしてください。				

英語中級 （クラス指定ターム型） 火３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50352	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目
授業の目標概要

黒人自由闘争から眺める現代アメリカ
1930 年代以降全米各地で展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。南北戦争終結以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、関連する文献を読み学ぶ。今学期はとくにブラック・ライヴズ・マター運動の展開を扱った文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と現代アメリカの歴史、社会、文化についての理解を深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50353	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目
授業の目標概要

Discussing Contemporary Society with Critical Theories
この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50354	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目
授業の目標概要

The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50355	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目
授業の目標概要

Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50356	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする 作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50357	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		Consuming and Creating Media テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。 具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という 3 つのプレゼンを行う。 プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。 説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。 最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50358	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60098	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 3	1年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60099	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		黒人自由闘争から眺める現代アメリカ 1930 年代以降全米各地で展開した黒人自由闘争は、アフリカ系アメリカ人の生活を大きく変えただけでなく、アメリカ社会を根底から揺さぶり再編するものだった。南北戦争終結以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、関連する文献を読み学ぶ。今学期はとくにブラック・ライヴズ・マター運動の展開を扱った文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となるアメリカの黒人自由闘争と現代アメリカの歴史、社会、文化についての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60100	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	逆井 聡人	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		Discussing Contemporary Society with Critical Theories この授業の目標は、現代社会における様々な問題を英語で批評的に考え、議論できる素地を作ることです。ナショナリズムやレイシズム、ジェンダー、ポストコロニアル、環境、ケアといった批評理論の英語で書かれた／英訳された基礎的文献に触れ、そこから得られた知見を活用して、現代社会で起こっている出来事をどのように捉えられるかを議論します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60101	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)
講義題目 授業の目標概要		The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60102	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)

講義題目
Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要
This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60103	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)

講義題目

授業の目標概要
19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする
作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。
The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60104	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)

講義題目
Consuming and Creating Media

授業の目標概要
テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という 3 つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

英語中級 （クラス指定ターム型） 火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50417	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	英語で日本近現代史を読む 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50418	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50419	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする 作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50420	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	藤尾 美佐	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目 授業の目標概要	危機の時代の世界情勢と日本の立ち位置を議論する英語 本教員は 2022 年度、在外研究のため 1 年間イタリアで暮らし、非母語話者からみた英語はもちろんのこと、英語圏とはまた異なる欧州の見解も興味深く学んだ。特に教員自身が受けた Global Studies というサマーコースでは、地政学も含むさまざまな視点からグローバルな問題を議論した。本コースにおいても、そうした体験を活かし、グローバルな問題を考え、議論していける英語力を培うことを目標とする。 授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 授業形態に関しては、英語科目全体の指示に従い、初回のみオンラインであとは対面の予定。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50421	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	野口 大斗	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要　この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50422	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　Consuming and Creating Media
授業の目標概要　テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50423	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目　Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要　This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50424	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	1 年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)
講義題目	アメリカ合衆国における「福祉」と人種、階級、ジェンダー					
授業の目標概要	アメリカ合衆国における「福祉」の歴史を扱ったテキストを講読し、社会福祉政策の変遷と人種、階級、ジェンダーをめぐる問題について考察する。文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60136	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
講義題目	19 世紀末から 20 世紀初頭に書かれた、優れた短編小説を深読みする					
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現や物事を通して見えてくる時代、当時の文化や社会などについて知識を深めながら、作品の世界観を深く理解していく。風景描写や会話のなかに登場する何気ない英語表現、助動詞や冠詞一語にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目しながら、作品を深く味わっていく。小説の中にさりげなく登場する階級意識、ジェンダー観、風俗習慣、ヨーロッパ的世界観、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 The Adventures of Sherlock Holmes からの作品、あるいは、20 世紀初頭の米国で出版された怪奇小説のなかからの作品を検討しています					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60137	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	牛村 圭	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
講義題目	英語で日本近現代史を読む					
授業の目標概要	外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60138	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	野口 大斗	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60139	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	太田 奈名子	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)

講義題目 Consuming and Creating Media

授業の目標概要 テレビにラジオ、映画に新聞、Facebook に Twitter、LINE に Instagram...。私たちは日々さまざまなメディアや SNS に触れ、四方から溢れてくる情報に常に晒されている。この英語中級・プレゼンテーションの授業では、普段は「メディアの受け手」となっている私たちの役割を「メディアの作り手」に切り替え、メディアと SNS を通じていかに相手に考えを伝えればよいのか、またどのように自分を表現すればよいのかを学ぶ。
具体的には、①実際に放送されたウェブ CM に対し、受け手・作り手双方の立場をとって意見する、②アニメのアフレコ・アテレコを通じて声の使い方を学ぶ、③無料グラフィックデザインツール Canva で簡単な自己紹介画像をつくる、という3つのプレゼンを行う。
プレゼンテーションのあとには、クラスメートがコメントをする時間を設けて、コミュニケーションがとれているか否かをクラス全体の議論のなかで確認してもらう。
説得力のあるプレゼンテーションを行える「よいメディアの作り手」になるためには、既存のメディアを批判的思考をもって捉えることのできる、つまり「よいメディアの受け手」になることも重要である。そこで、この授業はプレゼンテーションに特化したものではあるが、講師が理論の説明や時事問題の解説を適宜行う。簡単なリーディング・リスニング課題を出す場合もある。
最後に、この授業の目標は、クラスメート全員の英語プレゼンテーションを見聞きすることで、自分が授業履修前にもっていたメディアや SNS に対する認識を変化させ、さらに、自身の新たな側面（英語プレゼンテーションの手法・技巧）を発見することである。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60140	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)

講義題目 Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims

授業の目標概要 This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.
The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60141	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)

講義題目 アメリカ合衆国における「福祉」と人種、階級、ジェンダー

授業の目標概要 アメリカ合衆国における「福祉」の歴史を扱ったテキストを講読し、社会福祉政策の変遷と人種、階級、ジェンダーをめぐる問題について考察する。文献の講読を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリー等を視聴し、背景となる 20 世紀米国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60142	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	藤尾 美佐	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		危機の時代の世界情勢と日本の立ち位置を議論する英語 本教員は 2022 年度、在外研究のため 1 年間イタリアで暮らし、非母語話者からみた英語はもちろんのこと、英語圏とはまた異なる欧州の見解も興味深く学んだ。特に教員自身が受けた Global Studies というサマーコースでは、地政学も含むさまざまな視点からグローバルな問題を議論した。本コースにおいても、そうした体験を活かし、グローバルな問題を考え、議論していける英語力を培うことを目標とする。 授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 授業形態に関しては、英語科目全体の指示に従い、初回のみオンラインであとは対面の予定。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60143	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16)理一(21)理二三(8,14)
講義題目 授業の目標概要		The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.				

英語中級 （クラス指定ターム型） 水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50534	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　英語動画を素材に英語で Discussion

授業の目標概要　身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。
授業内の英語の Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。
授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。
併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：
・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する
・英語動画等を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす
・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50535	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　Media Literacy
授業の目標概要　In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50536	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　英語で読み解く現代社会
授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50537	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 薫	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19)理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目　科学と宗教
授業の目標概要　Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第 1 章 "What are debates between science and religion about?" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50538	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目 Art in English
授業の目標概要 教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する問いを立てられるようにする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50539	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目 20th Century American Sci-Fi
授業の目標概要 In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50540	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目 楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む

授業の目標概要 あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。
そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。
130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60144	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目 英語で読み解く現代社会
授業の目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60145	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 薫	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	科学と宗教					
授業の目標概要	Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第 2 章 "Galileo and the philosophy of science" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60146	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	Art in English					
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する問いを立てられるようにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60147	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	20th Century American Sci-Fi					
授業の目標概要	In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60148	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目	楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む					
授業の目標概要	あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。 そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター (1825-99) の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1890 年出版の本です。 130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60149	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目		Media Literacy				
授業の目標概要		In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60150	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)
講義題目		英語動画を素材に英語で Discussion				
授業の目標概要		身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語の Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： ・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する ・英語動画等を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす ・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する				

英語中級 （クラス指定ターム型） 水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50572	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	秦 邦生	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Kazuo Ishiguro の短篇小説を読む 1954 年に日本の長崎で生まれ、1960 年に両親の仕事の都合で 5 歳にしてイギリスに渡ったカズオ・イシグロは、成長して英語で書く小説家となり、2017 年にはノーベル文学賞も受賞しました。この授業では彼の短篇小説をいくつか選んで読み、それと同時に動画や Podcast で流通している彼のインタヴューも視聴することで、カズオ・イシグロの作品について深い理解を養いながら、英語の読解力と聴解力を養います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力という３つの力を、実践をつうじて高めることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50573	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
講義題目 授業の目標概要		Media Literacy In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50574	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
講義題目		楽園はここにある―Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む				
授業の目標概要		あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。 そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター（1825-99）の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ（1843-1921）による 1890 年出版の本です。 130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50575	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

講義題目　英語動画を素材に英語で Discussion

授業の目標概要　身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。
授業内の英語の Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。
授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。
併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：
・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する
・英語動画等を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす
・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50576	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

講義題目　Art in English
授業の目標概要　教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する問いを立てられるようにする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50577	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 薫	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

講義題目　科学と宗教
授業の目標概要　Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第 1 章 "What are debates between science and religion about?" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50578	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)

講義題目　英語で読み解く現代社会
授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50579	A 1	英語中級(クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14)理一(17,39)理二三(20)
講義題目	Introduction to American Poetry					
授業の目標概要	Poetry is a short form of writing, but full of multiple meanings. It often evokes a strong emotional response from readers. Poetry lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. Nature is one of the major themes of American writing. The aim of this course is to reconsider ways of reading and seeing nature in American poetry, particularly focusing on how ethnicity, race, and origin play a factor in a given poet's influences and use of natural imagery and symbolism. We will first reexamine how authors who are well-known (canonized) for their use of nature, such as Emily Dickinson, and Robert Frost, depict the natural world from an "American" perspective. We will then examine poetry from 20th century minority and immigrant groups. Finally, we will read contemporary poems. We will also discuss the different symbolism assigned to nature in poems, and the definition of "ecopoetics."					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60183	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目	Media Literacy					
授業の目標概要	In this course students will practice reading and analyzing visual forms of media, chiefly advertisements. At the end of the course, students will submit a short essay that analyzes an advertisement that they have selected.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60184	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目	楽園はここにある—Marcus B. Huish, Birket Foster: His Life and Work (1890) を読む					
授業の目標概要	あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。 そういう「楽園」のイメージを、ヴィクトリア朝イギリスの画家、バーケット・フォスター（1825-99）の版画や水彩画が描いています。心ざわめくようで、それでいてどこか懐かしい、気がかりな夢の断片のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのフォスターの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ（1843-1921）による 1890 年出版の本です。 130 年も前の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度は調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません—現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イギリスの華美な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60185	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　英語動画を素材に英語で Discussion

授業の目標概要　身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。
授業内の英語の Discussion では、1）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。
授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。
併せて長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます：
・英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する
・英語動画等を視聴しながら、英語の聴き取りの理解力を伸ばす
・動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60186	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Art in English
授業の目標概要　教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、現代のアートやデザインについて英語でディスカッションを行う。プレゼンテーションやディスカッションを通して、英語の表現力を高めると共に、現代のアートに対する問いを立てられるようにする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60187	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	小林 薫	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　科学と宗教
授業の目標概要　Thomas Dixon and Adam Shapiro (2022) Science and Religion: A Very Short Introduction (Oxford) より、第 2 章 "Galileo and the philosophy of science" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60188	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　英語で読み解く現代社会
授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60189	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	LANDAU Samantha	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Introduction to American Poetry Poetry is a short form of writing, but full of multiple meanings. It often evokes a strong emotional response from readers. Poetry lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. Nature is one of the major themes of American writing. The aim of this course is to reconsider ways of reading and seeing nature in American poetry, particularly focusing on how ethnicity, race, and origin play a factor in a given poet's influences and use of natural imagery and symbolism. We will first reexamine how authors who are well-known (canonized) for their use of nature, such as Emily Dickinson, and Robert Frost, depict the natural world from an "American" perspective. We will then examine poetry from 20th century minority and immigrant groups. Finally, we will read contemporary poems. We will also discuss the different symbolism assigned to nature in poems, and the definition of "ecopoetics."				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60190	A 2	英語中級(クラス指定ターム型)	秦 邦生	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15)理一(8,29,33)理二三(21)
講義題目 授業の目標概要		Kazuo Ishiguro の短篇小説を読む 1954 年に日本の長崎で生まれ、1960 年に両親の仕事の都合で 5 歳にしてイギリスに渡ったカズオ・イシグロは、成長して英語で書く小説家となり、2017 年にはノーベル文学賞も受賞しました。この授業では彼の短篇小説をいくつか選んで読み、それと同時に動画や Podcast で流通している彼のインタヴューも視聴することで、カズオ・イシグロの作品について深い理解を養いながら、英語の読解力と聴解力を養います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力という 3 つの力を、実践をつうじて高めることを目標とします。				

英語中級 （クラス指定セメスター型） 月２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50037	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		ミュージカル（Sweeney Todd）の台本を読む 一昨年亡くなったブロードウェイの大御所スティーヴン・ソンドハイム（作詞・作曲）の最高傑作は、19 世紀半ばのロンドンを舞台とする殺人床屋が主人公のミュージカル『スウィーニー・トッド』。殺した客の肉をパイに焼くといういう話（流血は少ないので心配無用）は、単なる殺人鬼の話ではなく、弱肉強食の階級社会に対する批判ともなっている。オペラとしても上演される宗教音楽的な側面もあるこの作品のテキストを上演映像を見ながら精読する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50038	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		政治哲学から公共政策にアプローチする 本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach（Oxford University Press, 2021）に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ（移民の受け入れや国際援助の是非など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50039	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50040	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)

講義題目
[M2] Social Inequality: Now and in the Future

授業の目標概要
This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films.
Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.
The exact topics covered will be decided in class and could include:
Social Stratification
Gender Inequality
Impact of AI and robots on society
Inequalities of Race and Ethnicity
etc.
Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50041	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	田中 伸一	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)

講義題目
未来学入門

授業の目標概要
ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。
この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された 4 つのエッセイを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲）の 4 つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。やや古い著書であるがゆえに，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こしたり，現代的視点から批判的検討を加えたりする意味があるだろう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50042	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)

講義題目
アメリカ映画を楽しむ

授業の目標概要
映画「Apollo 13」を教材として、自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。
「Apollo 13」は、Ron Howard 監督、Tom Hanks 主演の 1995 年のアメリカ映画。1970 年、月に向かう Apollo 13 号で実際に起きた爆発事故と奇跡の生還を描いている。事故から 50 年余り、NASA は Artemis 計画として再び有人宇宙船を月に飛ばそうとしている。現実の有人宇宙飛行計画には当然のことながら、政治・経済・社会背景が関わっているが、映画としての「Apollo 13」は Jim Lovell 船長の著書（"Lost Moon"、後に"Apollo 13"と改題）に語られた史実に基づきながら、エンターテイメントとしての完成度も高い。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50043	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)

講義題目　古典古代の美のいしずえ―Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む

授業の目標概要　リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。
このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―現代英語の小説だろうと、百年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、壁の落書きだろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50044	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	加太 康孝	英語	月 2	1年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20)理一(9,13) 理二三(1-3)

講義題目　1920 年頃にブリテン諸島で出版された短編を精読する

授業の目標概要　◎授業の目標
英語で書かれた短編作品を、
（単語の意味を適当につなぎ合わせて「なんとなく」読むのではなく、）
・現在有する語彙力を総動員し、足りない分は辞書を適切に用いて補い、
・文法に則り、
・各文の置かれた文脈を適切に捉え、
・テクストの書かれた時代的、地域的背景を考慮しつつ、
・ときには文学作品で用いられる技巧などにも気を配りながら
精確に読むことを目指す。
◎授業概要
今から 100 年くらい前にブリテン諸島（国としてはアイルランドおよびイギリスに相当）で出版された短編を 3 つ読みます。このような時代、地域を設定することの意義などは初回に説明しますが、100 年前といっても現在使われている英語と基本的に変わりませんのでご安心ください。
他方、もちろん文学作品であることによる独特の難しさ（あるいはおもしろさ）はあります。そして確かに、扱う 3 つの短編にはそういう意味での歯ごたえがあり、この授業ではそういった手強さを備えたテクストを読み解く際の手法を身に着けていくことになります。しかしながら、上記「目標」の通り、その手法は（最後の項目はともかく）文学作品にしか使えないどころか、むしろどのような種類の英文にも応用が利くはずのものです。要するに、これら 3 編の精読の試みを通じて「英文読解力」が身に付くことが期待される、わけです。
もっとも、「文学テクスト読解」としてこれらの作品に向き合うことを放棄するわけではありません。受講生の関心も考慮しつつ、文学テクスト入門的な試みも（「文学テクスト」がそれ以外の文章と明確に切り分けられるわけでないことにも留意しながら）行うかもしれません。とはいえ、英語科目であるという前提は忘れず、というのも、そもそも英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にして進めていきたいと思います。

英語中級 （クラス指定セメスター型） 月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50112	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		元祖ミュージカル（サヴォイ・オペラ）の台本を読む 『オペラ座の怪人』の約 100 年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により 100 年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。 このレパートリーの中から、『ミカド』につぐ人気作『ペンザンスの海賊』をブロードウェイ上演版を含む複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。主人公の恋のゆくえ、海賊と警官隊の対決の結末は？				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50113	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50114	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		政治哲学から公共政策にアプローチする 本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ（ヘイトスピーチと表現の自由との関係など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50115	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)
講義題目 授業の目標概要		[M3] Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50116	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	古典古代の美のいしずえ―Marcus B. Huish, Greek Terra-cotta Statuettes: Their Origin, Evolution and Uses (1900) を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、古代ギリシアの陶器の人形とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、テラコッタ人形です。1900 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『ギリシアのテラコッタ人形：その起源、進化、用途』を、一緒に読みましょう。 このクラスでもっぱら扱うのは百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―現代英語の小説だろうと、百年前に書かれた紀元前のテラコッタについての本だろうと、壁の落書きだろうと。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50117	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	アメリカ映画を楽しむ
授業の目標概要	映画「Apollo 13」を教材として、自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。 「Apollo 13」は、Ron Howard 監督、Tom Hanks 主演の 1995 年のアメリカ映画。1970 年、月に向かう Apollo 13 号で実際に起きた爆発事故と奇跡の生還を描いている。事故から 50 年余り、NASA は Artemis 計画として再び有人宇宙船を月に飛ばそうとしている。現実の有人宇宙飛行計画には当然のことながら、政治・経済・社会背景が関わっているが、映画としての「Apollo 13」は Jim Lovell 船長の著書（"Lost Moon"、後に"Apollo 13"と改題）に語られた史実に基づきながら、エンターテイメントとしての完成度も高い。

英語中級 （クラス指定セメスター型） 月４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50163	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		英語で学ぶマンガ論――Scott McCloud, Understanding Comics を読む―― Scott McCloud の Understanding Comics: The Invisible Art というマンガを少しずつ読み進めていきます。このマンガは、マンガの仕組み――人間の脳／心はどうしてマンガを楽しめるのか？そもそもマンガとは何か？――を言語学・心理学・哲学・メディア論・芸術論など様々な観点から論じたものです。講義の目標は（1）日本人にとって極めて身近な存在であるマンガを新たな視点で見られるようになることと（2）会話特有の口語表現と硬質な学術的表現をバランスよく習得することです。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50164	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		TED Talks - Discussions and Presentations The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50165	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	中澤 恒子	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		アメリカ映画を楽しむ 映画「Apollo 13」を教材として、自然な英語を聞き取り、大意をつかむ練習をした後に、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。物語の展開、どこがおかしくてどうして悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。 「Apollo 13」は、Ron Howard 監督、Tom Hanks 主演の 1995 年のアメリカ映画。1970 年、月に向かう Apollo 13 号で実際に起きた爆発事故と奇跡の生還を描いている。事故から 50 年余り、NASA は Artemis 計画として再び有人宇宙船を月に飛ばそうとしている。現実の有人宇宙飛行計画には当然のことながら、政治・経済・社会背景が関わっているが、映画としての「Apollo 13」は Jim Lovell 船長の著書（"Lost Moon"、後に"Apollo 13"と改題）に語られた史実に基づきながら、エンターテイメントとしての完成度も高い。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50166	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目 授業の目標概要		[M4] Social Inequality: Now and in the Future This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50167	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	政治哲学から公共政策にアプローチする					
授業の目標概要	本コースは、William Abel et al., Introducing Political Philosophy: A Policy-Driven Approach (Oxford University Press, 2021) に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者はこの「リーディング」を通じて今日社会の中で鋭く意見が分かれている種々の論争的な政治的テーマ（司法審査とデモクラシーとの関係など）について、その主たる対立点を理解すると同時に、政治哲学的な観点からその問題を考察する素養を身に付けることができる。また英語で記された社会・政治問題に関するニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50168	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	高橋 和子	英語	月 4	1年 理一(19) 理二三(7,15,24)
講義題目	TOEFL と名作から学ぶ英語リーディング English Reading through TOEFL and Masterpieces					
授業の目標概要	本授業では、授業前半で TOEFL の reading 問題を通して英語読解力を養う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。 これらの学習を通して、様々なジャンルの英文を読むことに慣れ親しむことを目標にする。 This class aims to get used to reading English texts of various genres. Students develop their English skills through TOEFL reading in the first half of the class. In the second half, we will read famous scenes from masterpieces.					

英語中級 （クラス指定セメスター型） 火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50221	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		不適応や逸脱に関連する内容の英文を読む 様々な意味での不適応や基準・規範からの逸脱など、社会や共同体の中で好ましくないものとして否定的な価値を付与されて扱われる事柄や、そうした価値付与のあり方に関わる内容の英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50222	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Society This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, education and social protest. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts from academic texts.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50223	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50224	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小林 宜子	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う 毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声を教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を 5~6 ほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50225	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	後藤 春美	英語	火 1	1年 理一(10,14) 理二三(12,16)
講義題目 授業の目標概要		国際社会の歴史 雑誌 International Affairs に掲載された論文の読解。				

英語中級 （クラス指定セメスター型） 火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50454	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		English Lectures on General Physics This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50455	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		アウトプットのための英語リスニング この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50456	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	牛村 圭	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		New York Times で世界を読む New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50457	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	髙橋 和子	英語	火 5	1年 理一(30,37)理二三(5)
講義題目 授業の目標概要		Pronunciation and Listening 形式：第１週はオンライン（Zoom）で、それ以降は教室で行なう予定。 概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（１）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（２）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（３）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（４）英語リスニング力を向上させる。				

英語中級 （クラス指定セメスター型） 水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50482	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	瀧野 みゆき	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)

講義題目　プロフェッショナルのための共通語としての英語
Communicating in English as Professionals

授業の目標概要　プロフェッショナルとして、将来にわたって世界の人と英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
英語を多様な文化・国籍をもった人とコミュニケーションする共通語として使うことをイメージし、1）プロフェッショナルとして、今後、世界の人と英語を使って協働することを目標に、実践的な英語使用の考え方とスキルを学びます。プロフェッショナルとは、研究・専門職、ビジネス、公務員、国際協力など、多様なフィールドで、高度な専門性をもって仕事をする人を想定しています。
具体的には、将来プロフェッショナルとして英語を使うために必要なスキルを入門的に広く学ぶため、次の４つの大きなテーマを設けます。
1）Networking：英語を学ぶグローバルな背景を考えつつ、英語を通して人間関係を築く
2）Presentation: 英語プレゼンテーションの基本ルールと効果的なプレゼンのやり方を、実際に短い英語プレゼンを作りながら学び、自分の考えを論理的に説得力をもって伝えられるようになる
3）Meeting：与えられたケースについてグループで問題解決のアイディアを交換・まとめる話し合いをし、最終成果をグループでプレゼンすることで、英語 Meeting に参加・リードをするルールを学び、英語で協働できるようになる
4）Negotiation：タスクを使って英語で簡単な交渉をすることで、英語の交渉の基本的な考え方を知る
授業の活動は、２）Presentation と３）Meeting に焦点をあて、１）と４）は授業の多様な活動の中に織り込んでいきます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50483	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	矢田部 修一	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)

講義題目　映画「The Philadelphia Story」(1940）を見る
授業の目標概要　1940 年に公開された映画「The Philadelphia Story」を見ることを通じて、口語的な英語を理解する力を伸ばすことがこの授業の主要な目標である。また、この映画に関する文章を読んで、文語的な英語を理解する力を伸ばすことも副次的な目標としたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50484	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)

講義題目　Contemporary Society
授業の目標概要　This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, education and social protest. Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts from academic texts.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50485	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小林 薫	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)

講義題目　英語講読：優生学について（English Reading: Eugenics）
授業の目標概要　Edwin Black (2012) War against the Weak: Eugenics and the America's Campaign to Create a Master-Race (Dialogue Press）より、第２章 "Eugenics" を講読する。語句の選択、語句と語句、文と文、段落と段落の関係などに注意を払いつつ、テキストを多角的に読み、自分の言葉で説明できることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50486	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	アルヴィ なほ子	英語	水 1	1年 理一(6,22,32,38)
講義題目 授業の目標概要		New York Times から"Cultural Awareness"を考える 目標）テクストの読解を通して、英語の表現を学ぶとととともに、現代の様々な事象と世界の在りようを考え、自分の世界、自分の考えを広げる入り口とする。「読むこと」と「書くこと」は分かちがたく結びついていることを理解し、読解を通して、読む力と(できれば)書く力の両方を伸ばす。 概要) New York Times の記事を出発点として、"cultural awareness"について考察します。New York Times は、現代の社会状況について深い洞察のある記事が掲載され、それらの記事は、読者に自分を取り巻く社会、世界をどのように捉えるかを能動的に考えることを促します。そのような記事と関連する資料を読みます。テクストを読むということは、読者とテクストの対話です。テクストを読みながら、文脈を考え、調べ、テクストの外の世界とも対話しながら、書かれたテクストを自分の知的な糧として、自分と異なる他者への理解を深め、自分自身の文化的なアイデンティティへの理解を深め、自身のテクストを紡ぎ出す力を鍛えてください。				

英語中級 （クラス指定セメスター型） 木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50724	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目		Gender and sexuality in Japan				
授業の目標概要		The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50725	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目		英語発音演習―発音力から聴解力へ―				
授業の目標概要		この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50726	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目		アカデミックプレゼンテーション				
授業の目標概要		大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50727	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	木 2	1年 文一二(4,9,18)文三(17)
講義題目		Weird Fiction				
授業の目標概要		This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50728	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小田 悠生	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目
現代世界の移民

授業の目標概要
この授業のテーマは「移民」です。さて、みなさんは「移民」"immigrant" "international migrant" といった言葉から、どのような人々を思い浮かべるでしょうか。どのような人々を含め、あるいは含めないでしょうか。また、国境を超えて移動するさまざまな人々について、国際機関や各国政府が用いる・つくり出すカテゴリーには、どのような意図が込められているのでしょうか。
2019 年当時、世界の「移民」は世界総人口の 3.5 パーセントに相当する 2 億 7 千万人、日本に暮らす「外国人」は国内総人口の 2.3 パーセントに相当する 290 万人と推計されていました。その後、COVID 19 下で各国が行った厳格な出入国規制は、加速の一途をたどるかに見えたグローバルな人の移動に立ち塞がると同時に、国境や国籍が持つ意味を突きつけたと言えるでしょう。この授業では、移民と国際人口移動に関するテキストに基づき、移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、さまざまな具体的イシューについて考えます。
指定テキストの英語レベルは、概説書や新書に相当します。前提知識がない読者を対象とした、初学者向けのアカデミックな英語を読解した上で、自分の見解を論理的に口頭・文章で表現することができるようになることが目標です。

英語中級 （クラス指定セメスター型） 木3

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50801	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		アカデミックプレゼンテーション 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50802	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		英語発音演習―発音力から聴解力へ― この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50803	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		不適応や逸脱に関連する内容の英文を読む 様々な意味での不適応や基準・規範からの逸脱など、社会や共同体の中で好ましくないものとして否定的な価値を付与されて扱われる事柄や、そうした価値付与のあり方に関わる内容の英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての理解を深めることを目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50804	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		英文リーディング演習―植民地期・建国期のアメリカ史を題材に 【概要】 英文を丹念に読む作業を通して分野を問わず学術の世界で通用する英語読解力（およびそれに基づく作文力）の強化を目指します。本授業で扱う英文はアメリカの歴史、思想、社会等に関するものです。論説記事、研究書の一部（通史の序章など）、論文等を読みます。扱う資料は受講者の人数と関心に応じて設定されます。 【目標】 ・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 ・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 ・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と解釈を知りアメリカについての理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50805	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	久世 恭子	英語	木 3	1年 文一二(13,15)文三(13)理二三(10)
講義題目 授業の目標概要		"Notes on Brotherhood": 現代アメリカの中編小説を読む 本授業は、現代アメリカの中編小説を読み、毎回読解前と後に関連したタスクを行うことによって、読解力を中心に総合的な英語力を養うことを目的とします。また、このような文学作品をじっくり読むことで、受講生の皆さんが言葉の使いかたや様々な解釈の可能性に触れ、自分の意見を形成する訓練の機会が得られるように計画しています。主人公である少年の眼を通して語られる 2000 年前後のアメリカ社会の様子や文化にも興味を持って学習していただきたいと考えています。				

英語中級 （クラス指定セメスター型） 金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50903	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目
Making bridge from comprehension to practice

授業の目標概要
In this course, you will learn various kinds of English vocabulary and expressions necessary for practical business communication.
You will be expected to develop your business English knowledge, including spoken and written communication and critical thinking skills, while learning various kinds of authentic English.
In this course, students are expected to learn
1. Vocabulary and expressions for business English, especially for reading and listening,
2. Business English skills for effective spoken and written communication,
3. Strategic competence necessary for global business.
By the end of this course, you will be able to:
-Comprehend basic vocabulary and expressions for business English
-Speak and write basic-level short sentences about business topics
-Ask and answer questions about basic business issues in English, especially about intercultural business and management
-Present your basic ideas about global business communication in English

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50904	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	川﨑 修一	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目
「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の２大英文法書を中心に

授業の目標概要
本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。
なお、使用する教材は、世界最高峰の２大英文法書：
Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language.
Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language.
を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50905	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目
Gender and sexuality in Japan

授業の目標概要
The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it.
このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50906	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 1	1年 文三(6,8)理二三(6,18)
講義題目		Exploring the Human Condition through Dialogs				
授業の目標概要		The main objectives are to get some practice using the English language by reading dialogs in which the speakers talk about important or interesting issues, writing answers to questions about chapter contents, and preparing and delivering oral presentations. The course is built around a textbook which contains dialogs that touch on subjects related to education, the natural sciences, the humanities, the social sciences, and technology; the chapters include a two-page dialog, a photograph with a thought-provoking caption, a written exchange between the editor and author of the book, and five general questions. For all but the first class meeting (which will serve primarily as an introduction to the course), students will be assigned one or two chapters in the textbook to read before coming to class, and during class time there will be two graded activities: (1) writing answers to a set of questions in the book or otherwise related to the assigned chapter(s), and (2) working in small groups to prepare and make oral presentations based on selected themes, topics, or questions related to the chapter(s).				

英語中級 （クラス指定セメスター型） 金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50976	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		A Novel Approach to Consciousness The objectives are to acquire experience reading in the English language for academic purposes and writing about what has been read as well as to learn and to think about consciousness and related issues from a non-specialist perspective. The course is built around a reading book which addresses the topic of consciousness from an unusual perspective and provides readers with plenty to think about. For all but the first (introduction) and last (review) class meetings, students will be assigned a number of pages to read before coming to class, and in class they will need to write an essay related to the reading assignment; the final class meeting will comprise a review of the course and most likely will require an essay summarizing it.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50977	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	古田 直肇	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		An Introduction to Positive Psychology and Intellectual Life この授業では、ハーバード大学で人気を博したポジティブ心理学の講義を基にしたワークブックである Even Happier（邦題は『ハーバードの人生を変える授業』）を読んでいきます。ただポジティブ心理学の理論を学ぶだけではなく、本で紹介されているタスクを実際に行うことを通して、受講生それぞれが自分の人生観について思索を深めること、そして考えたことを英語で表現できるようになることを目指します。ハーバードで最大の履修者がつめかけたという本書の内容を語ることを通して、同時に、大学生や社会人に必須の「言語技術」（特に物語と要約の技法）の実践を試みます。 また、英文の講読を通じて、発音・文法・語彙など、英語の基礎を学び直しつつ、「英語の学び方」を学ぶことも、この授業の目標です。テキストは比較的平易な英語で書かれており、読み取るのに苦労はしないと思いますので、授業での主眼はアウトプットであり、特に話す能力（読んだ内容を英語で要約し、それに対する自分の感想を英語で述べる能力）に重点を置きます。 授業は教科書を軸にして進みますが、ハマトンの『知的生活』など、教科書以外の題材も適宜取り入れて補足します。 授業の到達目標は、以下の通りです。 ・数ページ程度の英文のメッセージを的確に把握することができる。 ・ある程度入り組んだ構造の英文であっても、語彙・文法の知識を活用して精読することで、正確にその意味を理解することができる。 ・自分の人生経験を「ストーリー」として他人に伝わるように母語および英語で物語ることができる。 ・自分なりの人生観を構築し、それを他者に母語および英語で説明することができる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50978	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		英語文学の 1200 年（＋TOEFL 入門） ・中世から現代にいたる英語文学の歴史を具体的な作品で（ごく簡単に）たどっていきます。この先英語で文学に触れる予定の一切ない学生さんも、少し興味のある学生さんも気楽な気持ちで来てください。世界史の知識も活かせます。 ・授業冒頭の 20-30 分を用いて、TOEFL の紹介と学習法に触れます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50979	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目 授業の目標概要		Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50980	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目	現代の短編小説を読む					
授業の目標概要	この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50981	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16) 文三(18)理二三(22)
講義題目	Gender and sexuality in Japan					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					

英語中級 （クラス指定セメスター型） 金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51029	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English					
授業の目標概要	This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver Powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51030	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	Ethics in the Context of Major Religious Traditions					
授業の目標概要	The main objectives of this course are to gain some experience in reading and writing in English and to learn about major religious traditions mainly through the perspective of ethics. From the third scheduled class meeting, students will be expected to have read an assigned part of the book “An Interview with Prānavichāra about the Subject of Ethics” and to be prepared to answer some questions and/or to write a short essay during class time. In conventional class meetings, the teacher is likely to provide additional or explanatory information before the questions and/or essay prompt are given, and in the event that any class needs to be done online, the questions and/or essay prompt will be given at LMS near the beginning of the allotted time period and the answers and/or essay will be due near the end of it.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51031	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	「翻訳」とその他英語スキルに関する 2,3 の事柄					
授業の目標概要	英文和訳とは異なる「翻訳」実践をとおして英語スキルを磨くためのクラスです。 また「翻訳」を題材に、教養前期課程で学んでおきたい英語スキルも合わせて扱います。 具体的な作業・スキルは以下です。 1, 英語による文学テクスト（短編小説や戯曲、シナリオや歌詞なども含む）を正確かつ丁寧に読むことができる（英文精読)。 2, 文学テクストを適切に表現できるような日本語を作り上げることを目指して作業できる（翻訳)。 3, まとまった（500-1000 words 程度）の英文を読み、簡潔な日本語で要約することができる。 4, TOEFL などで必要とされる、300 words 程度の英文を正確に速く書くことができる。 5, リスニング・スピーキング技術を向上させるトレーニングの方法がわかる。 なお 90 分授業の枠組みで行うが、授業開始前 15 分間は学生有志を対象に、質問の受け付けや、ごく短い文学作品（文学史）の紹介を行う予定。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51032	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目	Gender and sexuality in Japan					
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51033	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 4	1年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)
講義題目		現代の短編小説を読む				
授業の目標概要		この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。				

英語中級・上級　全クラス型

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	英語中級	田中 伸一	英語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		未来学入門 ここでいう「未来学」とは，未来と向き合うために教養人としてどのように現在を生きたら良いかに関わる見識を指す。現在の傾向から未来の状態を予測する通常の未来学と違って，逆に想定される未来をもたらすには今どうあるべきかを考える backcasting の手法である。また，社会全体の体制がどうあるべきかではなく，それを構成する個人の内面を問題とする。科学者のモラルまたは一般人の科学知識が大いに問われる昨今，教養人が当然知っておいてよい見識である。 この授業では，数学者・生物学者・科学哲学者である J.Bronowski の著書 A Sense of the Future (1977, MIT Press)に所収された４つのエッセイを読み，そうした「未来学」のイロハを学びつつ，未来への向き合い方と現在の生き方を考えていきたい。授業で扱うテーマは，“A Sense of the Future”（未来と向き合う感覚），“The Creative Process”（創造のプロセス），“On Art and Science”（文芸と科学について），“The Reach of Imagination”（想像力が及ぶ範囲）の４つであり，こうした見識は当然ながら文理の垣根などない。やや古い著書であるがゆえに，古くて新しい普遍的なテーマを掘り起こしたり，現代的視点から批判的検討を加えたりする意味があるだろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50190	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the ‘grand challenges of education’, namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, ability, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	英語中級	田尻 芳樹	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		短編小説を読む この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles and functions of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the 'grand challenges of education', namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, ability, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	英語中級	アンダル ジャクリーン	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Contemporary Society This course will use a range of texts linked to contemporary social issues to improve students' ability to understand English. Discussions in class will be used to help with comprehension and to promote the active use of English. The course will include topics such as relationships, immigration, education and social protest.Texts may include newspaper articles, plays, political manifestos and extracts from academic texts.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50672	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Weird Fiction This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A	英語中級	秦 邦生	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		英語文学作品の精読ならびに映像版との比較 まず英語で短編や中編小説を精読し、その後、それらを原作とする映像作品を考察することで、言語テクストと映像テクストとの比較を行います。授業全体としては、①英文読解力、②文体や形式に配慮した文学テクスト解釈、③技法や演出に注目した映像テクスト分析、④双方の深い理解にもとづく原作と映像テクストとの比較、⑤文学から映像への「アダプテーション（翻案）」に関する理解、⑥ミニ課題やプレゼンテーションを通じた発信力、という6つの力を、実践をつうじてやしなうことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50675	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Education and Society This course will introduce learners to a broad range of theories, issues and debates about the societal roles of schools, universities and education systems around the world. Taking a sociological perspective, the objectives of the course are to: •Introduce learners to a range of theories and approaches to critically analyze the roles of education in society •Debate and discuss the 'grand challenges of education', namely the challenges of participation, relevance, flexibility, quality, and funding •Examine the relationships between schooling and national and global identity formation •Explore debates about social mobility and reproduction through education in the context of gender, (dis)ability, race and social class •Investigate the phenomenon of student-led social activism in varied socio-cultural contexts •Consider the challenges and implications for education systems in a century marked by rapid technological innovation and change We will engage with leading scholarship in the field, representations in the media, and our own educational experiences to explore these and other student-directed topics. Students will develop skills in academic reading, writing, presentation, and discussion.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		Introduction to 20th Century American Gothic Fiction This course is an overview introduction to American Gothic fiction from the 20th century. In this class, students will learn to read literature in an interdisciplinary way. They will approach American Gothic through the lens of American social issues and in the context of American history. In addition to stories, students may be introduced to history, social criticism, gender theory, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50931	A	英語中級	井上 博之	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		アメリカ合衆国の短編小説を読む アメリカ合衆国の作家によって書かれた 20 世紀後半から現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、カリ・ファハルド＝アンスタイン（Kali Fajardo-Anstine）、ジェイムズ・ボールドウィン（James Baldwin）、アンドレ・デビュース（Andre Dubus）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」[“A Small, Good Thing,” 1983]、「治療法」[“Remedies,” 2019]、「サニーのブルース」[“Sonny's Blues,” 1957]、「閉店後のバーで踊る」[“Dancing after Hours,” 1996]）。一部の作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なりますが、しっかりと文章に向きあい、充実した読書体験にしてほしいと思います。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます（説明を聞くだけでいいという人には向かない授業です）。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり小説を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることも覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。 ※学部の方針に従い、初回のみ Zoom でのオンライン授業、2 回目以降は対面授業となります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50004	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies				
授業の目標概要		This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore . Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Geographies of Horror				
授業の目標概要		This course introduces students to the role of geography in literary and cinematic horror, exploring the ways in which writers and filmmakers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Ambrose Bierce. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, creatures, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		An Introduction to Cultural Geography				
授業の目標概要		This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..				

総合科目Ｌ　ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。
成績評価方法	出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50350	火 3	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(22)
50638	水 4	クリスティアン クリンク	1 年 文一二(20)
50745	木 3	EINS Wieland	1 年 文三(15)
50349	木 4	EINS Wieland	1 年 文一二(21)
50616	木 4	ククリンスキ ルーベン	1 年 文三(16)
51070	金 5	森井 裕一	1 年 文科(TLP)
51071	金 5	速水 淑子	1 年 文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50193	A	ドイツ語初級（演習）	オプヒュルス 鹿島	ドイツ語	月 5	1 年 理科
講義題目		ドイツ語会話				
授業の目標概要		初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、DVD 付きの教科書を使って日常生活における基礎的なドイツ語表現（書く、聞き取り、コミュニケーション能力、単語習得）の運用能力を養う。 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Schreiben, Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer zu entwickeln.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51068	A	ドイツ語初級（演習）(TLP)	森井 裕一	ドイツ語	金 5	1 年 理科
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51069	A	ドイツ語初級（演習）(TLP)	速水 淑子	ドイツ語	金 5	1 年 理科
講義題目		ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）				
授業の目標概要		In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	ドイツ語初級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation für Anfänger/innen				
授業の目標概要		初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1"に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen direkte Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	ドイツ語初級（作文）	柳橋 大輔	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（作文）					
授業の目標概要	ドイツ語の基礎文法を1セメスター程度の期間にわたって勉強したみなさんを対象に、ドイツ語作文の練習をつうじて既習の文法事項の定着を図り、ドイツ語による文章表現力の向上を目指します。文法知識を能動的に運用する練習に取り組むなかで、語彙を増やし、また発音にも気を配ることにより、会話などにも応用できる実用的なドイツ語表現の基礎を身につけていきましょう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51063	A	ドイツ語初級（作文）	瀬尾 文子	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（作文）					
授業の目標概要	Sセメスターにドイツ語共通教科書『Einblicke』でドイツ文法の基礎（1〜11，12課）を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法の復習、補足をしながら独作文の練習をしていきます。Aセメスターに必修クラスで学習していく文法の進度も考慮しながら、授業を進めていきます。 教科書として用いる『ドイツ語作文400題』は、文法の項目ごとの独作文の練習問題です。最初の3回は、これを2課ずつ進めていきます（「授業計画」参照）。第4回以降は、教科書は1課ずつ進める代わりに、重要動詞や慣用表現、身の回りの話題、手紙の書き方なども学びます。こちらはプリントを用います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50932	A	ドイツ語初級（表現練習）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（表現練習）、Redemittelübungen Deutsch für Anfänger*innen					
授業の目標概要	初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベルA1の典型的な表現に焦点を当て、聞き取り、読解、会話、作文の4技能すべての実践的な演習で構成されている。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel für das Sprachniveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Der Unterricht besteht aus praktischen Übungen in allen vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50263	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen, die zeitgleich in den Kursen der 1. Reihe deutsche Grammatik lernen. Im Kurs trainieren wir die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Die Teilnehmer/innen sollen lernen, einfache Gespräche zu verstehen und selbst zu führen sowie auf den Alltag bezogene, einfache schriftliche Texte zu verstehen und kleine Nachrichten zu verfassen. 必修の一列の授業でドイツ語の文法を学んでいる初心者を対象としたコースです。このコースでは、ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベルA1に相当する「聞く」「読む」「話す」「書く」の能力を養成します。 簡単な会話を理解して行うことができるようになり、日常生活に関連した簡単な文章を理解し、ちょっとしたメッセージを作成することができるようになります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）(TLP)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen.
Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen.
この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。
ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）(TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab.
この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51289	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）(TLP)	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目　ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）

授業の目標概要

Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab.
この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51290	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）(TLP)	クリスティアン クリンク	ドイツ語	木 5	1年 文科 理科
講義題目	ドイツ語演習（TLP クラス指定科目）					
授業の目標概要	In dem Kurs wird das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt, und es werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit geringen Vorkenntnissen (Niveau A1) der deutschen Sprache und soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer*innen üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51291	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（インテンシヴ）					
授業の目標概要	Dieser Kurs richtet sich an Anfänger/innen, die zeitgleich in den Kursen der 1. Reihe deutsche Grammatik lernen. Im Kurs trainieren wir die Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben auf dem Niveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Die Teilnehmer/innen sollen lernen, einfache Gespräche zu verstehen und selbst zu führen sowie auf den Alltag bezogene, einfache schriftliche Texte zu verstehen und kleine Nachrichten zu verfassen. 必修の一列の授業でドイツ語の文法を学んでいる初心者を対象としたコースです。このコースでは、ヨーロッパ共通参照枠（CEFR）のレベル A1 に相当する「聞く」「読む」「話す」「書く」の能力を養成します。 簡単な会話を理解して行うことができるようになり、日常生活に関連した簡単な文章を理解し、ちょっとしたメッセージを作成することができるようになります。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50264	A	ドイツ語初級（第三外国語）	一條 麻美子	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	ドイツ語文法の学習を進めつつ、ドイツ語を読む・話す・書く力の基礎を身につけていきます。 英語およびそれぞれの第二外国語との差異に注意しながら、ドイツ語の特徴を理解してもらいます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50676	A	ドイツ語初級（第三外国語）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Deutsch für Anfänger/ ドイツ語初級					
授業の目標概要	Dieser Kurs baut auf dem im Sommersemester angebotenen Kurs ドイツ語初級（第三外国語）auf und richtet sich an Studierende, die das Niveau A1.1 erreicht haben. Im Kurs trainieren wir die Fertigkeiten Sprechen, Hören, Lesen und Schreiben. Ziel des Kurses ist das Erreichen von Niveau A1. Die Teilnahme am ersten Kurs ist nicht erforderlich. This course builds on the ドイツ語初級（第三外国語）course offered in the summer semester and is designed for students who have reached level A1.1. In the course we train the skills of speaking, listening, reading and writing. The goal of the course is to reach level A1. Participation in the first course is not required. この授業は、第三外国語としてドイツ語を学びたい初級の学習者を対象とする。話す、聞く、読む、書くのスキルを同時に練習することにより、ドイツ語の基礎知識を習得する。本授業は、日常的な状況での簡単なコミュニケーションのために必要な言語能力を身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50933	A	ドイツ語初級（第三外国語）	田中 純	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語初級（第三外国語）／German Language (Introductory)				
授業の目標概要		1セメスターでドイツ語初級文法の全体を一通り学習します。原則として、1回の授業で教科書を1課ずつ進めます。なお、初回（10/6）はオンライン授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50195	A	ドイツ語中級（演習）	明星 聖子	ドイツ語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語中級（演習）				
授業の目標概要		ドイツ語の文学作品の読解にチャレンジしながら、初級文法の復習および中級レベルの文法および運用力の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50265	A	ドイツ語中級（演習）	三宅 晶子	ドイツ語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語テクストを読み、考え、楽しむ				
授業の目標概要		ドイツ語初級文法の復習と中級文法の学習をしつつ、様々な分野（文学・思想・歴史・法律等）のドイツ語テクスト（カフカ、グリム、ツェラン、ベンヤミン、独仏共通歴史教科書の「想起の文化」記述、憲法）の精読を行います。ドイツ語初級文法の知識を前提としますが、1年生後期の意欲的な学生も学べるように、文法の順番に配慮してテクストを選択します。 テクス読解においては、文法構造を正確に把握することが内容の深い理解につながるような読みを実践し、ドイツ語でドイツ文化を研究する意味を共有したいと思います。 参加者は、文法構造を正確に把握し訳せるように、予習をしてきてください。授業では、訳読、文法説明の後、テクストの内容についても意見交換したいと思います。 ドイツの文学・思想・歴史・憲法等幅広いジャンルのテクストを読み、中級レベルのドイツ語を身につけます。ドイツ語のテクストを読む楽しさ・奥深さを共有しつつ、ドイツ語テクストを自力で読んでいく力の習得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50677	A	ドイツ語中級（会話）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話）				
授業の目標概要		Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden. 初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50934	A	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger*innen (Mittelstufe)					
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses. ドイツ語を１年（以上）学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテクスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ファイファー マティアス	ドイツ語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)					
授業の目標概要	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級（インテンシヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51292	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	ファイファー マティアス	ドイツ語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)					
授業の目標概要	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はSセメスターの「ドイツ語初級（インテンシヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠のA2レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	ドイツ語上級（演習）	クリスティアン クリンク	ドイツ語	月 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		演習（表現・読解）				
授業の目標概要		中級文法を履修済みの受講者を対象とした科目。あまり詳細に取り上げられることがない語法・文法上の各種事項を扱うことにより、既存のドイツ語知識の精緻化を目指す。また、さまざまな形式の演習を組み合わせることにより、総合的な運用能力の向上に努める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50630	A	ドイツ語上級（会話）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Konversationskurs Oberstufe ドイツ語上級（会話）				
授業の目標概要		Der Kurs richtet sich an Studenten, die bereits über gute Deutschkenntnisse verfügen (entsprechend B1, B1+ des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens) und diese weiter verbessern und anwenden möchten. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Ausdrucksfähigkeit, aber auch die anderen Fertigkeiten (Lesen, Schreiben, Hören) werden trainiert.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51053	A	ドイツ語上級（読解）	工藤 達也	ドイツ語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ドイツ語上級（読解）				
授業の目標概要		フロイトの芸術論から『レオナルド・ダ・ヴィンチの幼年期の想い出』を取り上げて原典を読みます。文法事項を確認しながら読解力の養成を目指します。またテクスト翻訳を通して的確な内容理解能力をつけることも目的としています。フロイトの文章は構成もしっかりしているので、たとえ内容が高度で難解に思えても、丹念に読み解けば理解できると思います（要するに慣れます）。				

総合科目 L　フランス語

フランス語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。

成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50151	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
50351	火 3	COUCHOT Herve	1 年 文一二(23)
50426	火 4	CAPEL Mathieu	1 年 文一二(24)
50541	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(27)
50542	水 2	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文一二(28)
50611	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
50640	水 4	ドゥルマジュール ラウル	1 年 文三(20)
50998	金 3	Steve Corbeil	1 年 文三(17)
50999	金 3	アルベリック ドリブル	1 年 文三(19)
51035	金 4	アルベリック ドリブル	1 年 文三(18)
50282	火 2	伊達 聖伸	1 年 文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50281	A	フランス語初級（演習）(TLP)	藤岡 俊博	仏語・伊語	火 2	1 年 理科
講義題目	TLP フランス語演習（1 年次）					
授業の目標概要	TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と購読）、演習（TLP 用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP 用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	フランス語初級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（会話）／ French Language (Introductory)					
授業の目標概要	発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や読解の応用練習などを行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	フランス語初級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction au français écrit et à la composition					
授業の目標概要	L'objectif de ce cours est d'inviter les étudiants à se documenter sur un problème (en l'occurrence: les violences sexistes et le féminicide en France), d'analyser des sources, de commenter des images (photos ou films), et à travers la discussion collective, de préparer la rédaction d'un exposé individuel.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	フランス語初級（表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語初級（表現練習）／ French Language (Introductory) フランス語演習と文法の予備校・復習する上にまた知識を深める					
授業の目標概要	この授業では必修の「フランス語初級（演習）」で学んだ内容を強化します。「フランス語初級（演習）」の復習をしながら理解を更に深め「フランス語初級（演習）」のA+を狙いましょう。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50464	A	フランス語初級（読解）	須藤 佳子	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語読解の基礎力をつける					
授業の目標概要	この授業では、初級文法にもとづき基本語彙をもちいて書かれた、フランス語の文章を読んでいきます。 文の構造を正確に把握した訳読をおこなうことで、初級文法の知識を補いつつ定着させ、基本語彙を身につけ、読解の基礎力を養います。まとまりのある平易な文章を、辞書をたよりに、自力で読めるようになることを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50856	A	フランス語初級（読解）	増田 一夫	仏語・伊語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　やさしいフランス語で今日のフランスを読む

授業の目標概要　文法や会話を学ぶのはよいけれど、フランス語という言語がメインのコミュニケーション手段となっている社会はどのような社会なのか？
その問に周到に答えるには、膨大な時間が必要です。しかし、わずかでもその問に答えるべく、「フランス語初級（読解）」を考えてみました。
・ 教材は、フランスの海外向け放送 RFI が作成した Journal en français facile （「簡単なフランス語で聞くニュース」）、あるいは Tout en français (「全部フランス語で」) です。セメスターの途中で他の教材を用いる可能性もありますが、いずれの場合も教材を購入する必要はありません。
・ 教材には、テクスト以外に、音声や練習問題が付いており、ヨーロッパ言語共有参照枠（CEFR）に準拠しているため、CEFR が設定したバランスに則って読解、聞き取り、発言のバランスが決められています。
・この授業は「初級」なので、最も基本的な A1~A2 の項目を学習します。
・教材が扱うテーマは、フランス文化から、フランスの政治、国際政治、環境問題、など多様です。どのようなテーマを扱うかは、参加者の希望も聞きながら選ぶ予定です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A	フランス語初級（インテンシヴ）(TLP)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50010	A	フランス語初級（インテンシヴ）(TLP)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 1	1年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50196	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50197	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50709	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目　フランス語初級（インテンシヴコース）

授業の目標概要　このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50946	A	フランス語初級（インテンシヴ）(TLP)	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目　ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1 年次）

授業の目標概要　ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51072	A	フランス語初級（インテンシヴ）(TLP)	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	金 5	1年 文科 理科
講義題目		ＴＬＰフランス語インテンシヴ・コース（1年次）				
授業の目標概要		ＴＬＰ（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読)、演習（ＴＬＰ用)、そしてインテンシヴ・コース（ＴＬＰ用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50465	A	フランス語初級（第三外国語）	西川 純子	仏語・伊語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		フランス語（特急）				
授業の目標概要		つづり字と発音の対応を意識しつつ、初歩のフランス語文法を１セメスターで通覧する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	フランス語初級（第三外国語）	黒木 秀房	仏語・伊語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		フランス語初級				
授業の目標概要		フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50935	A	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		フランス語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が正しく理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項や表現を用いながら、特定の身近な話題についてフランス語で自然に会話ができるようになる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50081	A	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中級会話				
授業の目標概要		フランス文化の様々な側面を学ぶ゛とともに、実践的な会話能力を高める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50267	A	フランス語中級（会話）	ドゥルマジュール ラウル	仏語・伊語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Conversation : cinéma					
授業の目標概要	Le but de ce cours est parler de en français à propos de cinéma. Chaque semaine nous discutons d'un film que nous avons regardé pendant la semaine, à propos des personnages, de l'histoire, mais aussi des aspects esthétiques (genre, technique), ou culturels (les thèmes, la société).					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50936	A	フランス語中級（作文）	ドゥルマジュール ラウル	仏語・伊語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Ecriture académique					
授業の目標概要	Ce cours s'adresse aux étudiants qui veulent progresser dans l'écriture argumentative en français. Nous ferons des exercices d'écriture académiques variés (donner et expliquer son avis, résumer une histoire, résumer un texte argumentatif, critiquer une opinion avec des arguments et des exemples). Les thèmes seront choisis selon les centres d'intérêt des étudiants.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50466	A	フランス語中級（読解）	鶴岡 彩香	仏語・伊語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	近現代フランスの文化史をフランス語で読む					
授業の目標概要	初級で学んだ文法や構文を使いながら正確に読解する力を身につけるとともに、近現代フランスの人々の暮らしや文化についての歴史を学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50870	A	フランス語中級（読解）	桐谷 慧	仏語・伊語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	中級レベルのフランス語テクストを読む					
授業の目標概要	フランス語文法の学習を一通り終えた方を対象として、中級レベルのフランス語の文章を読んでいく授業です。受講者のレベルに応じて、重要な語彙の確認、文法のおさらいなども並行して行う予定です。丁寧に文章を読むことを通して、フランス語の文章を読解する力を身につけることを目指します。 また、受講者の希望も考慮しつつ、思想、社会、芸術、政治などに関する文章を取り上げることにより、フランス語圏の文化や社会についての理解を深めることも目標とします。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50235	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1, B2 et plus)					
授業の目標概要	Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés (cinéma, musique, société, etc.). Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt. Nous ferons aussi des jeux pour pratiquer le français.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50375	A	フランス語上級（読解）	桑田 光平	仏語・伊語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	フランス語の評論を読む					
授業の目標概要	「翻訳」という行為について理論的に考察された 2020 年のティフェーヌ・サモワイヨの著作『翻訳と暴力』の Introduction と第一章をフランス語で精読する予定です。著者は現代フランスにおけるもっとも優れた比較文学研究者の一人であり、作家にして文芸理論家でもありますが、フランス語の文法の基礎が身についていれば、辞書を片手に問題なく読んでいける明快な記述の著作です。できれば、書かれている内容についても、少し議論ができる時間が持てればと思います。					

総合科目Ｌ　中国語

中国語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
著者(訳者)　毛 興華
出版社　白帝社

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50057	月 2	林 立梅	1年 文一二(13)
50218	火 1	黄 海萍	1年 文一二(16)
50347	火 3	喬 志航	1年 文一二(19)
50361	火 3	李 佳リョウ	1年 文三(13)
50614	水 3	中原 裕貴	1年 文三(11)
50636	水 4	毛 興華	1年 文一二(15)
50902	金 1	斉 金英	1年 文一二(18)
50985	金 3	張 玉萍	1年 文一二(14)
50997	金 3	李 雲	1年 文三(14)
50742	木 2	鄧 芳	1年 文一二(17)文三(12)(TLP)
50743	木 2	李 彦銘	1年 文一二(17)文三(12)(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目Ｌ系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50871	A	中国語初級（演習）	姚 毅	中国語	木 5	1年 理科
講義題目		中国語の基礎を固めるトレーニング				
授業の目標概要		一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50710	A	中国語初級（作文）	何 珍時	中国語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語初級作文				
授業の目標概要		中国語の初級作文は中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語の作文する力を身につけ、自分のことや日常生活で必要なことを中国語で書いて表現する能力を養成することを目的としています。 中国語の文法事項や重要な構文を詳しく説明し、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身につけていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50872	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語初級作文				
授業の目標概要		半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50947	A	中国語初級（表現練習） (TLP)	李 彦銘	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		TLP 中国語 基礎トレーニング 演習				
授業の目標概要		TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための科目。中国語一列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	月 1	1年 文科 理科
講義題目		中国語の実践能力を養うためのトレーニング A				
授業の目標概要		基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』） 実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。 A クラス：月１ 賈黎黎先生 金２ 王英輝先生 B クラス：火２ 毛興華先生 木１ 李佳樑先生 ☆必ず火２（担当教員：毛興華先生）とセットで履修すること。 ☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。 ☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。 https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA 【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	火 2	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング B
授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Aセメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。
Aクラス：月１ 賈黎黎先生 金２ 王英輝先生
Bクラス：火２ 毛興華先生 木１ 李佳樑先生
☆必ず木１（担当教員：李佳樑先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は９月 30 日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。
https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA
【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	中国語初級（インテンシヴ）(TLP)	李 彦銘	中国語	火 2	1年 文科 理科

講義題目
TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）
授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50284	A	中国語初級（インテンシヴ）(TLP)	白 春花	中国語	火 2	1年 文科 理科

講義題目
TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）
授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50711	A	中国語初級（インテンシヴ）	李 佳リョウ	中国語	木 1	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング B
授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。Aセメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Sセメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。
Aクラス：月１ 賈黎黎先生 金２ 王英輝先生
Bクラス：火２ 毛興華先生 木１ 李佳樑先生
☆必ず火２（担当教員：毛興華先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は９月 30 日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。
https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA
【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50861	A	中国語初級（インテンシヴ）(TLP)	鄧 芳	中国語	木 4	1年 文科 理科

講義題目
TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50922	A	中国語初級（インテンシヴ）(TLP)	菊池 真純	中国語	金 1	1年 文科 理科

講義題目
TLP 中国語実践トレーニング（初級リスニング）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50937	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1年 文科 理科

講義題目
中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要
基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者多数の場合は抽選を行う。
A クラス：月１ 賈黎黎先生 金２ 王英輝先生
B クラス：火２ 毛興華先生 木１ 李佳樑先生
☆必ず【月１ 賈黎黎先生】とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（土）までに次のリンク先のフォームを記入して送信してください。
https://forms.gle/mW7xSMiX5ZZpM1nLA
【注意事項】抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	中国語初級（インテンシヴ）(TLP)	鄧 芳	中国語	金 2	1年 文科 理科

講義題目
TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要
この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50949	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	中国語	金 2	1 年 文科 理科(TLP)

講義題目　TLP 中国語 実践トレーニング（初級会話）

授業の目標概要　この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1 レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる 3 言語を自在に操る人材になることを目指す。
特に「聞く」と「話す」に重点を置きながら、応用練習と反復練習によって、中国語の表現が身体的に獲得されるようになるのを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	中国語初級（第三外国語）	林 立梅	中国語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語入門（A セメスターから始める中国語）

授業の目標概要　中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。
この授業は A セメスターより中国語学習を始めたい学生のためのクラスである。S セメスターもしくは以前に前半を学習したことのある学生は、火 2 の黄海萍教員の授業を履修すること。
授業の性質上 30 名を定員とする。
履修に関する抽選結果は、ITC-LMS のお知らせに公表します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	中国語初級（第三外国語）	黄 海萍	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語（初級）（第三外国語）（２）／Chinese (Introductory) (3rd Foreign Language) (2)

授業の目標概要　中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。この授業は同教員が担当した A セメスターの続きを行う（第 1 ～ 9 課の復習を行った後、第 10 課から始める予定）。 授業の性質上 40 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50938	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語の基礎

授業の目標概要　この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。PEAK の学生向けとなっているため、できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。S セメスターは Ⅰ、A セメスターはその続きの Ⅱ である。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50082	A	中国語中級（演習）	鍾 非	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		和文 中訳特訓 教官の思い付き（日本語）を丁寧に中訳・添削する形で授業を進める。思い付きとは言え、レベルは初級と大違い。日常会話レベルの日中両国の言語を、慣用句（成語）にするのが要求される（例：日本語：羹に懲りて膾を吹く or 蛇に噛まれて朽縄に怖じる；中国語：小题大做 or 一年被蛇咬，十年怕井绳）。同じ表現なのに、日中両国の言葉に相違点が少なからず存在していることを受講生に気づかせる。語彙テストをランダムに実施（一例。日本語：level1：面白い、level2：興味深い、level3：腹を捩る or 腹が捩れる、level4：臍で茶を沸かす。中国語：level1：有趣、level2：兴味盎然 or 妙趣横生、level3：捧腹大笑、level4：忍俊不禁）。ちなみに、Level1 ができなければ、日常会話で相槌を打つことすら不可能。かたや level4 が「お茶の子さいさい」だと思えば、native でも稀に見る。「覚えることだけが語学」だという悪しき先入観を、「考える語学」まで理路整然と高めるのが、目的。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	中国語中級（会話）	王 牧	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級中国語会話/Intermediate Chinese Conversation 初級の中国語学習を終えた学習者が、より高度な会話表現を学び、日常生活での会話スキルを磨くことを目指し、日常生活で使える表現やフレーズを学び、会話の流れをつかむための練習を行います。授業では、中国語の発音・語彙・文法をより深く理解し、正確かつ自然な表現を身につけることも目指します。授業を通じて、自信を持って中国語を話すための基礎を築きます。/The goal of this course is to help students who have completed basic Chinese language learning to develop more advanced conversational skills and improve their ability to communicate in daily life. Students will learn useful expressions and phrases for everyday situations and practice understanding the flow of conversations. The course aims to deepen students' understanding of Chinese pronunciation, vocabulary, and grammar, enabling them to express themselves accurately and naturally. Through this course, students will build a foundation of confidence for speaking Chinese.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50661	A	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国語会話 この授業では会話を中心に進めます。 日常生活でよく使われる会話の展開を通して、中国語で不自由なく、家族の紹介、ご自身の趣味、買い物、天気、中学生活と大学生活の違い、将来の夢などを話すのを目標にします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	中国語中級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中級中国語会話 中級レベルの文法や文型を習得しながら、現代中国文化や社会事情が織り込まれた会話に触れ、テーマごとの会話練習を通して、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50920	A	中国語中級（作文）	王 英輝	中国語	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語中級作文				
授業の目標概要		文法と語彙を強化し、読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。 モデル文を読み、文章表現のポイントを解説した上、テーマ別に中国語の文章を書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	中国語中級（読解）	李 洵	中国語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語中級精読				
授業の目標概要		中国語検定試験２級レベルの長文を精読する。 精読作業を通じて、初級既習文法への理解を深め、新たな応用展開について学び、合わせて様々な場面での表現や語彙を習得する。中国語の読解力を身につけるとともに作文の力も高めていく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50940	A	中国語上級（演習）	秋山 珠子	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		字幕翻訳演習				
授業の目標概要		本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通し、1）言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2）的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3）既存の字幕翻訳ルールを再検討し、デジタル化、グローバル化が進む今日の映像文化にふさわしい字幕翻訳の方法を模索することを目標とする。またその過程で、映像翻訳の可能性/不可能性を考察し、作品の背景となる中国の社会や文化に関する理解を深めていく。（G８－１０） ＊ 演習の性質上、人数多数の場合は抽選を行う。受講希望者はオンライン初回授業に必ず参加すること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50826	A	中国語上級（会話）	賈 黎黎	中国語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語上級（会話）				
授業の目標概要		中国語の実際の運用能力の向上を目的とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51054	A	中国語上級（作文）	賈 黎黎	中国語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語上級（作文）				
授業の目標概要		読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。講義の前半では日本語母語話者に多く見られる誤用の例を紹介しつつ、翻訳練習をすることによって作文の基礎を固める。後半では文章の書き方に関する中国語の文章を読んだ上で、テーマ別に中国語で書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50141	A	中国語上級（読解）	山口 早苗	中国語	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		中国語中級講読				
授業の目標概要		中国文学作品のうち、中華民国時期に活躍した作家の随筆を読む。 作品を読むことで規範的な現代中国語だけでなく、文学的な表現や語彙など、より発展的な中国語の読解力を身につける。この過程で、中華民国時期の中国の文化・社会について考えてみたい。				

総合科目 L　ロシア語

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A
授業の目標・概要	正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。	
成績評価方法	平常点など。	
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts	

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50837	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文一二(4)
50840	木 4	GUTOVA Ekaterina	1 年 文三(4)
50924	金 1	GRECKO Valerij	1 年 文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1 年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50873	A	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	木 5	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50923	A	ロシア語初級（演習）(TLP)	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 理科
講義題目 授業の目標概要		現代ロシア語の基礎（TLP） 基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという 4 つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50681	A	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話の基礎 ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	ロシア語初級（作文）	石井 優貴	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（作文） 格変化、移動の動詞、動詞の接頭辞といった、ロシア語の初級文法を扱った練習問題を解くことで、文法に関する知識を深め、ロシア語で文章を書く技術を身につけることを目的とした授業です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50198	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	畔柳 千明	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ） ロシア語を第二外国語として履修している人を受講者に想定し、必修の補足を行う授業です。必修の授業の進行に沿って、習った文法事項を復習して定着させ、実際に使えるようになることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50200	A	ロシア語初級（インテンシヴ）(TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語初級（インテンシヴ）TLP TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。 2 コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50879	A	ロシア語初級（インテンシヴ）(TLP)	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科(TLP)
講義題目		ロシア語初級（インテンシヴ）TLP				
授業の目標概要		TLP 生を対象にしたインテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜５限と木曜５限)。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51064	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級インテンシヴ				
授業の目標概要		ロシア語の基礎的知識を確認しながら、会話力を身につける。 ※「初級インテンシヴ」はかならず週２回のペアで履修してください。片方だけの履修はできません。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51065	A	ロシア語初級（第三外国語）	宮川 絹代	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語初級（第三外国語）				
授業の目標概要		ロシア語を第三外国語として基礎から学んでいく授業です。通年の開講を予定しており、1 年間でロシア語の初級文法や基本語彙などを習得することを目標としています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50662	A	ロシア語中級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語会話表現（中級）				
授業の目標概要		ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を１年以上学習した者				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50827	A	ロシア語中級（作文）	ゴロウィナ クセーニヤ	ロシア語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ロシア語作文の書き方・実力アップコース				
授業の目標概要		この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。文法に関しては、不完了体・完了体や複文、形動詞の使用などに焦点を当てます。コースの最後に筆記試験が行われます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	ロシア語中級（読解）	石井 優貴	ロシア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級読解 ロシア詩読解：外国語の学習者にとって、その言語で書かれた詩を読むことは、文法をより正確に理解する上でも、語彙を獲得する上でも、発音を覚える上でも、非常に有効な手段です。この授業ではロシア語の詩を読み、韻律や意味を把握していくことで、総合的なロシア語運用能力を高めることを目的とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50376	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	丸山 由紀子	ロシア語	火 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） 本授業は、学術論文、新聞・ニュース記事、文学作品など、各自にとって必要なロシア語テクスト読みこなし、かつ自らロシア語で発信するための土台作りを目標とする。 無人称文、形容分詞、副分詞など、初級・中級者がつまずきやすく、かつロシア語を使いこなすには必須の文法事項を、練習問題、テキスト講読、和文露訳、ヒアリングなど、総合的アプローチによって学ぶ。また、時や原因の表現など、混乱しやすい事項の整理なども行い、上級ロシア語への橋渡しを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51022	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語中級（インテンシヴ） ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50467	A	ロシア語上級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語会話表現（応用） ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業ではロシア語で書かれた新聞・雑誌の記事や文学テクストを読み。その内容についてディスカッションする。よく使われる熟語等の表現を習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ロシア語の文章表現 ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。				

総合科目 L　スペイン語

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　【以下、昨年度Aセメスターのシラバス内容を教務課がインポートしました。入力が完了次第、本文章を削除してください】
共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。

成績評価方法　各担当教員に任せられている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　スペイン語初級
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50045	月 2	松田 葉月	1年 文一二(7)
50153	月 4	AIT MORENO Isaac	1年 文三(10)
50329	火 3	AIT MORENO Isaac	1年 文一二(10)
50330	火 3	松田 葉月	1年 文一二(11)
50331	火 3	Fernando Yeng	1年 文一二(12)
50425	火 4	AIT MORENO Isaac	1年 文一二(9)
50518	水 2	松田 葉月	1年 文一二(8)
50612	水 3	松田 葉月	1年 文三(7)
50841	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1年 文三(8)
50842	木 4	AIT MORENO Isaac	1年 文三(9)
50201	月 5	松田 葉月	1年 文科(TLP)

※TLP 履修者は、対象クラスで「1年文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目 L 系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51479	A	スペイン語初級（演習）	エクトル シエラ	スペイン語	木 5	1 年 理科

講義題目　¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。
授業の目標概要　スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。
自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。
スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。
The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	スペイン語初級（演習）	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 理科(TLP)

講義題目　Curso intensivo de español para el TLP
TLP スペイン語インテンシブ

授業の目標概要　Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana.
コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50712	A	スペイン語初級（会話）	相田 豊	スペイン語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Zoom を用いたメキシコの大学生との会話
授業の目標概要　Zoom を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50874	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　スペイン語（初級会話）
授業の目標概要　練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。
その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51066	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。
授業の目標概要　スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。
自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。
スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。
The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51055	A	スペイン語初級（作文）	内田 兆史	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		日本語で書かれた文学作品や漫画を、スペイン語ネイティブがどのようにスペイン語化したかを眺めながら、『日本語をスペイン語にする」という行為を俯瞰的に眺め自家薬籠中のものとすることを目指します。				
授業の目標概要		日本語をスペイン語にする際に気をつけるべき点を考えることはスペイン語を日本語にする際に気をつけるべき点に気づくことでもある。「作文」よりむしろ「翻訳」を見据えた授業にしていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50199	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	月 5	1年 文科 理科
講義題目		（会話）				
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。会話練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50286	A	スペイン語初級（インテンシヴ）(TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	火 2	1年 文科 理科
講義題目		Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ				
授業の目標概要		Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50875	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	木 5	1年 文科 理科
講義題目		（作文）				
授業の目標概要		必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。作文練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50880	A	スペイン語初級（インテンシヴ）(TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	スペイン語初級（インテンシヴ）(TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51073	A	スペイン語初級（インテンシヴ）(TLP)	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科
講義題目	Curso intensivo de español para el TLP TLP スペイン語インテンシブ					
授業の目標概要	Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	スペイン語初級（第三外国語）	松尾 俊輔	スペイン語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	1 年間で学ぶ三外スペイン語					
授業の目標概要	この授業は、スペイン語を第二外国語として履修していない学生を対象とし、1 年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。 文法事項をひとつひとつ身に付けていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。S セメスターと A セメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。 A セメスターの授業では、S セメスターの授業内容を習得済みであることを前提として、二つの過去形（点過去と線過去）の違いから始め、未来形や接続法などを学び、スペイン語の文法体系全体を学び終えます。併せて、スペイン語の文章の講読にも取り組み、それを通じてスペイン語圏の社会や文化についての理解を得ることも目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A	スペイン語初級（第三外国語）	川崎 義史	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		速習スペイン語				
授業の目標概要		1セメスターで，スペイン語文法の基礎を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51056	A	スペイン語中級（演習）	シルビア ゴンサレス	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Comunicación y cultura en el mundo hispano. Anímate a conversar en español.				
授業の目標概要		El objetivo principal de este curso es desarrollar intensamente las habilidades de comunicación en español. Se espera que los estudiantes conozcan los principios de la comunicación masiva, y que elaboren y expongan sus opiniones sobre el entorno cultural y temas de actualidad del mundo hispanohablante, a través del estudio de los contenidos en diversos medios de comunicación. このコースの主要な目的は、スペイン語によるコミュニケーション能力を集中的に養成する。あわせて、マス・コミュニケー ションの原理を知り、様々を伝達手段におけるコ ンテンツの研究を通じて、スペイン語圏の文化的 背景と現状に関し意見を考え述べることである。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51057	A	スペイン語中級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		「¿CHARLAMOS? 」スペイン語を通じた西洋式のコミュニケーション				
授業の目標概要		様々なトピックに触れながら、会話力を養う。 西洋式コミュニケーションのパターンを探り、慣用句を中心に エリプシス（省略法）、 メトニミー（換喩）、メタファー （比喩）を学ぶ。曖昧で婉曲的な伝え方より、アサーティブでメタフォリックなコミュニケーションを目指す。 This is a course to learn new collocations, verbal periphrases, idioms and to practice conversation. The final exam is a presentation.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	スペイン語中級（作文）	石橋 純	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		スペイン語中級（作文）				
授業の目標概要		スペイン語文法の基礎知識を確認しながら中級レベルの作文練習をおこない、表現力の向上をめざす。日本語の例文に対する複数のスペイン語訳例を提示し、それらのニュアンスの違いや初学者が間違いやすい問題個所などを解説することによって、スペイン語の知識をより確実なものにする。毎回の授業の前半では短めの例文を数多く取り上げ、授業の後半ではある程度まとまりのある文章課題に取り組んでもらう。また、セメスターの最後には、テーマを設定した上でより長い文章課題を提出してもらう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50558	A	スペイン語中級（読解）	丸山 共恵	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		中級レベルの様々なテーマのスペイン語圏のニュースを扱う。文法知識と語彙を増やし、総合的なスペイン語力の向上を目指す。				
授業の目標概要		ニュースを聞き取るために必要な文法(S セメスペイン語 1 列の復習から接続法）を確認し、語彙を増やしながら、読解力・リスニング力を向上することを目標とする。12 回の授業で、様々な構文を理解し、将来スペイン語の文章を自分で読めるようになる為のスペイン語の読解を基礎から学ぶ。また、ニュースを通じて、スペイン語圏の社会や文化への理解を深める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50876	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュース、講演、会話や曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしましょう。					
授業の目標概要	学んだ文法事項を確認しながらスペイン語圏のいまのニュースを聞き、読み、その内容を通じて日本や世界を知る。また世界のニュースのスペイン語世界での取り上げられ方を考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50559	A	スペイン語上級（演習）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Español Avanzado. Cultura e Historia del Mundo Hispánico.					
授業の目標概要	Practicaremos la gramática y el vocabulario del español mientras estudiamos temas sobre la cultura y la historia del mundo hispánico (España e Hispanoamérica). Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español y de la cultura hispánica. Los objetivos son: - Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente. - Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español. - Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios, redacciones y presentaciones orales. - Ampliar los conocimientos sobre el ámbito histórico y cultural hispánico.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50828	A	スペイン語上級（会話）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	Curso de español avanzado: “El mundo hispano a través del cine”.					
授業の目標概要	En este curso, los estudiantes podrán conocer algunos aspectos de la vida de América Latina a través de algunas películas. Mediante ejercicios de observación y comprensión de películas, los alumnos podrán expresarse oralmente sobre los temas vistos y escribir breves composiciones utilizando algunas herramientas de redacción. También podrán reforzar aspectos de la gramática, sintaxis y ampliación del vocabulario en español.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50775	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	スペイン語による作文の授業					
授業の目標概要	Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。					

総合科目 L　韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50152	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 4	1 年 文三(5)
講義題目		韓国朝鮮語初修（文系）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列・二列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50327	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文一二(5)
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）				
授業の目標概要		この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50238	A	韓国朝鮮語初級（演習）② (TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）TLP				
授業の目標概要		この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50857	A	韓国朝鮮語初級（演習）	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 4	1 年 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）				
授業の目標概要		韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識のおさらいとともに韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50237	A	韓国朝鮮語初級（演習） (TLP)	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（演習）TLP				
授業の目標概要		この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50438	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		韓国朝鮮語初級（会話）				
授業の目標概要		本授業は、韓国語の基礎知識を習得、活用しながら、「聴く」そして「話す」能力のトレーニングに重点を置く科目です。そのため、授業では「聴く」と「話す」練習用の様々な種類のアクティビティを行い、実践的な学びを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	韓国朝鮮語初級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語作文(初級) 韓国朝鮮語の文章を書くために必要な基本的な文型を学習する。学習した文型を用いた作文練習を重ねると同時に、初級の語彙をしっかり覚えることで表現力の向上を目指す。受講者のレベルに応じて文字（ハングル）と発音を学習する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50011	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）(TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列 韓国朝鮮語 TLP の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50142	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 3	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 インテンシヴ 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50714	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）(TLP)	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		TLP 韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列 TLP 韓国朝鮮語の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50921	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	金 1	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語 初級インテンシヴ 韓国朝鮮語を集中的に学習した人を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50275	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		韓国朝鮮語初級 本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。 S セメスターを履修していない場合は､ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法を事前に学習することが望ましい。 授業は「韓国朝鮮語のみ」で行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国語初級					
授業の目標概要	S セメスター火曜 2 限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象とします。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 必ず「履修上の注意」をよく読んだ上で受講してください。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級（入門）					
授業の目標概要	文字をちゃんと読める!楽しく学習する!そして書ける!何よりも外国語が話せる喜びを感じさせる、そして韓国について興味入門過程（文字・発音）を中心に基礎的な文法や表現を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」 という四つの力をバランスよく身につけることを目標とする。 ゼロから始まる韓国朝鮮語学習者が対象となる。 ① ハングル文字を正確に読める。 ② あいさつ、自己紹介、数学など、簡単な表現を用いて話したり、書いたりできる。 ③ 「読む」「聞く」「書く」「話す」という四つの力をバランスよく身につける。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50377	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級（第三外国語）					
授業の目標概要	初めの韓国語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用の基礎を学びます。教科書『チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、LMS を通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。 また、自習用動画が用意されているので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読む練習などの予習と、授 業後の学習内容の					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50439	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語初級					
授業の目標概要	本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。 S セメスターを履修していない場合は､ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法を事前に学習することが望ましい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50829	A	韓国朝鮮語中級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語中級（作文）					
授業の目標概要	韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使った短文作文の練習をしつつ、パラグラフ作文及びより論理的な文の作成まで発展していく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50713	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語の基礎文法を終えた受講者を対象に、語彙、文法の整理、読解、アカデミックライティング、口頭発表、聞き取りを含む能力を涵養することを目的とする。					
授業の目標概要	受講生のニーズに応じる。例えば、大学院入試韓国朝鮮語のための読解力、作文力の涵養、留学に備えての聴き取り、プレゼンテーション、アカデミックライティングなどの訓練、その他、受講者の要望を確認した上で、授業を進める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50663	A	韓国朝鮮語中級（読解）	加藤 裕人	韓国朝鮮語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	現代韓国語の文章の講読					
授業の目標概要	インターネット上のさまざまな韓国語の文章を講読する。時事的なニュース記事を中心に、新聞や論説、小説、エッセイ、ＨＰ上の広告など、さまざまなジャンルの文章を扱う。これらの文章の読解を通じて、韓国語の文章を理解するために必要とされる基礎的な語彙や文法事項、表現等を習得するとともに、韓国語を自然な日本語に翻訳する技術を身に付ける。また、多様な文章の理解を通じて現代の韓国・朝鮮社会に対する理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50236	A	韓国朝鮮語上級（会話）	朴 天弘	韓国朝鮮語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語上級（会話）					
授業の目標概要	より高度な会話力とコミュニケーションスキルを身に付けることを目標としている。様々な会話場面における語彙と文型を覚えていくことで、的確な表現・伝達ができるように練習する。韓国の文化や時事的なことやある話題について自分の意見をまとめて話せるように練習を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50858	A	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	韓国朝鮮語上級（作文）					
授業の目標概要	韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、論理的な文の作成に取り組む他、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。					

総合科目 L　イタリア語

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50060	月 2	DANIELI Daniela	1 年 文三(6)
50982	金 3	マルコ ビオンディ	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50943	A	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	金 2	1 年 理科
講義題目		イタリア語初級演習（理科生むけ演習）				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。理科生向けの演習です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	フランス語・イタリア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級会話				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50877	A	イタリア語初級（会話）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（会話）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50859	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	フランス語・イタリア語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（作文）				
授業の目標概要		イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50560	A	イタリア語初級（表現練習）	横田 太郎	フランス語・イタリア語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級表現練習				
授業の目標概要		この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50631	A	イタリア語初級（読解）	山﨑 彩	フランス語・イタリア語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級講読				
授業の目標概要		比較的簡単な文章をゆっくり読みながら、イタリア語の基礎文法を定着させる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50278	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	火 2	1年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（インテンシヴ）／Italian Language (Introductory)				
授業の目標概要		すでに習ったイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50944	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	金 2	1年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（インテンシヴ）				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50083	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語初級（第三外国語）I				
授業の目標概要		イタリア語の基本文法の理解。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51067	A	イタリア語初級（第三外国語）	岡本 太郎	フランス語・イタリア語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		初修イタリア語				
授業の目標概要		イタリア語の基本的な文法を学びます。初修者を対象に、A セメスターでは発音から比較的明快な表現などを見てゆき、S セメスターではもう少し掘り下げた文法に触れ、イタリア語の概要がつかめるようになれることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50084	A	イタリア語中級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Lingua italiana, livello intermedio				
授業の目標概要		習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50632	A	イタリア語中級（会話）	USICCO Francesca	フランス語・イタリア語	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級会話 イタリア語を自分の言葉として使っていきましょう				
授業の目標概要		ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50860	A	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	フランス語・イタリア語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50561	A	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio）				
授業の目標概要		すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ヴィデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50878	A	イタリア語中級（表現練習）	Diego Martina	フランス語・イタリア語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級表現練習				
授業の目標概要		本講義では、イタリア語でのライティング、リーディング、リスニング、スピーキングという4技能をみがくことを主目的とします。ネイティブスピーカーの講師とともに、会話や作文の練習をしながら、言語能力を高めることを目指します。受講者の希望に応えながら、様々な教材を使用してイタリア文化をテーマにした授業を進めます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50683	A	イタリア語中級（読解）	野里 紳一郎	フランス語・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級講読				
授業の目標概要		テクストの精読により基礎文法の知識をいかにして運用していくかの訓練。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50830	A	イタリア語中級 （インテンシヴ）	大崎 さやの	フランス語・イタリア語	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア演劇からイタリア語に親しむ				
授業の目標概要		イタリアの演劇作品を読むことを通し、読解力、文章力、会話力を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50945	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語中級（インテンシヴ）／ Italian Language (Intermediate)				
授業の目標概要		初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業１コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業１コマのあわせて２コマの両方を履修する。１年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50684	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		Facciamo un passo avanti!				
授業の目標概要		Questo corso ? rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	フランス語・イタリア語	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）				
授業の目標概要		L'obiettivo del corso ? imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non ? una cosa facile, non lo ? neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica ? piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre.				

総合科目Ｌ　その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50013	A	アラビア語初級（第三外国語）	竹村 和朗	アジア・日本研究コース	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アラビア語初級文法				
授業の目標概要		S セメスターの続きで、文語文法の後半を解説します。A セメスターの学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アラビア語初級				
授業の目標概要		1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50015	A	アラビア語中級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		アラビア語中級（第三外国語）				
授業の目標概要		正則アラビア語の簡単な読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながら短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50016	A	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ヒンディー語（初級）：Introductory Hindi				
授業の目標概要		インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。表記に用いるデーヴァナーガリー文字と音声の習得より入り、指定教科書の夏学期の残り部分 9 課から 18 課までを終えることを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50017	A	ヒンディー語中級（第三外国語）	藤井 毅	アジア・日本研究コース	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		ヒンディー語（中級） Intermediate Hindi course				
授業の目標概要		インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 5 億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。ヒンディー語（初級）で用いていた指定教科書の知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50018	A	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	インドネシア語入門2 (Indonesian language for beginners)					
授業の目標概要	インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、Sタームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 Aタームでは、Sタームにおける授業内容を前提に授業を進める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	インドネシア語中級（第三外国語）	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	インドネシア語中級（Indonesian language for Intermediate Students）					
授業の目標概要	この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテクストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50020	A	ベトナム語初級（第三外国語）	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ベトナム語入門2					
授業の目標概要	Sセメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50021	A	ベトナム語中級（第三外国語）	大泉 さやか	アジア・日本研究コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ベトナム語文献講読					
授業の目標概要	ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50022	A	広東語初級（第三外国語）	郭 文ホウ	中国語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	広東語（初級）					
授業の目標概要	2023年度Sセメスター広東語（初級）の続きです。 この授業では初級レベルの広東語の習得を目指します。 広東語教授方法の授業ではありませんので、 広東語ネイティブの受講は原則認めません。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50685	A	広東語中級（第三外国語）	吉川 雅之	中国語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		広東語中級 広東語は香港と澳門（マカオ）で公用語である他、中国本土では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南3地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。漢語派諸言語の中では民族共通語である普通話（いわゆる中国語）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約8000万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 広東語は、上海語や福建語・台湾語と同様に、中国語（普通話）との間にはゆうに言語同士に匹敵する差異を有しています。そのため、中国語とは別に一から学習する必要があります。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について、中級レベルの養成を目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50023	A	ヘブライ語初級 （第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ヘブライ語文法初歩 古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること――すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	上海語初級（第三外国語）	李 雲	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		上海語初級 上海語の発音の仕方、ローマ字表記法について学び、繰り返し練習することで、発音を習得する。上海語の語彙、特に中国語の標準語と違うものの意味と用法を学習する。また上海語の文法や表現を学び、日常的なコミュニケーションができるよう「聞く」、「話す」能力を養成することを目指す。 基本的に上海語ネイティブの受講は認めない。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50024	A	ペルシア語初級 (第三外国語)	前田 君江	アジア・日本研究コース	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　ペルシア語初級：文法と講読
授業の目標概要　第1回・第2回授業
Sセメスターで学習した文法事項の復習・続編を行う。
第2回の授業の最後に文法項目の小テスト(30分程度)を行う。

※小テスト対象項目
・現在形
・仮説法現在形
・完了形
・関係詞 ke の用法
・比較級
・不定の i(イー)と限定の ra(ラー)

第3回～
・ペルシア語講読
・辞書を引きながら、ペルシア語の文章の講読を行う。

※なお、ペルシア語辞書については、ペルシア語―日本語辞典とペルシア語―英語辞典を講師より貸し出しする（数に限りがある)。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51058	A	セルビア・クロアチア語初級 (第三外国語)	山崎 信一	ロシア語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　セルビア・クロアチア語(初級)
授業の目標概要　セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能

力を身につけることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	ポーランド語初級 (第三外国語)	久山 宏一	ロシア語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　ポーランド語初級
授業の目標概要　ポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書・文法書を活用できることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50025	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　タイ語
授業の目標概要　Sセメスターからの継続。原則として、Sセメスターの授業を履修した学生のみに受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている場合は、Aセメスターのみの履修も認めます。今年度ではなく、昨年度以前のSセメスターにタイ語を履修した人たちの履修も歓迎します。Aセメスターの前半は、テキスト第11課以降を2週間に3課のペースで扱います。Aセメスター後半は、オンライン辞書を使ってタイ語の長文読解にも挑戦してもらいます。辞書を引けば、タイ語で書かれたニュース記事などを理解できるようになるのが目標です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50881	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、A セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50862	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ポルトガル語の基礎				
授業の目標概要		ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・夏学期）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		台湾語初級 B				
授業の目標概要		「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、?州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「?南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。しかし第二次世界大戦後、各地の言語政策においては、台湾語、?南語、福建語のメディアにおける使用が厳しく制限される傾向があった。このような状況にもかかわらず、映画、ドラマ、歌謡曲、文学などの流通はさまざまな形で続いた。近年、台湾において振興の動きが著しく、2019 年 7 月、初めての台湾語による公共放送のテレビチャンネル「公視台語台」も設立された。そのほか、方言の使用に対して厳しく制限しているシンガポールでも、2016 年より、準国営且つ唯一のテレビ局も 37 年ぶりに方言（主な福建語）番組の制作、放送を再開した。 この授業では、台湾語の発音、基本的な語彙、文法、会話表現を習得することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50468	A	台湾語中級（第三外国語）	多田 恵	中国語	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		台湾語中級（第三外国語）／Taiwanese (Fukienese)Language (Intermediate)				
授業の目標概要		「台湾語」とはこの 400 年の間、福建南部からの移民により台湾に伝えられ、現在台湾で約 1600 万人の母語話者人口を持つとされる重要な言語である。東南アジアにも起源を同じくする言語ないし語彙が広がっている。台湾の複雑な歴史と社会を反映して日本語や中国語からの影響が混ざり合い、社会言語学的に興味深い。 この授業は、台湾語初級の修了者もしくは同等の能力を持つ者を対象とし、台湾語の談話の構造、また、文と文を組み合わせ複雑な内容を伝え・理解する能力を習得することを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50026	A	モンゴル語初級 （第三外国語）	荒井 幸康	アジア・日本研究コース	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		モンゴル語				
授業の目標概要		本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする 会話では、適切な質問文をつくり、5分程度の会話を成立させること また、モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50027	A	トルコ語初級（第三外国語）	末森 晴賀	アジア・日本研究コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		現代トルコ語初級文法6				
授業の目標概要		現代トルコ語の初級文法を習得する。S・Aセメスターの通年で完結する授業のため、Aセメスターで扱った内容の続きから始める。本授業を通して、トルコ語の文章を理解するために必要な初級文法を一通り身につけることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50028	A	トルコ語中級（第三外国語）	末森 晴賀	アジア・日本研究コース	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		トルコ語中級文献講読8				
授業の目標概要		現代トルコ語初級文法を一通り習得した者を対象に、トルコ語の文章講読を行う。辞書を引きながら自力でトルコ語の文章を理解できるようになることを目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50716	A	古典語初級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）				
授業の目標概要		古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51074	A	古典語初級（ギリシア語）II	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		古典ギリシア語初級（後半） Elementary Greek (second half)				
授業の目標概要		※当授業はSセメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：私の担当する「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである．これを履修していない場合，その内容を自習しておく必要がある．A セメスターで扱う内容の概要は以下の「授業計画」に記載されている．Sセメスターで扱った内容は「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと．Sセメスターで使用したテキストは，ITC-LMS 上に当授業のコマが設定され次第載せるので，Aセメスターからの受講者は確認しておくこと． I. 目標 初級文法を一年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた文章を，辞書と文法書を使えば何とか読めるようにする． II. 概要 Aセメスターの授業の主な内容は次の三つである． A. 動詞の活用を覚える． B. 単文の主要な構文を覚える． C. 複文の主要な構文を覚える．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50776	A	古典語中級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		古典ギリシア語散文講読				
授業の目標概要		古典期（前五〜四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51120	A	古典語初級（ラテン語）I	筒井 賢治	古典語・地中海諸言語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ラテン語入門				
授業の目標概要		ラテン語の基本的な文法を２セメスターで一通り学び、辞書や文法書を使って原典テキストを読めるようにする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50030	A	古典語初級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ラテン語初級				
授業の目標概要		辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50085	A	古典語中級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・地中海諸言語	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		ラテン語散文講読				
授業の目標概要		初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。授業では前期に引き続きアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50031	A	古典語初級（サンスクリット語）II	加藤 隆宏	アジア・日本研究コース	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		サンスクリット初級文法（II）				
授業の目標概要		古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。A セメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせて進める。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50240	A	古典日本語	矢田 勉	国文・漢文学	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　漢字・漢文による日本語表記史・文章史（上代～中世）

授業の目標概要　日本語史は、特に書記言語に関してきわめて多彩な様式を成立させてきたことに特徴がある。
本講義ではそのうち、上代から中世に至る、漢字（正訓字）・漢文による日本語表記史および文章史を扱う。

具体的な資料読解を通じて、日本語漢字表記史・文章史の多様性を理解し、ある程度まではその読解能力を身につけることを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	古典中国語	谷口 洋	国文・漢文学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　語学としての漢文

授業の目標概要　中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのためにかえって、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。

この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含めて扱う。近年の古代中国語の研究成果を踏まえて、高等学校で「漢文」として学習したものをいったん外国語として客観化し、より本質的な理解に到達することと並んで、国語学の研究成果をも参照しつつ、古典中国語を日本の先人たちがいかに日本語世界に取り入れてきたかを理解することもまた、この科目の目標である。

この科目は、古典中国語が流通した東アジア諸地域の研究を志す者に、そのために必要な読解力の基礎を身につけさせることを目的の一つとするが、それにとどまらず、日本語の使い手として、「漢文」を新たな角度から学び直してみたいと考える者の受講をも、大いに歓迎する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50029	A 1	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　アカデミックライティング（1）
ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く
Academic Writing and Japanese literature 1: Writing Essays

授業の目標概要　This course is designed for students at the advanced level of Japanese. This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in thinking reflectively and self-regulated learning.

Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following:
1) read a Japanese short story critically
2) make an outline of an academic essay
3) write an academic essay in appropriate structure, format and style
4) cite other studies within reports/papers
5) reflect on their own learning process and assess the progress.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60001	A 2	日本語上級	藤井 明子	日本語	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　アカデミックライティング（2）

授業の目標概要
ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる
Academic Writing and Japanese literature 2: Critical Reading and Book Review
This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in researching.

Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following:

1) read short stories
2) write an academic essay in appropriate structure, format and style
3) cite other studies within reports/papers
4) reflect on their own learning process and assess the progress.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50202	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要　授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。

1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60007	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation

授業の目標概要　授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。

1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。
2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。
3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。
4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。
5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50239	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	論文執筆を戦略的に計画する（準備編）					
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，それぞれの専門分野において，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる，「基本的な考え方のトレーニング」を行っていきます（日本語そのもののトレーニングというより，「論文を書くときにはどのような頭の使い方をすべきか」について考えていきます）。さらに，学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み，批判的に評価し，かつ建設的なコメントを与え合うことで，自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60008	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	論文執筆を内省的に遂行する（実践編）					
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，自分にとって興味ある問題を見つけ，その問題について自らデータやエビデンスの収集を行って，実際に小論文を執筆し，相互批評を行う，というプロセスを実践します。またそのプロセスを通じ，「主張とエビデンスとの間の論理的関係を考える」「他者に伝わるように構成を考える」「そもそもその調査研究にどういう意義があるのかを考える」などのためのトレーニングを行っていきます。知識・スキルの習得だけでなく，論文執筆に必要な「基本的態度」の習得を目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50288	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	論文執筆を戦略的に計画する（準備編）					
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする4月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 大学では，それぞれの専門分野において，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。 この授業では，日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる，「基本的な考え方のトレーニング」を行っていきます（日本語そのもののトレーニングというより，「論文を書くときにはどのような頭の使い方をすべきか」について考えていきます）。さらに，学生自身が作成した論文アウトラインや論文そのものを相互に読み，批判的に評価し，かつ建設的なコメントを与え合うことで，自分なりの「論文観」を確立していくことを目指します。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60014	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　論文執筆を内省的に遂行する（実践編）
授業の目標概要　※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。

大学では，自ら問題を設定し，情報・データを収集したうえで考察を加え，その内容を日本語で，論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには，適切な方法論に基づき，戦略的に準備を行っていくことが必要です。
この授業では，自分にとって興味ある問題を見つけ，その問題について自らデータやエビデンスの収集を行って，実際に小論文を執筆し，相互批評を行う，というプロセスを実践します。またそのプロセスを通じ，「主張とエビデンスとの間の論理的関係を考える」「他者に伝わるように構成を考える」「そもそもその調査研究にどういう意義があるのかを考える」などのためのトレーニングを行っていきます。知識・スキルの習得だけでなく，論文執筆に必要な「基本的態度」の習得を目指します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50686	A 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その3
授業の目標概要　授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。

授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60080	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　近代日本の童話を読む： その1
授業の目標概要　授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。

授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテクストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50715	A 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　アカデミックプレゼンテーションとディスカッション
授業の目標概要　この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。

学術的なテーマについて「アクティブラーニングにより必要な情報を収集し、根拠や理由を示しながら論理的に自分の意見を述べる」「専門的、時事的なテーマの発表後、自身の考えを適切にまとめ、質疑応答できる」等、アカデミックな場面での総合的な会話能力を育成する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60081	A 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		アカデミックプレゼンテーションとレポート執筆				
授業の目標概要		この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。日本語を使って自身の考えを的確に伝えることができるよう、日本の社会や文化に関するテーマを取り上げ、調査、分析、発表の仕方を学ぶ。その後、各自テーマを選び、アクティブラーニングのプレゼンテーション、ディスカッションとレポート執筆を行う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50882	A 1	日本語上級	田中 祐輔	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		アカデミックライティング?表現学習のためのツール?／Academic Writing: Tools and Resources for Learning and Polishing Expressions				
授業の目標概要		『アカデミックライティング?ツールを用いた構成と形式の実践?』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、論文の構成や形式に着目した内容を扱います。 授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。 次に、各講義のトピックに関する解説が行われます。学術的文章の執筆に不可欠な形式や構成手法に関する幅広い項目を扱います。 そして、各回、授業で学んだ学術的文章の執筆手法を用いるライティングアクティビティに取り組みます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60086	A 2	日本語上級	田中 祐輔	日本語	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目		アカデミックライティング?ツールを用いた構成と形式の実践?／Academic Writing: Tools and Resources for Text Organization and Format				
授業の目標概要		『アカデミックライティング?ツールを用いた構成と形式の実践?』では、大学での学びにおいて得られた知識や考えを表現するためのアカデミックライティングに関する解説とアクティビティを行います。とりわけ、論文の構成や形式に着目した内容を扱います。 授業の冒頭の 15 分間では、日本語の学習やライティング能力の育成に役立つ情報を紹介します。留学生が能動的・協働的に学ぶことが可能なツールを紹介することを目的としています。ご自身の目的や目標と得られた情報とを照らし合わせ日々の学習に取り入れましょう。 次に、各講義のトピックに関する解説が行われます。学術的文章の執筆に不可欠な形式や構成手法に関する幅広い項目を扱います。 そして、各回、授業で学んだ学術的文章の執筆手法を用いるライティングアクティビティに取り組みます。				

総合科目 A （思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50687	A	言語比較論	李 佳リョウ	言語情報科学専攻	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　日常的な言語行動に関する日本語と中国語の対照研究

授業の目標概要　本授業では、現代中国語でのコミュニケーションにおける、日常ありふれた「ことば（の使用）」の実態を詳細に考察し、日本語（時には英語）と比較することにより、中国語という言語の特徴を詳らかに示すとともに、中国人の思考や認識、感覚などを分析することを目指す。
言語学のサピア＝ウォーフの仮説（言語相対性仮説）は「言語の違いは、思考や世界の認識に対して影響を及ぼす」と主張するものであるが、確かに、個別の言語はそれを母語とする人々の思考や認知との間に深い関係を有している。換言すれば、「言語」は少なくとも「人」を造っている重要な要素のひとつであり、各言語に見られる種々の様相は、それを用いる人々の思惟や感覚、思想などの諸要素が反映された所産だと言って良いだろう。
授業では、中国語の特徴を考察する基準として、日本語（と時には英語）の実態との比較を行ない、対照的に考察することによって、日中（英）語の相違点についても考える。たとえば、日常用いる挨拶ひとつを取り上げてみても、日本語の「おはよう」に対して、中国語では“早！”、英語では“Good morning”など、一見同じような意味の挨拶語は存在するものの、細かく観察すれば、これらの挨拶語の使用実態と意味がまったく同一ではないことが理解できる。その相違点は、それぞれの母語話者が有している思考と感覚の違い、さらに言えば言語的な成り立ちの違いに基づくものである。
本授業では、こういった、いずれの言語にも存在する、似て異なる「ことば」の使用の実態を取り上げつつ、中国語の特徴について考えてみたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50203	A	記号論	郷原 佳以	言語情報科学専攻	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　記号論と現代思想

授業の目標概要　言語学者フェルディナン・ド・ソシュールによって創始され、20 世紀に展開された記号論の概要を理解できるようにする。構造主義から始まるフランス現代思想への入門にもなるようにする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	翻訳論	小林 宜子	言語情報科学専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　アーサー王物語の諸相--その翻訳と翻案の歴史

授業の目標概要　時代を超え、国境を越えて語り継がれ、書き継がれてきたアーサー王伝説。人々はこの物語に何を託し、この物語を通じて何を訴えようとしてきたのでしょうか。そして現代の私たちは、長い伝統を持つこの物語の中にどのような意味を見出すことができるのでしょうか。本授業では、12 世紀以降の 8 世紀間にイギリス、フランス、アメリカ、日本で書かれた様々なジャンルの作品を読解しながら、アーサー王の物語が翻訳や翻案を通じて新たな意味を獲得し、各々の時代や文化の中で多様な変貌を遂げていった様を詳細に観察し、分析します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51340	A	外国文学	諏訪部 浩一	文学部	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　『緋文字』を読む

授業の目標概要　19 世紀アメリカを代表する作家ナサニエル・ホーソーンの代表作『緋文字』を読む。作品を深く理解するように努めることはもちろんだが、その作業を通してアメリカ・ロマン主義文学全般について考えることも目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51075	A	現代哲学	高村 夏輝	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代の心の哲学について 科学の進歩に伴い、唯物論的世界観が多くの人に受け入れられるようになった。しかし、それでも心に関して私たちが持っている様々な直観は、いまでも唯物論的世界観にうまく収まらない。この問題にどう取り組み、どう解決すればよいのか。20 世紀前半から現在までの主な哲学的議論を通覧し、その取り組みの妥当性を検討していく。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50717	A	科学哲学	鈴木 貴之	哲学・科学史	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		科学哲学入門 いわゆる科学革命以降、近代科学はめざましい発展を遂げてきました。近代科学が短期間でこれだけの発展を遂げることができたのは、なぜでしょうか。科学的説明は、他の説明とどのように異なるのでしょうか。人文科学や社会科学も広義の科学の一部と言えるのでしょうか。科学に関するこのような理論的問題を考察するのが科学哲学です。この授業では、現代の科学哲学の主要問題を概観します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	現代思想	星野 太	哲学・科学史	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代思想入門（2001-2023） これは、現代思想の入門講義である。 このシンプルな一文には、おそらく独特の曖昧さが含まれていると想像する。そして本講義は、ほかならぬこの事実から出発する。日本語で「現代思想」という言葉が発せられるとき、それは 20 世紀後半の日本で「現代思想」と称された哲学・思想と、21 世紀が開けておおよそ 20 年が過ぎた――文字通りの意味での――「現代の」哲学・思想のいずれかを意味している。まずはそのあたりの経緯を振り返るところから、本講義を始めたいと思う。 より具体的には次のようになる。本講義では、21 世紀になってそれなりに耳目を集めた「現代」思想の潮流を押さえることを、ひとまずの目的とする（詳細は「授業計画」を参照のこと）。同時に、それが 20 世紀後半の「現代思想」をどのように受け継いでいるか、ということにも話題を広げる。 教養科目であることに鑑みて、基本的には教員が解説をするかたちで進めるが、実際にその代表的な文献を読んでみる場面では、受講者に積極的な参加を求めることがある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	記号論理学 I （文科生）	秋吉 亮太	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		論理学入門（命題論理・述語論理） 現代論理学，とくに命題論理と述語論理を初歩から解説する．「すべて」や「ある」といった量化子を取り扱う述語論理の意味論・証明論に慣れることを目指す．時間があれば言語哲学への応用や完全性定理を概観する．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51076	A	記号論理学 II	秋吉 亮太	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		不完全性定理の数学的内容と哲学的含意 ゲーデルが 1931 年に証明した不完全性定理の数学的内容と哲学的含意を説明する。まず、不完全性定理の背景となっていたヒルベルトの形式主義（無矛盾性プログラム）を三回ほどかけて概観して、算術の不完全性定理の証明を丁寧に解説する（七、八回）。より具体的には、まず算術の公理系や帰納関数論の基本的な性質を確認して、証明にとってキーとなるコーディングや対角線補題、最後に第一不完全性定理と第二不完全性定理を証明する。残りの回ではこの数学的定理がヒルベルトのプログラムに与えた影響と、これにまつわる周辺的な話題を紹介したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50469	A	精神分析学	原 和之	フランス語・イタリア語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		思想史のなかの「精神分析」 十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話ししたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A	表象文化論	清水 晶子	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		セクシュアリティ論（クィアスタディーズ） セクシュアリティ論、とりわけ 1990 年代から 25 年にわたるクィア・スタディーズの議論の基礎を学び、セクシュアリティをめぐる現代日本の様々な文化的・政治的事象を分析しながら、性、欲望、身体の構成が文化や法や政治とどうかかわってきた／いるのかを考えます。 授業修了時に、セクシュアリティに関する処分権を読む際に必要となることの多い基本的な用語や概念、現在セクシュアリティをめぐって交わされている多方面における議論の概観を理解していること、セクシュアリティについての議論に参加するために欠くことのできない基本姿勢を身につけていることを、目的とします。 ジェンダー論、セクシュアリティ論についての基礎的な知識は求めません。 初回授業はオンラインになります。そのあとは対面ですが、グループワークの実施と報告にはおそらく Google Classroom を使います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	美術論	桑田 光平	表象文化論コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		デザインを考える／デザインから考える この授業では「デザイン」を単なる意匠や機能性としてではなく、近代における人間の生活様式の設計として考え直し、その視点から近代デザインの歴史を現在にいたるまで概観し、その上でデザインの観点から現代の諸問題について考察を試みる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51077	A	音楽論	中井 悠	表象文化論コース	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		偽西洋音楽史【標本集】 「音楽」(と一般的に呼ばれる営みと経験）には、一見すると他の種類の芸術と比べて特異な（存在論的）条件がふたつばかり付き纏っているように思われる。ひとつは、そのつどの演奏を超えた次元に物体として存在しないこと。もうひとつは、にもかかわらず、演奏を取り巻く諸々の物体（楽譜、楽器、映像、録音、レヴューなど）が存在し、それらを使うことで「再演」を試みられること。このふたつの条件が組み合わさることによって、音楽の歴史はそのつどの現在における関心事を推し進めるために、そのつどの過去に存在したとされる（が不在の）音楽をでっちあげることによって、そのつどの未来を切り開いてきた創造的ないし暴力的な捏造行為の連なりとして辿ることができる。 この授業ではそのような観点から、主に西洋の音楽史を「偽音楽史」の集積として読解する。ただしこの読解自体が正史の装いを纏ってしまわないようにも、連続的な通史ではなく、あちこちの時代に散見される偽音楽史の事例を標本として集め、小咄として編纂し、キーノートを使用した学術的「紙芝居」のオムニバスとして語っていく。その過程で、偽とはなにか、嘘とはなにか、歴史とはなにか、といった問いをさまざざまな角度から実践的にひねくりまわせるといい。人工知能の広まりに伴う（歴史記述を含めた）創造行為の問い直しが頭の片隅にある。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51336	A	社会正義論	高井 ゆと里	教養教育高度化機構	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

生殖＝再生産をめぐる倫理
生殖（reproduction：再生産）をめぐる倫理について講じる。ある社会や国家において、どのような人々がどのように生殖をなすか／なさないかは、国家や為政者にとっての関心の的であり、例えば日本では長く「少子高齢化」を「問題」事象として語ることが平常化している。この講義では、生殖にまつわる健康や権利の概念が重要性を持つに至った歴史的背景のみならず、様々な時代・地域で生殖にまつわる健康や権利を蹂躙されてきたマイノリティ集団の歴史に焦点を当てる。この授業を受けることで、生殖（する／しない）という実践がどのように政治化されてきたかを学ぶことができ、また、現代社会に残存する多様な社会的不正義について理解するための一つの視角を得ることができる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50562	A	比較文化論	今橋 映子	比較文学比較文化コース	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

「異文化体験を語る・書く」
「比較文化論」という学際研究の基本的概念の中に、「異文化理解」という問題がある。
「異文化」とは一体何なのだろうか。単なる「外国」ではなく、「自分」とは異なる「他者」に出会うこと、
理解すること、相互に折り合うこと・・・これらは「教養」の根底の知性であり、態度決定である。
本授業では、教科書を出発点としながら、現代社会における「ダイバーシティ」問題をもっと切実に、自分の
問題として考える契機としたい。外国体験、外国からの帰国体験、外国人との交流、外国語に苦労した経験、地方と都会の相違、多様な性の狭間にあること、聴者とろう者･･･等々、これまでに様々な「異文化体験」をした人、あるいはそういった問題に興味のある人たちが、その体験について「比較文化論」の基礎概念を学び、体得し、知的に語り、書くことができることを目指す。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50563	A	比較文学	石原 剛	比較文学比較文化コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

日米比較児童文学―マーク・トウェインを中心に
明治以降今日まで、日本人がいかなる紆余曲折を経ながらアメリカの国民的作家マーク・トウェインを受容してきたか検討します。特に、日本の文学的・文化的伝統や同時代の日本の社会状況を反映して創造された日本版のトウェイン作品を原作と比較検討していくことで、主に日本の児童文学・文化の功罪を明らかにしたいと思います。具体的には、山縣五十雄、巌谷小波、佐々木邦、鈴木三重吉、千葉省三、大佛次郎、大江健三郎といった文人たちへのトウェイン文学の波動を吟味します。英米文学に特に関心の無い受講生も、国境を越えた影響関係の検討を中心とする伝統的な比較文学研究のケース・スタディとして本講義を受講することも十分可能です。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	比較思想	大石 紀一郎	比較文学比較文化コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

(Web UTAS 参照)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50440	A	比較芸術	松井 裕美	比較文学比較文化コース	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		近現代フランス美術入門－ジャンルの交差と越境 この授業では、近現代フランス美術史において、さまざまなジャンルがどのように交差してきたのかを学ことを目的とします。フランス美術の歴史を、様式の変遷や巨匠の列伝からのみ語るのではなく、諸ジャンルの絡み合いの中で作り上げられる軌跡として捉えることで、文化的諸事象や社会的な現象との相関関係の中で理解することを目指します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A	東洋思想史	水口 拓寿	国文・漢文学	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		倫理思想としての儒教 中国思想は東洋思想の重要な一部分であり、日本の文化・社会にも大きな影響を与えた。この科目では倫理という分野を主軸に、中国思想史に関する入門的な講義を提供する。 歴史的に中国と呼ばれた地域の倫理思想は、儒教によって代表される。孔子が作り出し、孟子・荀子などが育てた儒教の倫理思想は、やがて歴代王朝の「国教」となり、現地の人間関係や社会秩序を二千年余りにわたって強く規定した。彼らは具体的に、どのような倫理を求めたのだろうか？ 人と人の正しい繋がりを、どうすれば実践できると考えたのだろうか？ そして何よりも、儒教の倫理思想は皆を幸せにしたと言えるのだろうか？ まずは、春秋時代に始まった儒教の倫理思想が、前漢・後漢でひとまずの完成に至るまで。次いで、南宋の朱熹（朱子）や明の王守仁（王陽明）による新たな展開。以上二つに重点を置き、その理論的な歩みと、それが社会にもたらした影響について理解しよう。論理が整わずに終わった部分や、負の遺産と呼ぶべき物事からも目をそらさず、中国で語られた倫理の思想を、様々な角度から冷静に見つめてほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50690	A	西洋思想史	廣野 喜幸	哲学・科学史	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		概念史入門ー比較思想の観点から 日本は思想的に二重構造をもつ。日本古来の伝統的な思想と、特に明治期以降に咀嚼してきた西洋由来のそれである。つまり、伝統的思想と西洋思想が私たちを大きく規定している。したがって、西洋思想史について基本的素養をもつことは、今を生きる私たちにとって大きな意味をもつ。とはいえ、西洋思想史は実に広大な対象をもち、その大枠を広く浅く学ぼうとすると、あまりにも浅くなり、断片的な知識の単なる集積に終わりかねない。そこで、本講義では、まず、思想史学でも概念史に焦点を絞る。それも、私たちを規定する度合いが大きい「時間」「空間」「力」の 3 概念について、一定の深さの理解を得ることをめざす。また、概念はそれのみに焦点を合わせたのでは、その特徴の理解に至らない。西洋における時間概念の特異性を知るためには、他地域における時間概念と比較することが有用である。このため、比較概念史的アプローチについても紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50291	A	科学史	三村 太郎	哲学・科学史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		ギリシャ科学から近代科学まで 科学は不変の真理を扱った学問というイメージを抱くが、その一方で、科学は古代からの長い歴史を持っており、地域や時代によって様々な「科学」が営まれ、今日の科学が形成された。本講義を通じて、科学という営みを世界の歴史の視点から見るきっかけを与える。具体的には、古代から近代科学成立にいたるまで、科学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐくまれてきたのかをたどる。				

総合科目 B （国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50204	A	国際関係論	吉本 郁	国際関係	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要	この講義では、国境を越えて国家や様々な集団・人がかかわりあうことで生じる現象を理解し、分析する際にその道具となる概念や理論を学ぶ。講師が自ら時事的な問題を論評したり、あるべきと考える政策を提言したりすることはないが、受講生にもしそのような関心がある場合でもその前提となるような視座を提供したい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50292	A	国際関係論	鶴見 太郎	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	国際社会におけるミクロとマクロ					
授業の目標概要	国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もがかかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。 ※初回のみオンライン					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50293	A	国際関係史	酒井 哲哉	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	国際関係史					
授業の目標概要	幕末・維新期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50691	A	現代国際社会論	佐藤 仁	国際関係	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	開発協力のジレンマ					
授業の目標概要	「SDG s の問題点は何か」。この授業が終わったら、この問いに答えられるようになっていてほしいと思います。国際開発、国際協力は、その響きの美しさとは裏腹に、それが見えにくくする側面があります。この授業では、知らず知らず見えにくくなっている側面を取り上げ、それを自分なりに考えるために、いくつかの「ジレンマ」を取り上げていきます。 国際開発に関する授業は、通常は、貧困や気候変動といった課題を解説し、それに対する援助などの取り組みの制度や効果を論じるものが多いと思います。この授業では、一つのセクター、一つの専門的視点にこだわらず、国際開発協力から、「あちらが立てば、こちらが立たず」という悩ましい現象を取り上げて、自分で答えを探す訓練をします。またこの授業では、現在の途上国の事例だけでなく、かつて途上国であった日本の被援助経験、開発経験に伴うジレンマについても扱います。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 現代アフリカの政治と国際関係

授業の目標概要

【概要】
現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、紛争、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。
【目標】
アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グロー バル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51023	A	現代国際社会論	佐藤 俊輔	国際関係	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 国際秩序と地域秩序の変容

授業の目標概要

現代の国際社会とはどのようなものだろうか。現代の国際関係は、過去の国際関係とは何が変化し、何が変化していないのだろうか。このような問題関心から、本授業は「国際社会」という概念を手掛かりとして現代国際秩序の特質について概説する。
そのために授業ではまず我々が日常的に使う「国際社会」とは一体何を意味しているかを考察することから始め、主権国家体制や国際社会の在り方の変化について、歴史的・理論的に理解する。その上で、現代の国際秩序について特にグローバル・ガバナンスという視座から、安全保障や経済、環境、人権などの各領域を取り上げて解説し、さらに地域統合により国際関係や国家の意味が大きく変化している欧州統合、EU の事例を取り上げる。これらを通し、現代国際社会について、その特質と課題を理解し、その行方について考える手がかりを得てもらうことがこの授業の目的である。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50863	A	地域文化論 II	SMITH Rodney	地域文化研究専攻	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 AUSTRALIAN DEMOCRACY TODAY

授業の目標概要

Understanding a country's politics can tell us a lot about its culture and identity. By the early 20th Century, Australia was known internationally as a modern democratic experiment. It was one of the first places in the world to give most men and women the vote and allow them to stand for parliament, to pay parliamentarians a salary, to elect a 'labour' government representing working people and to make voting compulsory. These experiments in democracy were limited by the exclusion of some people (particularly Indigenous people) and by some more conservative elements in the political system. One hundred years later, what does Australian democracy look like? Has Australian democracy adapted successfully to major changes in Australian identity, such as the shift to a multicultural population? Are Australian democratic institutions and processes able to address the great challenges of our time, such as climate change, socio-economic inequality, the Covid 19 pandemic, and technological change?
This course provides a brief introduction to contemporary Australian democracy to help students answer these questions. Students will engage with key features of Australian democratic institutions and processes via lectures, class discussions and activities, audiovisual and digital materials, and introductory academic readings to provide varied exposure to Australian material. The focus will be on what is distinctive about Australian democracy. Wherever possible, the course coverage will be related to current events in Australian politics. The course will provide an English language teaching environment designed to encourage development of learning, reading and writing skills in English, as well as an experience of Australian educational styles.
Students who complete this course should:
•have an introductory knowledge of key features of Australian democracy
•understand how these features both reflect and create an Australian national identity
•understand how political science approaches can contribute to Australian Studies
•be able to undertake basic written and spoken political analysis in English.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50958	A	地域文化論Ⅱ	浜田 華練	地域文化研究専攻	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 スラヴ・ユーラシア研究の地平

授業の目標概要
この授業は、スラヴ・ユーラシア研究に関連する分野に携わる本学教員によるオムニバス授業です。毎回異なる教員がそれぞれのテーマで講義を行うことで、学生が各分野の最先端の研究成果の一端に触れるとともに、日本では触れる機会が少ない「スラヴ・ユーラシア」諸地域の政治・社会・歴史・文化を「広く深く」学ぶことを目標とします。
「スラヴ・ユーラシア」は、かつて社会主義陣営に属していた中東欧・旧ソ連を包括する概念です。「スラヴ・ユーラシア」という語は、それを専門とする学問分野の外ではほとんど使われない上に、言語的・エスニシティ的な概念である「スラヴ」と地理的な概念である「ユーラシア」が並列しており、ぎこちない印象を与えます。しかし、そのぎこちなさが、地理的な境界、政治的な境界、言語・文化・エスニシティに基づく境界が複雑に入り組んでいるこの地域の内実をよく表しているともいえます。
必ずしも実態を正確に反映しているとはいえないものの、「スラヴ・ユーラシア」という語が術語化された背景には、冷戦期に存在した明確な政治的・軍事的一体性ではなく、歴史的にこの地域に存在してきたつながりと多様性の両方に寄り添おうとする研究者たちの試行錯誤がありました。しかし、「一体性」を取り戻すという名目で始められたロシアによるウクライナ侵攻が続く今、「スラヴ・ユーラシア」という概念と、その概念を用いる意義についても見直しが迫られています。こうした状況をふまえて、学生の皆さんには、全講義を通じて、「スラヴ・ユーラシア研究の地平」の、広がりだけでなく、その果て（限界）とその先（可能性）をも見極める意気込みをもって授業に臨んでもらいたいと思います。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 和解と協力から見たアジア共同体

授業の目標概要
この授業では、アジア地域における、一国内あるいは複数の国の間での、人びとの紛争・対立・葛藤をめぐる和解と協力について、個別の事例を取り上げて論じていく。具体的には、それはどのようなもので、それがどのように想起されて継承され、その解決のためにどのような取り組みや政策がとられてきたのか、またそれが効果をもったのか、限界があるとすればどのようなものであるか、などを、それぞれの問題に詳しい研究者などに話を聞き、受講者と議論していく。「和解」は 1945 年以前の過去の歴史を意識しており、「協力」は現在進行形のものを含めて、今後の展開を考察したしたものが多い。
そして、それぞれの事例について知り、それを比較することで、地域文化研究のあり方を学んでいく。そうした作業を通じて、過去と現在の対立や葛藤を乗り越えて、アジア共同体をどう展望していくのかについても、受講者は講師と議論してほしい。
原則リレー講義である。第 1 回は谷垣と外村大が授業の進め方について説明する。
毎回の授業のテーマは以下のとおりである。本授業は、谷垣のほか、外村大、三ツ井崇が協力教員である。ゲストスピーカーは現時点では日本国内が中心であるが、海外のスピーカーに登壇いただけるように粘り強く交渉中である。
現在、決まっている地域は以下のとおりである。
朝鮮半島、沖縄、東南アジア、中央アジア

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A	比較地域史	杉山 清彦	歴史学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目 中央ユーラシアから見た世界史

授業の目標概要
近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの遊牧民とオアシス民こそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50777	A	日本文化論 I	康 潤伊	国文・漢文学	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　芥川賞選評から「日本文学」の枠組みを批判的に考察する

授業の目標概要
この講義では、芥川賞の選評を批判的に検討したうえで、選評の対象となっているテクストの読解も一部行います。扱う小説テクストは、時代を戦後にしぼったうえで、従来の「日本文学」から逸脱するようなものという基準で選んでいます。受賞作だけではなく候補作（つまりは落選作）も扱います。
日本で最も有名な文学賞である芥川賞は、選考委員の討議のもとに決定されます。選考会後、選評が発表されますが、そこには「日本文学とは何か」といった、委員たちの文学観がしばしばにじみ出ています。いくつかのテーマに沿って候補作・受賞作を読み比べることで、「日本文学」の境界線／輪郭線―つまり、何が「日本文学」の範疇に入るものとされ、何がされないのかを批判的に探っていきます。
到達目標は、以下の通りです。
（1）文学作品の周辺情報から問題を発見し、文学テクストの鑑賞や読解に活かせるようになること。
（2）権威を相対化し、批判的に検討できる視点を養うこと。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50205	A 1	日本語日本文学 I （理科生）	田村 隆	国文・漢文学	月 5	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　紫式部と『源氏物語』

授業の目標概要
本講義では紫式部と『源氏物語』、特に紫式部に焦点をあててその一生という立場から『源氏物語』を考える。
第 1 週はオンライン授業のため、東大本『源氏物語』他の画像が検索できるオンライン研究ツール「デジタル源氏物語」を紹介し、理科系の皆さんの感想を尋ねたい。
その後の対面授業においては、『紫式部日記』や『紫式部集』を手がかりに紫式部の人物像がうかがえる箇所を紹介し、それを通して『源氏物語』執筆がどのように位置づけられるのかをともに考えたい。
「古典日本語」を学ぶテキストとして『源氏物語』を取り上げ、主に冒頭の桐壺巻を講読する。高校の教科書で学んだ場面もあると思うが、たとえば「いづれの御時にか」をどう訳すかという点のみならず、『源氏物語』はなぜこの表現で語り出されるのか、といった問題も含めてさまざまな角度から『源氏物語』のことばについて考えてゆきたい。『土佐日記』や『伊勢物語』などの先行諸作品との関係や、漢籍特に白楽天の『長恨歌』の影響についても古典日本語の観点から考察する。
本講義では、2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まり昨年 9 月に完結した（全 9 冊）の岩波文庫をテキストに用い、桐壺巻を一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	日本語日本文学 II	木村 朗子	国文・漢文学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　『源氏物語』を読む

授業の目標概要　『源氏物語』などの平安宮廷文学を読みながら、平安宮廷社会の政治的、文化的背景を理解する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50206	A	東洋古典学	高山 大毅	国文・漢文学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　「古典」をどう読むか―近世日本の「古典」研究を中心に―

授業の目標概要
「東洋古典」というと、先ずは高校の「古典」の授業で習った古文・漢文のことを想起するのではなかろうか。この授業では、古文・漢文で書かれた著作（『論語』・『源氏物語』など）の解釈史を取り上げるので、このような「東洋古典」像は間違いではない。ただし、この授業では、高校の「古典」とは異なり、「古典」自体の内容よりは、「古典」と対峙した人々の知的営みを考えることに主眼を置く。かの孔子も『詩経』『書経』を解釈する「古典」学者という側面を有しており、東アジアにおける「古典」研究の歴史は実に長い。「古典」が難解であることは今に始まったことではなく、授業予定の各回の標題に挙げたような問題に古人も頭を悩ませ、様々な思索を深めてきた。江戸時代の学者（伊藤仁齋・荻生徂徠・本居宣長など）の著作を軸にして、「古典」研究の様々な側面を見ていくことで、「古典」をめぐる知の諸相に対して理解を深め、学術的な知見に基づき「古典」との付き合い方を自分なりに考えられるようになることを授業の目標とする。「古典」好きだけでなく、「古典なんて学んで何の意義があるのだろう」と思う人々の受講を歓迎する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50294	A	東洋古典学	坂井 多穂子	国文・漢文学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		中国古典を楽しむ 漢文にまだあまり慣れていない受講生を対象とし、基本的に講義形式の授業をおこないますが、受講生に漢文を読んでもらう場合もあります。 歴代の象徴的な「奢侈」の逸話を漢文で読み、漢文読解に慣れてもらいます。また、王侯貴族や士大夫の「奢侈」を通して、その背景にある文化や社会構造に対する理解を深めます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51341	A	歴史社会論	守川 知子	教養学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歴史の中のイスラーム社会 本講義では、イスラーム社会の歴史的かつ地域的な多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム社会」とは何かについて考える。現在、世界人口の 2〜3 割を占める 18-19 億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であった。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっており、自然環境や文化伝統が各地によって異なることは言うまでもない。とりわけ、乾燥地帯が多くを占める西アジアの場合、イスラーム教が入ってくるよりも先に、サーサーン朝やビザンツ帝国といった強大な帝国および文化圏が存在しており、発祥まもない「イスラーム社会」もまた、これら既存社会に大きく依拠していた。このようなイスラーム社会の歴史的・地域的多様性を理解することを本講義の目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50295	A	歴史社会論	舘 葉月	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		越境芸術家からたどるフランス移民史 19 世紀後半よりフランスは移民受け入れ国となりました。労働移民だけでなく、ヨーロッパにおける文化的首都と目されたパリにはさまざまな外国人芸術家が移住するようになります。この授業では、彼らの移動の背景にある 19 世紀後半から 20 世紀半ばまでのフランス史・ヨーロッパ史の流れを念頭におきつつ、国境、「人種」、宗教、文化などの「境」を越えてフランスにおいてその芸術的才能を開花させた越境芸術家たちの軌跡を辿ります。そして、現代フランスを特徴づける移民現象を、社会史・文化史の観点から学び、フランスの多様性の一端を理解します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50296	A	歴史社会論	清水 克行	歴史学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		日本中世（主に室町〜戦国時代）を、社会を成り立たせていた習俗や慣行の役割に注目して考える。 現代社会とは異なる原理によって成り立っていた社会を見つめることで、”異文化”に対する理解を涵養する。また、併せて基本的な中世史料の読解力を養う。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50693	A	近現代史	栗原 康	歴史学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　日本アナキズム思想史
授業の目標概要　政府がないと生きていけない？ 税金を払うのはあたりまえ？
おまわりさんの言うことはききましょう？
就職しないと生きていけない？ カネが人間の価値をきめる？
会社の命令にはなんでも従いましょう？
女が男に従うのはあたりまえ？ 家庭にはいって、子どもを産むのが生産的？

ぜんぶウソ。支配ありきの世界に中指をつきたてる。
そんなアナキストたちの思想を紹介していきたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51342	A	歴史と文化	佐川 英治	教養学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　中国古代史論
授業の目標概要　文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるよう講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50883	A	歴史と文化	中西 啓太	歴史学	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　近現代日本と地域社会
授業の目標概要　本講義では、戦前日本において「地域社会」が果たした役割や意義を検討し、理解を深める。
まず、そもそも「地域社会」とはいったい何か・どのように捉えられるのか、研究史における視角を説明しつつ考える。そのうえで、近世までの村落共同体はどのような特徴を持って日本社会の中に位置づいていたのか、近代に入るとどのような影響を受け、変化していったのか、を前半では検討する。そうして変化していった「地域社会」は日本の資本主義経済化が進む中で、明治国家が統治を進め議会制度など政治が整備される中で、どのような役割を果たしたのか、都市化などの新しい変化からどのような影響を受けたのか、などを後半では検討する。「地域社会」と東京帝国大学との関係という点も取り上げたい。
講義においては歴史史料を配布して解釈を意見しあうなど、議論も適宜行いたい。講義内容に対する歴史的理解を深めるとともに、近代史料に慣れ親しみ、史料という根拠に基づく議論を展開する力を養うことも目指したい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A	世界史論	弘末 雅士	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　世界観の歴史学ー広域世界と地元社会
授業の目標概要　人が生活しながら様々な人々と交流するなかで、いかなる世界観や社会観を形成してきたかを検討する。前近代から近現代に至る、広域世界と個別的な地域社会の形成の仕組みを探る。両者の形成に関わる存在に着目することを目的とする。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50297	A	文化人類学 I	里見 龍樹	文化人類学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

旅する哲学：現代人類学への招待
東日本大震災から間もない 2011 年 7 月、若き人類学者は南太平洋でのフィールドワークに赴いた。岩を積み上げて人工の島を築く人々。海を隔てて届いた「ツナミ」。間近に迫った教会の祭典。村の隠された歴史と、一人の女性との出会い。そして、ある日の暴風によって一本の木が倒れたことをきっかけに、事態は思いもよらない方向に動き出す……（教科書『不穏な熱帯：人間〈以前〉と〈以後〉の人類学』のあらすじ）
文化人類学は、人文・社会科学のどの分野にも劣らず、過去 30〜40 年の間に激しい変貌を遂げてきた。グローバル化、ポストコロニアリズム、「文化を書く」、存在論的転回、マルチスピーシーズ民族誌といった呼び名は、文化人類学が経てきたそのような一連の変化を指すものである。本講義では、この分野の古典的理論を踏まえつつ、それらの現代的展開を幅広く扱うことで、研究対象やアプローチにおいて激しく変化しつつある現代の文化人類学を学んでもらう。現代の世界において「人間」とその「文化」について考えるとはどういうことか。講義を通してそのような問題について考えてもらいたい。
なお、講義と並行したリーディング課題として、里見龍樹『不穏な熱帯：人間〈以前〉と〈以後〉の人類学』（河出書房新社、2022 年）を読んでくるという課題を課すので、当該文献を必ず入手すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50961	A	文化人類学 II	土井 清美	文化人類学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
授業の目標概要

自然・身体・宗教の交点
概要：
文化人類学は、政治、宗教、科学技術、芸術、医療など広範にわたるテーマについて、世界のさまざまな場所でのフィールドワークを通して考える学問です。ことに最近の文化人類学は、研究対象の社会・文化現象の特徴を探究するだけでなく、思考の枠組みを開拓する学問となりつつあります。
この授業では、辞書的・通俗的な意味とは異なる「自然」や「身体」や「宗教」と、それらが交わるところのものごと――たとえば巡礼やゲノム編集植物や呪術など――を素材に、人類学的な考え方の基本を学びます。
目標：
授業では、身近な話題から、知ることはないはずの生き方まで、幅広く取り上げます。それらを咀嚼する際の動揺――自分が揺さぶられること――を起点とした知の意義に気づくことを目標とします。

総合科目 C （社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50718	A	法と社会	西土 彰一郎	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	法理論の探究					
授業の目標概要	ある論者の表現を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。本講義は、この意味での法理論を受講生諸君とともに探究することを目的とする。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。 理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探究することは、様々な分野の学生にとっても刺戟的であるように考えられる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	日本国憲法	山元 一	法・政治	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	日本国憲法					
授業の目標概要	日本国憲法について，その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ，その概要について講義を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51337	A	ダイバーシティと法	谷口 洋幸	教養教育高度化機構	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	LGBTQ+と人権					
授業の目標概要	この講義のテーマは「LGBTQ+と人権」です。2013 年に国連が「自由と平等キャンペーン」を立ち上げ、LGBTQ+に関する人権保障に向けた国際的な取り組みが本格化して約 20 年が経過しました。世界では同性同士で結婚して家庭を築いたり、自らの望む性別のあり方で平穏に生活でき国や地域が飛躍的に増えてきました。一方、同性を好きになることが死刑を含む刑罰の対象となったり、性別のあり方があいまいなだけで暴力や殺害の危険にさらされる国や地域もあります。 この講義では国際人権法の視点を取り入れながら、日本や諸外国の LGBTQ+関連の法政策の現状を学びます。主にLGBTQ+に関連する法律や政策、判例などを読み解きながら、ジェンダーやセクシュアリティに敏感な人権保障のあり方を考えます。なお、時事問題等により授業計画には若干の変更が予想されます。ご了承の上、履修してください。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50884	A	比較社会論	ハン トンヒョン	社会・社会思想史	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要	現在、朝鮮半島に存在する 2 つの国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）と大韓民国（韓国）の成り立ちおよび現在の姿をとらえるうえで、日本という国の存在は欠かすことができない。本講義ではそれぞれの社会を、その境界的存在である在日コリアンを糸口に、相互の関係をふまえつつ理解することをめざす。具体的には「映画」を題材に、作品鑑賞とその歴史・社会的な背景・文脈に関する解説、検討を行うことで、この地域のそれぞれの社会を比較しつつ相対化するための道筋を、ともに考えていきたい。南北朝鮮について考えることは、日本について考えることだ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50719	A	日本の政治	鹿毛 利枝子	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目						
授業の目標概要	日本の政治を分析する上での基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50180	A	ジェンダー論【社会科学】	野田 潤	社会・社会思想史	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会学的視点で考えるジェンダー問題 性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。 受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。 またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。 さらには上記のプロセスを通じて、社会学的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51338	A	現代と政治	谷口 将紀	法学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		現代と政治 政治学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、法学政治学研究科・法学部の教員のうち 13 名が、1 人 1 コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。 政治学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2 年生も歓迎しますが 1 年生を念頭に置いて進めます。 講義担当者は、必ずしも専門科目の枠にはとらわれず、自由に講義をする予定です。詳細は ITC-LMS で知らせます。第 1 回については ITC-LMS の「オンライン授業情報」に書き込みます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50962	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		歴史観（マクロ・ヒストリー）の探求 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。 大学受験のために多くの人が世界史、日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	計量社会科学	石田 賢示	経済・統計	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		社会調査研究の考え方と実際 こんにち，さまざまな場で「データ」にもとづく議論，意思決定の重要性が認識されるようになっている。社会調査データはそのうちの主要なものの一つである。グラフや表などできれいに整理された数値や図を見ると単純で簡単であるように見えるが，その背後にはさまざまな手続きや作業が存在する。この授業では，(1)「社会調査」がどのようなものか，(2) 社会調査を実施するためには何をしなければ（しては）ならないか，(3) 社会調査に類する各種調査にはどのようなものがあるか，(4) 得られたデータをどのように整理するか，(5) 社会調査を実践する上での倫理的問題，などを取り上げる。以上の点について理解し，自ら調査を企画・実践するための基礎的素養を身につけることが，本授業の目的である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		経済政策を問い直す 経済政策が常に論争の的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実は逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50698	A	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育・学校心理学 誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と決めつけてしまったりする人が多くないか。もしそうだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくない。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直せるとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	教育臨床心理学	石垣 琢麿	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。 今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51079	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	臨床心理学概論					
授業の目標概要	近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51353	A 1	高等教育論入門	両角 亜希子	教育学研究科	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	高等教育論入門					
授業の目標概要	この授業は、自身の経験を超えて大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51351	A	教育実践・政策学入門	橋野 晶寛	教育学部	月 4	1 年 文科 理科
講義題目	教育実践・政策学入門					
授業の目標概要	（授業の目標） この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 （授業の概要） 教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では教育学部教育実践・政策学コースの教員 12 名が各回を担当し、学校教育、教育行政、社会教育・生涯学習、図書館情報学の研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51352	A	教育学のフロンティア	山名 淳、小国 喜弘、小玉 重夫、片山 勝茂、大塚 類、隠岐 さや香	教育学部	金 5	1 年 文科 理科

講義題目

授業の目標概要

「教育とは何か」「善き人・善き市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いについて、哲学、歴史学、人間学、臨床哲学といった様々なアプローチから考察し、教育についてさらに深く学ぶための足場を提供する。教育学部の基礎教育学コースの教員がオムニバス形式で授業を構成する。各教員の専門分野における最新の研究成果を踏まえて考察する機会を提供することにより、教育学の豊かな可能性や研究の魅力を伝える。

本授業の履修によって、(1)教育のアクチュアルな問題に接近することができる、(2)哲学、歴史学、人間学、臨床学におけるそのための方法や知識を学ぶことができる、(3) 教育と人間形成の問題領域に対して学問に基づいた幅広い視野と関心を獲得することができる。

総合科目 D （人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50298	A	環境物質科学	佐藤 守俊	化学	火 2	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		物質循環と環境化学 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50299	A	生態学	池田 啓、嶋田 正和	生物	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生態学 生物と環境との関わりや生物同士の相互作用を学ぶことで，自然界における人間を含めた生物のつながりを理解できるようになることを目標とする。 生物の生活史や行動といった個体レベルの現象から個体間・種間における相互作用，生物を中心に形成される自然システム（生態系）の仕組みに至る多段階の階層を網羅するように解説する。前半６回は動物を中心とした視点から，後半６回は植物を中心とした視点から，授業計画にあげる内容を解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50778	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	木 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地域開発と地域の動態 地域的不均等発展という言葉があるように，経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく，成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で，中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から，経済成長から取り残された地域の開発を推進し，後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし，こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また，経済面以外の部分を含め，地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から，個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって，これらの点について考えていきたいと思います。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50207	A	社会生態学	小泉 諒	人文地理学	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		都市空間と社会の地理学 本講義では，都市空間と社会への地理学からアプローチを学ぶことで，都市や社会を空間的にみることができるようになることを目指します．講義では，現代社会における諸問題を，人文地理学の視点から扱っていきます．物事の結びつきについて様々な空間スケールを意識して検討し，それらがどのように場所と結びついているのかを考えてもらいたいと思います．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50144	A	地域生態学	鎌倉 夏来	人文地理学	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		産業立地と都市空間の変化 ・この授業では、(1) 産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、(2) 産業立地政策の歴史的展開、(3) 産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。 ・初回を除く毎回の授業開始前の 15 分間を、前回の講義の内容に関する質疑応答の時間とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50699	A	地域生態学	丹羽 雄一	人文地理学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		地球環境・自然災害の地理学的解析 湿潤変動帯に位置する日本では、地震や水害や火山災害など各種自然災害にたびたび見舞われてきた。 大規模自然災害が頻発する現代社会において、災害を引き起こす自然現象の実態や発生要因をとらえることが、第一に重要である。さらに、災害の起こりやすい自然的および社会的要因やそれらの地域性を把握することも防災や減災において重要である。 本講義では、大規模災害を引き起こす自然現象の中でも地震，河川作用や火山活動を取り上げ、それらの発生要因や地域性、および防災や減災に向けた地理学的検討などを概説する。また、これら自然現象を取り上げる際に重要な最近数千年～数 100 万年間に生じた地球環境変動も概説する。 講義においては、諸自然現象を様々な時空間スケールで捉えることを重視する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50779	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50885	A	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登	心理・教育学	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。 本講義で゛は、出発点として「コミュニケーションの機能不全 (うまくいかなくなった)」事態を想定し「と゛のような対応か゛ありうるのか」という問題を経由しつつ、最終的に「心」か゛何なのかということについて各自か゛なんらかの答えにたど゛り着くことを目指して、人の心の理解のために現在まで゛に蓄積されてきた心理学の知見をたど゛るという方略をとる。 具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び゛働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」など゛の視点を持ちなか゛ら、現在まで゛に蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学の成り立ちにも触れる予定で゛ある。解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズ゛ムの解説というよりは、機能的な側面からの解説か゛主で゛ある。 半期の講義か゛終わった後に、受講者か゛人間理解の各自の地平をそれそ゛れのやり方で゛拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点を用いたり、心理学の知見を援用してみたりといったことか゛で゛きるようになることか゛最終目標で゛ある。 心との付き合い方を考えなか゛ら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで゛、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50720	A	情報認知科学	岡田 浩之	心理・教育学	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	知覚・認知心理学					
授業の目標概要	記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。 人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害について考え、これらを通して、人工知能（機械の知性）との対比において、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50086	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	神経・生理心理学					
授業の目標概要	＜目標＞ ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 ＜概要＞ 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50667	A	認知脳科学	幕内 充	心理・教育学	水 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	認知脳科学					
授業の目標概要	ヒトという生物が高度な文明を築くことが出来たのは言語・数学・描画を始めとする記号操作能力を核とする高度な認知機能によるものである。この認知能力を、それを可能にする器官である脳の機能とともに理解する。また、ヒト特有の認知が大脳の器質的損傷によって損なわれた状態である高次脳機能障害についても論じる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	火 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
ヒトの心と行動を進化から考える

授業の目標概要
ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では、前半で進化とは何か、進化と心がどのように関係しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。
一般的な心理学とは異なる側面から、人間の心や行動を理解・解釈する視点を獲得することが期待される。具体的な到達目標は以下の通りである。
・進化生物学の概要を理解する。
・進化という視点から、ヒトの心の働きを理解する。
・人間社会における諸問題について、進化心理学的観点から考察する力を身につける。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50564	A	社会行動論	北村 英哉	心理・教育学	水 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目
社会・集団・家族心理学

授業の目標概要
本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。一方、常に社会との関係性をも意識し、広く人文科学と社会科学をつなげる領域総合的な観点を有することも社会心理学の利点と魅力である。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、経済学や政治学とも密接な関係をもつ隣接分野である。本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。
人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、しかしながら単なる「人間関係のノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものとは異なる。その知見は、実験や調査などの実証研究を土台とし、定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるきわめて専門的な知識である。その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によってより深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていける知識基盤となる。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。また心理学は一般に方法の学問と言われるように、その内容だけでなく、研究方法、知の獲得の仕方に特徴と味わいがあり、物の見方の学習こそが一生用いていくことができる最も応用可能な点である。
心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとりは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ一生気づかずに過ごしてしまう貴重な知見を豊富に含んでいる。とりわけ進化的なパースペクティブや体内物質、遺伝についての知見は、自分自身で気づくには圧倒的に不可能的なアイデアであったり、鋭く実証的な科学的知見であったりする。そもそも統計解析を重視する心理学にあって、人と環境の交互作用は知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。
世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。

スポーツ・身体運動実習

スポーツ・身体運動実習	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する） 第 2 回から第 13 回 選択した種目での対面授業 天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9 号館前の掲示板や ITC-LMS のお知らせをよく確認すること。 以上の授業計画が変更となる場合は ITC-LMS を使って連絡する。 ＜90 分×13 回の授業により不足する授業時間の補填＞ 授業の前後に各 10 分程度、教員への質問や個人練習ができる時間を設ける。
授業の方法	第 1 回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。 基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3 回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。
成績評価方法	出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、雨天時の講義など実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 同一セメスターに 2 コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は 1 コマ目の登録者が優先的に履修できる。 同一セメスターに 3 コマ以上登録することは認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスは ITC-LMS のお知らせに掲載予定である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50145	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50300	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50565	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科
50964	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 HP や ITC-LMS で連絡する） 月 3、火 2、水 2、金 2 のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない（できなかった）場合は担当教員にメールで連絡する。 第 2 回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業だが、一部はオンライン授業となる可能性もある） ＜90 分×13 回の授業により不足する授業時間の補填＞ 授業の前後に各 10 分程度、教員への質問や個人練習ができる時間を設ける。
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。ただし、実習でない部分についてはオンラインで実施する可能性もある。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50032	月 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 3)	実技担当	2 年 文科 理科
50208	月 5	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 1)	実技担当	2 年 文科 理科
50241	火 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 3)	実技担当	2 年 文科 理科
50500	水 1	スポーツ・身体運動実習(メディカルケア 2)	実技担当	2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51123	A	スポーツ・身体運動実習 II	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	集中	1 年 文科 理科

講義題目　スキー・スノーボード実習
授業の目標概要　スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、生涯スポーツとしての知識・技能の獲得を目指す。
実習のための交通、宿泊、傷害保険、リフト代、予防接種/PCR 検査等の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。
受講要件もあるため、受講を検討する者は下記リンク先の「オンラインガイダンスおよび受講要件」を必ず読むこと。詳細は 10/10 開催のオンラインガイダンスで説明する。
https://docs.google.com/document/d/1N3zpkCWjExD0WXoI9hI7chyjgQ8I7QA5/edit?usp=drive_link&ouid=117436257426015575532&rtpof=true&sd=true
1 年生のみ履修可能。
募集定員（予定）：スキー25 名、スノーボード 25 名
（希望者多数の場合は抽選、
スキーはスキーの未経験者～初級者を、
スノーボードはスノーボードの未経験者～初級者を優先）
※A セメスター第 1 週目にオンラインガイダンスを開催する。
内容：授業概要、感染症対応、費用、受講手続き等について
日時：10/10(火) ①12：30～12：50 ②18:40～19:00
（①と②は同内容。いずれか一方に参加すること）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50501	A	身体運動科学	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学
授業の目標概要　運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50087	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　健康スポーツ医学
授業の目標概要　現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50925	A	身体生命科学	佐々木 一茂	スポーツ・身体運動	金 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	身体づくりの科学					
授業の目標概要	身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。 そこで本講では、前半は筋（骨格筋）、後半は脂肪（体脂肪）に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50209	A	情報メディア表現論	酒井 慎一	情報メディア委員会	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	人々の行動に結びつく情報伝達／Communication of information to make people disaster prevention					
授業の目標概要	情報メディアは、情報にかかわる多くの分野にまたがる学際的な分野である。ここでは、情報を作り送り出す側と情報を受け取る側とのコミュニケーションの場やその手段を、情報メディアと呼ぶことにする。この「情報メディア表現論」では、情報をどうやって得るのか、どんな方法で伝達するのか、そのデータをどう解析処理するのか、といった理工学的な研究、および、その結果をどのように可視化するのか、何を見せたら人々に伝わるのか、どんな表現が人々の行動に結びつくのか、その結果、社会がどう変わっていくのか、といった人文社会学的な研究の両方を対象とする。今回は、我々の生存に直結する災害情報（地震発生と火山噴火）を主な題材として、自然災害に直面した時に生じる情報メディアの課題を考えていく。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50886	A	科学技術基礎論 I	工藤 怜之	哲学・科学史	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	人工物の哲学 人工物をめぐる哲学上の議論について学ぶ。特に、大きく分けて２つのトピックを取り上げる。１つ目に、人工物とはどのような存在なのか。例えば、鉄やトラといった分類は、自然界の秩序に従って、共通の性質を持ったものを切り出しているようにも思われるが、イスのような人工物の分類もそれと同じなのか、異なるのか。２つ目に、人工物は善悪（など）の価値を持つのか。例えば、銃や核兵器は、それ自体が悪しき存在と言いうるのか、それとも、それ自体に価値はなく、人間による使用だけが善悪の価値を帰属されるのだろうか。こういった問題に関する現代の哲学者の議論をいくつか紹介し、検討する。					
授業の目標概要	授業では、主として、具体的な哲学論文の内容を解説する予定である。これを通じて、哲学における議論がどのように進められるのかを学び、議論を行うのに必要な姿勢を身に着けることを目標とする。これは同時に、哲学のテキストを読解するのに必要な姿勢を身に着けることでもある。より具体的には、言葉の使い方や議論の論証構造に注意深くなることなどを目指す。哲学における基本概念については必要に応じて説明を行うため、それらについての知識は得られるだろうが、上の「講義題目」で提示したような問いへの明確な「正解」が知識として与えられるわけではない。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50302	A	科学技術社会論	福本 江利子	情報・図形	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 科学技術社会論入門

授業の目標概要

【授業の目標】

科学技術社会論（Science, Technology, & Society）の学術的な基礎や事例に触れ、科学技術と社会の間で生じる諸課題について、自身で考えてみる。

【授業の概要】

現代社会には科学技術を抜きには考えられない課題群がある一方で、科学や技術の知だけでも解決できない社会の諸側面の課題が多くある。そうした課題は、環境問題、医療、災害、格差や差別、デュアルユース、新型コロナウィルスの流行など、さまざまな場面で立ち現れる。

科学技術社会論は、科学や技術と社会との界面において生じる事象や問題を、社会学、文化人類学、歴史学、哲学、政治学、経済学および科学計量学、科学技術政策論などのアプローチを用いて探求する分野である。科学技術社会論の扱う課題群には、必ずしも答えがないけれども現実的に対処しなければならないものが多くある。なかには、時間やコストの制約によって課題解決や意思決定のために適切な専門知を得ることが難しい場合や、専門知をふまえたうえでの社会的判断に論争がある場合もある。議論や対話を続けること自体に意義があるもの、さらには問いの枠組みや前提自体を問う必要のあるものもある。また、近年では、SNS の普及のように過去にはなかった要素も出現している。

本科目では、科学技術社会論におけるさまざまな事例を通して、科学的合理性と社会的合理性、「固い」科学観や作動中の科学、科学者の社会的責任、科学的助言、科学と社会、信頼、科学コミュニケーション、法と科学、事前警戒原則などのテーマを扱う。授業の中で、科学技術社会論のものの見方に触れ、物事を所与のものとせず、健全な懐疑や多角的視点をもって自身で考えてみることが期待される。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51332	A	現代工学概論	川中 孝章、吉田 英弘、鶴岡 慶雅、山本 晃生、横関 智弘、岡本 晃充、廣井 悠	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 工学概論

授業の目標概要

工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅広い。一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。

本講義では、現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ 2 回ずつ講義を行い、初回は専任教員による学術面からの講義、2 回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全 13 回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51316	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 四力学とデザイン入門～デザイン×キカイ

授業の目標概要

機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は，機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計する技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この 2 つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。

講義は「デザイン」の観点から機械工学科で教育・研究されている様々なトピックスを学ぶ。四力学の材料力学（ザイリキ）・熱力学（ネツリキ）・流体力学（リュウリキ）・機械力学（キリキ）、ロボティクス、モビリティ、レーザ、ヒト、カンセイ、プロセスなどをキーワードに

また、新規事業創出の考え方の概略を学び、自分の中のモヤモヤをアイディアに変えていくワークショップを行う。具体的には、「アナロジー思考」によるアイディア発想方法や「リーン・スタートアップ」によるアイディアの磨き方を実践的に学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51322	A	現代工学基礎 I	川嶋 健嗣	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-

授業の目標概要

物理的，人工的，社会的，どんな対象であれ，そこに望みの機能を工学的に実現する際，
1）対象で生じる物理現象のモデリングと解析，
2）計測による物理現象の本質の情報化，
3）情報処理と制御による所望の機能の最適な実現
4）情報の認識と実世界の理解，
が重要となる．本講義は，駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする．具体的には，以下の各項目に関し，最先端の事例を交えつつ講義する．

1)「物理情報システム」
物理系を用いたコンピューティング
近年の人工知能（AI）の進歩に見られる社会の一層の情報化は，情報通信やコンピューティングの物量を劇的に増大させ，従来技術の限界を克服に向け，新たな形で物理を活用するコンピューティングの創出が期待されている．大学初年次までに学ぶ数学や物理学とコンピューティングの先端研究の密接な関わりを，具体例とともに学修する．

2)「計算機の基礎」
Society 5.0 を支える計算機科学
高度情報化の進展する昨今の社会では，物理世界と情報世界を橋渡しする高品質な計算機の存在は必要不可欠となっている．一言で高品質といっても，性能や応答性，消費電力・信頼性など様々なトレードオフ関係がある．計算機の三大要素である「CPU」「オペレーティングシステム」「プログラミング言語」を中心として，計算機科学の基礎を概説する．近年の潮流であるドメイン固有設計の考え方を交えながら，最適な計算機の構成方法について学修する．

3)「制御の基礎」
動きを設計する制御工学
対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御工学は，機械，電気，情報通信，生物などへ応用可能な横断的学問である．本講義では，力学系，電気回路やロボットなどの物理システムを例として，制御において重要となるモデル化，システムの応答，およびフィードバック制御の基礎について説明する．

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60214	A 2	現代工学基礎 II	梅田 靖	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　デザイン思考によるイノベーション入門

授業の目標概要

イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4 つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。

本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。

手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベーティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。

演習課題は、2015 年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016 年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017 年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018 年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」、2019 年度は「卒業後のキャリア形成に向けたスキルアップに役立つ製品/サービス」、2020 年度は「コロナ禍の中で、寂しい一人暮らしの学生が救われる方法」、2021 年度は「ポストコロナにおける私の明るい生活を実現するための方法」、2022 年度は「大学生の健康を増進する製品/サービスの提案」であった。今年は何が出てくるか？

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51321	A	現代工学基礎II	沙川 貴大	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	物理をエンジニアリング 物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？ この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の４つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 １．ナノサイエンス － オングストロームの世界を操る ２．超伝導 － 量子の世界からエネルギー革命へ ３．光の物理学 － 光と原子の物理学―レーザーで原子を冷やす ４．理論物理学の挑戦 － 基礎方程式の力				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51333	A	社会システム工学基礎II	羽藤 英二、柴崎 隆一	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	人間社会と交通システム 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51315	A	社会システム工学基礎II	小泉 秀樹、中島 直人	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	TOKYO: 東京の都市計画 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51330	A	総合工学基礎II	石川 顕一	工学部	火 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	核科学応用概論 現代の科学技術を支える基盤として、原子核、放射線、光の科学が欠かせません。 本講義では、これらの物理現象の基礎を説明したのち、これらを応用したシステムの代表例である原子力、核融合、医療機械について解説します。2050 年カーボンニュートラル実現やグリーントランスフォーメーションの推進、エネルギー安全保障、そして生活の質向上の観点から、これらの技術が世界的に注目されています。 さらに、気候変動への関心が高まる中、それを取り巻くエネルギー問題について科学技術の観点から掘り下げていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51318	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		航空宇宙工学 ―社会を豊かにする総合工学― "重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51319	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－ 周囲の環境に適応しながら生命を維持し，伝えていくのが生体現象の本質であり，その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です．最先端の医療では，工学技術が重要な役割を果たしています．本講義では，生体現象を情報，物質，エネルギーの流れの視点から説明し，工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51334	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 本講義は工学部全体として、環境･エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境･エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システム的双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51329	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		エネルギー資源論 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51328	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～

授業の目標概要　人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の７割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。
例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。
この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術ついて包括的に学び、その方向性を論じる。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51339	A	看護学概論Ⅱ	仲上 豪二朗、麦田 裕子、 高橋 聡明、阿部 麻里	医学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナルー
授業の目標概要　高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。
本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60215	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　農業生産学概論
授業の目標概要　人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、畜産の環境負荷、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では、1）世界の農業システムはいかなる座標軸（生産方法や営農形態）の上で多様化してきたか、2）そこで展開してきた技術発展の生態学的・社会的必然性とは何か、3）食料供給網（フードサプライチェーン）の複雑化とグローバル化は農業をどのように変えてきたか、といった切り口から、これらの諸問題を概観する。その上で、あらためてアジア稲作の持つ意味やアフリカ農業の発展方向について考えてみたい。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51345	A	放射線環境科学	田野井 慶太朗、小林 奈通子	農学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人たち間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。なお、この講義は「福島復興学（仮称）」の支援により現場の方の話を聞く機会など設けています。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51350	A	教育心理学の世界	清河 幸子	教育学部	木 5	1年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		教育心理学の世界 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50301	A	情報メディア伝達論	永石 尚也	情報メディア委員会	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		情報メディア伝達論――メディアとしてのデジタル・プラットフォーム、その市場・法の秩序形成 本講義では、下記の能力を取得することを目標とする。 (1)現代社会の情報伝達過程において大きな位置を占める各種デジタル･プラットフォームの機能を正確に把握する能力、及び、 (2)プラットフォーマー類型ごとにそれぞれが抱える【A. 法的課題と（法）規制の現状】を踏まえた、【B.（自主規制的／共同規制的／国家規制的……）各種の取り組みの評価】と【C. 今後の展望／評価】について、法的観点から分析する能力。 ※なお法学に関する前提知識は要さない。ただし、不明箇所については折に触れて調べるとともに、事後に改めて的確に検索することができるように知識を保持しておくことのみ求める。 ※ 随時、情報法・情報政策の動向についてのレクチャー（ゲスト講師含む。）を行なう予定である。				

総合科目 E （物質・生命）

振動・波動論	開講区分	A

授業の目標・概要

音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．
音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．
たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．
また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない．
このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．
その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．
主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある．

1. 序論
2. 1 自由度系の振動
  ・単振動
  ・減衰振動
  ・強制振動，共鳴，Q 値
  ＊パラメーター励振
  ＊簡単な非線形振動
3. 連成振動
  ・2 自由度系
  ・基準振動，うなり
  ・N 自由度系
4. 1 次元の波動
  ・弦，弾性体，気柱
  ・縦波と横波
  ・波動方程式
  ・反射と透過
  ＊波のエネルギー
  ＊インピーダンス
5. フーリエ級数，変換の方法
  ・考え方，基本事項，線形性
  ・波束
  ・位相速度と群速度
  ＊不確定性関係
＊6. 2，3 次元の波
  ＊波動方程式
  ＊平面波
  ＊球面波
  ＊水の表面波
  ＊反射と屈折
  ＊干渉，回折

成績評価方法　主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50033	月 1	守田 佳史	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50210	月 5	大川 祐司	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50303	火 2	鈴木 康夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50700	水 5	堀田 知佐	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50966	金 2	山口 哲生	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50721	A	解析力学	菊川 芳夫	物理	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	解析力学					
授業の目標概要	解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50967	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎					
授業の目標概要	相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、 アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	量子論	筒井 泉	物理	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	量子論とは何か：その源泉と現代物理への流れ					
授業の目標概要	本講義では、量子論の幕開けから現代の量子物理学・量子情報科学に至る道筋を概観し、相対性理論と共に現代物理学を支える量子力学が構成された歴史的背景と、その基本的な構成と物理的な意義について、自然なかたちで理解することを目標にしている。古代からの伝統的な自然観に基づいて構成された１９世紀の古典物理学では何が問題となったのか、そしてこれを解決するために、どのような過程を経て２０世紀初めに量子力学が構成されることになったのか、さらにそれから百年を経た２１世紀の今日に至るまでにどのような発展があったのかについて、時代を追って説明を行う。これらの講義を通して量子物理学とは何かを知り、その基礎と根柢にある革新的な自然観をできるだけ正確に習得できるようにしたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50211	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	統計物理学					
授業の目標概要	多数の気体分子を考えたとき，初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると，少なくとも古典力学の意味で，ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう．しかしながら，その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に，運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない．一方で，熱力学は，温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している．このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である．講義では，統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し，いくつかの適用例を通じて、ミクロとマクロをつなぐ方法論とその意義を解説する．特に、相転移の統計力学では、ミクロには同じ構成要素でありながら、マクロには全く異なる熱力学的性質を示す相転移現象の捉え方を楽しみたい。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50304	A	物理科学 II（文科生）	鳥井 寿夫	物理	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		体感して学ぶ物理科学 物理学とは、実験によって確立された一般法則や概念からなる、統一的な知識の体系である。しかしながら、文系、理系にかかわらず、多くの人々にとっては、物理学とはバラバラな知識の集合体で、入試問題のように非常に特殊な状況設定においては適用できても、現実の世界とは無関係であると思われている。このような誤解を解消したい。 この授業では、現代の物理学の体系を俯瞰的に紹介していくような一方的な講義は行わない。その代わりに、物理学上の、特に基本的な概念、法則、および手法を、実際に手を動かして実験し、体感することによって学んでいく。多くは教室や自宅でできる手軽な実験だが、放射線に関するものは物理実験室（KOMCEE East 地下 1 階）での実施を予定している。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50305	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	火 2	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics 化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	化学平衡と反応速度	野本 貴大	化学	水 5	1 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		反応速度論基礎 化学反応を反応速度の観点から定量的に解釈することにより、反応機構を解明することが基礎研究では行われる。また、新材料開発や創薬研究においては反応プロセスの最適化が重要であり、その設計の基本となるのが反応速度論である。本授業では、反応速度論の基礎について講義するとともに、主に有機反応化学・高分子化学に関わるその応用例についても紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50968	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51324	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	物質・生命工学概論					
授業の目標概要	本講義は，工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。物質・材料の探究と開発は，新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では，ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51325	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 晃輔	工学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	物質・生命工学概論 ナノ・機能マテリアル入門					
授業の目標概要	「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで，ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である．大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く，専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい．しかしながら，厳密性を重視した数学による表現が多用されると，高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う．間違って捉えてはいけないのは，数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である．高校物理で出てきた電子の質量は，真空中に存在する“自由な“電子の質量である．この講義では，高校までの講義内容をもとに，学部1年生から理解できるように構成している．”固体中の“電子は，真空中とは異なる質量をもち，動き回っていることを学ぶ．さらに固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し，どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する．この講義を構造化学と相補的に使ってもらえると良いと思います． （履修上の注意のところに学生さんからのコメント掲載，参考にしてください） 以下の項目を具体的な題材として議論したい． 光ファイバー，電子顕微鏡，走査トンネル顕微鏡，半導体レーザ，高速トランジスタ等					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51326	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	野地 博行	工学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	つくるバイオ					
授業の目標概要	工学的視点からみたとき、バイオは自然による分子工学・分子システム工学の粋とみなすことができる。現在の工学では、生体分子に基づく機能性分子や分子システムが創出されている。また、細胞自体も機能性材料と見なすことができ、様々なデバイス・材料の開発が提案されている。本講義は、このようなバイオに対する工学的アプローチを解説することで、従来の分子生物学的視点からは学ぶことができない「モノづくりとしての生命科学」に触れることを目的とする。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50212	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	進化学 生物の研究には、生物を物質として還元的に解析する研究分野の他に、ヒトも含めた生物同士や生物と環境の関係性を研究する分野があります。進化学は主に後者についての興味を扱う学問とされています。進化学では、多様な生物種がどのように生まれたのか？、協力的な関係が成立するためには何が重要か？、DNA と形質の多様性はどのように生まれてきたのか？、男女の違いやそもそも性の存在意義は何か？など、様々な疑問について追求します。一般的に進化学では、「進化機構」と「進化史」の 2 つの柱を研究の基盤とされ、この授業では、それらの研究法とそこから得られた様々な知見について、具体的な生物の例を挙げながら順次説明していきます。 毎回の授業では、系統学、行動生物学、集団遺伝学、分子進化学、生態学、ゲーム理論など、進化学に関連する分野を個別に扱います。各項目は個別に楽しめる授業であり、途中からでも参加が可能です。また、授業全体としては、(1) 過去の授業で学生の皆様から高く評価された項目から始め、中盤以降にそれらを総合的に俯瞰し、進化学の総合的な考え方について説明します。(2) 近年の世界がコロナウイルスの危険にさらされた状況を、進化学の側面から眺めます。具体的には、寄生者と宿主の関係を背景に、ゲノムの変異、自然選択の条件、生物地理学、有性生殖の意義などを総合的に眺め、これらを進化的に考える面白さについて説明します。 生物学を高校で学んでいない方でも理解できるよう、授業の早い段階で最低限の分子生物学の資料を提供し、解説します。また、新しい論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだたくさんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を志す方々にも楽しんでいただきたいと考えています。本授業を通じて、遺伝子・個体・集団のレベルから生物を進化学的に考える面白さを理解していただくことを目標とします。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50306	A 1	現代生命科学 I (文科生、理一生)	坪井 貴司	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	人体の不思議をめぐる旅 生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、 精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60002	A 2	現代生命科学 II (文科生、理一生)	石浦 章一	生物	月 1	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一
講義題目 授業の目標概要	現代生命科学と DNA 【入力必須】 今回の現代生命科学 II は、DNA について講義する予定です。DNA は私たちの今の健康に関係するだけで将来の病気の予測にも大きくかかわってきます。また、環境問題も DNA で解けるものも少なくありません。今回の授業では、DNA を使った最新の科学の現状を紹介します。テーマはバラバラのように見えますが、1 本筋が通っています。高校で生物学を履修していない学生にも丁寧に講義する予定です。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51343	A	分子生命科学	飯野 雄一	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要	分子から見た生命現象 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 5 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50887	A	惑星地球科学 I (理科生)	小久保 英一郎、中本 泰史	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目		惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)				
授業の目標概要		太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50722	A	惑星地球科学 II (理科生)	黒川 宏之	宇宙地球	木 1	1 年 理科 2 年 理科
講義題目		地球惑星科学入門 II ：惑星地球の形成と進化／Introduction to Earth and Planetary Science II: Formation and Evolution of the Planet Earth				
授業の目標概要		惑星地球科学 I ・ II を通じて、我々人類が生活する惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する。惑星地球科学 II では地球がどのように誕生しその姿を変えて来たのかを解説する。地球をその他の惑星と比較しながら理解するため、太陽系やその外の惑星系についても紹介する。／Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Planetary Earth Science II focuses on how Earth formed and how its surface environment changed with time. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51344	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫、廣瀬 敬、狩野 彰宏、遠藤 一佳	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化／Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth				
授業の目標概要		本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源などの地球惑星科学の基礎知識を専門が異なる 4 人の講師で解説する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50888	A	宇宙科学 I (理科生)	諏訪 雄大	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科
講義題目		宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics				
授業の目標概要		宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。/ Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	宇宙科学 II（理科生）	松原 英雄	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目　宇宙の物質循環を理解するために使われる物理・化学・数学 ／
Basics to understand the matter transmigration in the Universe

授業の目標概要　様々な宇宙の現象の中から、特に可視光・赤外線・電波天文学の研究の現場である「宇宙の物質循環」に関係したテーマを幾つか掘り下げて学習する。これにより、大学の 1、2 年生で学ぶ基礎的な物理学・化学・数学が、最前線の宇宙科学（特にスペースからの赤外線天文学）の研究の現場でどのように使われているか、具体的な例を通じて習得し、基礎科学の学習の重要性を再認識することを目指す。
生まれたての星や銀河とその母胎である星間物質、原始惑星系円盤や系外惑星など、赤外線天文学の観測対象について学習するだけでなく、 宇宙飛翔体（天文衛星・探査機）やその運用・データ処理など、研究を遂行するために我々研究者が日々の研究や業務の現場で直面している課題についても紹介する。／
This lecture aims to learn several themes related to ``Matter Transmigration in the Universe", studied with optical, infrared and submm astronomy. As a result, I'll guide students in the first and second years of the university to understand how the fundamental physics, chemistry, and mathematics are used in the field of research.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50970	A	惑星地球科学 II（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　地球惑星科学概論 II

授業の目標概要　地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。
地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅
表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50034	A	宇宙科学 I（文科生）	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　天文学・宇宙物理学の基礎的内容
Introductory Astronomy and Astrophysics

授業の目標概要　宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51346	A	微生物の科学	大西 康夫、原 啓文、丸山 潤一、石井 正治、堀内 裕之、妹尾 啓史、西山 真、山次 康幸、五十嵐 圭日子、野尻 秀昭、古園 さおり	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　微生物の世界

授業の目標概要　微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51347	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅、本多 親子、矢守 航、山次 康幸、伊藤 純一、有村 慎一、樋口 洋平	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		植物の機能とその利用 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51348	A	応用動物科学 II	山内 啓太郎、富安 博隆、桑原 正貴、平山 和宏、内田 和幸、望月 学、伊藤 公一、村田 幸久、角田 茂、中川 貴之、村上 晋、松田 二子、芳賀 猛	農学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、農学生命科学研究科獣医学専攻の教員が講義する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51349	A	海の生命科学	岡田 茂、大久保 範聡、浅川 修一、潮 秀樹	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		海の生命科学（Marine Life Science） 水温、塩分、水圧等が大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトン等の微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（1）海洋生物の有機化学、（2）海洋生物の生理、（3）海洋生物のゲノム科学、（4）海洋生物の食への利用と生理調節作用について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50213	A	生物物理学	石原 秀至	統合自然科学科	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　生物物理学 ー実験から理論までー

授業の目標概要　いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきている。
生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことにより、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。
物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域であり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。
従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧め

生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50702	A	先進科学 II α	市橋 伯一	先進科学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　生命進化概論（アドバンスト理科）

授業の目標概要　「生物学は進化という観点がないと何も理解できない」というのは進化生物学者のドブジャンスキーの言葉である。生物とは自然界で唯一進化する能力をもつ存在である。生物はおよそ 40 億年前に化合物の集まりとして誕生し、その後数億年を経て原核生物、真核生物、さらに多細胞生物へと進化し、ヒトが誕生した。いまや自然界はスケールの異なる無数の生物で埋め尽くされている。なぜ生物は進化するのだろうか？ いかなる仕組みでこんなにも多種多様に進化し得たのだろうか？ どこから来て、そしてどこへ行くのだろうか？ そこにはどんな法則や傾向があるのだろうか？ これらの答えを得るために、今現在も数多くの科学者が研究を続けている。本講義では、これまでに行われてきた生命進化の研究を紹介し、実際に進化の計算機シミュレーションを通じてその研究の一端を体験してもらう。これにより進化という現象を計算機の中に再現できるようになり、生命進化の何が当然で、何が奇跡だったのかを理解できるようになる。

本講義では講義とあわせて受講者に python を使って進化シミュレーションを行ってもらう。シミュレーションにはプログラミング技術が必要であるが、意欲さえあればこれまでの経験は問わない。必要な知識は授業中に身につけることができる。進化という現象は生物学を学ぶだけではなく、最適化のアルゴリズムとしても、そして私たち人間の特性を知るためにも重要な知識である。生物の知識の有無や理系文系を問わず意欲のある受講者を歓迎する。

なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学の基礎学力の確認と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号を発表する。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50971	A	先進科学IV α	加藤 英明	先進科学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　構造生命科学概論（アドバンスト理科 IV）

授業の目標概要

我々ヒトは約 2 万種類の遺伝子を持っており、遺伝子によってコードされたタンパク質は驚くほど多様な機能を発揮する。例えば我々が眼で物を見ることができるのはロドプシンと呼ばれる膜タンパク質が光を受容し、その情報を細胞内に伝えるためであり、我々が記憶や情動といった複雑な脳機能を発揮するのは、元を辿ればカリウムイオンチャネルやナトリウムイオンチャネルといった膜タンパク質が適切なタイミングで特定のイオン種を細胞内外へ輸送するためである。しかし、タンパク質が「光を受容し、その情報を細胞内に伝える」とは一体どういうことだろうか。タンパク質が「適切なタイミングで特定のイオンだけを輸送する」とは、原子レベルで考えた時に一体何が起こっているのだろうか。化学的に見ると「20 種類のアミノ酸が連なった鎖」に過ぎないタンパク質がこれだけ多彩な機能を示すのは、タンパク質がそのアミノ酸の種類や並び方によって特定の立体構造に折り畳まれ、その複雑な形に応じて機能を発揮するためである。タンパク質の複雑な機能を理解するためにはその形を理解することが肝要であり、それを可能としてくれるのがタンパク質立体構造解析であり、構造生物学（構造生命科学）である。本講義では、タンパク質立体構造解析の手法の中でも、その手法開発や関連研究について 20 以上のノーベル賞が送られている X 線結晶構造解析、クライオ電子顕微鏡法に焦点を当て、その原理や実例を紹介する。さらには、タンパク質の構造から一体どういった情報を読み取ることができるのか、タンパク質の構造情報を用いることで一体何ができるようになるのか、タンパク質エンジニアリングや創薬などを例に交え、講義と簡単な演習を行う予定である。また、時間が許せば Alphafold2 をはじめとした、近年開発の進んでいるタンパク質構造予測手法についても紹介を行う。

なお、受講者数を 20 名程度に制限するので、ガイダンス時に生命科学や生物物理への興味と学習意欲に関する調査を行う。その結果、1 週間以内に、第二回以降の受講対象者の学生証番号をアドバンスト理科のホームページに掲載する。

総合科目 F （数理・情報）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50723	A	数理科学概論 I (文科生)	小木曽 啓示	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 I 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50307	A	数理科学概論 II (文科生)	大島 芳樹	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数理科学概論 II（文科生） 文科生向けの，行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが， 担当教員によって順序は異なることがある．この科目では「数学 II 」で扱う内容を前提とするが， 基礎科目「数学 I 」で扱う内容は前提としない． ただし，項目 3 においては「数学 I 」の関連する 内容を理解しておくことが望ましい．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51323	A	数理工学入門	高安 敦	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		数理工学入門 情報の伝達にはその効率性や信頼性が要求される。情報理論とは、情報伝達のために必要な効率の限界の導出・具体的な符号化法の提案などを含む分野であり、数学的には確率・統計と密接な関わりがある。さらに、数理工学の様々な分野の土台になる理論であり、機械学習・情報セキュリティ・画像処理・経済学など様々な分野に繋がる。本講義では、情報理論の基礎を学びながら、データ圧縮や情報セキュリティを中心にその情報理論の応用について説明する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50308	A	統計データ解析 I	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		データサイエンス入門 統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50703	A	統計データ解析 I	増田 弘毅	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目 授業の目標概要		統計・データサイエンス入門 受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50972	A	統計データ解析 I	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		統計データ解析 I				
授業の目標概要		統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．				

図形科学A	開講区分	A

授業の目標・概要
3 次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり.
1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線）
2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法）
3. アセンブリ・正投影図面
4. リンク機構とモーションの表現
5. レンダリング（透視投影、色彩、テクスチャー、陰影）

成績評価方法
出席、レポート（実習課題）、期末試験によって評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　3D-CAD で学ぶ図形科学入門
著者(訳者)　横山ゆりか，金井崇，舘知宏，三木優彰 共著
出版社　サイエンス社
ISBN　978-4-7819-1555-5

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50068	月 2	奈尾 信英、早川 大地	1 年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2 年 文科 理科
50096	月 3	早川 大地、奈尾 信英	1 年 文科 理一(6,12,19,36-37) 2 年 文科 理科
50249	火 2	吉岡 陽介、三木 優彰	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50365	火 3	三木 優彰、吉岡 陽介	1 年 文科 理一(10,15,21,26) 2 年 文科 理科
50618	水 3	舘 知宏、柏原 賢二	1 年 文科 理一(5,11,14,23,35) 2 年 文科 理科
50643	水 4	柏原 賢二、舘 知宏	1 年 文科 理一(8,27-29,33) 2 年 文科 理科
50708	木 1	横山 ゆりか、山下 典理男	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50758	木 2	山下 典理男、横山 ゆりか	1 年 文科 理一(13,32,34,38) 2 年 文科 理科
51002	金 3	田中 一郎、金井 崇	1 年 文科 理一(18,20,22,25) 2 年 文科 理科
51036	金 4	金井 崇、田中 一郎	1 年 文科 理一(1-4,9,24,31) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50214	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	基礎統計					
授業の目標概要	統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51081	A	基礎統計	河合 玲一郎	経済・統計	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	統計学入門					
授業の目標概要	本講義では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、データ解析・統計学の考え方と実際について、その基本事項を解説する。対象は文理を問わない。専門学部で諸科学を学ぶ際に特に重要な、確率分布（＝現象のモデル化)、独立同一分布性（＝同一条件の下での繰り返し実験)、統計的推測（＝データから母集団への推論）の考え方を理解することに焦点を当てる。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50309	A	統計分析	大竹 洋平	経済・統計	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	応用としての統計					
授業の目標概要	本授業では、基礎統計を学び終えた学生を対象として、応用としての統計学を学びます。自然科学をはじめとして、教育学・心理学なども含めた社会科学など、様々な科学分野に応用可能な統計分析について考察し、他分野に渡る統計学の応用可能性について検討できることになることを目指します。 記述統計学の復習から入り、推測統計学へと進みます。自然科学をはじめとした多くの学問に共通する「分散分析」の手法を学ぶことを目指して授業は進めていきますが、そのために必要な統計科学の諸知識を学んでいきます。 記述統計学としては、データの可視化や要約統計量を確認した上で、変数間の関係を表す相関や回帰の考え方を学び、さらには因果効果についても考察します。 推測統計学としては、母集団と標本の考え方から始め、推定論・検定論について学んでいきます。具体的な統計手法としては、t 検定から、一元配置分散分析、二元配置分散分析（繰り返しのない、繰り返しのある、場合によっては、混合計画）へと進んでいきます。 終盤では、実験実施者として、統計的分析の際に注意すべき点についても考えていきます。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50704	A	統計分析	松浦 峻	経済・統計	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	多変量解析の基礎					
授業の目標概要	本科目では、「基礎統計」を履修済みの学生あるいは同等の内容を修得済みの学生（例えば、「入門統計解析」（倉田博史・星野崇宏 著、新世社）の第 8 章までの内容をひと通り理解しているなど）を対象に、多変量データに対する統計解析手法の基礎的な内容について講義を行う。具体的には、回帰分析、判別分析、主成分分析、数量化Ⅲ類、因子分析、正準相関分析、多次元尺度構成法などの基本的な多変量解析法を取り上げる。					

アルゴリズム入門	開講区分	A

授業の目標・概要

コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。
本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングをを通して習得することです。

成績評価方法

試験および演習課題の成績によって評価します。
試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。

教科書

次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名 Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ
著者(訳者) 森畑明昌
出版社 東京大学出版会
ISBN 978-4-13-062458-9

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50070	月 2	加藤 弘之	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50155	月 4	伊知地 宏	1 年 文科 理一(8,10,15,17) 2 年 文科 理科
50184	月 5	伊知地 宏	1 年 文科 理二三(6,8,12-15,17) 2 年 文科 理科
50215	月 5	森畑 明昌	1 年 文科 2 年 文科 理科
50248	火 2	千葉 滋	1 年 文科 理一(12,19-20,32) 2 年 文科 理科
50310	火 2	森 純一郎、山肩 洋子	1 年 文科 2 年 文科 理科
50546	水 2	田中 哲朗	1 年 文科 理一(9,25-26,29) 2 年 文科 理科
50641	水 4	山口 泰	1 年 文科 理一(1-5,7,35) 2 年 文科 理科
50757	木 2	地引 昌弘	1 年 文科 理一(11,16,37,39) 2 年 文科 理科
50867	木 5	塩谷 亮太	1 年 文科 理二三(1-3,5,7,9-10,16,24) 2 年 文科 理科
50911	金 1	馬場 雪乃	1 年 文科 理一(21-22,30,36) 2 年 文科 理科
50926	金 2	塚田 学	1 年 文科 理二三(4,11,18-23) 2 年 文科 理科
51001	金 3	羽山 博	1 年 文科 理一(13,24,31,33) 2 年 文科 理科
51037	金 4	金子 知適	1 年 文科 理一(6,14,23,34) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51335	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦	工学部	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	情報・システム工学概論					
授業の目標概要	近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51320	A	情報システム基礎II	三田 吉郎	工学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	わかる電子回路					
授業の目標概要	電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51317	A	情報システム基礎II	國吉 康夫	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	ロボット・AI・VR と人間 / Robots, AI, VR and Human					
授業の目標概要	人間の特性やメカニズムの理解に基づいて人工システムを構築することで，人間の機能や能力を部分的に再現・代替・拡張する，あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援する．ロボット，ＡＩ，ＶＲの研究開発はいずれもこの方法論を共有し，相互に関連し，様々に融合しつつ発展している．これらの基本原理，人間との関係，最新の研究や応用，今後の方向性について，各分野の最先端研究を担う教員が解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51314	A	モデリングとシミュレーション基礎II	渡邉 健治、長山 智則、高橋 佑弥、下園 武範	工学部	木 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	力学で解く自然災害					
授業の目標概要	地震，津波，洪水，台風，高潮など，我が国は世界的に見て自然災害の多い国である．多くの被害を出す大規模災害にも頻繁に見舞われてきたが，一方で自然現象の力学を理解・制御する工学を発展させることで，被害を食い止めようとしてきた． 本講義では，圧倒的な力を持つ自然現象とそれに伴う被害を人類がどのように理解・解釈し，工学モデルを築き上げてきたか，また依然未解明な問題にどのように取り組んでいるか，工学部社会基盤学科の教員が解説する．構造被害，地盤災害，沿岸災害に関連する力学数理モデリングならびにシミュレーション技術の発展について講義し，実社会の防災への適用の現状を解説する．					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51327	A	モデリングとシミュレーション基礎II	中山 哲	工学部	金 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目	化学情報とシミュレーション					
授業の目標概要	社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。 また、計算化学・理論化学の基礎を学び、演習を通して、課題解決に向けての具体的なアプローチの仕方について学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51331	A	モデリングとシミュレーション基礎 II	鳥海 不二夫	工学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
経済物理・金融情報学・計算社会科学

授業の目標概要
現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し，新古典経済理論や金融工学，社会学では説明の付かない現象が数多く観察される．それに対して理工系の知見を適用して，社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する．この講義では，そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに，社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える．
※履修人数制限 20 人
※講義は集中講義にて行う．(2023 年 12 月 27 日(水),28 日(木)を予定)
※受講希望者は 10 月 2 日(月)までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと
https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51378	A	社会を先導する化学システム工学	伊與木 健太	工学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

化学システム工学科の教員が、持続可能社会を創るための化学を、基礎から分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。
【環境・エネルギー分野】
・計算化学から見た触媒と環境問題
・環境問題を解決するナノ空間材料
・電気化学、材料科学、そして社会
・超臨界からグリーンケミストリーへ
【医療分野】
・分子から見たバイオと未来医療
・Simulation for chemical/drug manufacturing
「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には化学システム工学科研究室見学会も企画します（参加は自由です)。
*****
このゼミは 10 月 3 日(火)6 限の工学部合同ガイダンスならびに 10 月 5 日(木)6 限の化生系合同ガイダンスに参加予定です。いずれもオンライン開催です。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
*****

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51455	A	リベラルアーツとしての工学：工学の歴史・現在・未来を俯瞰するオムニバス講義	戸矢 理衣奈、松永 行子、菅野 裕介、石井 和之、野城 智也、川添 善行、志村 努、吉川 暢宏、平本 俊郎、今井 公太郎、芳村 圭、本間 裕大、池内 与志穂、枝川 圭一、小林 康夫	生産技術研究所	火 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

工学が社会そして人間をも大きく規定する現代、工学はエンジニアだけではなく社会全体で共有し、考えるべきテーマである。そもそも、工学にまつわる意思決定にはエンジニアのみならず様々な社会的立場の者が関与している。
本講義では工学の主要領域にて先端研究に携わる研究者が、オムニバス式に講義を担当する。専門領域の過去、現在、未来を踏まえつつ、人間や社会との関係性を考えるうえで焦点をなす研究や事例に着目し、数式を基本的に使わずに講義を実施する。
教養学部 1-2 年生が文系理系を問わず、人間・社会との関係性のなかで総合的に工学を学び、社会を構成している工学の発想に接することで、未来を拓くための基盤となる知見を得るとともに俯瞰的な視点を涵養する機会としたい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51388	A	惑星科学のフロンティア	瀧川 晶	大学院理学系研究科	火 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

我々は，太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる．それは，太陽系では地球だけが海や温暖な気候を有するからだろう．そのような生命にとって快適な環境はどのようにもたらされたのか？また，太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では，理論・室内実験に加えて，太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている．本講義では，この分野の世界をリードしている科学者が最先端のサイエンスを講義する．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51386	A	UT チャレンジャーズ・ギルド B	廣瀬 明、 永綱 浩二	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。

まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。

※受講人数：10 名
※開講場所： 駒場 KOMCEE 3 階 K301 号室
受講を希望する学生は、永綱（t-ngtna@g.ecc.u-tokyo.ac.jp） までメールで申し込みこむこと。(希望者多数の場合には抽選
ガイダンス/ Guidance：
合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加する。
個別ガイダンスは 10 月 10 日(火) 18:45～から KOMCEE K301 教室で行う。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51411	A	異物？	伊藤 徳也、白 佐立	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

生体には異物に対して激しく反応し、これを排除する働きがある。Covid-19 に罹患したひとは誰でもこのことを体感しただろうし、そうでなくても身近にそうした実例を目の当たりにした人は多いに違いない。またウィルスの蔓延を前にして、小はマスクを着用し、大は国境を閉ざすといった仕方で、そうした異物の侵入を防ぐ行動が広く推奨され、そして受け入れられてきた。感染学的な場面に限って言うなら、そうした行動の実効性を否定することは難しいだろう。ただ問題は、われわれが数年にわたって刷り込まれてきたこの文字通り身体的なロジックを、われわれが異なった場面に無自覚に拡大適用し、あるいはわれわれ自身のひそかな傾向を肯う口実として使ってはいないかという点にある。自明に思われる生体と異物の関係にも、背後には自己と非自己を区別するための複雑な仕組みが存在する。ましてやこれを社会集団という水準で考えるとすれば、そこではむしろ異物が結果として析出されるような、同質性の形成こそがむしろ問題になる。異物であるような何かがあるというよりむしろ、異物を同定し、さらには作り出すカニズムがあるのだ。そのため近代化といった大きな変化のなかでは、何が異物であるかが必ずしも自明ではなくなるということが起きる。加えて言えば、異物は必ずしも否定的であるばかりではない。とりわけ文化的な事象においては、異物が文化を停滞から引き出しその変容へと向かわせる、肯定的・積極的な役割を担うこともある。本講義ではこうした「異物」の様々な側面に、文理双方の教員が自らの専門分野から照明をあてることで、各々がそれらを手掛かりに、この概念について自身の見方を培うことを目指す。

---

10 月 04 日　新蔵礼子（定量生命科学研究所・教授）
10 月 11 日　宮崎徹（一般社団法人 AIM 医学研究所・所長）
10 月 18 日　岡田泰平（大学院総合文化研究科・准教授）
10 月 25 日　安藤礼二（多摩美術大学・教授）
11 月 01 日　高谷幸（大学院人文社会系研究科・准教授）
11 月 08 日　映画『異物-完全版-』上映
11 月 15 日　宇賀那健一（映画監督　株式会社 Vandalism 代表取締役）
11 月 29 日　井芹真紀子（教養学部附属教養教育高度化機構・特任助教）
12 月 06 日　酒井康行（大学院工学系研究科・教授）
12 月 13 日　山次康幸（大学院農学生命科学研究科・教授）
12 月 20 日　楡井誠（大学院経済学研究科・教授）
12 月 27 日　村上克尚（大学院総合文化研究科・准教授）
01 月 10 日　中野公彦（生産技術研究所・教授）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50705	A	Introduction to Japan in East Asia	前島 志保、KUHN FELIX	PEAK 前期	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program.
The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture.
教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行うレクチャー・シリーズです。教養学部英語コース（Programs in English at Komaba/PEAK）の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回授業にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51408	A	現代の数学 ー その源泉とフロンティア ー	小木曽 啓示	数理科学研究科	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。
今回は,講義順に吉野太郎先生による「情報幾何入門」、權業善範先生による「代数幾何学に現れる可換代数の有限生成について」、佐々田槙子先生による「「確率」を通して、現代数学の魅力を知ろう」、逆井卓也先生による「絡まりと引っかかりの数学」の 4 講義（各講義 3 回）です。（詳細は計画欄に記載しました。）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51383	A	海研究のフロンティア II	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。
講義に関する追加情報は、以下に記載されます。
http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51373	A	ノーベル賞に学ぶ物理工学	芝内 孝禎	工学部物理工学科	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのにいい機会になると考えられる。そこで、過去のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51412	A	教養学部生のためのキャリア教室	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

国内外で活躍している各界の社会人をお迎えし、自身の進路選択、仕事の内容、人生の転機や悩み、生き方をお話いただくオムニバス形式の授業です。多様な価値観や進路選択を知ることで、グローバル化や超高齢化、高度情報化などの変化にさらされる現代で柔軟に自らのキャリアを形成するための基礎、考え方を学びます。
ゲストスピーカーは企業、官公庁、大学・研究機関、国際機関などから多様な幅広い年代の方を予定しています。講義を聞く時間だけでなく、ゲストへ質問する時間や、受講生同士で議論する時間、主体的に自分のキャリアや生き方について考えるためのワークショップもありますので、積極的に参加することが期待されます。
すでに具体的に進路を定めている人はもちろん、「社会人ってキツくて大変そうだけど実際どうなのだろう」と仕事と生活について話を聞いてみたい人、「何をやりたいかわからないけれど進学選択の際に困らないようにとりあえず高い点数を取っておこう」と考えるのを先延ばしにしている人も歓迎します。専門課程に進む前に自分のこれからについて考えてみましょう。
過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/）で確認することができます。
授業関連図書：標葉靖子、岡本佳子、中村優希編『東大キャリア教室で1年生に伝えている大切なこと：変化を生きる１３の流儀』東京大学出版会, 2019 年

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60216	A 2	経営工学のすすめ	川中 孝章	工学部	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

皆さんの中には、理系に進んだけれど文系分野にも興味がある。文系に進んだけれど理系分野にも興味があるといった人がいるのではないでしょうか？私も高校時代、数学と社会が好きでした。経営工学は文理融合の分野です。経営学、経済学を中心とした社会科学の諸問題を、科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決することを目指しています。
本講義では、経営工学のベーシックな理論を中心に解説します。さらに、最新の研究論文にも触れながら経営工学の応用事例を紹介します。取り上げるテーマは以下を予定しています。
・生産管理
・ファイナンス
・品質管理
・人的資源管理、行動科学
・ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント（SCM）
・マーケティング、需要予測
・プロジェクトマネジメント
学際的分野のため、文科、理科を問わず受講することができます。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51366	A	UT-ONE2 ー2024 年度 S セメ講義を共に創るー	長藤 圭介	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

UT-ONE は 2022 年度に始まった 1 年生全員向け Project Debut Stage で、2023 年度は約 90 人が履修しました。
2023 年度 UT-ONE 参加生が、2024 年度の 1 年生をサポートする学生スタッフとなり、より 1 年生に合ったプログラムを運営していきます。それに向け、2023 年度 A セメでは、今年度の実施経験や学びを活かしてプログラムのデザインを一緒に行う UT-ONE2023 参加生向けの講義を集中講義形式で開催します。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51365	A	スタートアップ・トレーニング（A セメ集中講義）	長藤 圭介	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	テクノロジー×デザイン×ビジネスのスタートアップ手法を社会実装を通じて身に着けるソニー社会連携講座のトレーニング・パートです。 自分のテーマを未来の妄想で飛躍させた後にいま取り組むべき課題を定め、自分の頭で考え、手を動かして作り、足を運んで使ってもらう事を繰り返すことで、圧倒的な体験と野心的な未来構想を生み出す新規事業開発の次世代リーダーになります。 ---------- ※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51456	A	医科学研究最前線	武川 睦寛	医科学研究所	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（疾患ゲノム解析、難治性感染症、ゲノム編集、神経筋疾患、ワクチン開発、ロボット手術など）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。 ※開講日時:令和 5 年 12 月 9 日（土）9:15～16:40、および 12 月 10 日（日）9:30～16:40 <12月 9 日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) <12月10日> 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) ※本年度は医科学研究所講堂において対面で行う予定である。 ※ガイダンスは本年度は行わない。					

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51438	A 1	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学研究科	月 1	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51449	A	現代中国法入門 ー未整理資料の整理実習を兼ねて	高見澤 磨	東洋文化研究所	月 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	目標 1, 現代中国法についての基礎知識を身につける。 2, 上記の「基礎知識」なるものが最初から定まっているのではなく、未整理資料や情報の整理の成果であることを理解する。 概要 1, 前半で東洋文化研究所書庫見学、未整理資料整理実習を行う。 2, 後半で教科書を通じて現代中国法を概観する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51385	A	0 から始める Web プログラミング	吉田 塁	工学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】
本授業は、知識 0 の人でも Web プログラミングを身に付けて、自分が作りたい Web システムのプロトタイプ（試作品）を作れるようになることを目指します。
Web プログラミングに必要な言語やフレームワークを学びつつ、自分たちが作りたいサービスをどのように実装していくのかを段階的に検討していきます。特に第 2 回から第 7 回では、Web プログラミングに関連するコンテンツの概論を伝え、授業後に各内容に関する動画や教材を学んでもらい、次の授業の冒頭でその内容に関する小テストを行うことで知識が身についているかを確認します。
また、特に第 4 回では、最終発表に向けたグループ分けを行います。この時、それぞれの受講者の興味や強みを共有した上で、グループを組んでもらえるよう工夫します。

本当に知識 0 の場合は学習量が多くなりますが、その分得られるものは大きいです。ChatGPT の登場により Web プログラミングの重要性が高まっていますし、学習しやすい環境が整ってきています。Web プログラミングの技術を学生の間に身に付ければ、みなさんの強力な武器になると信じています。是非、技術を磨いて、自分が作りたい Web サービスを作れるようになりましょう！
【授業スケジュール】
第 1 回 ガイダンス（オンライン）
第 2 回 HTML 概論 + プロトタイピング（課題 HTML 勉強）
第 3 回 CSS 概論 + プロトタイピング（課題 CSS 勉強、開発したいサービス案提出）
第 4 回 JavaScript 概論 + グループ分け + ペーパープロトタイピング（課題 JavaScript 勉強）
第 5 回 JavaScript 概論 + ペーパープロトタイピング（課題 JavaScript 勉強）
第 6 回 バックエンドフレームワーク（Flask）概論 + ペーパープロトタイプ発表（課題 Flask 勉強）
第 7 回 データベース（sqlite3）概論 + フロント開発（課題 sqlite3 勉強）（オンライン）
第 8 回 フロント発表 + バックエンド開発
第 9 回 バックエンド開発（オンライン）
第 10 回 ピッチ + 作業
第 11 回 中間発表（オンライン）
第 12 回 作業（オンライン）
第 13 回 最終発表
【教員】吉田塁
東京大学大学院工学系研究科准教授。博士（科学）。専門は教育工学。オンラインにおけるより良い意見交換するプラットフォーム「LearnWiz One」を学生と協働して開発。その有用性が認められ世界最大の EdTech コンペティション GESAwards 2021 の R&D Open Innovation 部門にて世界大会優勝。主に関わった学生が令和 3 年度学生表彰「東京大学総長大賞」を受賞して起業。
【補足】
・この授業では、受講生が互いに学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークで学ぶ機会を多くつくります。
・授業外学習が多くなるため、それを理解した上で履修してください。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51405	A	地域スポーツとインクルージョン	中澤 公孝	スポーツ先端科学連携研究機構	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

人種、性別、身分などによったいかなる差別もなく、誰もが参加できることは、スポーツの根本原則の 1 つであり、インクルージョンの理念とも合致する。一方、ジェンダーの問題など、スポーツにおけるインクルージョンは現代においても大きな課題であり、それは社会の課題も反映している。本ゼミナールでは障害のある人のスポーツ＝パラスポーツを題材に、(1) 障害という多様性を踏まえた、スポーツにおけるインクルージョンの捉え方を考える。また、(2) 国内のパラスポーツを統括する日本パラスポーツ協会、日本スポーツ振興センター、地方自治体からゲストスピーカーを招き、地域でのスポーツ振興におけるインクルージョンの課題と取り組み、対策を考える。そしてこれらスポーツを通した視点から、社会のインクルージョン実現に向けた意識を養うことを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51355	A	日本中世法制史料入門	酒井 智大	法学部	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	日本中世法制史の史料を読解する手ほどきを行う。今回は、約三年という短命に終わりながら鋭い火花を放ち、鎌倉幕府と室町幕府を繋ぐ存在として法制史の観点からも興味深い、建武政権を主たる対象とする。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51372	A 1	The Value of Language - From Multilingualism to Technology (言語の価値 - 多言語主義から技術まで)	HAUTASAARI ARI MARKKU JUHANI、川原 圭博	工学部	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	This seminar explores how language and language use creates and enables the exchange of value in the global society from the historical perspective to the 21st century digital era. We begin with an introduction to the history and philosophy of language, discuss how language shapes the way we think and interact, and how verbal and non-verbal communication influence how we perceive ourselves and other actors in our daily lives. We will then look at the role of language in the creation of economic and societal value, as well as explore the role of technological innovations, including machine translation, automated speech recognition and the Internet in general, that enable and enhance value creation through mediating and transforming language use. This seminar will also introduce guest speakers from the field of language training and linguistics. ---------- ※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51430	A	サイバーフェミニズム	飯田 麻結	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	サイバーフェミニズムの歴史的な隆盛とその代表的な作品・プラットフォームを参照した上で、https://cyberfeminismindex.com/に掲載された文献を中心に、デジタル・テクノロジーとジェンダー、セクシュアリティに関する多角的な視点を獲得することを目的とする。その上で、同時代的な科学技術が身体に関する理解をどのように変容させているのか、具体的な事例とともに批判的に考察する力を身に着けることが望ましい。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51417	A	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成 I	中村 長史	教養教育高度化機構	火 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。 この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。 2019 年度 A セメスターから開講してきましたが、6 期目の開講となります。 具体的な到達目標は、以下の通りです。 ①国際問題の構造や原因を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ②国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ③国際問題の解決・管理における妥協の重要性を説明できる【レポート 1, 2 で評価】 ④国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート 1, 2 で評価】 ⑤国際問題の解決策・管理策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート 1, 2 で評価】					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51466	A	Different dimensions of bilingualism	FACIUS Michael	東京カレッジ	火 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

What does it mean to be bilingual in a globalizing world? Where does bilingualism meet culture, medicine, music, education, and business? This course aims to present bilingualism from different points of view, focusing on the idea of interdisciplinarity between linguistics and other sciences.
It will discuss the world's transition from assimilation to multiculturalism. It will reveal the main definitions of bilingualism, diglossia, and multilingualism. Cases from Japan and Europe will illustrate the differences between three different bilingual-bicultural societies.
One of the lectures will focus on the changes in the bilingual human brain. A separate class with an experimental part will explain the connections between bilingualism and communication through music as a base for innovative research. The participants will have the opportunity to listen to guest lectures regarding the importance of bilingualism in the field of business communication as well as to participate in a workshop on the methods used to teach the Japanese language in a multilingual environment. At the end of the course will be held a workshop on conducting a multilingual anonymous survey and writing a scientific text.
Learning goals
==========
After successfully completing this course, you will
●Have learnt several definitions and classifications of bilingualism
●Be familiarized with specific cases of bicultural bilingualism
●Have basic knowledge about the changes in the bilingual human brain
●Be able to explore new paths in scientific research related to music and bilingualism
●Be familiar with the use of bilingualism in the field of business communication
●Know some methods to teach Japanese language in a multilingual group of people
●Have learnt how to conduct a multilingual anonymous survey
●Be able to write a scientific text

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50379	A	Introduction to earth science	東塚 知己、後藤 和久、角野 浩史、市原 美恵、鈴木 健太郎	PEAK 前期	火 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	This is an introductory course for earth science covering planetary science, ocean science, atmospheric science, solid earth science, and life in the past.						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51463	A	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る＆動く～	高野 明	相談支援研究開発センター	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。 この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。 なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51409	A	全学自由研究ゼミナール (無限次元ヒルベルト空間の初歩を学ぶ)	下村 明洋	数理科学研究科	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	教養学部前期課程 1 年生対象の線型代数学で，線型空間（更に，計量線型空間（内積空間））について学習すると思われる．線型代数学で学ぶ線型空間は，次元によらずに導入される概念を除いて，殆どが有限次元の場合である．この授業では，無限次元ヒルベルト空間（或いは，もう少し一般に，無限次元バナッハ空間）の初歩について，それに関する基礎的な文献を受講生が輪講形式で発表する事によって学ぶ．無限次元のヒルベルト空間やバナッハ空間とそれらに於ける線型作用素の理論は，関数解析と呼ばれる分野であり，フーリエ解析，関数空間論，偏微分方程式論，確率論等を学ぶ際に必須であると考えられる．関数解析は，解析学（微分積分学を発展させた分野）の範疇に属する．現代の解析学では，無限次元の関数空間の知見が不可欠と考えられる．また，量子力学は，数学的には可分な無限次元ヒルベルト空間の枠組みで定式化される．無限次元の有用性や有限次元との違い（難しさ）を理解するのが目標である．この科目では，受講生による日本語での発表形式で行うので，関数解析の内容の理解とともに，発表内容を他の人に説明する能力を身に付ける事も目標とする． この科目の履修には，極限や関数列の一様収束等の厳密な微分積分学の基礎と，学部 1 年レベルの線型代数学の基礎を理解している事が前提である．前期課程科目である事から，ルベーグ積分論の理解までは仮定しない．2 年生を想定して開講しているが，1 年生でも前提とする能力があれば受講可能である． この科目は授業形態の観点から少人数で行うのが望ましいので，履修希望者が多数の場合には，選抜を行う事がある．詳しくは第 1 回の授業で説明するので，この科目の履修を検討している人は必ず第 1 回の授業に出席すること．						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51448	A	朝鮮出兵の海戦記録を読む	黒嶋 敏	史料編纂所	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	豊臣秀吉が引き起こした朝鮮出兵（1592～1598 年）は、日本史側では文禄・慶長の役、朝鮮史側では壬辰・丁酉倭乱と呼ばれ、当時のアジア国際社会に大きな衝撃を与えました。無謀な出兵が失敗に終わった原因の一つに、海上での戦況において日本側が劣勢にあったことが指摘されており、その様子を記した記録に「高麗船戦記」があります。この記録を他の史料と合わせて読みながら、日本側の軍勢の実態を考えるとともに、「高麗船戦記」が持つ史料的な性格を検討することで、史料批判の技術も身に着けていきましょう。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51457	A	「経済安全保障」の基本文献を読む	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

現在の世界は、激動の中にある。
冷戦終結後の約30年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとするWTO協定が、1995年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、それでも残る国や地域の特色を現地で享受させる観光産業が隆盛となった。その間、わが国はこの変化によく対応できず、国際的地位は低下を続けた。
いまや、この基調が大きく変わろうとしている。軍民融合や千人計画、一帯一路などを通じて戦略的な経済安全保障政策を進めてきた習近平体制の中国は対外政策を更に強硬にしてきており、特に台湾をめぐる情勢は日に日に緊迫している。これに対する米国の反発姿勢は、バイデン政権下でますます強まってきた。この米中対立の激化により、既存の国政政治の枠組みが変化してきただけでなく、AUKUS、クワッド、IPEFといった、新たな枠組みが成立しつつある。そして、ロシアのウクライナ侵略戦争という既存国際秩序へのあからさまな挑戦は、さらに大きな不安定要因を形成している。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、深刻な影響が及んでいる。
担当教員（玉井克哉）は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本のルール形成に従事してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしつつある。
担当教員（井形彬）は国際政治・経済安全保障の研究者であるが、経済安保に関する最先端の議論を国内外の政策決定者や有識者と頻繁に行っている。
また、武見綾子准教授（グローバル合意形成分野）が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関（WHO）での職歴も有しており、本年2月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。
このゼミでは、法律と政治という異なる視点から「経済安全保障」について研究してきた担当教員二人と共に、今後の日本の大戦略について議論し、理解を深める機会を提供する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51387	A	考える力を養う ／コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

コントラクトブリッジを基礎から学び、判断力・分析力を駆使し、確率に基づいた最適プレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。
コントラクトブリッジは、カード（トランプ）を使用して行う競技であり、チェス、囲碁、将棋と共に頭脳スポーツと呼ばれている。本講義では、Zoomとオンラインブリッジを組み合わせたオンラインでブリッジの基礎を学ぶ。
担当教員は日本リーグに参加している上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51444	A	作曲・指揮 動力学的音楽基礎論とその実践	伊東 乾	大学院情報学環	火 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

P.ブーレーズと伊東の「スペクトラル・コンダクティング」(1995-2022) 日本語版がようやく上梓されるので これに基づく講義演習 ならびに 一度作ったシステムを 今度は超克してゆくプロセスを扱う。並行して J.カステレ―ド「音楽理論」(フランス・パリ高等音楽院の理論教科書) の 担当者らによる邦訳も出るので 両者を対照しつつ教程を進める予定

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51468	A	私ってだれ？アイデンティティ研究入門 // Who am I? An introduction to identity studies	FACIUS Michael	東京カレッジ	水 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

私ってだれ？哲学や宗教と結びつきの深いこの問いに、アイデンティティをテーマに幅広い学問分野からアプローチする。分野横断的な本セミナーでは、アイデンティティ研究の基礎となる概念を学び、様々な文化的・社会的環境において個人や集団のアイデンティティがどのように形成され、争われるのかを問う事例を取り上げる。さらに、アイデンティティと身体、言語、メディア、テクノロジー、文化、政治、科学との関係を探求する。課題として、自ら選んだアイデンティティに関連するトピックについて学期中にプレゼンテーションを行い、短いエッセイを提出することが求められます。

【学びの目標】

・ アイデンティティを理解し定義する様々な方法に精通する
・ 幅広い学問分野がどのようにアイデンティティ研究を扱っているか理解する
・ アイデンティティと文化、社会、メディア、テクノロジー、身体、政治の関係性を示す具体的なケーススタディを学ぶ
・ アイデンティティを形成する個人的、社会的、制度的、物質的な要因を分析する
・ アイデンティティに関する学際的な思考を実生活や研究に応用する

Who am I? While this question is traditionally associated with philosophy and religion, in this seminar we will approach it from a wide range of disciplines that research identity. This interdisciplinary seminar will familiarize you with basic concepts of identity studies and confront you with case studies that ask how personal and group identities are negotiated and contested in different cultural and social settings. We will explore the relationship between identity and the body, language, media, technology, culture, politics, and science. To pass the seminar, participants will give a presentation of an identity-related topic of their choice and write a short essay.

<<Learning Goals>>

After successfully completing this course, you will

- be familiar with different ways of understanding and defining identity
- understand how a wide range of disciplines approach the study of identity
- have learnt about concrete case studies that demonstrate how identity intersects with culture, society, media, technology, the body, and politics
- be able to analyze personal, social, institutional and material factors that shape identities
- be able to apply interdisciplinary thinking about identity to your own life and research

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51418	A	模擬国連で学ぶ国際関係と合意形成II	中村 長史	教養教育高度化機構	水 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によっ てわずかながらでも良くすることもできるし、さらに悪くしてしまうこともあります。履修者の皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるようになってほしいと考えています。

そこで、この授業では、「模擬国連会議（Model United Nations）」というアクティブラーニングの手法を用いて、国際問題の解決法を考えます。多様な利害・価値観に配慮することの重要性を理解するには体感してみることが早道ですが、模擬国連会議では、一人一人が米国政府代表や中国政府代表などの担当国になりきって国際問題について話し合います。立場を固定されている点ではディベートと同様です。しかし、 相手を論破することで勝利を目指すディベートと異なり、模擬国連会議では合意形成が目的であるため相手の利害・価値観を尊重したうえでの妥協が重要になります。この点を重視し、授業内では対立の激しい議題・担当国を設定して、 ロールプレイとシミュレーションに取り組みます。

具体的な到達目標は、以下の通りです。

①国際問題をめぐる多様な立場（利害・価値観）を説明できる【レポート 1, 2 で評価】
②国際問題の原因について、国際関係論の概念や事例を用いて説明できる【レポート 1, 2 で評価】
③国際問題の解決における妥協の重要性を説明できる【レポート 1, 2 で評価】
④国際問題の解決策について、選択肢を複数挙げて比較衡量したうえで、妥当と考えられるものを説得的に示すことができる【レポート 1, 2 で評価】
⑤国連の資料を自ら調べて国際問題の分析に用いることができる【レポート 1, 2 で評価】

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50567	A	Introduction to Biology	リチャード シェファーソン、小見 美央	PEAK 前期	水 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	This course is designed to provide students with the essentials of biology. Biology = Science of Life. What are we? What is Life? What do living things have in common? What makes us, us? Non-native English speakers are welcome. Consider taking this course if you want to learn Biology in English and interact with English-speaking people.						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51452	A	地震火山史料を読む	加納 靖之	地震研究所	水 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。 この連携研究機構が提供するゼミナールでは、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく。入門的な素材からスタートし、講義の後半では受講生の興味に応じて選択した史料を読みとく。デジタルアーカイブで公開されている史料を活用し、必要に応じて既刊の地震史料集や刊本も利用する。歴史史料を読みとく作業を通じて、必要な情報を抽出し解釈する方法を学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、加納靖之（地震研究所）が担当する。 【目標】 ・歴史学や地震学を背景として、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50633	A	Introductory course in linear algebra	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications. Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics. Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51384	A	グローバル共創型イノベーションプログラム「Innovation for Well-being -GDP を超える世界を創り出す挑戦-」	吉田 塁	工学部	水 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】
私達はみなさんに日本だけでなく世界でも活躍できるようになってもらいたいと考えています。そのような思いを背景に、本授業では、「Innovation for Well-being -GDP を超える世界を創り出す挑戦-」をテーマとして、経済成長のみにフォーカスしない事業の提案を行ってもらいます。
授業を通して、これからの時代に必要不可欠となる、仲間と共創する力、イノベーションを創造する力、国際的な仲間と関係性を創り出す力などを培うと同時に、これからの時代の潮流、日本と他国の社会・経済・環境の現状・未来、そして、国際的な共創活動を通じた自分の新たな可能性への理解を深めることができます。
国連開発計画とシティ・ファウンデーションの共催で、起業家エコシステムの強化を目的に、2017 年にアジア太平洋地域で発足した若年層の社会起業家コミュニティである Youth Co:Lab の協力も得て、世界的に活躍する若手起業家と交流する機会も設けますので、是非積極的に参加してください。
【本授業の特徴】
・本授業は、実践を重視する授業で、課題発見・解決をしてもらえるような仕掛けを多く設けます。例えば、世界の潮流、課題の発見の仕方、課題解決の方法、解決策をビジネスとして成り立たせる方法などを体験しながら学べるワークを授業の中に多く組み込みます。
・本授業では、学生と教員の対話、学生同士の対話から学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークなどアクティブラーニングで学ぶ機会を多く作ります。
・本授業は、全学部生、全大学院生向けに開講するため、新入生から博士学生まで幅広く受講できます。学年が異なる学生との交流の場としても機能させたいと考えていますので、横と縦のつながりを作ってもらえればと思います。
・基本的に日本語で授業を行いますが、中間発表や最終発表では海外の起業家なども呼ぶ予定であることから、英語で発表してもらう予定です。
・Slack を用いて、授業外でも交流できる場を設けます。
【スケジュール】
進捗によって一部変わる可能性もありますが、以下の流れを予定しています。最終回である第 13 回は 2 時間（120 分）の授業実施を予定していること、ご了承ください。
第 1 回 イントロダクション
第 2 回 若手社会起業家との対話（協力: 国連開発計画 Youth Co:Lab）
第 3 回 チャレンジコンセプトデザイン
第 4 回 チャレンジコンセプト発表
第 5 回 ビジネスモデルデザイン
第 6 回 ビジネスモデル発表
第 7 回 グループ分け
第 8 回 事業案のブラッシュアップ & メンタリング
第 9 回 事業案のブラッシュアップ & メンタリング
第 10 回 中間発表
第 11 回 事業案のブラッシュアップ & メンタリング
第 12 回 事業案のブラッシュアップ & メンタリング
第 13 回 最終発表（この日のみ 2 時間）

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51458	A	「経済安全保障」とルール形成戦略	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

現在の世界は、激動の中にある。

冷戦終結後の約30年間、世界経済の基調は「グローバル化」であった。物とサービスの貿易を自由化し、知的財産権の保護水準を斉一化しようとするWTO協定が、1995年に発効した。製造業のサプライチェーンは全世界に延び、各国の国民経済は「フラット化」し、自由貿易の水準をいっそう高めるための自由貿易協定（FTA）が盛行した。その間、わが国はCP-TPPの締結・発効など尽力したが、世界の情勢によく対応できず、経済成長は達せられず、国際的地位は低下を続けた。

いまや、この基調が大きく変わろうとしている。軍民融合や千人計画、一帯一路などを戦略的な安全保障政策を進めてきた習近平体制の中国は、対外政策を更に強硬にしてきており、国内の人権問題に外部から容喙させないとの姿勢を明確にしている。とりわけ台湾をめぐる情勢は、日に日に緊迫している。これに対する米国の強硬な姿勢は、バイデン政権下でますます強まってきた。いまや米中対立は新たな冷戦といわれるまでに激化し、AUKUS、クワッド、IPEFといった、新たな枠組みが成立しつつある。さらに、ロシアによるウクライナ侵略戦争という既存国際秩序へのあからさまな挑戦は、さらに大きな不安定要因を形成している。これに伴って国際経済も大きく変化しており、日本を含む各国の法や企業のビジネスにも、大きな影響が及んでいる。

担当教員（玉井克哉）は法学者であるが、知的財産法や行政法などの分野で、日本全体のルール形成に従事してきた。その立場から、現在の急激な変化を踏まえたルール形成戦略を研究対象にしている。

担当教員（國分俊史）は、企業に対するコンサルテーション業務を長年担当し、その中で「ルール形成戦略」の重要性を強調した草分けとして、経済安全保障に先覚的な多くの企業の要望に応えてきた。その過程で、国内・海外の政治・経済関係の要人と頻繁に接触している。

これに加え、武見綾子准教授（グローバル合意形成分野）が随時参加する予定である。同准教授は、国際的なヘルス・セキュリティと保健政策の専門家であり、マッキンゼーでコンサルタントの経歴や、世界保健機関（WHO）での職歴も有しており、本年2月から、先端研において「グローバル合意形成分野」を立ち上げる、気鋭の研究者である。

このゼミでは、法律と経済・経営という異なる視点から「ルール形成戦略」を手がけてきた担当教員二人と共に、経済の最前線で企業が直面する課題を理解し、「ルール形成戦略」の観点から課題を解決する機会を提供する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51360	A	『世界開発報告』を読む 2023A	森川 想	工学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51419	A	【アクセンチュア×東大】 私たちが今ほしい未来を提言 ―インサイト探求、アイデア創出、アイデア検証、企業への提案まで体験しよう！	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	OpenAI が 2022 年 11 月 30 日に「ChatGPT」を公開すると、すぐに多くの人々がサービスにアクセスし、世界のユーザ数は 4 日後の 12 月 4 日に 100 万人を超え､2 か月後の 2023 年 1 月には 1 億人を突破したと言われています｡ChatGPT は生成型 AI であり、ウェブ上に存在する何十億もの事例に基づいて訓練されているため、小説を書くことも、プログラムコードをデバッグ（プログラム内のバグを見つけて改修）することも、複雑な質問に答えることもできます。また、交わした会話をすべて記憶しているため、回答内容を正したり、以前より詳しく説明することができ、人間と機械との対話を、より洗練された自然なものにします。 すでに一部企業は、ChatGPT をオペレーションやサービスに組み込むための開発や実証実験を行っています。皆さんが社会に出るころには､「ChatGPT がなかった世界にもう戻れない」と思うほど、世の中に浸透したサービスになっているでしょう。 デジタル化が進み、目まぐるしく新商品・サービスが生まれる現代は、“正解がない不確実な世界”といえます。大企業だからといって、必ずしもヒット商品・サービスが生まれるわけではありません。特に、実際にやってみないと成功するかわからない新規事業については、アクセンチュアの調査によると、立ち上げに成功したと躊躇なく言える経営幹部はわずか 6%にとどまっています。 それでは正解がない不確実な世界で、成功する新商品・サービスを生み出すためには、どうすればよいのでしょうか？その答えの 1 つとして、ユーザ視点での課題・インサイト（潜在的な欲求）の見極めと、新商品・サービスを素早く市場投入する仕組みを活用できることが重要です。 私たちアクセンチュアは、世界有数の総合コンサルティング企業として、世界中の様々な企業と一緒に、新しいサービスをビジネスとして実現させてきました。その経験と実績を活かし、本授業では、初学者を対象に、アクセンチュアの現役コンサルタントと共に、新商品・サービスを生み出すプロセスを身に付けることを目的としています。 具体的には、リサーチやインタビューをインプットに課題・インサイトを抽出し、デザインシンキングという手法で“今ほしい未来”の新しいアイデアを生み出します。そしてそのアイデアをもとに簡易プロトタイプ（検証のためのサービス・もの）を素早く作成・検証し、最終発表ではストーリーテリング（ビジネスを「物語」を通して表現する手法）を活用して、実際の企業の方へプレゼンします。 ◎目標 ・大学・企業やユーザの課題をリサーチし、客観的に分析する手法を学ぶことで、インサイトを抽出・深掘りする ・UX（ユーザ体験）､ビジネス､テクノロジーなどの視点を踏まえてデザイン思考を学び、ソリューションを考える ・最適なトライアル版を素早く作り、評価を的確に分析・反映する手法を学び、実践する ・ストーリーテリングをもとに人を説得する技術を学び、発表する ・「私たちが今ほしい未来は何か？」という正解がない「問い」に対して、自分なりの解をみつける技術を学ぶことで、不確実な世の中も楽しめるようになる					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51130	A	ベルカント研究ゼミナール	夏目 張安	学生による全学自由研究ゼミナール	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	イタリア、ベルカント唱法の発声と呼吸法を学び、輝きに満ちた広がりのある声と、表現豊かな歌唱力を身につける。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51407	A	可換環論入門	高木 俊輔	数理科学研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	可換環とは，加法（足し算・引き算）と可換な乗法（掛け算）が定義された集合のことである．整数全体のなす集合や複素数係数の n 変数多項式全体のなす集合がその典型例である．可換環論の起源は，18 世紀後半から 19 世紀初頭の代数的整数論並びに代数幾何学にあるといわれている．現代的な可換環論の始まりは，Emmy Noether が 1921 年に発表した論文の中で，所謂ネーター環に相当する概念を定義したときであろう．その後，Wolfgang Krull は 1928 年に発表した論文の中で Krull 次元を定義し，Krull の標高定理を証明した．さらに Krull は，正則局所環，局所化，完備化などの概念を導入するなど，可換環論の礎を築いた．Krull によって予想された完備局所環に関する一連の予想は，1946 年 Irvin Cohen によって完備局所環の構造定理として結実した．この講義では，20 世紀前半の可換環論のハイライトである，この Cohen の構造定理を紹介することを目標とする．						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51359	A	経済成長とは？ 成長と持続可能性	福田 慎一	経済学部	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	「なぜ経済は成長するのか？」に関する経済学の考え方を、「成長の源泉とは何か」を中心に学ぶ。加えて、日本経済のこれまでの成長や今後の成長見通しに関して考察する。その後、ノードハウス『グリーン経済学』を輪読することで、経済的効率性と持続可能性の問題を勉強する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51473	A	対称群の表現論	松本 久義	数理科学研究科	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	群とは対称性を記述する数学的概念である。「対称群」とは有限集合における置換全体のなす群であるが、これは有限集合の対称性を表す基本的な概念ということになる。 「群の表現」とは群のいろいろな数学的対象における対称性としての現れ方を、線形代数を用いて記述することであるといえよう。この方法論は大きな成功をおさめ数学の多くの分野のみならず物理学などにも影響を及ぼす一大分野が形作られている。 対称群自体は一見単純なもの見えるが、表現を考えることにより極めて豊かな世界を垣間見ることができる。 このセミナーでは群についての簡単な解説から始めて対称群の表現論を目標とする講義を私が行う。聴衆としては数学あるいは数理物理の研究者を志望している学生を想定している。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51415	A	未来の学びを考える 【理論と事例編】	中澤 明子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	小学校から大学まで、教育・学習を取り巻く状況は日々変化しています。2000 年以降、大学では「アクティブラーニング」や「国際化」などの取り組みが多く行われるようになりました。また初等中等教育（小学・中学・高等学校）でも、「アクティブラーニング」や「GIGA スクール構想」などの取り組みが行われています。それでは、未来の学びはどうなるのでしょうか。 本授業の目的は、教育・学習について過去や現在の状況を理解した上で、未来の学びがどうなるかを自分なりに考えることです。また、その過程において、自分たちの教育・学習経験をふり返り、理論や概念と紐づけて位置づけます。それらを踏まえて、最終的には個人あるいはグループで考えた「未来の学び」を発表・共有します。 ・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。 1. 教育・学習に関する理論や定義について説明できる 2. 過去や現在の教育・学習に関するトピックや事例を列挙できる 3. 自分の教育・学習経験を、理論や事例と関連づけて示せる 4. 教育・学習の理論や事例を踏まえ、自分なりの未来（10 年後を想定）の学びのあり方を示せる						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51467	A	Reimagining Gender and Sexuality in East Asia	FACIUS Michael	東京カレッジ	木 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	What is gender? What is sexuality? How can we understand and conceptualise them in the East Asian social context? By focusing on key societies in the East Asian region, such as Japan, China, Hong Kong, Taiwan, North and South Korea, Vietnam and Mongolia, this course introduces students to the field of gender and sexuality. Throughout the course, students will gain an understanding of how gender and sexuality are constructed and consequently unfolded in highly developed, developing and emerging societies and economies in the context of social transformation, modernisation and globalisation. Learning goals ========== By the end of this seminar, you will bea ble to - understand how gender and sexuality are related to and different from each other - understand how gender and sexuality are manifested in the unique context of East Asian societies						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51428	A	植民地主義と性政治	福永 玄弥	教養教育高度化機構	木 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本授業では、「植民地主義と性（ジェンダー・セクシュアリティ）政治」をテーマに、主に東アジアの地域に焦点を当てた学術論文や専門書を読み、参加者に対して脱植民地化・脱帝国化といったプロジェクトへの参与を促す。
東アジアでは 19 世紀から 20 世紀にかけて華夷秩序から「大東亜共栄圏」へと国際秩序が再編された。日本の帝国化とそれにともなう植民地支配をとおして北海道や沖縄、朝鮮や台湾は近代化のプロセスに巻き込まれ、性の政治が日本の帝国主義・植民地主義のプロジェクトにおいて重要な役割を果たした。グローバル冷戦が終焉を迎えた 1990 年代以降、植民地支配を受けた諸地域では脱植民地化に関する議論が盛りあがりを見せたが、敗戦後も脱帝国化が果たされなかった日本ではそれらの議論に応答する声をついにもたないまま、歴史修正主義の跋扈を野放しにしている。
この授業は自由演習科目のため、学生の積極的な参加を重視する。授業では少なくない分量の文献を読み、ディスカッションに参加し、エッセイを執筆してもらう。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51429	A	「ダイバーシティ / Diversity & Inclusion」再考	福永 玄弥	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

近年、経済や政治や文化といったさまざまな領域で「Diversity & Inclusion」が関心を集めている。日本では 2010 年代から「ダイバーシティ」への取り組みが注目され、企業では女性や性的マイノリティや外国人といった多様な人材の「活用」が「ダイバーシティ・マネジメント」というかけ声のもとで進められている。行政や自治体でも、いわゆる「同性パートナーシップ条例」の制定や、防災・減災活動におけるマイノリティ視点の導入などの施策が「ダイバーシティ」言説のもとで推進されてきた。東京大学も 2022 年に「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を定め*、2023 年 4 月には教養学部に D&I 関連授業とセーファースペース（KOSS）を提供する「Diversity & Inclusion 部門」が設置された。「ダイバーシティ / Diversity & Inclusion」の取り組みは、国連が推進してきた SDGs や、近年のフェミニズムや性的マイノリティの人権課題に対する関心の高まりとも親和性が高いようである。しかし、そもそも「多様性の包摂（Diversity & Inclusion）」とは国家や組織に対して、いかなる変化をもたらす、あるいは変化をともなうプロジェクトなのだろうか。もとより「包摂」は「排除」と対概念で、メンバーシップの境界設定をめぐるポリティクスであって、包摂されるメンバーシップには原理的に臨界点がある。とするならば、どのような政治力学によって特定のメンバーが歓迎すべき構成員として包摂され、あるいは歓迎されないモノとして排除されるのか。「ダイバーシティ / Diversity & Inclusion」の取り組みは、このような困難や難題といかに向き合ってきたのだろうか。
この授業では、「ダイバーシティ / Diversity & Inclusion」に関する理論・実証研究を学んだうえで、国連や特定の国家、自治体、大学、企業の関連施策を調査し、批判的に分析してもらう。これらを通して「ダイバーシティ / Diversity & Inclusion」をめぐる近年の国内外の動向や問題を把握し、その課題を乗り越えるための批判的な視座の獲得を目指す。
＊東京大学（2022）「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」
https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400197067.pdf

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51426	A	「茶わんの湯」から科学を考える ／ Lesson from a tea cup	鹿島 勲	教養教育高度化機構	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

時間と空間を超越し、普遍性を追求し、多様性を受け入れ、
学問分野を自由に横断するという、日常生活の中にある茶碗から私たちの挑戦。

==========

普段は特別に意識しない、なんの変哲もない茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則および、最新の知見と関係していることが見えてくる。
本ゼミは、物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」を起点として、素朴な疑問を大切に、身近なものごとに潜む本質的なことを、授業内の作業や実験を通じて科学的に考えます。あらゆる先入観・偏見から解き放たれ、学問領域を自由に往来し、さまざまな視点・観点から知の再連結と思考のトレーニングをする機会を「茶わんの湯」を通じて提供することを大きな目標としています。

【目的】
・日常茶飯事目にするような、なんの変哲も無い身近なことがらに着目し、それを科学的に思考し批判する。また、その身近なことがらを学問領域横断して異なる様々な視点から考察する。
さらに、身近なことがらに付随する習慣、文化や歴史の説明も取り入れる場合もある。
・新しい事象や法則の発見は科学への貢献のみならず、実社会問題の発見や解決と密接に関係しうることを具体的に学習する。

【授業構成】
- 前半（実験・体験・講義）
この授業は、大きく分けて 2 つのパートに分けることができます。セメスター前半は、名随筆「茶碗の湯」から展開する実験作業や体験を伴う授業を計画しています。2023 年度は、水や光、お茶やコーヒーをキーワードに身近な題材を取り上げる予定です。安全で初心者でも楽しめる内容を準備しますので、文科学生の参加も歓迎します。どれだけ専門用語を事前に知っていたかではなくて、どれだけしっかり考えたのかが反映するような授業の雰囲気です。
- 後半（ルーブリック・キューブ）
セメスター後半は、前半の体験授業の振り返りと寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」をもとに、寺田寅彦的な眼差しとはどういうことなのかをテーマに取り組みます。具体的には、①名随筆「茶碗の湯」の評価表（ルーブリック）作成、②評価表（ルーブリック）に基づき新規のエッセイ作成、③新規のエッセイの評価、この①～③の作業（ルーブリック・キューブと呼ぶ）をクラス内共有しつつ繰り返します。この繰り返し作業、評価表（ルーブリック）作成とエッセイ作成に、ChatGPT 等の生成 AI の使用を許可します。本授業では、身近なものごとに潜む本質を見抜くことに秀でた寺田寅彦的な思考の理解と習得のために、生成 AI のアプトプットのみならず、プロンプトライティングを楽しみ、その可能性を模索します。多面的な思考を促すために、新規のエッセイは、日本語以外の言語に翻訳することも推奨します。翻訳は、どのような作業をしたのか申告・記録すれば機械翻訳や生成 AI の使用を許可します。同じ題材で、同じ生成 AI を使って、評価表（ルーブリック）の違い、もしくは、プロンプトライティングの違いによって、どのようなアウトプットの違いが出てくるのか比較し、その作業を繰り返すことで寺田寅彦的な眼差しの評価表（ルーブリック）の質の向上を試みます。

【備考】
授業時間外の作業は基本的にありません。講師からの課題および、①～③の作業（ルーブリック・キューブ）は授業時間内に行います。セメスター後半は、①～③の作業を授業時間内に行いクラス内共有しつつ進行します。そのため、授業にテキスト入力が可能で、インターネットに接続できる端末を持参してください。これまで、新規のエッセイを作成することに時間がかかる問題がありました。今年度は、評価表（ルーブリック）作成は主に手動で注力し、その評価表（ルーブリック）を元に生成 AI を活用しつつ新規エッセイを作成することも可能です。ポイントがつかめていても文章作成速度が遅くてこの種の授業を敬遠していた履修生でも楽しむことができますので、理科履修生も積極的に参加してください。

【授業茶わんの湯 講師 2023A】
シラバス最終入稿時点で確定している講師
最新情報は、随時更新しますので、下記関連ホームページを確認してください。
「茶わんの湯」から水環境を考える
堀 まゆみ（環境分析化学）
教養学部附属教養教育高度化機構
Educational Transformation（EX） 部門
「茶碗と科学」
岩田 純子、山本 幸伸
株式会社ノリタケカンパニーリミテド
総務部 広報課
「茶わんの湯」からマインドフルネスと社会変革を考える
齊藤 弘久（社会科学）
総合文化研究学科附属国際交流センター
グローバル・ファカルティ・ディベロップメント

【お知らせ
最新情報】
https://bit.ly/458JUZM
【問い合わせ先】
e-mail：kashima+Lesson_from_Teacup@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51465	A	Design thinking in Public Health	FACIUS Michael	東京カレッジ	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	The rapid development of information technologies and medicines are not benefiting everyone equally living in our society. People from socially marginalized groups are more often excluded or left behind. Human-centered designs – or design thinking - are usually more effective in engaging end-user communities than top-down mandates. Design thinking encourages us to empathize with the end-users, understand their needs and aspirations, and co-create solutions that truly address their unique circumstances. This course will introduce you to the theoretical foundation of design thinking in health, step-by-step guidance to apply design thinking strategies in your own work, and real-world case studies in global health settings. Learning goals ========== The overall goal of this class is to introduce the theoretical foundation and practical guidance of using design thinking approaches in addressing public health challenges. By the end of the course, students will be able to work as team: •Understand the definition of design thinking and process of applying design thinking •Familiarize with real-world applications of design thinking in public health •Critically evaluate and analyze a public health problem, recognize opportunities, challenges and the assets of communities and stakeholders •Identify how to center solution designs as a response to the voices, experiences, wishes and aspirations of those most directly impacted by the solutions					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50831	A	Single-variable calculus	寺田 至	PEAK 前期	木 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	In this course, we study the differentiation and integration of a function of one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential means the slope of the tangent line of a function at a given point, and integral measures the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept “limit”, so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. Power series will also be introduced. In the end, we discuss how to solve some simple differential equations.					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51423	A	こまとちゃんゼミナール ～駒場図書館で学ぶ大学生のための情報検索・収集・発信スキル	山上 揚平	教養教育高度化機構	木 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	「こまとちゃんゼミナール」は、教養学部生のホームライブラリーである駒場図書館を活用しながら、大学での学習、研究はもちろん社会に出てからも役に立つ、情報の検索収集、そして活用の技術を身に付ける為の授業です。駒場図書館や情報システム部の協力のもと、大学図書館の様々な機能や学内で利用できる膨大な情報リソースの使いこなしを、グループワークを含む課題実習を通して学びます。 また講義や図書館見学などを通して、図書館という施設や制度自体についての理解も深めることが目指されます。 学期の終わりには、授業で磨いた情報検索・収集スキルを活かして、駒場図書館所蔵の資料を発信する実習を行います。駒場図書館内の展示スペースをお借りして、会期2週間ほどの展示企画(公開)の開催を目指します。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51421	A 1	国連とインクルージョン	井筒 節	教養教育高度化機構	木 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

2015 年、国連で 193 カ国の首脳によって採択された「持続可能な開発目標（SDGs)」。SDGs は、2016 年から 2030 年までの国際の優先事項を定めたもので、「誰一人取り残さない（Leaving no one behind)」こと、すなわち「インクルージョン」をコア概念としている。
国連では、女性、子供、移民・難民・国内避難民、先住民・少数民族、障害者、高齢者、LGBTI 等のインクルージョンが重点課題とされている。偏見や差別により周辺化された人々は、身体的・性的暴力や殺人を含む人権侵害、貧困をはじめとする様々な開発上・心理上の困難に曝されることが多い。また、国際社会においては、障害、LGBTI、精神保健等、テーマ自体が周辺化されることもある。
2023 年度 A1 ターム「国連とインクルージョン」では、「誰一人取り残さない」ことや「インクルージョン」をメインテーマに、「精神保健・心理社会的ウェルビーイング」と「精神障害・知的障害のある人のインクルージョン」を具体例として検討する。また、苦しい立場にある人への「こころのケア」についても学ぶ。
SDGs では、「精神保健・心理社会的ウェルビーイング」が初めて国際の優先事項として含まれた他、5 つの目標が障害に言及しており、今後の開発・人権を考える上で重要な分野である。中でも、感情や心のウェルビーイング、精神障害・知的障害は目に見えにくく、スティグマや偏見も強いため、周辺化されやすい。開発途上国では、精神・知的障害者に対する殺人や暴力等が多く見られる他、閉鎖施設等で鎖に繋がれる等、重篤な人権侵害が後をたたない。一方で、4 人に 1 人が精神疾患を経験し、OECD によると精神疾患による経済的コストは GDP の 4%以上である。また、世界銀行と WHO は、精神保健に対する 1 ドルの投資は、3 ドルの利益を生むとしている。また、心理的応急処置（PFA）等、一人ひとりがこころのケアのためにできる手法も確立されてきている。
国連では、2006 年に障害者権利条約が採択され、批准国においては精神・知的障害も含む障害者のインクルージョンが法的義務となった他、SDGs や仙台防災枠組でも優先事項に含まれた。しかし、これらの実施をめぐっては、差別的態度を含む社会的障壁、身体拘束や強制入院、重度の障害や認知症を持っている人々の意思決定や社会参加、精神障害者や知的障害者のアクセシビリティーの確保方法、予算・人材確保等をめぐり、難しい課題が多い。
本講義では、国連機関職員や当事者を含む講師から世界と現場の状況を学びつつ、心のウェルビーイングと多様性をめぐる国際社会の新しい解決策を考える。また、これを通して、国連の実際およびインクルージョンについて学ぶことを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51480	A	Road to 2050 ：グリーンビジネス概論	瀬川 浩司、吉高 まり、小林 光	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

2050 年脱炭素の世界共通目標の下で、環境負荷を減らしつつ収益するグリーンビジネスが、ビジネススタイルの世界標準となった。このビジネスを実践するための基礎技法や発想などを身に着け、グリーンビジネス具体化の人材的な基礎を作る。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51427	A	フェミニスト／クィア障害学	清水 晶子、井芹 真紀子	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

本授業では、性の政治とディスアビリティの政治を、両者の並列的な類似性においてではなく、重なり合いや交錯、衝突、交渉に焦点をあて検討する。フェミニスト障害学やクィア障害学の重要文献の講読を通じて、ジェンダー、セクシュアリティ、ディスアビリティに関する議論を適切に理解するための学問的基礎を身につけるとともに、これらの学問領域の間でなされてきた議論のどのような「接続」の仕方が、誰を／どの身体を見えなくするのか、あるいは誰を／どの身体の存在を可能にするのか、批判的に考察するための視座を養う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50889	A	ボーカロイド音楽論	鮎川 ぱて	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

ボカロPで音楽評論家の鮎川ぱてと申します。本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、音楽自体の本質に迫ろうというものです。

講義では、講師がこれまでも強調してきた「永きにわたった人類による”うたの私有”が終わった」ことのインパクトを考えます。それは同時に、既存の音楽論を振り返り、再検討する機会にもなるでしょう。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。

最初に「ボーカロイド音楽シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲ーーアンチ・ラブソングが人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。

講義全体の1/3以上を、ジェンダー／セクシュアリティの議論が占めることになります。フェミニズム、LGBTQをはじめとする性の多様性理解、クィア理論など、ジェンダー論の基礎を知ることにも本講義は役立つはずです。

主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。私は、一本学出身者としてこの理念に共感する者です。前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みてみたいと思っています。

開講にあたって大学から頂戴した前期課程講師用マニュアルには、皆さんに次の3つを促すようにと謳われています。「新しい概念の理解」「自発的想起」「創造的思考」。これらの現場的実践が、私の言葉で言えば「知的蛮勇」であり、「批評」です。

ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。

初音ミクが発表されて16年が経ちました。新しい作家が参入しつづけるこのシーンは衰えることを知らず（本ゼミからもたくさんのボカロPが誕生しました）、昨年から何度目かのボカロ大流行が始まっています。そして、出会いばかりでなく、別れもありました。本学における本講義には、必ず弔わなければいけない作家がいます。

ボカロ、表現、人文科学、ジェンダー。これらのうちどれかひとつにでも高い関心を持っていれば、どの立場の人も主役です。ボーカロイド音楽についての前提知識は必要ありません。科類も問いません。「感覚を思考の俎上に載せること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。

＜講師プロフィール＞
ボカロP／音楽評論家
／東京大学教養学部 非常勤講師
／東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 非常勤講師
／東京大学先端科学技術センター 身体情報学分野 稲見・門内研究室 連携研究員

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51442	A	マイノリティ・デジタルアーカイブをつくる――アーカイブ化をめぐる実践・方法・倫理の検討	板津 木綿子、武内 今日子	情報学環	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

近年、失われやすいマイノリティの語りを含んでいる、ミニコミ等の文献資料や口述資料を整理・保存していくことの重要性が評価されており、世界的にコミュニティ・アーカイブの形成や、デジタルアーカイブ化の取り組みが進められている。この全学自由ゼミでは、とりわけ性的マイノリティの語りのアーカイブ化の事例をとりあげ、これまでマイノリティの語りがどのように（デジタル）アーカイブ化されてきたのか、その際どのような方法的・倫理的課題が生じてきたのかを議論する。それを通じて、コミュニティのオンライン化も進んでいる現在、マイノリティの生きられた経験を記録していくことの可能性と困難を理解することを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51131	A	医療の現場から見る現代社会～日本の医療の光と影ゼミナール	土谷 良樹	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

「世の中、不思議なことがある」と思ったことは、ないでしょうか。
少子高齢化が叫ばれながらも、結果として改善する様子がないこと。高騰し続ける医療費問題。脳死臓器移植や透析差し控えのような医療倫理。世界に冠たる先進国日本における貧困と障がい者差別。「KAROSHI」として国際的に通用する、日本社会特有とされる過労死問題。HIV 感染症を通して見る、医学の進歩と医療の停滞、日本社会の差別構造(性感染症、Sexial Orientation/Gender Identity)。たとえ君が医療の道に進まなくても、我が国におけるこういった様々の医療を取り巻く社会的問題について、教養学部生の間に知識を得て、考察を深めることは、意味があるのではないでしょうか。当ゼミ、日本の医療の光と影は、学生の希望により開かれる全学自由研究ゼミナールであり、駒場において 14 年の長きにわって開催され続けています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51132	A	現代の Web アプリケーションの構築方法の学習と実践	松島 慎	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

コンピューターの急速な性能向上を背景に，ソフトウェアの重要性は以前にもまして高まっています．今後，ソフトウェア開発技術は業界や研究分野を問わず求められようになってくるでしょう．
このゼミでは，主に Web システムの開発技術について扱います．これは，頒布の容易性やデスクトップ・モバイルを超えた可搬性などの理由から，Web は近年のアプリケーション開発における主流のプラットフォームとなっているからです．
カリキュラムは，HTML や CSS，JavaScript といった基本的な Web 技術に始まり，バックエンドサーバー（Node.js）の開発やリレーショナルデータベース（PostgreSQL）の基本的な使用法に触れた後，より複雑なアプリケーションのための高度なフロントエンドについて扱います．毎回の課題に取り組むことで，カリキュラム終了時には，独力で Web サービスが公開できるようになるでしょう．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51390	A	古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司、露木 聡	農学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

古典落語は江戸時代に発展した庶民の娯楽であり、その中で描かれる情景は江戸庶民の生活ぶりや江戸時代の風俗を反映している。いいかえれば、現代の東京の姿からはわからない当時の自然や文化、生活を知ることができる。本ゼミでは、古典落語の中に出てくる江戸の自然や文化に関する描写をきっかけとして当時の江戸庶民が生活していた自然環境や生活の中に息づいていた文化を知ることを目的としている。
10 月 5 日開講
毎週の講義では、実際の古典落語の内容にまつわるテーマについて担当者が事前に調査を行い発表する形式で講義を進める。また、10 月から 12 月まで各月 1 回ずつ土曜日に学外での集中講義を行う。詳しい講義の進め方、内容、講義日と休講日、集中講義の内容等については第 1 回の講義の際に説明する。
なお、本講義は基本的に対面で行う予定であるが、第 1 回目の講義はガイダンスを兼ねてオンラインで行う。また講義は 16 時 50 分から 18 時 35 分の 105 分講義で行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51354	A	災害復興と法・社会	米村 滋人	法学部	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や熊本地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51371	A	実践のための Web プログラミング	鳴海 紘也	工学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

現代社会ではブログやニュース、買い物、 SNS 、ゲーム、行政サービスなどさまざまな分野で Web サービスやスマートフォンアプリなどが利用されており、社会基盤となっていると言っても過言ではないでしょう。また、情報の授業や競技プログラミングなどでプログラミング自体にふれる機会も増えており、情報技術への関心が大変高まっています。しかし、例えば簡単な SNS サービスを作ろうとするだけでも「アカウントや投稿などの情報をどう保存するか」「保存した情報をどう表示するか」「自分で作ったシステムをどう世の中に公開するか」といった多くの課題を解決する必要があり、コードが書けるだけではサービスを作ることはできません。
本講義はすでにプログラミングに触れたことがある人を主な対象とし、実際に手を動かしながら実践的な課題に取り組むことで、世の中にサービスを提供していくために必要な技術を一通り学んでいきます。これにより基本的な Web サービスを動かすため必要な要素を俯瞰できるようになり、今後みなさんが新たに社会へ価値を届けることができる基礎的な体験を提供することを目指します。また、今後より専門的に情報科学を学習する前に俯瞰的な知識を得ておくことで、今後理解をさらに深めていく礎となることも期待しています。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51459	A	読み破る政治学 －多読・乱読・精読ゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミは対面で行います。説明会もまた第一週に対面で開催します。もっとも体調など個々の学生の状況に応じて、オンラインでの参加を認めてハイブリッドで開催することもあります。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した上で、対面のゼミに参加して下さい。
牧原研の YouTube チャンネルに、ゼミの概要を過去の年度も含めて配信していますので、そちらをご覧ください。
URL は https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など､過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。
また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。
今年で１１年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。
こうした読書とそれについての思索・議論は、海外の大学の授業では基本的な開講形態です。また文理の学問分野の違いから言えば、このゼミでの読書とそれについての議論とは、理系にとっての実験がそうであるように、文系にとっての「実技」です。読書自体は特別なことではないのですが、毎回気心の知れた多くのメンバーと読書して語り合う経験は、皆さんにとって特別貴重な経験となるでしょう。
ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。ゼミ生同士で読書会をしたい人たちは、先端研の牧原研の自習室を自由に利用することができます。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後恒例のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えています。すでの多くの修了生がいますが、これらは修了生も一部参加することがあり、読書を重ねた先輩からいろいろな話を聞いたり、議論したりすることができるでしょう。また、夏休み・春休みには「合宿」（宿泊が難しい場合は、一日講義室でゼミを行う形をとります）を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。
※受講人数：あらかじめ制限はしない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51431	A	平和のために東大生ができること	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	冷戦の終焉から 30 年経過した今、世界は再び核の脅威にさらされている。また、エネルギーや食料の価格高騰をはじめ、遠い国での戦争が我々の生活に大きく影響することを学生のみなさんも実感していることであろう。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合うことを目的とする。 今学期は SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」を主なテーマにかかげ、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題に加え、ウクライナ戦争の影響等の現在進行中の問題についても研究する。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する。 なお、本授業は A2 タームに実施予定の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」（渡航先はカザフスタン）の準備授業を兼ねる。同国際研修を履修希望の学生はこの全学ゼミを必ず履修すること。国際研修に参加しない学生の全学ゼミ参加ももちろん歓迎する。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51416	A	「オープン教材」をつくろう！	中澤 明子	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	インターネットには、さまざまな教材（テキストや動画など）があふれています。また自分で教材を作成して公開することも容易になっています。 一方で、教育機関が作成した教材などをオンライン上で公開するなど、教育をオープンにする動き（オープンエデュケーション）も広まっています。 なぜオープンエデュケーションに関連する取り組みが行われるようになったのでしょうか。そして、わかりやすい教材を作るには、どのような点に気をつけ、どのように作成すればよいのでしょうか。 本授業の目的は、オープンエデュケーション（教育のオープン化）、教材設計の理論・方法について理解することです。また、それらの知識をより深く理解するため、オープンエデュケーションについて学べ、インターネットで誰でも自由に使えることを想定した教材（Open Eduactional Resources/オープン教材）を作成します。そして、作成した教材（スライドやテキストベースの教材の PDF）を実際にウェブサイトで公開することを目指します。さらに、一連の授業を通じて教育・学習のあり方についても考えます。 なお、本授業で扱う教材設計の理論・方法は、教材だけでなく授業づくりや日常生活における「教える」ことにも役立ちます。オープンエデュケーションや教材づくりだけでなく、「教える」ことについても学ぶことができます。 ・授業の目標 授業を通じて、次のことを達成します。 1. オープンエデュケーションやオープン教材の定義を説明できる 2. オープンエデュケーションやオープン教材の事例を列挙できる 3. 教材設計の理論と手順、注意点を説明できる 4. グループで教材を設計できる 5. グループで教材を作成できる 6. 教材設計の理論に基づいて他者の教材を評価できる					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51460	A	現代中東基礎講座 II	鈴木 啓之	中東地域研究センター	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の目的】
この講義では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。
【到達目標】
目標① 中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。
目標② 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。
目標③ 関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。
目標④ 任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。
目標⑤ 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。
目標⑥ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51462	A	地球社会におけるリアリズムの探求 II	馬路 智仁	教養学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

この授業では、グローバル化した地球社会における今日的問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、
● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起こっているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、
● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、
● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身に着けること、を目標とします。
なお本ゼミは、履修人数を 18 名前後に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51413	A	塀の向こうには誰がいるのか：犯罪と刑事司法の多角的理解	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の概要】
あなたの思う「犯罪者」はどんな人でしょうか。そして犯罪の原因は一体何なのでしょうか。
この授業では、日本の非行・犯罪の実情や課題について、架空事例やデータを解釈しながら犯罪学、犯罪心理学及び司法福祉の観点から実情を体感し、学びます。専門書などの文献を読んで学ぶ刑事司法の実際には、生々しいほどの「人」の存在や「人生」があります。また、刑事司法を学ぶことからは、同時に非行・犯罪の背景にある貧困、虐待、障害、社会的孤立、依存症など社会の抱える様々な課題が浮き上がってきます。この授業ではこれらの社会の問題についても扱います。
授業の多くの回では、実際に、刑事司法に携わる司法・犯罪領域の対人援助職（主に犯罪心理学）、弁護士などの法曹、NPO 法人の職員、そして当事者でもある被害者の方をゲスト講師としてお招きし、実情についての講義をしていただくオムニバス形式で行います。講義では、グループワークなどを取り入れながら、刑事司法が抱える課題やその背景にある課題について、議論をしながら考えます。
正解のない問いを一緒に考えてみませんか。
【授業の目標】
・非行少年・犯罪者の再犯防止の課題を中心に刑事司法の様々な問題について犯罪学、犯罪心理学や司法福祉の観点から知る。
・非行・犯罪の背景にある社会課題について考える。
・犯罪被害者支援の課題について学ぶ。
・データに基づく議論をできるようになる。
・刑事司法に携わる法曹や司法犯罪領域の対人援助職、NPO 職員などの実務家、当事者など様々な立場の人の話や考えを聞き、刑事司法について多面的な視点を持ち、キャリアについて考える。
・犯罪学の諸理論を学び、実情を踏まえてその理論について考える。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51424	A 1	企画を創る ～実践から学ぶ教養としてのアートマネジメント	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	芸術と社会をつなぐ役割を担うアートマネジメントには、多岐にわたる能力が求められます。中でも企画力は、コロナ禍を経て新たな社会的フェーズを迎えた現在、イベント実施の意義そのものをより一層明確に提示する必要がある為、今後さらに重要となっていく能力であると考えられます。 そして、企画を考えるプロセスとは、社会と芸術との関係のみならず、それらと自分自身との繋がりをも俯瞰しつつ、興味と関心を掘り下げていく必要のある、まさに「教養」の問われる知的営為とも言えるでしょう。 本授業は、社会の一線で企画づくりに携わって来たプロフェッショナルを講師に迎え、実体験に基づくレクチャーの他、グループワークを通じて企画立案に必要な資質、構成力、発信力を学びます。最終成果発表では、グループ毎に企画を立案し、企画書の作成・ブラッシュアップからプレゼンテーションまでを行います。以上の様な実践を通して「企画を創る」ことを共に考え学び、これからの時代の「教養」としての企画力を身に付けることが、本授業の目標となります。 ●ゲスト講師紹介 鐘ケ江織代 （アートマネジャー、コーディネーター、リサーチャー） 株式会社しろばら百藝社代表取締役。パレイドリアン代表。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、京都コンサートホールの各事業課を経て、トーキョーワンダーサイト（現トーキョーアーツアンドスペース）では「若手のための現代音楽企画ゼミ」を企画するなど、コンサートやワークショップの企画・制作、若手クリエーターの育成・支援事業等に携わる。 山本和智（作曲家・プロデューサー） 独学で作曲を学ぶ。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範にわたり、2006年モリナーリ国際作曲賞第1位(カナダ)、2007年AIC／Mostly Modern 国際作曲コンクール第1位(アイルランド)、2009年度武満徹作曲賞第2位、2010年第5回JFC作曲賞、2011年TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL- SOUND, ART & PERFORMANCE vol.7 奨励賞受賞など。2020年にはサントリーサマーフェスティバルにてオーケストラ作品の新作を初演。2009年より『特殊音樂祭』をプロデュースする。 和光大学表現学部総合文化学科非常勤講師、音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバー。 眞崎光司（学習環境デザイン研究家） 青山学院大学大学院社会情報学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。大学卒業後、大学図書館に勤務し、大学生がワークショップや展示の形で自らの学習機会を創出することができる空間（ラーニング・コモンズ）のデザインと運営を担当。現在は音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバーとして現代音楽の普及活動や作曲家の創造性に関する研究を行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51446	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割 ～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	仲 浩史、 星野 岳穂、 守屋 貴之	公共政策大学院	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

新型コロナウイルス（COVID-19）パンデミックは、世界中の国々に大きな影響を与え、社会経済的な変革を促しました。最近では、国内においてもコロナが「5類」に移行し、ようやくウイズコロナ社会が到来し、日常が戻りつつあります。しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックは予想以上に長期化し、今日に至るまでの間、我が国と世界各国は、様々な困難な課題に直面し、まさに激変の時代に直面しています。

日本における超少子高齢化、生産年齢人口の減少（人手不足）や財政赤字、急速に進む円安、物価上昇、若年層の格差拡大、国内市場の需要飽和、消費者ニーズの多様化・個別化といった新たな構造変化の局面を迎え、一方では、グローバルには2022年2月からのロシアによるウクライナ侵攻、地球温暖化対策で2050年カーボンニュートラルの実現に向け、各国政府のみならず金融部門が各企業の取り組み状況をチェックする枠組みが形成され、国際社会システムの「大転換」、米中の対立の先鋭化等を背景に、半導体産業の安全保障上の懸念、戦略的重要性から、サプライチェーンの強化・確保、国内生産の促進や技術保護、国際的な協力などさまざまな政策を大規模に展開しています。半導体の重要性がますます高まる中、これらの動きは今後も注目されるでしょう。天然資源確保、食糧確保等の枠組みについても再検討する必要があることも強く示唆されます。ロシア・中国をめぐる国際秩序の変化、インドの人口増加、中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等、日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。

このようなグローバルな大変化や出来事1つ1つが、直ちに我々の生活や経済などに大きな影響を与え、これらが様々なリスクを含んでいることに気づかされます。これまで日本が享受してきた「秩序」や「安心」を確保する枠組みは、決して自明なものではなく、持続可能なものではないことを実感する時代に突入しました。

他方、生成型AIに象徴される人工知能（AI）と機械学習、量子コンピュータ、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、ドローン技術などの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。

本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、

①激動する国際社会の動向、
②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、
③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、
④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。

本講義を通じ、以下の3点を身につけていただくことができると考えています。

1）メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿
2）学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること
3）日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割

文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51389	A	Agric. Scientists Studio Interview	高橋 伸一郎、工藤 光子、藤本 優、伊藤 直樹、福田 良一、五十嵐 圭日子、渡邊 壮一、後藤 康之、樋口 洋平、永田 宏次、田野井 慶太朗、潮 秀樹、田中 智、中西 もも	農学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		皆さん、それぞれの科学者あるいは科学に関連する仕事に就いている方々は、どのような経緯で、どのような仕事をすることになったのでしょうか？また、それで何を実現し、どのような未来を描いているのでしょうか？本講義は、そんな疑問に応えるために、科学者あるいは科学に関係する仕事に就いている方々にインタビューを試み、皆さんに、インタビュー記事を書いてもらい、science communicators としての新しい経験を積んでもらうことを目標としています。 本講義は、One Earth Guardians（OEGs）育成プログラムのメンバーが中心となって企画する講義です。本年度は、農学関係する領域で活躍している科学者や関連分野のしごとに就いている方々に、インタビューを受けていただきます。それぞれの方々のインタビューや仕事の内容の調査を通じて、それぞれの方の過去、現在、未来をシェアし、これらをまとめて科学者としての 5W1H を記事にすることによって確認する、そして、これらを自分のこれからの道に生かしてもらうことを最終ゴールとしています。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51356	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	菅谷 佑樹	医学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		主に駒場の 2 年生を対象とし（1 年生も参加可能）、Molecular Biology of the Cell を英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51432	A	駒場で「食」を考える	岡田 晃枝、渡邊 雄一郎	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		「駒場で『食』を考える」は身近な野菜の問題からスマート農業、そして海外の食品市場のことまで、「食」をキーワードとして文系・理系の枠を超えて学び合い、議論しあう授業である。農林水産省の職員をゲストに迎え、今学期はとくに下記のテーマを中心として実施する。 ◆低い自給率や農業の後継者不足に加え、ウクライナ紛争などに起因する世界の食糧生産の不安定化など、日本の食料安全保障上のリスクの高まりを背景として、農業政策の理念や農政の方向性を示す「食料・農業・農村基本法」の見直しが進められている。この基本法の中身とその見直しに関わる議論について考える。 ◆昨年 11 月 7 日の日本経済新聞に、安価な食材の代表ともいわれる「もやし」の生産者が、コストに見合わない販売価格によってもたらされている生産現場の窮状を訴える全面広告を出した。野菜の価格にはどのようなコストが反映しているのか。農産物はフェアなトレードがなされているのか。野菜の値段をめぐる問題を検討する。 ◆最新の農業現場はどのようなものか。持続可能な農業を目指してスマート農業を導入する農業法人等で研修を実施する（日帰り）。 ◆農業政策に関する提言のとりまとめ（授業の内容をふまえた内容；プレゼンテーション） 農場での研修は通常授業日とは異なる日程での実施となる。詳細をガイダンスで告知するので、履修希望者は必ず初回のガイダンスに参加のこと。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51082	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り，人権を学び考える－	笠置 裕亮	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	当ゼミは，１９９２年度から川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て，当ゼミの出身者である笠置裕亮弁護士が担当する。中川素充弁護士及び石井真紀子弁護士（当ゼミＯＢ・ＯＧ）も協力する。 Ａセメスターのテーマとしては，メディア，国際，地方社会，経済，司法等を予定している。 文Ⅰは勿論，文Ⅱ・文Ⅲ・理Ⅰ・理Ⅱ・理Ⅲの学生も歓迎する（例年，文Ⅰ以外の学生も多く参加している）。 人権問題を考えるにあたって大切なことは，社会の実態をよく知ることである。このゼミでは，従前より，普段の授業時間での講義以外にフィールドワークを実施している。事件現場，ＮＧＯ，法律事務所，官公庁，企業，労働組合，裁判所，少年院，刑務所，テレビ局，新聞社，病院などに出向き，様々な当事者，専門家，弁護士，医師，公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。 これらのフィールドワーク（主として平日午後６時４０分以降，土日祝日に実施）は，今学期を通じて１５回以上実施予定である。いずれかを選択して，計１回以上参加すること。 金曜５限の授業では，１０月～１２月上旬は講義形式（各分野の最前線で活躍している人たちをゲストとして）を中心にし，１２月～１月はテーマ班ごとに，授業やフィールドワークで学んだことをまとめて，論考を作成してもらうとともに，学生発表を実施する。 ※ ガイダンスは１０月６日５限（第１回授業時）にオンライン形式にておこなう。 ※ 11 月 10 日（金）は講師の都合により休講とし、補講日を 11 月 27 日（月）5 限に行う。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60227	Ａ２	核融合 -地上の太陽をめざして-	篠原 孝司	新領域創成科学研究科	金 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	持続可能な社会の重要な基盤の一つが、持続可能なエネルギー源である。人類社会が数千年単位で持続することを考えた時、既存のエネルギー源は、その燃料や供給源の観点から十分とは言えない。水素を燃料とする核融合はこの問題を克服できる。核融合は太陽で起きている反応で、まさに地上に太陽のエッセンスを実現しようというプロジェクトとも言える。本講義では、この核融合がどういうものであるのか、そして、その課題がどのようなもので、どのように研究が進められているのかを多角的に理解する。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51414	A	「再犯防止×地方創生」 ～地域と刑務所で創るソーシャルイノベーション～	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

＜授業の概要＞
皆さんにとって刑務所とはどんなイメージでしょうか。刑務所がソーシャルイノベーションとどう繋がるのか？と思われるかもしれません。一見全く結びつかないような物事や出会いから新しい物事は生まれます。
過去に刑務所は、世間から隔絶していた空間であることが指摘されたこともありました。近年では、犯を犯した人を社会から隔離するだけではなく、罪を犯した人が再び社会の中で罪を犯さずに暮らせるような再犯防止の取り組みも拡充しています。
同時に、近年では地方自治体や民間企業と多くの協働した取組が行われています。さらに、再犯防止だけでなく、「刑務所を地域のリソース」と捉え、地方の社会課題に刑務所や受刑者と共に取り組むことで、再犯防止と社会課題を同時に解決し、地方創生を目指すという取組も行われています。そこには、地方自治体や国という官公庁だけでなく、社会課題の解決に取り組む民間企業やNPO法人など民間のプレイヤーが参画しています。
この授業では複数回、官公庁や民間企業、NPO法人の方など様々な立場のゲスト講師によって講義やワークを行います。具体的な刑務所所在地における社会課題（地域課題）をひとつ取り上げ、セメスターをとおして、官公庁や民間企業など様々な立場の人の講話や対話を通じ、グループになりその社会課題の解決案を考えます。授業の最終回にプレゼンテーションを行います。ある社会課題について産学官が連携して新しい事を作るというプロセスを体験することは、再犯防止以外の分野にも活きることがあるはずです。
良いアイデアは実際に、現場で実装される可能性もあるので、是非、一緒にソーシャルイノベーションを作り上げる過程を体験してみませんか。
＜授業の目標＞
・刑務所が抱える課題を知る。
・地方が抱える課題を知る。
・客観データから多くの可能性を読み取れるようになる。
・社会課題を理解するためにどんな情報が必要かを考え、実際にリサーチする。
・社会課題の解決に向けた立場の違いによる問題の捉え方を知る。
・社会課題の解決のためのアイデアを洗練する過程を体験する。
・アイデアの分かりやすい伝え方を学び実践する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51370	A	ウェラブルデバイスとAIを使ったスポーツコーチングについて考えてみよう	亀崎 允啓	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

スポーツにおけるコーチングとは、「競技者個人の目的のために必要な考え方や技術的ノウハウを明らかにし、それを競技者に獲得させる方法」のことであり、個人で考える力を育て、やる気を引き出し、競技者の能力を可能な限り引き出すことを目指します。コーチングスキルという観点では、観察、信頼関係の構築、傾聴、質問、気づきの促進、誘導、提案等のスキルが必要とされています。一方、半導体技術やセンサモジュールの小型化によって、ウェアラブルデバイスの発展が進んでいます。消費カロリーを計測できるウォッチ型、視線計測可能なグラス型、心拍数や湿度、位置を計測できる衣服型などタイプも多種多様です。これらのデータを用いることで、「観察」の強化が図れます。また、深層学習の研究開発の進展によって、分類系AIや生成系AIの発展が進んでいます。大量の時系列センサデータを学習させることで、推奨行動の予測や取りうる戦略的行動などが出力できると考えられます。これによって、「気づきの促進」や「誘因」、「提案」の強化が図れます。
さまざまな業界でＤＸ（Digital Transformation）が進んでいる昨今ですが、スポーツの分野でも、ウェアラブルデバイスやAIを用いた新たなスポーツコーチングが注目されています。これらは、スポーツＤＸやＡＩスマートコーチなどと呼ばれており、一部でサービスが始まりつつあります。本講義では、上述したコーチングスキルを高めること、もしくは、従来では実現しえなかった新たなコーチング項目を提供することで、スポーツの競技レベルの向上と、スポーツの新たな魅力を引き出すことを目的に、「ウェラブルデバイスとAIを使ったスポーツコーチング」手法について考えていきたいと思います。あらゆるスポーツを対象とします。例えば、個人競技では、陸上、水泳、柔道、テニス、スノーボードなど、チーム競技では、野球、サッカー、ラグビーなどです。
スポーツコーチングには、さまざまな学問知識の融合と応用が必要となります。データ取得のためのウェアラブルセンサを構築するための、電気電子・機械工学、センサデータを処理して学習させてモデルを構築する情報学だけでなく、認知科学、生理学、心理学、さらには、システムを利用してもらうための経済学などが例示できます。これらについての了見を広げられ、融合したものづくりのためのセンスを養える機会を提供します。

※このゼミは10月3日（火）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51425	A	ブランドデザインスタジオ 28「東大教養学部」をブランドデザインする	真船 文隆、山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

●プログラムについて
『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE （理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂ブランド・イノベーションデザインのコラボレーションにより学んでいただきます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド･コンサルタントがプログラム･デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでテーマに関するリサーチや分析、アイデア発想、プレゼンテーション制作を行ってもらうことを予定しています。
【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/
●テーマについて
今学期は『「東大教養学部」をブランドデザインする』をテーマにします。東大で学ぶみなさんが少なくとも一度は所属し、学びの場としてきた「東大教養学部」。あらためて、「東大教養学部」の社会にとっての価値とは、人々にとっての価値、あなたにとっての価値とはなんでしょうか。「東大教養学部」ならではの個性や魅力とはなんでしょう。それをさらに広げ、高め、深めていくには、どんなアクションが考えられるでしょう。
参加いただく皆さんには、「東大教養学部」を多面的に捉え直し、さまざまなかたちでのリサーチを実施し、「東大教養学部」のブランド・コンセプトを導出し、それを具体的に世の中に届け広げるためのアイデアを発想することに挑戦いただきます。その過程で、「教養」とはなにか、「教養」を学ぶということはどのようなことで、これからの社会を生きる私たちにとってどのような意味や価値があることなのかを探求いただくことにも、取り組んでいただくことになると思います。
さらに、今回はアウトプットとして、「あなたが東京大学教養学部長だったら、令和 6 年度の東京大学学部入学式の式辞で、何を語るか」を考えていただくことにもチャレンジいただきたいと思います。3 ヵ月間のチームでの探求の成果をどう言葉にするか。自分たちの考えや想いをどのように人に伝えるか。ほんとうに大切なことはなにか。ブランディングやコミュニケーションの本質に向き合うトレーニングとなるはずです。
この授業の最終プレゼンテーションの場として、ゲストの講評者、そして真船文隆教養学部長に、みなさんから直接提案をしていただく場を予定しています。すばらしい洞察やアイデアは、実際の東大教養学部のアクションに活用されるかもしれません。
「東大教養学部」とは、「教養」とは、なにか？ 私たちにとって身近であり、かつ実はとても深い、この問いにじっくりと向き合いたい。チームの仲間と、アイデアをかたちにしたい。そんなあなたの参加をお待ちしています。
詳しくは 10 月 5 日(木)17:30-20:30 に開催されるガイダンス兼体験ワークショップで説明しますので、ご関心を持っていただけた方はぜひご参加ください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51391	A	伊豆に学ぶプラス A 上級編「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します
【注意】成績報告に間に合わない
この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテータとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「できる様に育てるのがプラスの講義」「案ずるより産むが易し」と励ましたい。
この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の事前講義と事後講義を企画することである。その背景に、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。
本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現したい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51379	A	化学・生命系 3 学科 全学自由研究ゼミナール「医療に使えるゲルを創ってみよう」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科
授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む化学・生命系三学科が開催するゼミは、合同でガイダンスを行います。原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。 【注意】本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。 ※このゼミは 10 月 3 日(火)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 10 月 5 日（木）6 限（18:45~）にオンラインで行います。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51381	A	化学・生命系 3 学科 全学自由研究ゼミナール「神経（オルガノイド）にゲームをさせてみよう」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科
授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む化学・生命系三学科が開催するゼミは、合同でガイダンスを行います。原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。 【注意】本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。 ※このゼミは 10 月 3 日(火)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 10 月 5 日（木）6 限（18:45~）にオンラインで行います。					

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51380	A	化学・生命系 3 学科 全学自由研究ゼミナール 「脳の中のシナプスを見る」	伊藤 喜光	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む化学・生命系三学科が開催するゼミは、合同でガイダンスを行います。原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。
【注意】本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。
※このゼミは 10 月 3 日(火)6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。
※ 上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを 10 月 5 日（木）6 限（18:45~）にオンラインで行います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51376	A	化学システム工学の研究を体験しよう！	杉山 弘和	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要

「環境・エネルギー・医療」を柱とする化学システム工学。本郷キャンパスの研究室に実際に入って、研究体験します。触媒化学とエネルギーの研究室（高鍋研)、環境浄化作用を持つ多孔性材料の研究室（大久保研・脇原研)、そして医薬品の製造プロセス設計の研究室（杉山・Badr 研）が参加します。化学を基盤に、様々な知識をネットワーク状に組み合わせて、社会の実課題を解決し、あるべき姿を示す化学システム工学の真髄に触れます。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51445	A	海のアジア 2023 東南アジアとつきあう	山口 健介、 木村 伸吾	公共政策大学院	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

☆受講希望者はガイダンスへの参加をご検討ください。詳しくは下記「履修上の注意」項を参照のこと。

日本と東南アジアは、古くから海を通じて交流が行われ、現代では日本にとっても重要なシーレーンが位置します「自由で開かれたインド太平洋」という戦略の下で、多くの国で ASEAN 地域の重要性が意識されています。その背景には、深まる米中対立を背景とした安全保障上の懸念があります。「グローバル・サウスの取り込み」という言葉を思い出した方もいるかもしれません。

さて、東南アジアとはどのような地域なのでしょうか。一言でいうと「多様性」です。宗教、言語、政治、どの点をとっても共通しません。ただ歴史を紐解くと、外の世界の影響ーーイスラーム商人や華人の流入、欧米による植民地化、日本軍部の侵略、近年では中国の南シナ海進出ーーを大きく受けつつも、変化に対して「強か（したたか)」に対応してきた一定の共通項が見いだせます。

「グローバル・サウスの取り込み」を一旦脇に置いて、一度その強かな歴史を振り返るのが本ゼミの 1 つ目の目的です。その理解を通じて、2 つ目の目的は、受講生それぞれが東南アジアとの付き合い方について思案することです。そのうえで 3 つ目の目的は一方通行の「グローバル・サウスの取り込み」に批判的な視点を養うことです。本年は日本アセアン友好協力５０周年にあたり、特別首脳会合に併せた学生会議も予定されています。ゼミを糧にして、そうした場で活躍してください。

受講生には、標準的な教科書を用いた授業とは別に、呉市での視察や識者を招いたセミナーへの参加を認めます（任意)。呉市での視察では、海上保安大学校や術科学校での現地見学や現地学生との交流を行う予定です（一部補助あり)。セミナーでは、10 月 12 日の松川るい参議院議員をはじめ、ASEAN 地域に深く関わる方を呼ぶ予定です（下記を参照)。なお各回の講師は、ASEAN 各国での実務を経験した経済産業省の現職官僚がつとめます。

【予定セミナー（開催順)】
・ シントン・ラーピセートパン氏（駐日タイ王国特命全権大使）
・(10/12 開催）松川 るい氏（参議院議員、元防衛大臣政務官）
・ 河合 正男氏（元ノルウェー／ブルネイ大使）
・ 河田 敦弥氏（海上保安庁 国際戦略官）
・ 有馬 裕氏（外務省 南部アジア部長）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51454	A	学部学生のための研究入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、ＩＴ、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。

研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。

このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。

授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ(http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/）を参照のこと。

※履修人数を 20 名に制限する。
※開講場所：生産技術研究所
※ガイダンスは、10 月 3 日（火）および 10 月 5 日（木）の 2 日間、12 時 20 分よりオンラインにて行う。2 回とも同一内容で実施。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51447	A	駒場すずかんゼミナール「学藝饗宴」	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

爛熟期を迎えた19世紀末フランスのサロン、とりわけ詩人マラルメの「火曜会」を範とする本ゼミは、文部科学副大臣も務めた東京大学公共政策大学院教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を綜合する教養教育を目指すものである。

「すずかんゼミ」として四半世紀に亘り開講されてきた歴史を持ち、2017年度より新たに本題にて開講されている本ゼミの主な授業内容は、ゼミ生同士の対話および各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションである。過去にお招きした講師の方々については、是非下記のTwitterページにて確認してほしい。

本ゼミは、特定の問題についての答えを与えるものではない。むしろ、関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないものの分からなさに好奇心を抱き自らの血肉として結実させようと試みる学生を歓迎する。

※本講義は集中講義形式の授業であるが、履修者・OB/OG・オムニバス講師等が主体的に開催する毎週のサブゼミが火曜日 19〜21 時に行われる。集中講義も基本的に同時間帯である。このサブゼミに毎回参加できることが履修に際しての前提条件となる。

※選考をガイダンス時に行い、受講者を若干名に限定する。

※過去の選考課題、その他の詳細はTwitterページ（https://twitter.com/minervakomaba）を参照すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51440	A	最先端のウイルス研究を体験しよう！	佐藤 佳	新領域創成科学研究科	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

パンデミックに立ち向かう中で、ウイルス学とさまざまな研究分野の分野融合が加速した。本講義ではまず、ウイルス学実験とデータ科学を融合した最先端のウイルス研究について、講義形式で紹介する。次に、培養細胞を用いたウイルス感染実験と、新型コロナウイルスの系統進化解析を実習形式で行い、最先端のウイルス研究の世界に触れる機会を設ける。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51404	A	最先端の生命科学研究を駒場で体験する/Experiencing cutting-edge life science research at Komaba	大杉 美穂	教養学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓しています。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらいます。

研究の進め方は教員と相談して決めます。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合があります。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する予定です。

統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、２６もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。

生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い想いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。教科書で学ぶことの先にある生命科学の最先端を体験して欲しい。

担当教員と研究テーマ（今後増える可能性があります）：

大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学

道上 達男 ツメガエル胚の形づくりに力はどのように関わるか

晝間 敬 植物と共生する微生物の未知の機能の探索

吉本 敬太郎 核酸医薬の分子設計と機能評価

加納 純子

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51443	A	災害現場と情報/Real disaster site and useful information	酒井 慎一	学際情報学府	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要	最近、災害が増えたと聞くことが多い。それは、本当だろうか？ その災害現場に行き、何が起きたのか、どう伝えられているのか、何が被害を拡大させたのか、何が足りなかったのか等を調査し、その結果をまとめる。「将来の社会への提言」を作ってみることが目標である。						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51392	A	獣害問題とは何の問題かA （自由自主の企画系ゼミ） ～獣だけの話ではない。見えにくい防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で初めて獣害を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていただきたい。それが獣害問題とは何の問題かということ。
もちろん、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」の受講生ばかりではなく、獣害問題について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにするつもりで居ります。
ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を学園祭に作ることを一つの具体的な目標とします。
本自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきましたが、新型コロナ禍中は従前のスタイルで学園祭にて演示することができなくなりました。
令和５年５月に新型コロナが「５類感染症」になりましたので、従前スタイルの復活を模索したいと考えています。
本企画系ゼミではその中核になって企画する学生を求めます。
講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。
なぜ、野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。
「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」
という話を耳にすることがあります。
オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？
問題はそれほど単純ではないと思われます。
オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。
ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないと考えるのは合理的ではありません。
「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させているというとても重要な気付きを得られたと思います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。
皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないことを知ることは決して無駄ではないはずです。
答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分はうまく避けて通ればよいのでしょうか。
本ゼミでは、受講生が希望すれば、南伊豆を訪ね、獣害の現場を視察し、罠を作り、仕掛けてみます。せっかくなので手作りイノシシソーセージを試食していただきましょう。
従来は、東京大学体験活動プログラム「伊豆の体験活動 獣害編」によって
ゆっくりと向き合う時間を取ってきました。
本ゼミではその一部分だけ掻い摘んで体験してもらいます。
さて、前述した様に、
このゼミでは五月祭・駒場祭に「獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。
問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
学園祭企画を創作していきましょう。
※受講人数：１０人程度
※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしない気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51377	A	生体を化学システムとして捉えてみよう！	太田 誠一	工学部	集中	2	1年 理科

授業の目標概要

本ゼミナールは工学部の化学システム工学科の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。
原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究を体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。
【ガイダンス】

このゼミは 10 月 3 日(火)6 限の工学部合同ガイダンスならびに 10 月 5 日(木)6 限の化生系合同ガイダンスに参加予定です。いずれもオンライン開催です。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51403	A	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性研究機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。
本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。
担当教員と研究テーマ
【駒場キャンパス】
澤井 哲: 細胞のナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
石原 秀至: 生命現象の数理モデルのシミュレーション
豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する
市橋 伯一: 機械学習を使って遺伝子配列から無細胞転写翻訳系での発現量を予測する
大泉 匡史: 大規模な神経活動データにおける神経情報表現の構造の解析
晝間 敬: 機械学習を用いた植物フェノタイピング技術の開発
小林 徹也: 新奇なアクティブマター相互作用が生む集団運動を考える
【本郷キャンパス】
古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか?
岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する
伊藤 創祐: 情報理論や確率的な熱力学を用いた生命現象の理論研究
豊島有: 線虫の神経活動と行動の解析
【柏キャンパス】
岩崎 渉: 「生物情報科学」でひもとく生命システム進化・生物多様性
石川 麻乃: 分子と生態を横断し、生物の適応進化を理解する

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51369	A	製品を分解してわかる環境問題	梅田 靖	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。
※コロナウイルス感染症の情勢により、予定を変更する可能性があります。

※このゼミは10月3日（火）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51420	A	都市生活誌ドキュメンタリー実習@高知（2023）	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【講義概要・内容】
2022年度に引き続き、高知の職人や日曜市の経営者たちの日常生活に密着してもらい、人びとの来歴の聞き取りを行ってもらう。
高知はとても不思議な場所だ。経済的な統計から見れば決して上位の地域ではない。人によっては「なにもない」田舎だと言われることも少なくないだろう。
しかし、現地に行くと、とてつもない「豊かさ」を感じさせられる。毎週日曜日に開催される定期市は300年以上続いており、約300店舗が出店する。前日に収穫した農産物や加工食品が並び、市を訪ねる客でいつでもごった返している。港の近くにある海産物加工場の小さな販売所には、そこでしか手に入らない、数時間前に水揚げしたばかりのどろめが並ぶ。高知県内でしか展開しない飲食店は、各店舗が固有のコンセプトを持ち、そのコンセプトに沿った個性的なインテリアで、ゆったりした環境で美味しい食事をゆっくり楽しめる。海辺に並ぶ、真夏の日中には気温80度にのぼるビニールハウスの中で、優くも鋭いまなざしで塩と向き合う塩杜氏が作った塩は、塩なのに甘い。
この豊かさの正体はいったいなんなのだろう。このような豊かさを築きあげる人びとは、どのような人生を過ごしてきただろう。どのようにして現在の生活の営みが可能になったのだろう。
本研修は高知の人びとの声に耳を傾け、「普通」の人の日々の生活を観察・考察する。そして、これらの声と生活の断片を文章化することで、高知の人びとの都市生活誌ドキュメンタリーを制作する。
【開講・作業期間】
・開講期間は①2023年11月下旬に4日間と②2024年3月下旬に5日間、2回にわたり計9日間のフィールドワークを行う。
・1回目にフィールドワークには南京大学からの短期留学生も参加し、一部、本学の履修生と共に活動することとなる。
・履修者はガイダンス、事前講義（日時未定）、フィールドワーク（2回）に参加することが単位取得の必須条件となる。
【ガイダンス】
・日時：2023年10月4日（水）12：20～12：50
・場所：国際教育研究棟（KIBER）314教室
＊受講人数：10～15名程度。履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を実施する。
＊授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。
＊駒場キャンパスから現地までの往復交通費、現地での宿泊費の一部は大学により負担する。参加費用に関してはガイダンスで説明する。
＊講義に関する最新情報はLAPウェブサイトを参照すること。問い合わせも、LAPウェブサイトの問い合わせ欄から行うこと。
http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/](http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51422	A	都市生活誌聞き書き実習@南京	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【授業目標・概要】
南京現地で生身の人々の声を聞き、書き留めるのためのフィールドワーク研修を3年ぶりに再開する。
本研修では、南京大学の学生と共に南京で生活する人びとの声に耳を傾け、「普通」の人の日々の生活を観察・考察することを通して、個々人のリアリティーに接近することを目指す。そして、南京での見聞を文章化することで、現地で出会った人びとの生活誌聞き書きを作成する。
本研修はこれまで担当教員が研修内容、方法、スケジュールなどを指定してきたが、今年度はフィールドワークの思考、心構え、必要な技術だけではなく、履修者の企画力も総体的に鍛えることを目的とし、フィールドワークの内容やスケジュールの組み立てを履修者に立案してもらう予定。
現地への派遣期間は2024年3月上旬の約1週間とするが、事前に必ずフィールドワークをともに行う南京大生とオンライン形式でフィールドワークの内容を協議すること。また、フィールドワークは南京大学国際処・教務処の協力の元で行う。
＊受講人数： 10〜15名
＊開講場所：南京大学および南京市内
＊開講期間：2024年3月上旬
＊ガイダンス：日時はLAPホームページを参照すること。
http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/](http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/
＊開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。
＊研修の日程、詳細内容ははガイダンスで説明する。履修希望者はガイダンスと事前講義（対面、もしくはオンライン）に必ず参加すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51393	A	日本は林業を放棄してよいのかＡ （自由自主の企画系ゼミ） ～林業だけの話ではない。防災問題や国土荒廃に通じるお話～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

これまで全学体験ゼミ・全学自由研究ゼミを通して多くの東大生に接する機会をいただき、気づいたことがあります。
それは、東大生は効率よくスマートに動きたい思いが強く、スマートに片づけられないことを遠ざけがちであるということ。もちろん、全員がそうだと決めつけるつもりはありません。
君の大切なものは何？
どういう価値観で生きているの？
社会とどう向き合って生きていくつもりなの？
と尋ねると、以下の様に回答する東大生がかなり高い割合でいます。
自分は何がしたいのか分からない・決められない。
それを決めずに入れる東大を選んだと言い、
大学でやりたいことを今探しているところなので、その問いには直接答えることはできません。
しかし、そういう人は大学に入っても自身の価値観は固まらず、進振り制度に直面しても自分が何をしたいのか何をすべきなのかということを自分では決められずにいるのではないでしょうか。
結局自分では決められずに、何となく皆が行きたがるところが良さそうに思えてくる。自分の点数と見比べて、自分の点数で行ける中で一番点数が高そうなところを選んだりする。
そのような調子で過ごしていて、果たして自分の頭で考え、判断したことになるのでしょうか？
林業について。全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で学生に日本林業の今後の展望を尋ねると、利益を出せない以上は林業が停滞するのはやむを得ないという、大人の意見が返ってくることが多いです。というか、その様な答えしか返ってきません。東大生は、涼しい顔をして大人の意見を言うだけで満足する人が多いと思います。「林業は難しい」という答えは現時点の状況を端的に表わしているという点で、試験の解答としては正解なのかもしれません。しかし、そう言って片づけてしまえば、もう何も新しいことが生まれて来そうにもありません。
東大生の皆さんには、是非、新しい何かを生み出す原点や原動力になっていただきたい。それが「伊豆に学ぶ」や「森に学ぶ」など一連の全学ゼミで皆さんにお伝えしたいことです。
全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」で初めて林業を意識したという方には、もう少しじっくりと向き合っていただきたい。それが「日本は林業を放棄してよいのか」ということ。
もちろん、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」の受講生ばかりではなく、「林業」について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにするつもりで居ります。
日本は国土面積の 7 割近くが森林で覆われています。その４０％に当たる１，０００万 ha が人工林です。人工林は管理をし続けないと、健全性を保つことができず、また、収穫し、再造林しなければ若返り（更新）が担保されません。それらを担うのが林業です。
人工林を天然林に戻すという考え方もありますが、それにしても林業が機能しなければ、樹種を変えていくというアクションも起こすことができません。
林業は全方位に解決しなくてはならない問題があると言っても過言ではありません。林業従事者が少ない問題、森林所有者の問題（５００万ｈａにおよぶ森林が私有地であり、所有者の３／４は５ｈａ以下の小面積所有、そして所在不明案件が１０万件に及ぶなどの問題）、獣害の問題、コストの問題（大型草本の問題や獣害の問題とも関係する）など、枚挙すれば切りがありません。
そういった問題一つ一つへの理解と、社会全体に理解を広めることが、日本が林業を手放すという選択肢を選択しないために不可欠なことなのでしょう。
それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」作ることを一つの具体的な目標とします。
企画系自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。
しかし、林業についてじっくりと考えて、発信するという機会は持てずに過ごしてきました。
満を持したつもりはありませんが、この度、垣根を低く設定して林業を考え、発信するゼミを企画しました。
講義タイトルにはあえて「日本は林業を放棄してよいのか」と書きました。
現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わなず、結果として当事者意識を持てないことが問題をさらに深刻化させていると考えられます。「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」ゼミではこれらの気付きを得られた学生さんも多くいると思います。
ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。
本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決策を提案することではありません。
複雑な問題に対して簡単に「解」を出そうとするのではなく、複雑な問題とじっくりと向き合うことを目標とします。
大学入学試験では、正しい解を素早く出すことが求められるので、多くの東大生はその手のことは得意でしょう。
答えが出ないことと向き合うことは、東大生がもっとも不得手とすることかもしれません。
皆さんが社会に出てから向き合うことは、一筋縄では行かないことが多く、最短距離で正解に直行する思考方法はあまり役に立たないことを知ることは決して無駄なことではありません。
答えが出せない複雑な問題は、人任せにして、自分はうまく避けて通ればよいのでしょうか。

本ゼミでは、受講生が希望すれば、南伊豆を訪ね、獣害の現場を視察するという選択肢も選ぶことができます。全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」がまさにそれに当たるものです。
未修者には、本ゼミと合わせてそれらのゼミを受講されることをお勧めします。
さて、前述した様に、
このゼミでは五月祭・駒場祭に「日本は林業を放棄してよいのか」企画を打ち出します。
問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
学園祭企画を創作していきましょう。
※学園祭に自分たちの企画を出展することを目標とする

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51293	A	Let's try cell culture	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー、松田 良一	PEAK 前期	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

An adult human body consists of about 30 trillion cells. If cells are separated from the body and isolated into single cells, can cells survive even outside of the body? Attempts to break apart cells and keep them alive in vitro were conducted in Germany and the United States between 1880 and 1919 using frogs and chickens. Cells separated from the body could cultured under appropriate conditions. This cell culture technology became a fundamental technology in biological research, but today it is indispensable for producing vaccines, antibodies, artificial skin, and “cultured meat.”
成人一人の身体はおよそ３０兆個の細胞から成り立っている。では細胞を身体から分離し、バラバラにすると細胞は生きていられるだろうか？実際に細胞をバラバラにして生体外で生かそうという試みはカエルやニワトリを用いて１８８０年から１９１９年代にドイツやアメリカで行われ、身体から分離した細胞は適切な環境下で培養できることが分かった。この細胞培養技術は生物学研究の基本技術であるのみならず、今日ではワクチンや抗体、さらに人工皮膚や培養肉の作成において、欠くことができない技術になっている。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51451	A	ミュオグラフィと諸科学との連携による人間社会-地球-医学-経済-におけるテーマ開拓 Looking for new research subjects in the field of marine, underground and planetary sciences in collaboration with muography	田中 宏幸	国際ミュオグラフィ連携研究機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

透視、ナビゲーション、時間計量学、暗号通信等に成果を上げてきた「ミュオグラフィ」。本全学自由研究ゼミナールでは、海洋、エネルギー/環境、情報、医学、経済学分野における専門家が課題を洗い出す。そしてミュオグラフィを今後どのような価値ある形で社会へとつなげていけるのかについて集中的に考えることを目的とする。（1）海洋センシングの新展開の可能性について議論する．（2）石油天然ガス資源とそれに伴う温暖化対策（二酸化炭素地中貯留（CCS））の両輪について議論する。（3）大規模ストレージ開発の歴史と技術や IOT について議論する。（4）医療画像の機械学習による自動診断技術についても考察する。（5）仮想通貨について議論する。特に大規模データ活用の議論については総合研究博物館見学会として総合研究博物館のデジタルアーカイブ技術や IOT に対する理解を深める。
Muography, the novel imaging technique to visualize gigantic objects such as volcanoes, pyramids, and nuclear reactors, has been restricted to its performance on the ground. In this seminar, the experts in the fields of marine, natural resource and planetary scientists will clarify the restrictions in the current observation techniques, and will extensively discuss the following topics to address how muography can be applied to benefit their fields. (1) In the field of ocean sensing technologies, it is now possible to collect marine and ocean floor information with GNSS-A and DAS. However, the spatiotemporal windows of these techniques are still limited. (2) The target of the oil and natural gas resources are deepened, more complicated, and down-sized, and more technological developments are required. （3）Controlling and safe operation of carbon capture and storage (CCS) could be an essential technique for realizing the carbon neutral society. In this lecture, the current CCS techniques will be introduced and muographic applications to CCS will be discussed. (4) In the field of medical science, the techniques of machine learning of medical images have been highly developed. In this lecture, the recent trend of medical machine learning will be introduced and its possible application to muographic diagnosis of active volcanoes will be discussed. (3) Planetary sciences. Furthermore, in order to realize sharing and machine learning large-sized muographic data, and to utilize the muographic results between researchers and/or researchers and society in the valuable way, (4) large-sized storage and networking technologies will be discussed.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60218	A 2	ワンパクなタンパク質を科学する：実習編	片岡 直行、岩間 亮、奥田 傑、小南 友里、陸 鵬、伊藤 直樹、伯野 史彦、伏信 進矢、新井 博之、福田 良一、五十嵐 圭日子、渡邊 壮一、後藤 康之、永田 宏次、高橋 伸一郎、潮 秀樹、田中 智	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科
授業の目標概要		【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】この授業は、農学部の実験室において対面で実験を行うため、履修者を対面授業に参加する学生に限定します。なお、COVID-19 禍により、対面実習が難しい場合には、開講できない可能性があることを了承願います。 私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。				

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60219	A 2	伊豆に学ぶプラス A 初級編 「感じる・考える・行動する」 サイクルを回してみよう！	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。
【注意】本ゼミだけを受講することはできません。 体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」を併せてお申し込みください。
自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」の単なるオプションではありません。体験ゼミの学びを確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論する時間を一緒に過ごすゼミです。「伊豆に学ぶ」体験を一層充実したものにして、大学で学ぶということについて考えるゼミです。なお、体験ゼミの夕食後に、この自由研究ゼミの時間を連日確保しています。体験ゼミと自由研究ゼミ、重複履修をお勧めします。
①大学とは何であるかとちゃんと考えたことはありますか。
・学生が学ぶ機関でしょうという答えは、不正解ではありません。
・専門的な考え方や技術を身に着けるところという答えも然り。
・友達を作るところという答えは、正解でないこともないと思います。
②君たちは大学生になりましたが、日頃、真面目に議論する機会はあるでしょうか。
・議論しようなんて言うと、面倒くさがられるから、とても話を振れない
・言い争いは避けたいので、クラスメートやサークル仲間とは表面的な話しかしない
・議論の中で自分を曝け出すと、そこへ土足で踏み込まれそうで怖い
「伊豆に学ぶプラス初級編」では大学における学びとは何であるのかということにしっかりと向き合います。
社会を知り、社会との接点を考えることがとても重要だということは分かっているつもりだけど、ゆっくりと考える余裕がないと言う人も、自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」では、忙しない日常生活から離れ、日中のアクティビティを振り返ることを重要なきっかけとして、自分自身の感覚や考え方と向き合うことができます。
大学生同士の議論を通して、自分一人では気づくことができなかったことを、お互いに補填し合う、そういう体験をしてもらうことを一つの目的としています。
自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、学生の自由な議論を大切にします。まずは、議論するという土俵の上に、ほんの少しの勇気をもって上がってください。議論しやすい雰囲気作りを自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス上級編」の学生が手伝ってくれるので、初めての方もしっかりと議論に加わることができます。不安や心配は無用です。
伊豆ゼミのコミュニティが肌に合わないとお感じの場合は、その後関わらなければ良いだけです。失うものは何もあり
本ゼミの参加条件は 2 つあります。一つは真面目に議論する気持ちを持つこと、もう一つは真面目に議論している人を茶化さないことです。
この二つはとても大切ですので、条件を満たさない場合は退場していただくことがあります。その点だけは、しっかりとお伝えしておきます。
最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になります。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知る「学びの場」を具現したいと考えています。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として、どの様に社会と関りを結ぶのかをじっくりと考える機会としていただきたい。それは今後の大学生活をどの様に過ごすべきかを考える上で、とても重要なことになるはずです。
学生が主体となり、自由な「学びの場」を実現すること、それがこれまで伊豆に学ぶシリーズが追求してきた共通理念です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51464	A 1	変革期の社会と心理 1．立場の心理学：Crossing Your Culture-日本社会や他国のマジョリティの特権（権力含む）について考える/多様性について） 2．メンタルヘルス（心の傷とメンタルヘルス、大人の発達障がい、ストレス・マネジメント、感情のコントロール、コミュニケーション） 3．府中刑務所ツアー（希望者）	伊藤 圭子	相談支援研究開発センター	月 3	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

この講義では、変革期の社会における様々な心理学のトピックを扱う。
1．立場の心理学：Crossing Your Culture ：これまでの多文化理解や国際化などの教育現場では、「他者」であるマイノリティー（弱者)」に焦点を当て、他者の立場について学ぶことが多いが、本科目では、マジョリティー側、「特権・権力を持つ者（社会における強者)」としての自己の立場に焦点を当てることで異文化理解を深めることが目標である。
特権とは「労なく得ることのできる恩恵」と定義され、努力のもとでなく、特権集団（例えば、人種でいえば、日本で日本人として生まれたこと、など）にたまたま生まれたことで自動的に受けることのできる恩恵のことである。「特権を持つ集団」、いわばマジョリティ集団に属する人々は、社会的強者の立場となる。本科目では、心理学の立場理論を通して、この社会における強者としての立場を可能にしている構造や制度について学ぶと共に、特権集団の持つ心理的特徴やアイデンティティ、社会化のプロセスについて紹介する。学生の皆さんが世界に通じる国際性豊かな人間になる上でも、「自分の特権に自覚的である」ことで、他者（ここでは社会的弱者）との信頼関係を得て、他者（弱者）と共により良い社会を築くには何をすれば良いのか、ということについて考察する。
2．メンタルヘルス： 自己理解を深めるため、臨床心理学の観点から、様々なメンタルマネジメントを紹介する。特に、ストレス・マネジメント、アンガーマネジメント、アサーション・トレーニングなど個々のウェルビーイング構築のスキルを、実践を通して身に着けることができる。主な精神疾患や発達障害（ADHD・自閉症など）についても紹介する。
3．府中刑務所への見学ツアー（質疑応答時間を含む）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51436	A	科学教育の実践 ～物理の実験教室～	松本 悠	教養教育高度化機構	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

皆さんは、教える側に立ったことがあるでしょうか？友達に授業でわからないところを教えた、弟や妹の勉強を見てあげた、あるいは親にパソコンの使い方を教えてあげた、など色々あると思います。これらは知識や技術をピンポイントに効率よく伝えられますね。家庭教師や塾講師で授業した場合は？じっくり時間をかけて問題の解き方や考え方を教えられますね。ではさらに、最近増えてきた「実験教室」では、何を教えられる（伝えられる）でしょうか？「実験教室」ならではの、伝える内容・深さ・効率（効果）があります。それを議論し、目的を達成できそうな教材開発・授業計画を行い、実践し、検証するのがこの授業の目標です。
「実験教室」の内容は、基本的に物理系です。実践の場は、埼玉県のとある地域の一般市民向け実験教室で、対象は小学生、日時は１０月、１２月、１月の日曜です。必須ではありませんが、極力１回は参加するようにしてください。詳細は授業でお話します。
サークルでも「実験教室」活動を精力的に行っているところもあり、実験教室で教える側に立った方もいるかと思います。それぞれの活動場所で、それぞれの目的があると思いますが、皆さんの知見を合わせ、さまざまな視点から実験教室を組み立てていきたいと思います。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51441	A	森と人を紡ぎ直す感性と技術の方法論／Methodology of Sensibility and Technology for Re-weaving Forests and People	中村 和彦	新領域創成科学研究科	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

今や、世界中のあらゆる情報がインターネット上に存在するようにも思えるが、それは人の生活圏に限ってのことである。人里離れた森の情報は、未だインターネット上にほとんど存在しない。

森は古来、人間にとって資源獲得や環境保全のために不可欠な存在であった。近代化以前はエネルギー源として生活に直結していたが、現代では二酸化炭素吸収や防災、保健・レクリエーションなど、その時空間スケールがより大きくなり、森と人の関係を実感しにくくなっている。

本ゼミナールでは、現代的な森と人の新たな関係を紡ぎ直すための感性と技術の方法論として、インターネットへの配信を前提とした映像制作（平たくいえば「森の YouTuber」的な活動）を体験する。感性と技術に関する基礎的な理論と技能を持って、実際に人里離れた森を訪れ撮影を行い、映像編集を行ってインターネットへの配信を試みる。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51450	A	生命科学の最前線	奥山 輝大	定量生命科学研究所	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

定量生命科学研究所で行われている最先端の生命科学研究を「体験」することを目的として、様々な生物材料を使用した生命科学実験の実施や実験設備の見学を行う。これまで教科書を通して知識として学んできた「生命科学」が、実際にはどのような実験により、どのように見出されたきたのかを、研究の現場に足を運ぶという「生きた体験」を通じて実感してほしい。また、「研究者を目指したいが、研究室とはどのような雰囲気なのだろうか？」と不安を抱える学生にとっても、悩みを解消し、将来の進路などについて実際に研究者に相談できる機会を提供する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51410	A	電磁気学で使う数学	高木 俊輔、 清野 和彦	数理科学研究科	水 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

理系の 1 年生が A セメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がベクトル場や微分形式と呼ばれるものの微積分によって表されます。ところが、ベクトル場や微分形式の微積分を数学の授業で学ぶのは 2 年生の S セメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは 1 年生 A セメスターの微分積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分とベクトル場や微分形式の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はほとんどしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。

なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員に依ります。その点も心に留めておいて下さい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51368	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51361	A	ロボット競技を体験しよう B	國吉 康夫	工学部	水 6	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51362	A	ロボット競技を体験しよう D	國吉 康夫	工学部	水 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51435	A	将棋で磨く知性と感性	金子 知適	教養教育高度化機構	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

将棋は千年に亘る歴史を持つ日本の伝統文化である。このセミナーでは日本将棋連盟の全面的協力を得て、講義と対局の両面から将棋文化を学ぶ。
初回のガイダンスのみをオンラインで行い、履修希望者から未経験者優先で 25 名選抜する。その後は対面のみで行う。科目の性質上ハイブリッド授業は不可能であるので、対面に参加できるもののみを履修の対象とする。詳細については、このシラバスの記載内容も含めてやむを得ず予定を変更する場合もあり、変更の内容は ITC-LMS の該当コース内に記載する。ガイダンスに出席する前にその記載内容をよく確認し、さらに履修許可を得た場合は毎週 ITC-LMS を確認すること。
第 1 回にガイダンスを行う。履修希望者が多い場合は、第 1 回目のガイダンスの際に書いて提出してもらう作文によって、未経験者を優先して履修者を決定する。
※受講人数：オンライン開講の場合、20 名程度に制限する。（最大 40 名）
※ガイダンス：初回授業日に行う。
4 名の担当教員のうち，代表教員は金子

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51437	A	実験で学ぶ物理科学	松本 悠	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

物理学とは、実験結果から導出された一般法則や概念からなる、統一的な知識体系です。しかしながら文理問わず多くの人は、物理学の法則や概念は、それぞれの繋がりが見えず、入試問題のように理想化された状況設定において適用され解くことができても、現実の世界に適用することは難しい、と考えていると思います。このような誤解を解消するのが、この授業の目標です。
理系の学生は A セメスターから基礎実験が始まります。とても重要な授業ですが、現段階ではとにかく指定された実験をこなすだけで精一杯なのではないでしょうか？この授業では、実験というものはどのような観点で進めていくべきであるのか、科学的思考を鍛えるという本質と照らし合わせて学びます。そして、実験がどのように研究に活用されていくのかを、ほんの触りを体験してもらいたいと思っています。
授業形態は、現代物理学の体系を俯瞰的に紹介・解説していくような一方通行の講義ではありません。その代わりに、物理学上の特に基本的な概念、法則、および手法を、マイコン等の実験装置を用いて実際にデータを取得し、体験することによって学んでいくスタイルです。物理は苦手と思っている学生でも参加をお待ちしています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51406	A	じっくり学ぶ数学 II	高木 俊輔、牛腸 徹	数理科学研究科	金 5	2	1年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、S セメスターの「じっくり学ぶ数学 I」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。
一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。
※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51433	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。
第 1 回にオンラインでガイダンスを行い，履修希望調査（ITC-LMS で提出）をふまえ受講者「40 名」を決定する．
※受講可能人数は 40 名
※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る
※ガイダンスはオンラインで，セレクション後の講義は対面で行う．オンラインでの参加はできない．

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51397	A 1	森の魅力をマッピング ～GPS を使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司、露木 聡、藤原 章雄	農学部	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「木材資源を得る場所」、「レクリエーションの場所」、「癒しの場所」等々森林には人それぞれの活用の仕方があり、また楽しみ方がある。人々が森林に求める情報もさまざまであり、森林を対象とした情報発信には個々の情報の特性に合った多様な方法が求められるが、特に地図情報にさまざまな属性を盛り込んだフィールドマップは森林の魅力を伝えるための有効なツールである。本ゼミナールでは、「森の魅力を伝える地図づくり」をテーマに、ＧＰＳ受信機とデジタルカメラを使って森林の魅力を視覚的に伝えるオリジナルの地図づくりに挑戦する。
本ゼミナールの直接の目標はオリジナル地図の作成であるが、地図づくりを通じて森林の持つさまざまな「魅力」に意識を向け、五感を使って森林を観察する機会を得ることが本質的な目的である。自らの感性を高め、五官を通してさまざまな森の情報を獲得することで見逃してきた多くの「魅力」の存在を実感して欲しい。
※履修者数の上限を 15 名程度とする。履修希望者が多数の場合は選抜を行う。選抜方法については第 1 回講義を兼ねたガイダンスで説明する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51374	A	ナノ・バイオテクノロジー ：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最先端の科学技術では，ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか，体験してみませんか？
・ナノスケールの極小の世界で起こる出来事は、どのようにして知ることができるのでしょう？
・ナノスケールの材料を操作して組み立てるには、どうすればいいのでしょう？
・ナノスケールの材料研究において計算科学やシミュレーションはどのように役に立つのでしょう？
・mRNA ワクチンなどのナノ医薬はどの様にして調製されるのでしょう？
本体験ゼミナールでは，ナノとバイオに関する最先端研究を実際に体験し，その面白さと奥深さを学んでもらいます。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51399	A	伊豆に学ぶ自然の恵みを活かす技 Learning at Izu: skills and arts to utilize nature's gifts	齋藤 暖生、井上 広喜、鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

樹芸研究所は伊豆半島の南端、静岡県南伊豆町に立地する東京大学演習林の一つである。この研究所は、第二次世界大戦中、熱帯・亜熱帯産の特用樹木の研究施設として設立された歴史を持つ。東京大学演習林の中で、樹芸研究所の特徴として以下の 2 点が挙げられる。熱帯・亜熱帯の植物を多く扱っている点、および樹木をはじめとした森林植物の加工過程に重点が置かれている点である。

特に後者の特徴は、本講義の主題に深く関わる。樹木は、私たち人間が価値を見出し、あるいはさらに手を施すことによって「恵み」となる。この研究所が追求する「樹芸」とは、樹木をはじめとした森林の様々な資源を、より有効に人間社会に活かそうとする人間の技や営みである。

本講義は、樹芸研究所および周辺地域における体験を伴う現地集中講義を主体とする。本講義が行われる地域は、伊豆半島の南端であり、どの地域からもアクセスは容易ではない。しかし、こうした地域にも多くの人々が暮らしてきたし、また、その歴史も長い。このことは、この地域にある自然を「恵み」として活かす「眼差し」や「技」が、古くから存在してきたことを意味する。

日本は小資源国である、という定説がある。この定説において、人が自然から「恵み」を創り出す能力は、捨象されていると言ってよい。本講義は、この人が持つ能力の可能性を理解することを目標とする。そして、この能力は、単に机上の知識で十分に理解できるものではない。実際に現地を歩き、自然から恵みを得るための作業に身を投じ、頭と体をフル動員して理解してもらいたい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51461	A	映像デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

映像制作の実習を通して「イメージをカタチにする」体験をすることがこの授業の目標である。20 世紀は映像の世紀であったといわれる。19 世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることに始まり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに結びつく。映像は記録と保存だけでなく、創出と再生を担うメディアである。映像によって記憶を蓄積し、物語を構築し、時空を横断し、新しい世界の姿を示すことができるだろう。この授業を通して、映像による表現の可能性を徹底的に追究してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。

10 月 4 日(水)の 5 時限に授業ガイダンスを実施する。
履修希望者は 10 月 7 日(土)までに ITC-LMS に小課題を提出すること。
履修希望者が予定人数（20 名）を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。
授業ガイダンスおよび小課題については、ITC-LMS で別途告知する。

・開講区分：A
・単位数：2
・対象学年：1 年(文科/理科)、2 年(文科/理科)
・履修人数：20 名に制限する
・開講期間：2023 年 10 月 18 日(水)、11 月 8 日(水)、11 月 29 日(水)、12 月 20 日(水)、2024 年 1 月 10 日(水)
・開講場所：駒場キャンパス 12 号館 1214 教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51375	A	応用化学の最先端研究を体験してみよう A	鈴木 康介	工学部	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本授業では、工学部応用化学科の研究室での化学実験を通して応用化学の最先端研究を体験し、化学に対する理解を深めることを目的とする。
*****
このゼミは 10 月 3 日(火)6 限の工学部合同ガイダンスならびに 10 月 5 日(木)6 限の化生系合同ガイダンスに参加予定です。いずれもオンライン開催です。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。
*****

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51382	A	鉱物資源はどこでできるのか？ ～フィールド調査と鉱物採集の旅 ：海底資源編～	中村 謙太郎	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

私たちの文明の発展は、多種多様な鉱物資源によって支えられています。特に近年では、持続可能な人類社会を築くためにさまざまな金属（ベースメタル、レアメタル、貴金属）が不可欠となっており、その供給源としての鉱物資源の役割は増大しています。では、これらの「鉱物資源」は一体どこから生まれるのでしょうか？
水の惑星と呼ばれる地球には、海でできた鉱物資源が数多く存在しています。驚くべきことに、陸地で採掘される資源の中にも、過去に海で形成されたものがたくさん含まれています。そして、東京近郊にも海に由来する鉱物資源が存在し、実際に過去には採掘されていたのです。
そこでこの授業では、東京周辺で野外巡検（日帰り）を行い、過去の海でできた岩石と鉱物資源を実際に採取・観察・分析してもらいます。自ら手を動かし、その実態と魅力に触れてもらうことで、私たちの生活を支える鉱物資源とそれを生み出す海に対する理解を深めてもらうことをを目標とします。

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51439	A	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する	松田 浩一	新領域創成科学研究科	集中	2	1年 理科 2年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

メディカル情報生命専攻に所属する教員が実施する体験的プログラムに参加することで、現代生物学・基礎医科学研究の最先端の現場を体験することができます。
合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところで、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。
★履修ガイダンスとして、下記メディカル情報生命専攻 HP の「カリキュラム」→「教養学部生へ」→『全学体験ゼミナール』を是非訪問してください。
『A セメスター開催予定プログラム』(履修者は下記から一つを選択できます)
（1）佐藤 佳 先生「最先端のウイルス研究を体験しよう！」
（2）糸川 昌成 先生「医学研を体験しよう！ ー来て・見て・触れて医学研ー」
※ 詳細や更新内容については、メディカル情報生命専攻のホームページ
【URL】： http://www.cbms.k.u-tokyo.ac.jp
に掲示するので随時確認してください。
※ 各プログラムは、それぞれの実施キャンパス、実施期間、予定日時が異なります。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51395	A	秋の奥秩父を巡る	山田 利博、坂上 大翼、久本 洋子、平尾 聡秀	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約 7 割は森林に覆われていますので、森林を知ることは、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系や人と森林の関わりについて見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撹乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、かつて薪炭林だった二次林や生産林としての人工林など過去から現在までの森林利用についても学びます。最終的には、手つかずの老齢林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父地域の自然を体験し、経験的に自然を知るという科学の基本的なアプローチを学ぶことを期待しています。

※対面での現地講義に参加可能な学生のみに履修を制限します。
※受講人数を 7 名以下に制限します。
※受講希望者は 10 月 5 日（木）のガイダンスに参加して下さい。
※担当教員：山田利博・平尾聡秀・坂上大翼・久本洋子
※農学部ウェブサイトの全学自由研究ゼミナール・全学体験ゼミナールのオンライン合同説明会に資料を掲載しています。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51367	A	小学生にものづくり教育を行う「ものラボ」キャンプII	杉田 直彦	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本プロジェクト参加者は，小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」を開発・実践する．参加者はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し，ワークショップの企画・運営を行う．これらの活動を通して，ものづくりにおける難しさ，楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え，ものづくりの魅力を再発見し，課題解決に取り組む機会を得ることを本講義の目的とする．更には，ワークショップに参加する子供が，ものづくりの楽しさを体感し，エンジニアを志すきっかけをつくることを期する．

※このゼミは 10 月 3 日（火）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

Participants in this project will develop and implement "creative manufacturing workshops" for elementary school students. You will consider how they can help elementary school students enjoy and learn creative manufacturing, and plan and manage the workshops. This lecture aims to provide you with the opportunities to rethink the difficulties and joys of manufacturing, to rediscover the appeal of manufacturing, and to work on problem-solving. Furthermore, we expect that the children who participate in our workshop will experience the joy of manufacturing and get inspired to be engineers.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51434	A	身近な環境化学実習 －身近な水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊、堀 まゆみ、中村 優希	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「水」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？水道水は採取場所や日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといっても色々な種類があるがいったいどのような違いがあるのか、水道水と井戸水の水質はどのような違いがあるのか、といった水に関する様々な疑問を、実習を通して多角的な視点で解決していきます。

本実習では、身近な水、例えばキャンパス内の建物や自宅の水道水、市販のペットボトルウォーターなど、各自が調査対象とする水について、化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に体験し、構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察します。また、実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、履修者同士でピアレビューを行うことで、得られた結果や考察に対する理解を深めます。

本実習の履修には、専門知識や事前学習を必要としません。化学分析を体験し、実験計画を自由に考えながら実験を遂行し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視しているため、文科・理科を問わず興味がある学生を歓迎します。

授業の詳細については、ガイダンス時に説明するので、ガイダンスに出席すること。

【ガイダンス】

2023 年 10 月 4 日(水)17:05～17:30 オンライン(zoom)形式

【授業実施日】

以下の日程で、5 限の時間帯(17:05～)に行う。

11 月：15 日(水)、29 日(水)

12 月： 6 日(水)、20 日(水)

2 月：5 日(月) ～ 9 日(金)13 時 30 分～16 時（実験の進捗により終了時刻は前後することがある）

＊開講日時は履修者が決定したのちに、都合を確認し最終決定する。

教室は、KOMCEE East 実験室および 17 号館 1 階。授業前にアナウンスします。

【問い合わせ先】

practical-a@adves.c.u-tokyo.ac.jp

cmayumi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51398	A	人の手で作り管理する森林	安村 直樹、水内 佑輔、浅野 友子	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森と言われれば何が思い浮かぶだろうか。茫漠と良いイメージが浮かぶ一方で、どこか生活からは遠い存在かもしれない。しかし、日本は国土面積の約 7 割を森林が占めており、かつそのうちの多くは人の手が入った森である。そして、森林は木材生産、環境保全、防災など様々な機能をもち、それらは人間の生活を支えてきた。また、環境条件だけでなく、人の関わりの程度により様々なタイプの森が形成されており、そこから生み出された文化が社会を豊かにしてきたように、森は我々の生活と地続きなものである。これらの森は、放置しておけばよいのではなく適正な管理、すなわちあるべき森の形を設定し、そのために手を加える必要がある。加えて、森林の持つ多面的機能と整理されるように、1 つの森林が複数の機能を持つという森林の持つ特徴も忘れてはならない。

本講義では、森林の持つ多面的機能のうち、保健・レクリエーション機能、文化機能に重きを置きながら、砂防林、人工林、二次林、神社風致林など、人の手で造られた様々なタイプの森林や管理方法を学び、管理作業を身をもって体験し，今後の望ましい森林造成や管理のあり方について考える導きとする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51363	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトB	中尾 政之	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。
車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味を持てる好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51364	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトD	中尾 政之	工学部	集中	2	2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。
車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味を持てる好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51453	A	相模トラフの巨大地震を探る	石山 達也	地震研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

今年は大正関東地震から 100 年の節目である。このゼミナールでは，地球科学の一分野である地震学・地形学・地質学をベースとして、沈み込み帯で発生した巨大地震がどのように理解できるかを，大正関東地震を引き起こした相模トラフを例に学ぶ。12 月の 2 回の事前授業により地震学・テクトニクス研究の概要と相模トラフ・関東平野のテクトニクスの基礎について学ぶ。そして 1 月に三浦半島での巡検を行い，地震・テクトニクス研究の現場に触れる。講義を通して地震・テクトニクス研究の一端に触れ，科学研究の必要性や人間社会との関わりについても考察する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51400	A	続伊豆に学ぶ イノシシソーセージは何を語る？	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。
皆さんは外を歩いている時にイノシシに出会ったことがあるでしょうか？
東京に暮らしていると野生の獣、特に大型の獣に出会う機会はほとんどないと思います。ニュースや新聞で、地方都市にクマやイノシシの出現が報じられても、どこか他人ごとになってしまいがちではないでしょうか。
地方に暮らす人にとって、獣は身近な存在であり、自分の生活を直に脅かす存在です。
一方、大都市の中心地に暮らす人は、野生の獣に接する機会はないので、恐怖を感じることもありませんし、明日収穫しようと思っていた野菜を野生獣に食べられ続けることもありません。そういう生活をしていれば、野生獣に苦しめられている人の気持ちを理解しにくいかも知れません。殺処分と聞けば、嫌悪感をいだくかも知れません。
私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。
自分の常識が通用しない世界があること、そんなことは当たり前でしょうと言うかもしれませんが、知らず知らずの内に、常識に似ているかも知れないステレオタイプによって雁字搦めになってはいないでしょうか。
この講義は南伊豆でイノシシソーセージ作りを教えてもらったり、くくり罠作りを教えてもらったりしながら、南伊豆の人が吸う同じ空気を吸うことから始めて徐々にその土地への理解を深めていただきたい。
イノシシソーセージが語り掛けて来るまで、かすかな声を聴き分けられるまで、ゆっくりとじっくりと時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51471	A	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り早生樹を植えて、あなたもちょっとSDGｓに参加してみませんか	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。
我が国の一次エネルギー自給率は１１％ほどでとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。
洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるＳＤＧｓの取り組みがあります。
それは早生樹植えて、エネルギーの森を作ること。
昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・
このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。
７０年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題(カシノナガキクイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど)の原因になっています。
第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、１０００万ｈａに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。１０００万ｈａの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。
伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。
話を変えます。２０１９年に千葉県に上陸した台風１５号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンブスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。
この体験ゼミの背景には、そのサンブスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンブスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。
皆伐した跡地をどうするか？
また、スギを植える？
スギが余っていることは上述した通りです。
同じサンブスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。
あなたなら、もう一度スギを植えますか？
今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。
スギ・ヒノキではなく
ドングリを着けるコナラ・クヌギでもなく
ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。
持続可能なゴールが見えるでしょうか？

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51470	A	続伊豆に学ぶ 伝統工芸を守る意義とは伝統工芸は人が自然と向き合った営みが詰まっている	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】本ゼミはたたら製鉄・刀剣の里である岡山県を訪ねます。研磨炭焼き体験を基に考察するゼミですので、リモート受講はできません。

伝統工芸の価値とはいったいどの様なものでしょう。美術的な価値でしょうか、あるいは希少性に由来する類の価値でしょうか。

このゼミでは、長い歴史の中で培われてきた土地土地での人の営みを顧みたり、人がどの様に自然に向き合い活用してきたかを今に伝えたりする価値（≒意義）があると考えています。手に入れられるモノが、質・量ともに少なかった中で、使えるものを徹底的に工夫して、最大限に活用する（素材のところを最大限に引き出す）技が蓄積していったのでしょう。技が受け継がれ、その技の対象と成るモノがしっかりと供給されて、初めて伝統工芸が守られることになります。それらがしっかりと守られることによって、現代社会が見落としがちのことに意識を向ける絶好の仕掛けとして機能するのではないかと期待します。

このゼミで着目する駿河炭は、いわゆる伝統工芸品そのものではありません。駿河炭は伝統工芸に欠かせない研磨炭で、明治期に漆器製造が盛んであった静岡県（駿河）でアブラギリの炭が焼かれ研磨炭に用いられたという経緯があります。現在、駿河炭は駿河では焼かれておらず、福井県と岡山県で焼かれています。

駿河炭には、ニホンアブラギリ資源の枯渇という持続可能性の面で問題がありました。アブラギリはかつて桐油(乾性油)を得るために栽培され、明治初期は福井県や島根県が主要な産地でした。今も福井で駿河炭が焼かれているのは、資源量が多かったからと言えそうです。今は、それも底をつきつつあります。

木材の塗装や紙に撥水性を付与する用途のために桐油が使われましたが、石油由来の製品にとって代わられ、今ではアブラギリを栽培することはなくなりました。ということは、現状で何もしなければ、アブラギリ資源は回復を見込めないということになります。東大演習林は、アブラギリ資源を絶やさない施業の仕方に取り組んでいて、それも伝統工芸を守る重要な役割の一つであると考えています。

駿河炭は漆器表面の研磨に欠かせない研磨炭であるが、そのことはあまり知られていない。漆器と言えば、ウルシ（植物）や漆掻きや塗師の重要さは誰でも知っているが、研磨炭は漆器の仕上がりを左右するというのにその重要性が知られていないのはどうしたことであろう。

本ゼミでは日本刀の聖地のひとつ岡山県長船を訪ねます。刀工集団「福岡一文字派」が活躍した備前国福岡の地。現在の長閑な雰囲気と、かつて武器製造拠点であったという史実に大きな隔たりを感じるでしょうか、それとも蓋然性のようなものを感じるのでしょうか。自然と人の繋がり 文化

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51469	A	続伊豆に学ぶ 林業体験から見えるコト　薪はただのエネルギーではない。味のあるエネルギーなのだ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。
私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。(ただし、本当にそういう暇がないのかと言えば、かなり疑わしいところではあります。)
そして、あふれる情報。情報が多いと一つ一つ吟味していては、情報処理が間に合いません。そこで、ステレオタイプが幅を利かせることになります。符号化するステレオタイプは便利です。もともとは考える時間の節約だったのでしょうが、度を過ごして、節約どころか、「根本原理」的なものになっていないでしょうか。

本ゼミの主宰は今年伊豆を離れ、秩父に異動しました。本ゼミは、南伊豆町の林業会社の方々に支えられて成り立つプログラムですので、旧態を踏襲して続けます。
このＡセメスタから新体制の「伊豆に学ぶ」が始まります。
それと区別できるように本ゼミは「続」を冠して「続伊豆に学ぶ」というタイトルにしました。
なぜ、林業を考えてもらいたいか。
日本の国土の２／３は森林で覆われている。その森林面積のおよそ４０％が人工林です。
人工林は管理を続けることを前提としたデザインで植えられているため、放置すると荒れ放題となってしまいやすい。
国土面積の３割近い人工林の管理をどうすることができるのか？
このような話の流れの中で、日本社会は林業を手放してよいのだろうか？
君たちが自分から「日本林業をどうすればよいか？」などと考える機会はない（・なかった）と思う。この授業の目標は、受講生に「日本林業のこと・日本林業再生のことを考えないでは済まないのだ」という理解・合意に達してもらうこと。
それを押し付けるものではないけれど、「考えないで済む」ことを合理的に説明ができるのであれば、是非伺わせてもらいたい。
合理的に説明できないのであれば、是非日本林業の今後のことを考えてみて欲しい。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51394	A	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	鎌田 直人、楠本 大、竹本 周平	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。 たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わりの希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。
本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや林業、工芸、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。
将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。
【履修希望者への注意事項】
履修希望者は、第 1 回講義終了後から 10 月 13 日（金）17：00 までに下記サイトにアクセスし，所定のフォームで①氏名，②メールアドレス，③希望動機（100 字程度）を入力してください。10 月 13 日の 17 時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、この履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。 参加希望申込サイト： https://forms.gle/FuKjuyivQ2LeVUgs7
参加の可否は 10 月 16 日（月）24：00 までにメールで連絡しますが，連絡がない場合は下記の担当教員にメールで問い合わせて下さい。また履修希望申込をしたあとや、参加可能の連絡を受けたあとにキャンセルする場合も必ず担当教員に連絡して下さい。
連絡先：鎌田直人（千葉演習林 教授） kamatan@uf.a.u-tokyo.ac.jp

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51472	A	目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	山口 英斉	理学系研究科附属原子核科学研究センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
サブ゛アトミック粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法で゛あり、検出器はサブ゛アトミックな世界を研究する上で゛の目や耳ともいうべ゛きもので゛ある。 授業で゛は、目に見えないサブ゛アトミック粒子測定の基本原理を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。
（1）講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。（2）実際に、幾つかの検出器を構築する。（3）構築した検出器を用いてサブ゛アトミック粒子を測定する。（4）測定結果を評価考察する。
※実習指導の都合から、履修人数は 10 名以下が望ましい。
※このゼミナールは、和光市理化学研究所キャンパス(東武・東京メトロ和光市駅から徒歩 15 分程度)内にある東大原子核科学研究センターで開催される。期間中は近隣の宿泊施設に宿泊していただく予定。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51358	A 1	感染対策と基礎知識	MOI MENG LING	医学系研究科	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

感染対策と基礎知識を与えるとともに、実験室にて基礎研究について学ぶ。総論、ウイルス学、疫学、免疫学、遺伝子学、公衆衛生学、消毒・滅菌と感染。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51396	A 1	危険生物の知識（秋編）	石橋 整司、齋藤 暖生、井上 広喜、久本 洋子、前原 忠	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。
※受講可能人数：最大 18 名まで。希望者多数の場合は選抜を行う。
※ガイダンス：10/3（火） 2 限に第 1 回講義を兼ねてオンラインで行う。
※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林、富士癒しの森研究所
※ 2 回の事前講義と千葉演習林、富士癒しの森研究所における 2 回の現地講義、 1 回の事後講義を行う。
※講義の開始から現地講義まであまり時間がないため、履修希望者は 10 月 3 日の第 1 回講義日の 24 時までに指定の方法で履修の希望の旨を提出すること。詳細は ITC-LMS に記載するのでその指示に従うこと。指定の時間までに所定の方法で履修の希望の提出がない場合は、いかなる理由があっても履修者の選抜対象にならないので注意するように。なお、選抜結果については 10 月 4 日中にメールで連絡をするので履修が認められた学生は 10 月 6 日の第 2 回講義（オンライン）に参加すること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51357	A 1	最新の遺伝子治療に関する体験ゼミ	岡田 尚巳	医科学研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 遺伝子治療とは、従来『疾病の治療や予防を目的として遺伝子または遺伝子を導入した細胞を人の体内に投与すること』であったが、ゲノム編集技術の躍進により、現在は『疾病の治療や予防を目的とした（1）遺伝子又は遺伝子を導入した細胞を人の体内に投与する、(2）特定の塩基配列を標的として人の遺伝子を改変する、(3）遺伝子を改変した細胞を人の体内に投与する』、のいずれかに該当する行為を指す。 遺伝子（DNA または RNA）を細胞内に効率的に輸送し発現させるため、ウイルスベクター、化学修飾法、脂質コーティング法など様々な方法が研究されており、当研究室においてはウイルスが元々持っている細胞進入機構を利用するウイルスベクターの研究を行っている。遺伝子治療用ウイルスベクターは、遺伝性疾患を対象とした原因遺伝子の発現調節や遺伝子修復技術の活用により、難治性疾患の根本治療が期待される。また一方、予防的観点から、抗原発現を行うワクチンとしての開発も進められている。 本体験ゼミでは、遺伝子治療の現状と課題について講義を行ったのち、遺伝子治療用ベクターであるアデノ随伴ウイルスベクターを実際に作製し細胞に導入する体験を行う。当講義では、以上を通じて遺伝子治療に対する興味を惹起し理解を深めることを目的とする。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51401	A 1	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A 1 ① 【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、『異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従して、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思っているのですか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、それは資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものです。現状を放置すると、獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないはずはないのです。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（それを理由に拒むものではありませんが）（山歩きなら簡単というくらいの理由で本講を選択しないでください）。誰でも、歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山を、ときどき森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはとても気持ち良い山行になりますね。

その様に無心に山野を歩くのもとても好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少しだけ持って歩くことを提案します。時々意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることができそうです。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。（すみません、たまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。）

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題ではありません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

※姉妹ゼミの一つ、全学体験ゼミ 51471「続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り」も興味ありましたら、お勧めです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51402	A 1	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A 1 ② 【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、『異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は 7 割近くが森林に覆われています。7 割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従して、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思っているのですか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、それは資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものです。現状を放置すると、獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないはずはないのです。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（それを理由に拒むものではありませんが）（山歩きなら簡単というくらいの理由で本講を選択しないでください）。誰でも、歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山を、ときどき森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはとても気持ち良い山行になりますね。

その様に無心に山野を歩くのもとても好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少しだけ持って歩くことを提案します。時々意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることができそうです。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。（すみません、たまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。）

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題ではありません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

※姉妹ゼミの一つ、全学体験ゼミ 51471「続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り」も興味ありましたら、お勧めです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60226	A 2	身近な生命科学実習 ／ Molecular Biology in our daily lives	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
＊対面授業に参加可能な学生のみに履修を制限
＊実験三昧・研究体験・生命科学分子生物学入門編
＊少人数制
＊体験を通じた“考えるトレーニング”

==========

この授業では、分子生物学の入門編に相当する実験体験を、実質 6 日間の集中講義で開口します。この実習の特色は、文理の垣根を越えてた少人数制、可能な限り個別最適なプログラムになるような授業デザインになっています。実習は、大きく分けて 2 つのパートに分けることができます。前半の A パートは、共通課題としてマグロ属魚類の魚種類判別実験を通じて、基礎的な実験スキルと、考え方を身に着けます。後半の B パートでは、前半で学習した内容を活用し、自由課題に取り組みます。日程の最終日は、各自の取り組んだ内容をラボミーティング形式で発表します。

A パート
実験スキルと考え方の習得
マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？
本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を学習することを目的とする。
【実習の流れ】
① 本実習内容の説明
② マグロから DNA 抽出
③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断
④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出
⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別
⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別
⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション

B パート
自由課題を通じた“考えるトレーニング”
上記の既定の作業に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索や過去のプリント集を閲覧しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの “考えるトレーニング”、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。
【ガイダンス】
下記日程のお昼休みに実施する。
＊ガイダンスは、オンラインのみ。
＊昼食をとりながら参加可能。
＊実験室を見学したい場合は、相談に応じる。
＊別日程希望の場合は、個別にメールで対応する。
Zoom URL：
2023 年 10 月 10 日（月）12:15～12:45
2023 年 10 月 13 日（金）12:15～12:45
2023 年 10 月 17 日（月）12:15～12:45
【実習実施日】
2024 年 2 月 1 日（木）から 2024 年 2 月 16 日（金）までの期間（土、日、祝日を除く）から実質 6 日間出席日を個別に調整する。必ず出席する必要がある。定期試験や個別の事情により、実習実施日に参加できない学生は、*必ず*事前にその旨を連絡すること。相談の上、予備日から振替をすることが可能な場合がある。
【実習時間】
13:00～18:00
【お知らせ
最新情報の確認】
https://bit.ly/3KoTgJ1
【問い合わせ先】
kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

==========

In this course, students will discuss experimental experiences equivalent to an introduction to molecular biology in a six-day intensive course. The special feature of this training is the small class system that transcends the boundaries of the non-science and sciences, and the lesson design has been designed to be the most individualized and optimal program possible. The practice can be roughly divided into two parts. acquire experimental skills and ways of thinking. In the second part, Part B, you will use what you have learned in the first half and work on free assignments. On the final day of the schedule, each student will present their focused content in a lab meeting format.

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60224	A 2	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A 2 ① 【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、『異常』なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は7割近くが森林に覆われています。7割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従して、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思っているのですか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、それは資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものです。現状を放置すると、獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないはずはないのです。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（それを理由に拒むものではありませんが）（山歩きなら簡単というくらいの理由で本講を選択しないでください）。誰でも、歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山を、ときどき森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはとても気持ち良い山行になりますね。

その様に無心に山野を歩くのもとても好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少しだけ持って歩くことを提案します。時々意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることができそうです。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。（すみません、たまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。）

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題ではありません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

※姉妹ゼミの一つ、全学体験ゼミ 51471「続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り」も興味ありましたら、お勧めです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60225	A 2	森に学ぶ 森林・林業を意識する低山歩き A２② 【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。	鴨田 重裕	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

近年、日本では「線状降水帯」による甚大なる気象害が毎年のように発生するなど、『異常」なほどの気象害が常態化しています。しかし、これは地球規模で洪水と渇水が頻発していることの一面を捉えているに過ぎません。気候変動への取り組みやレジリエントな社会づくりの重要性が言われますが、日本社会は十分な取り組みができているでしょうか。

日本の国土は７割近くが森林に覆われています。７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？

山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従して、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思っているのですか？

いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。

日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、それは資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものです。現状を放置すると、獣が増えて植生を壊滅させます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないはずはないのです。

【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。

【注意】この授業は山岳部やワンダーフォーゲル部の出身者向けではありません（それを理由に拒むものではありませんが）（山歩きなら簡単というくらいの理由で本講を選択しないでください）。誰でも、歩くことが億劫でない限り、参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。

あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。

このゼミは東京近郊の身近な山を、ときどき森林・林業を意識しながら歩く機会を提供することを目的に立ち上げた講義です。

森林・林業を意識する？

山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、そう言った日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはとても気持ち良い山行になりますね。

その様に無心に山野を歩くのもとても好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少しだけ持って歩くことを提案します。時々意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。

私たちが生きる現代社会の特徴

私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることもその一因であるでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることができそうです。

このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。（すみません、たまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。）

資本主義経済が支配する社会では

資本主義は資本を投下して、利益を効率よく回収することを目的とします。利益を回収しづらい「林業」は資本主義経済の対象となりにくくなっています。それでは、日本社会に林業は不要でしょうか。林業をしないのであれば、山林も不要でしょうか。不要な山林は外資に売り払って現金化するのが妥当でしょうか。

このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。

何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある問題ではありません。よく考えてみることそれ自体がこのゼミの目的と言えそうです。

よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。

※姉妹ゼミの一つ、全学体験ゼミ 51471「続伊豆に学ぶ エネルギーの森作り」も興味ありましたら、お勧めです。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60220	A 2	雪の森林に学ぶ ～北海道演習林	尾張 敏章、 田中 延亮、 鈴木 智之	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60228	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプ I ・生研コース（生産技術研究所） ・エネルギーとマテリアルコース（新領域創成科学研究科・基盤科学研究系）	伊藤 耕一	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。

(宿泊は柏キャンパス近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担)

情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。

KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I~III まであり、開催期間の異なるテーマ 2 つまで履修可能です。

ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ

https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp

にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2023 年 10 月 6 日(金)正午 12 時

※10 月 4 日(水) 6 限(18:45~)に KSC2023 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。KSC のホームページから申込みできます。

【生研コース(4 テーマ)】

1.「 物性理論物理のフロンティア」羽田野直道 教授

2.「1000 年再解析と機械学習による江戸時代の天気再現」(文科可)芳村圭 教授・吉兼隆生 特任准教授

3.「シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう」(文科可)北澤大輔 教授

4.「 身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう」(文科可) 井上純哉 教授

【エネルギーとマテリアルコース (5 テーマ)】

1.「 熱と電気」(文科可) 有馬孝尚 教授・徳永祐介 准教授

2. 「高温溶融物とプラズマの世界」(文科可) 寺嶋和夫 教授・伊藤剛仁 准教授・宗岡均 助教

3. 「磁場閉じ込め核融合プラズマにおける粒子加速」井通暁 教授

4. 「核融合プラズマを電磁波で測ろう」(文科可) 辻井直人 講師

5. 「探査機・望遠鏡データを用いて惑星大気の研究をしてみよう」今村剛 教授・青木翔平 講師

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60229	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプII ・宇宙コース（宇宙線研究所） ・物性コース（物性研究所） ・環境コース(新領域創成科学研究科・環境学研究系)	伊藤 耕一	新領域創成科学研究科	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
(宿泊は柏キャンパス近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担)
情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。
KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパスの研究室あるいは神岡キャンパス(岐阜県)内の宇宙線研究所内の研究室で実際に最先端の研究
柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
KSC は開催期間別に I~III まであり、開催期間の異なるテーマ 2 つまで履修可能です。
ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ
https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp
にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。
エントリー期限 2023 年 10 月 6 日(金)正午 12 時
※10 月 4 日(水) 6 限(18:45~)に KSC2023 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。KSC のホームページから申込みできます。
【宇宙コース（4 テーマ)】
1.「最高エネルギー宇宙線の起源を探る」塚隆志 准教授
2.「神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線(神岡)」早戸良成 准教授
3.「マイケルソン干渉計を利用した重力波検出の原理(神岡)」宮川治 准教授
4.「高エネルギーガンマ線望遠鏡で見る極限宇宙」窪秀利 教授
【物性コース（5 テーマ)】
1.「ナノスケールの薄膜材料を作ろう / Let's make nanoscale thin-film materials"(文科可) Lippmaa Mikk 教授
2.「グラフェン（炭素原子の 2 次元結晶）の作製と量子伝導」(文科可) 長田俊人 教授 田縁俊光 助教
3.「量子物性と情報理論 Quantum matter and information theory」(※理科の学生と同等以上の数学・物理の予備知識があれば文科可。) 押川正毅 教授
4.「走査トンネル顕微鏡で探るナノの世界」(文科可)長谷川教授・土師将裕 助教
5.「フェムト秒パルスレーザーで一瞬の世界を探ってみよう」幸雄（文科可）板谷治郎 准教授・栗原貴之 助教
【環境コース（5 テーマ)】
1.「森林・泥炭火災が大気環境に与える影響」(文科可) 戸野倉賢一 教授
2.「水処理ロボを作ろう：池に浮かべてアオコ対策」(文科可) 佐藤弘泰 教授
3.「浮体のデザインと運動計測」(文科可) 平林 紳一郎 准教授
4.「複雑環境シミュレーション：流体解析編」(物理、数学、プログラミング、のいずれかに興味があれば文科可) 奥田洋司 教授・松永拓也 講師
5.「音と技術が紡ぎだす 森と人の将来像」(文科可) 中村和彦 講師

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60230	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプⅢ ・大気と海洋コース（大気海洋研究所） ・生命コース（新領域創成科学研究科・生命科学研究系）	伊藤 耕一	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。

本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。

(宿泊は柏キャンパス近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担)

情報が随時アップデートされますので、上記 URL を参照してください。

KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

KSC は開催期間別に I~III まであり、開催期間の異なるテーマ 2 つまで履修可能です。

ただし履修人数には上限があります。履修希望者は KSC のホームページ

https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp

にある応募フォームで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2023 年 10 月 6 日(金)正午 12 時

※10 月 4 日(水) 6 限(18:45~)に KSC2023 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。KSC のホームページから申込みできます。

【大気と海洋コース（5 テーマ】

1．「海底からプレートテクトニクスを考える」（文科可）沖野郷子 教授

2．「人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう」（文科可）今須良一 教授

3．「海の中を覗いてみよう：海洋の微細構造と混合」（文科可）安田一郎 教授

4．「DNA から探るサンゴ礁生態系の謎」（文科可）新里宙也 准教授

5．「海底の泥から読み解く過去の地球の姿」（文科可）黒田潤一郎 准教授

【生命コース（4 テーマ)】

1．「「生物情報科学」でひもとく生命システム進化・生物多様性」岩崎渉 教授

2．「あなたは寒さに強いですか？褐色脂肪組織活性の測定とゲノム解析」（文科可）中山一大 准教授

3．「植物木部道管細胞から学ぶ細胞分化のダイナミクス」（文科可）大谷美沙都 准教授

4．「性別決定の分子メカニズムとその人為操作」鈴木雅京 准教授

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

> 異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（1）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（2）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（3）海外の学生との日本国内での研修、（4）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※ 新型コロナウィルス COVID-19 感染拡大の影響により、例年と開講形態や研修内容等が大幅に異なる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
51134	A	上級中国語北京研修 ～深思北京 2023	伊藤 徳也	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、参加申し込みが通常と異なるため留意してください。 【注意】この国際研修の内容は、大きく変更される可能性があるので、「関連ホームページ」を確認してください。 この授業は、中国語による意思疎通を通して、中国語の応用能力の向上を目指すとともに、中国に対する理解と見識を深めることを目的としています。 当初、北京に渡航する予定でしたが、日程調整の不調のため、渡航できない可能性もあります。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60094	A 2	TLP フランス語春季研修	寺田 寅彦	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】2024 年 2 月～3 月に 2 週間程度、パリ市（フランス）、リヨン市（フランス）での研修実施を予定するものの、感染拡大状況次第でオンライン交流あるいは国内研修に切り替える（あるいは研修自体を中止する）ものとし、最終決定は遅くとも１１月下旬を予定する。なお、場合によってはリヨン市（フランス）の代わりに、ブリュッセル市（ベルギー）とパリ市（フランス）の組み合わせになる可能性もある。選抜試験を１１月上旬～１２月上旬に実施予定。A2 タームの履修確認訂正期間までに選抜が終わらない可能性があるため、履修確認訂正期間までに選抜が終わらなかった場合には選抜者決定次第、教務課で履修登録をする。したがって当初の履修登録期間にあらかじめ履修登録をすることはしないように注意すること。成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講もしくはオンライン代替授業となる可能性が十分にある。 【授業の目標、概要】予定ではパリ市（フランス）、リヨン市（フランス）でフランス語による発表を大学やフランス省庁で行いフランス語の運用能力を高め、学生交流や社会交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなく各種催しを通じて交流の現場を体験し、また文化施設で異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。場合によってはリヨン市（フランス）の代わりに、ブリュッセル市（ベルギー）とパリ市（フランス）の組み合わせになる可能性がある。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60093	A 2	ケルン大学ドイツ語春季研修	速水 淑子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】 ・新型コロナウィルスの感染拡大の状況により、不開講、あるいはオンラインでの代替研修となる可能性が十分にあります。 ・この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 ・「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とします。 ケルン大学で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指します。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行います。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60097	A 2	トリノ大学イタリア語研修	山﨑 彩	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。 10 月 10 日（水）12:15～ ガイダンスをおこないます（詳細は ITC-LMS に掲示）。 イタリア北西部の都市トリノに滞在し、トリノ大学の語学講座を受講して語学運用能力の向上を図り、さまざまな体験からイタリア文化を少し深いところまで掘り下げて考察する。本研修の目標は以下の三点。 ①トリノ大学でイタリア語講習を受講し、イタリア語運用能力を向上させる。 ②トリノの歴史と文化を学ぶ。 ③現在のトリノの都市としてのあり方を考察する。多様な人々を都市の活力として取り入れていること、そのバックボーンとなる考え方、社会的弱者を取りこぼさないためのさまざまな試みを日本との比較において考察する。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60096	A 2	国際研修（台湾）TLP 生のみ	阿古 智子	集中	2	1 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されない見込みが高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 台湾にてフィールドワークを中心とする研修を行う（2 月下旬～3 月 2 週目の 7 泊 8 日になる予定）。					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60095	A 2	平和のために東大生ができること： 中央アジア研修	岡田 晃枝	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意 1】この授業は、開講日程の都合上、成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意 2】この国際研修の履修を希望する者は必ず 10/5（木）5 限に行われる主題科目 全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること」のガイダンスに参加し、同全学ゼミを履修すること。 【注意 3】国際情勢や渡航先の状況によって変更・中止の可能性がある。 --- 旧ソ連中央アジアの 1 国カザフスタンは、ソ連時代に数百回の核実験が行われたセミパラチンスク核実験場（1989 年閉鎖）跡を国内に擁し、核軍縮分野でイニシアティブを発揮しており、この分野で日本と協働することも多い。一方で、国内では 2022 年 1 月に大きな暴動と政治変動を経験し、現在は関係の深いロシアのウクライナ侵攻によりさまざまな影響を受けている。 この国際研修ではカザフスタンを訪問し、同国が直面している安全保障上の問題について現地で学ぶと同時に、持続可能な開発目標（SDGS）の目標 16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、現地学生と学び合い、議論してその成果をまとめる。 事前準備として A セメスターを使って全学ゼミ（下記参照）で基礎的な知識を得てもらうほか、外務省や駐日カザフスタン大使館等での事前研修を予定している。また、現地で実施するプレゼンテーションを事前に協力して作成してもらう。 渡航時期は 3 月上旬から中旬の約 10 日間である。 ＊この授業を履修するには、A セメスターに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること 」を履修して合格し、なおかつその全学ゼミの授業で課される課題および面接を通じて選抜されることが必須要件である。この国際研修のガイダンスは、全学ゼミ「平和のために東大生ができること 」のガイダンスと同時に行う。希望者は必ず出席すること。					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	法・政治(PEAK)	FOOTE Daniel、向山 直佑	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Law and Political Science					
授業の目標概要	The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Economics					
授業の目標概要	This is an introductory course in economics in which the primary goal will be to introduce students to formal economic models. Economics is a tremendously interesting discipline and touches on many fascinating aspects of life: What determines prices? Why do we have markets? Why do we think the market allocation is "good" in some sense? Should governments intervene in markets? Why do countries have different standards of living? Why do people within countries have different levels of income? What determines decisions about whether to work and invest in education? How do people behave in strategic situations? Although an introductory course cannot possibly hope to cover all aspects of economics, the idea is to introduce a broad range of the models used in economics and to get students to understand economists' way of thinking. The course will be technical and cover the topics using formal models, which will be good in ways in which I will explain when we discuss educational investments. However, we will also play several games and have discussions based on readings to illustrate the principles involved.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50143	A	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to International Relations					
授業の目標概要	This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	思想・芸術 I (PEAK)	山辺 恵理子	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Philosophical Issues in Education					
授業の目標概要	COURSE OBJECTIVES The aim of this course is to deepen students' understandings on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education. Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50378	A	思想・芸術Ⅲ(PEAK)	GEILHORN Barbara	PEAK 前期	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		TBA				
授業の目標概要		Students learn various approaches to ideas and arts, and their applications to specific topics.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	国際・地域 I (PEAK)	バクスター, ジョシュア	PEAK 前期	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Re-Thinking History				
授業の目標概要		This is a seminar course designed to explore the field of modern Japanese history through various historical categories of inquiry. The course will begin by surveying various approaches to the study of history to see how Japan was constituted as an object of study. The latter part of the course will then focus on themes (such as empire, race, popular culture, etc.) in order to examine how the past has been conceptualized and historicized. Throughout the semester, emphasis will be placed on thinking about the relation between the past and the present and how this shapes the writing of history.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51024	A	社会・制度 I (PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Global governance in International Society				
授業の目標概要		The concept of global governance has increasingly been important for last decades. We have observed emergence of an international society where states, international organizations and non-state actors attempted to address global problems and issues. This course provides an overview of concepts, processes and outcomes of global governance. The course is divided into three parts. The first introduces the current global governance structure, core concepts and theoretical perspectives on global governance. The second part focuses on actors in global governance: international and regional organizations and non-state actors, and examines how they play roles for global governance. The third part deals with issues in global governance ranging from security, economic to social aspects. The course addresses diverse empirical cases, and analyzes how and why processes differ across different issue areas. As a wrap-up session, we will discuss effectiveness of global governance incorporating concepts such as power, authority and legitimacy.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50780	A	科学技術基礎論 (PEAK)	岡本 拓司	PEAK 前期	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		The birth of modern science and its introduction to Japan (with related topics)				
授業の目標概要		This course will discuss the birth of modern science in Europe and the role of western science and technology in the modernization of non-western countries by mainly focusing on the history of Japan from the late 19th century to the 1950s. The following will be the main issues: diversity of the concepts of science and learning; the birth of science in the 17th century and its dissemination in the non-western world; the relation between science and technology; science and technology at crises; science and political thoughts. Participants will have chances to examine their ways of understanding what science means for their culture, society, and lives. The first class will be given online. For details please refer to ITC-LMS.				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50965	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Global environmental problems and sustainable development					
授業の目標概要	This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and their use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions: - People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for? - How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on environmental management? - On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by? Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues. From a methodological standpoint, the focus of lectures will be placed on: (i) how we can formulate consistent and comparable metrics regarding global sustainable development, which often needs to deal with vague concepts (e.g., "sustainability"); (ii) how we can distinguish reliable and unreliable data, and where we can find the latter in practice; (iii) what aspects of global sustainable development are potentially quantifiable, and what are not					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50088	A	意思決定の数理(PEAK)	前田 章	PEAK 前期	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Decision Analysis					
授業の目標概要	Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses. In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of "normative" decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50181	A	コンピューティングの基礎(PEAK)	甘蔗 寂樹、金 尚弘	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Introduction to computing					
授業の目標概要	In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A	スポーツ・身体運動実習 II (PEAK)	竹下 大介、結城 笙子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Recreational activities for the promotion of fitness and wellness					
授業の目標概要	Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50146	A 1	電磁気学の基礎(PEAK)	深津 晋	PEAK 前期	月 3, 月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 Electromagnetism(PEAK)

授業の目標概要 Electromagnetism is at the heart of the many natural sciences. In fact, all chemical bondings are nothing but the electromagnetic coupling, while diverse activities in living things are largely controlled by the electromagnetic, if not gravitational, interactions. This course is intended to be an introduction to the concepts of classical nonetheless modern theories of electromagnetism building on Maxwell's equations plus Lorentz force. Key topics include electrostatics and magnetostatics, electric and magnetic fields with their origins, scalar and vector potentials, and electrodynamics. Applied topics will also be covered.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51287	A	分析化学(PEAK)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	PEAK 前期	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 Analytical Chemistry

授業の目標概要 To scientists, being able to measure and analyse our environment is one of the most important capabilities. This course is concerned with the methods and technologies available to accurately and precisely measure the properties of real world samples, for example from determining the concentration of heavy metal ions in river water, measuring the concentration of a drug molecule in a blood sample to determining the concentration of pollutant gases in the atmosphere. The course builds on existing knowledge of fundamental chemical principles and has a practical focus which will be of particular use to students with an interest in Environmental Science.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50781	A	情報科学(PEAK)	Schuster Alfons Josef	PEAK 前期	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目 Understanding Information and Information Environments

授業の目標概要 Information science is an interdisciplinary science with a wide range of interests and goals. A major element in the field is concerned with fundamental information processes such as the acquisition and collection of information, the classification and storage of information, the manipulation and retrieval of information, as well as the analysis, dissemination, usage, and maintenance of information. Another focus in the course relates to the concept of information itself. Although the importance of information has been recognized in many fields, as a concept, information is difficult to define. The course, therefore, not only tries to familiarize students with the history and evolution of the field of information science, the course also investigates the fundamental question: What is information? Students completing the course will recognize the aims and goals of fundamental information processes. They will learn to analyze, evaluate, and appreciate the value that information science provides. In addition, students may develop an understanding of information on a deeper (philosophical) level. This understanding may help them to understand today's information society and modern technology from a more comprehensive information perspective.
By the end of the semester, students should:
(i) be familiar with the history and evolution of the field of information science,
(ii) understand fundamental information processes,
(iii) have acquired an understanding about the notion of information from various points of view, and
(iv) be able to reason about modern society and modern technology from an information perspective.

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50188	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Critical Issues in Science, Technology, and Society					
授業の目標概要	This course addresses the complex interactions of scientific knowledge, technological systems and society. It explores in particular the impacts and control of science and technology, with focus on the risks and opportunities that S&T may pose to peace, security, community, democracy, and environmental sustainability. Working with case studies, students examine recent developments in the regulation of science and technology (first part) as well as the incorporation of science into policymaking and regulatory processes (second part). In so doing, they discuss various issues of concern and address questions such as: how should states set priorities for research funding; who should participate, and how, in technological decision-making; should life forms be patented; how should societies measure risks and set safety standards; how should experts communicate the reasons for their judgments to the public?					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章、BARZA Sorina	PEAK 前期	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Applications of Mathematics in the Sciences					
授業の目標概要	This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs.					